

# PRIUS

## 取扱書

よくお読みになってご使用ください。

取扱書は車の中に保管しましょう。



# このたびはPRIUSをお買い上げいただき、 ありがとうございます。

本書は**プリウス**の取り扱いについてドライバーの動作にそって説明しています。

安全で快適にお使いいただくために、ご使用前に必ずお読みください。



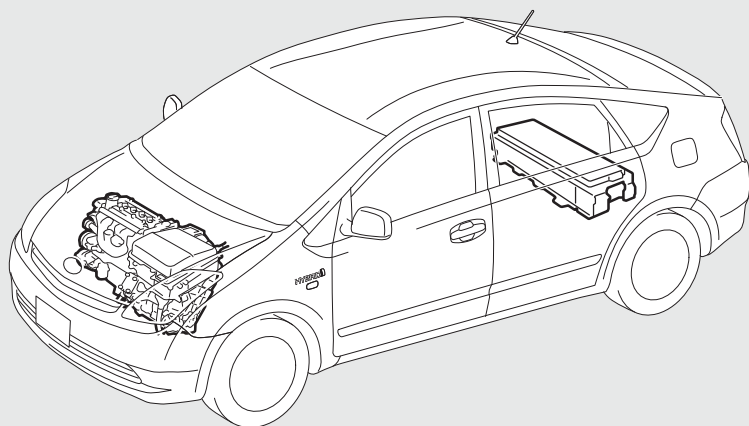
- ・運転は交通ルール・マナーを守り、自然環境保護にも気をくばりましょう。
- ・エレクトロマルチビジョンの取り扱いについては、別冊の「エレクトロマルチビジョン取扱書」を併せてお読みください。
- ・HDDナビゲーションシステムを装着された方は、別冊の「HDDナビゲーションシステム取扱書」を併せてお読みください。
- ・トヨタ販売店で取り付けられた装備（販売店オプション）の取り扱いについては、その商品に付属の取り扱い説明書をお読みください。
- ・装備については販売店でカタログをご請求ください。
- ・ご不明な点は担当営業スタッフにおたずねください。

- 保証および点検整備については「メンテナンスノート」に記載していますので、併せてお読みください。
- トヨタ販売店の所在地および連絡先は、サービス網／お客様相談テレホン網として「メンテナンスノート」に記載しています。
- 取扱書はいつでも見られるように、メンテナンスノートと共に車に大切に保管してください。
- 車をゆずられるときは、次のユーザーのためにこの取扱書およびメンテナンスノート車を付けておいてください。

車の仕様などの変更により、本書の内容が車と一致しない場合がありますのでご了承ください。

# ハイブリッドシステムについて

プリウスは、電気モーターとガソリンエンジンを組み合わせたトヨタハイブリッドシステムⅡ（THSⅡ）を採用しています。THSⅡは、モーターとエンジンという2つのパワーのシナジー（相乗）効果により、優れた動力性能と低燃費化の両立を高い次元で実現したシステムです。さらに、排出ガスを低減・クリーン化した、環境に配慮した技術となっています。



プリウスを安全・快適にお使いいただくために、本書をしっかりとお読みください。

ハイブリッド車特有の説明（通常のガソリン車と取り扱い方法が異なる内容）がある箇所には、**HYBRID**マークが付けてあります。

また、P.399の「ハイブリッドさくいん」も参考にしてください。

ハイブリッドシステムの無料チェックを1年に1回（5年間）実施いたします。  
プリウス購入販売店をご利用ください。

# 本書の構成

本書は次の8章から構成されています。  
特に第1章の「安全ドライブのために必ず守っていただきたいこと」は重要です。しっかりとお読みください。

## 第1章：安全ドライブのために必ず守っていただきたいこと

「重大な傷害や事故・車両火災におよぶおそれがあること」および「一般的な注意」と、その回避方法がこの章に集約して記載されています。重要ですので必ずお読みください。

## 第2章：基本操作早わかり

はじめてこの車にお乗りいただく方のために、基本操作を簡単に説明しています。

## 第3章：運転装置の取り扱い

ドアの開閉、シート、シートベルト、ハイブリッドシステムの始動方法、シフトレバー、メーター、スイッチなどの取り扱いを説明しています。

## 第4章：室内装備の取り扱い

室内装備品（サンバイザー・室内灯など）の取り扱いを説明しています。

## 第5章：安全・快適装備の解説と注意

ハイブリッドシステム・SRSエアバッグ・ABSなど安全・快適装備についての機能説明と取り扱い上の注意を説明しています。

## 第6章：車との上手な付き合い方

季節による取り扱い、環境に配慮した経済的な運転方法などについて説明しています。

## 第7章：メンテナンス

車の手入れのしかたと日常点検について説明しています。

## 第8章：万一のとき

故障やパンクしたときなど、万一のときに必要な処置方法について説明しています。

# 表示について

## 安全に関する表示

「運転者や他の人が傷害を受ける可能性のあること」や「車両の故障や破損につながるおそれがあること」と、その回避方法を下記の表示で記載しています。これらは重要ですので、必ず読んで遵守してください。



記載事項をお守りいただかないと、重大な傷害や事故・車両火災におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあること



記載事項をお守りいただかないと、傷害、車両の故障や破損につながるおそれがあること

## イラストのマークについて

してはならない行為を示すイラストには下記のマークが記載されています。



してはならない行為

## その他の表示

「知っておくと便利なこと」、「知っておいていただきたいこと」を下記の表示で記載しています。



知っておくと便利なこと  
知っておいていただきたいこと

ハイブリッド車特有の説明（通常のガソリン車と取り扱い方法が異なる内容）がある箇所には下記のマークが記載されています。



ハイブリッド車特有の説明があります。

# 操作説明(3~8章)の見方

操作説明(3~8章)の基本的な読み方について説明しています。

**タイトル**  
階層により区別してあります。

★  
オプション等により装着の有無が異なることをお知らせします。

**ヘッダー**  
ページの内容を案内しています。

**ツメタイトル**  
各章のタイトルを案内しています。

**ドア、ドアガラスなどの開閉**

**ドアの開閉★**

● 施錠・解錠のしかた

■ キーを使つての施錠・解錠

メカニカルキーを運転席ドアのキーシリンダーに押し込み、前にまわすと施錠、うしろにまわすと解錠されます。  
● 施錠・解錠されるのは運転席ドアのみです。

**警告** 走行前にすべてのドアが完全に閉まっていることを確認してください。ドアが確実に閉まっていないと走行中にドアが突然開き、思わぬ事故につながるおそれがあります。

**注意** バックドアは必ず全期にして使用してください。半開状態で使用するとバックドアが落ち、けがをするおそれがあります。

**知識**

**メカニカルキーについて**

キーの電池切れなどで、ワイヤレスドアロックの操作ができないときは、キーに内蔵されているメカニカルキーで施錠・解錠します。

154 ★はオプション等により装着の有無が異なります。

目次  
△ 手順  
▽ 準備  
早わかり  
▼ 運転席の  
取り扱い  
室内設備の  
取り扱い  
の解説と注意  
安全・快適に  
車の上の手  
付き合い方  
メンテナンス  
万のとき  
索引

め事故に

155

**操作要領**  
操作要領が書かれています。

**知識**  
前ページ参照

**注意**  
前ページ参照

**警告**  
前ページ参照

■本書では新計量法の施行に伴い、国際単位系(略称S I単位)を基本に記載し、従来単位を { } 内に記載してあります。

# 検索方法について

本書ではお客様が知りたいことを素早くお読みいただけるよう、次のような工夫がしてあります。



## タイトルからさがす

6

- 「目次」
- 「ツメタイトル」
- 「各章のはじめの目次」

## 取り付け位置からさがす

8

- 「イラスト目次」

## 名称からさがす

390

- 「五十音さくいん」

## 警告灯・警告アイコンからさがす

400、401

- 「警告灯さくいん」
- 「警告アイコンさくいん」

## 症状からさがす

390

- 「五十音さくいん」  
(色付き文字の項目)

## ハイブリッド車特有の説明をさがす

399

- 「ハイブリッドさくいん」

# 目次

	<b>イラスト目次</b>	<b>8</b>		
<b>1</b>	<b>安全ドライブのために必ず守っていただきたいこと</b>	<b>13</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>・安全・快適ドライブのために</li><li>・安全装備について</li><li>・運転装置について</li></ul>	14 41 64
<b>2</b>	<b>基本操作早わかり</b> (はじめてこの車にお乗りになる方へ)	<b>95</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>・各部の開閉</li><li>・シートの調整</li><li>・シートベルトの着用</li></ul>	96 98 100
<b>3</b>	<b>運転装置の取り扱い</b>	<b>114</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ドア、ドアガラスなどの開閉</li><li>・シートの調整</li><li>・シートアレンジ</li><li>・シートベルトの着用</li><li>・チャイルドシートの固定</li></ul>	116 141 147 153 158
<b>4</b>	<b>室内装備の取り扱い</b>	<b>249</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>・室内装備品の使い方 (サンバイザー、室内灯など)</li></ul>	250
<b>5</b>	<b>安全・快適装備の解説と注意</b>	<b>267</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>・トヨタ ハイブリッド システムⅡ</li><li>・SRSエアバッグ</li><li>・シートベルト関係</li></ul>	268 274 288
<b>6</b>	<b>車との上手な付き合い方</b>	<b>299</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>・雨の日の運転について</li><li>・寒冷時の取り扱い</li></ul>	300 301
<b>7</b>	<b>メンテナンス</b>	<b>313</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>・車の手入れ</li><li>・日常点検</li></ul>	314 332
<b>8</b>	<b>万一のとき</b>	<b>355</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>・工具、スペアタイヤ、発炎筒</li><li>・故障したときは</li><li>・パンクしたときは</li></ul>	356 363 365
	<b>さくいん</b>	<b>389</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>・五十音さくいん</li><li>・ハイブリッドさくいん</li></ul>	390 399



・メンテナンスについて	68	・ハイブリッドシステムについて	84
・オーバーヒート・万一の事故	80	・その他の注意	88
・始動するときは	102	・スイッチ類の取り扱い	110
・運転するときは	104	・車両情報・エアコン・オーディオ	112
・警告灯・警告アイコン	108		
・ハンドル、ミラーの調整	166	・パーキングブレーキペダルの使い方	204
・ハイブリッドシステムの始動方法	172	・メーター、表示灯、警告表示の見方	206
・シフトレバーの使い方	184	・スイッチの使い方(ランプ、ワイパーなど)	235
・運転のしかた	198		
・ABS & ブレーキアシスト	290	・電子制御ブレーキシステム(ECB)	295
・モーターTRC	294	・盗難防止システム	296
・経済的な運転	310	・環境保護のために	311
・メンテナンスデータ	346	・初期設定が必要な機能	353
・ユーザーカスタマイズ	352		
・補機バッテリーがあがったときは	374	・けん引について	382
・オーバーヒートしたときは	379	・事故が起きたときは	387
		・車両を緊急停止するには	388
・警告灯さくいん	400	・警告アイコンさくいん	401



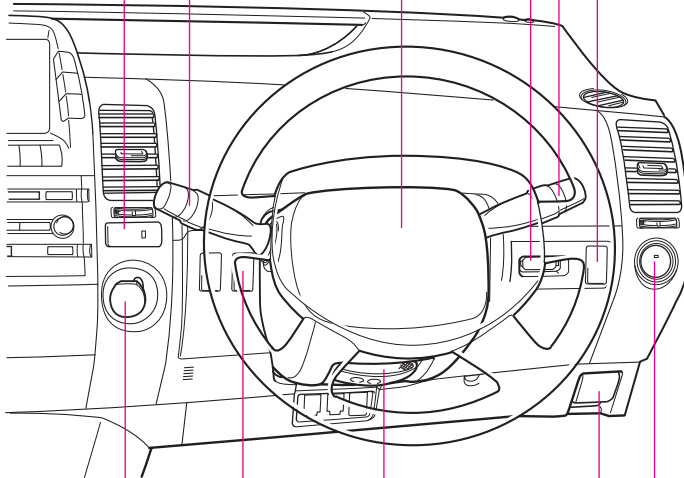
警告

基本  
操作運転  
装置  
の  
取  
扱  
い室内  
装  
備  
の  
取  
扱  
い安全・  
快  
適  
装  
備  
の  
解  
説  
と  
注  
意車  
上  
の  
取  
扱  
い  
方メン  
テ  
ナ  
ン  
ス万  
一  
の  
と  
き索  
引

# イラスト目次

## インストルメントパネル

ヘッドランプレベリング調整ダイヤル	238
ランプスイッチ	235
方向指示レバー	240
リヤフォグランプスイッチ	239
キースロット	172
ホーン	247
ワイパー & ウォッシャースイッチ	241
Ⓧポジションスイッチ	186
シフトレバー	186
EVドライブモード スイッチ <b>HYBRID</b>	181
チルトステアリングレバー	166
ボンネットオープナー	139
“パワー” (イグニッション) スwitch <b>HYBRID</b>	174



\* 装備のちがひ、注文装備も含んでいます。

アップグローブボックス	253
ロアグローブボックス	253
助手席SRSエアバッグ	274
助手席シートベルト非着用警告灯	225
ディスプレイ <b>HYBRID</b>	
別冊「エレクトロマルチビジョン取扱書」または「HDDナビゲーションシステム取扱書」参照	
非常点滅灯スイッチ	246
オドメーター／トリップメーター	
切りかえボタン	208
メーター、表示灯、警告灯 <b>HYBRID</b>	206
発炎筒	361
時計	263
オーディオ	
別冊「エレクトロマルチビジョン取扱書」または「HDDナビゲーションシステム取扱書」参照	
小物入れ	257
メーター照度調整ボタン	209
パーキングブレーキペダル	204
運転席SRSエアバッグ	274
ステアリングスイッチ	
別冊「エレクトロマルチビジョン取扱書」または「HDDナビゲーションシステム取扱書」参照	

\* 装備のちがいが、注文装備も含んでいます。

# イラスト目次

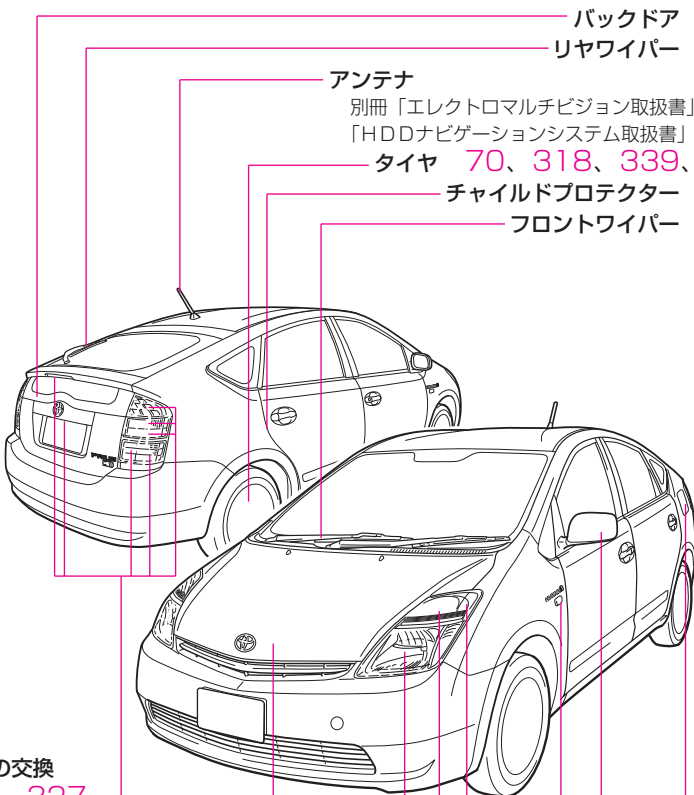
## 室内

サンバイザー／バニティミラー	250
バニティランプ	250
インナーミラー	167
オーバーヘッドコンソール	258
フロントパーソナルランプ／マップランプ	251
ドアミラー調整・格納スイッチ	168
パワーウインドウスイッチ	131
アジャスタブルショルダーベルトアンカー	157
フロントシートベルト	153
SRSカーテンシールドエアバッグ	275
ルームランプ	251
カップホルダー	256
フューエルリッド オープナー	136
フロントシート	141
コンソールボックス	254
SRSサイドエアバッグ	275
リヤシート	151
リヤシートベルト	153
トノカバー	260
デッキアンダートレイ／デッキボード	259
デッキサイドボックス	258
デッキフック	255
ラゲージランプ	252

\* 装備のちがひ、注文装備も含んでいます。

# イラスト目次

## 車 両 外 観



バックドア	126
リヤワイパー	241
アンテナ	
別冊「エレクトロマルチビジョン取扱書」または「HDDナビゲーションシステム取扱書」参照	
タイヤ	70、318、339、351
チャイルドプロテクター	123
フロントワイパー	241
電球(バルブ)の交換	327
電球(バルブ)のワット数	347
ボンネット	139
電球(バルブ)の交換	327
電球(バルブ)のワット数	347
ドアミラー	168
フューエルリッド(燃料補給口)	136

\* 装備のちがひ、注文装備も含んでいます。

目次



警告

基本操作  
早わかり

運転装置の  
取り扱い

室内装備の  
取り扱い

安全・快適装備  
の解説と注意

車との上手な  
付き合い方

メンテナンス

万一のとき

索引


# MEMO




# 安全ドライブのために 必ず守っていただきたいこと


「重大な傷害や事故・車両火災におよぶおそれがあること」および「一般的な注意」と、その回避方法がこの章に集約して記載されています。重要ですので必ずお読みください。

 <b>安全・快適ドライブの ために……………</b>	<b>14</b>
1. 点検整備実施の お願い <b>HYBRID</b>	14
2. お出かけ前の注意	15
3. 燃料補給時の注意	20
4. 走行するときの注意	22
5. 走行中、異常に 気付いたら <b>HYBRID</b>	29
6. 駐停車するときの 注意 <b>HYBRID</b>	32
7. 排気ガスに対する注意	35
8. お子さまを乗せるときの 注意	37

 <b>安全装備について ……</b>	<b>41</b>
1. シートについての注意	41
2. 子供専用シートに についての注意	45
3. シートベルトに についての注意	49
4. SRSエアバッグに についての注意	55
5. ABS & ブレーキアシスト についての注意	62
6. モーターTRCに についての注意	63

 <b>運転装置について ……</b>	<b>64</b>
1. エレクトロシフトマチック についての注意 <b>HYBRID</b>	64

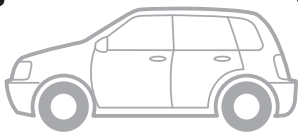
 <b>メンテナンスに ついて……………</b>	<b>68</b>
1. 点検・手入れ時の 注意 <b>HYBRID</b>	68
2. タイヤについての注意	70
3. バッテリーについての 注意 <b>HYBRID</b>	75
4. ジャッキアップに についての注意	77

 <b>オーバーヒート・ 万一の事故……………</b>	<b>80</b>
1. オーバーヒートについての 注意	80
2. 万一の事故のときの 注意 <b>HYBRID</b>	81

 <b>ハイブリッドシステムに ついて <b>HYBRID</b>……………</b>	<b>84</b>
---	-----------

<b>!</b> <b>その他の注意……………</b>	<b>88</b>
-----------------------------	-----------

# 安全・快適ドライブのために



## 1. 点検整備実施のお願い

### HYBRID

点検整備を必ず実施してください。  
実施していただかないと、重大な車両故障につながるおそれがあり危険です。



1 点検整備実施のお願い

### ① 点検整備を必ず実施してください。



- 日常点検整備や定期点検整備は、お客様の責任において実施していただくことが法律で義務付けられています。  
日常点検（P.332参照）や定期点検など、点検整備の詳細については「メンテナンスノート」をお読みください。
  - ・ 定期点検は、安全の確保、公害防止の観点から、定期的にも実施する点検です。定期点検整備は、専用の整備機器、指定の油脂類、交換された部品・油脂類の適切な処理などが必要なため、プリウス取り扱いトヨタ販売店にご相談ください。
- 点検整備は自動車の健康診断です。  
定期的な点検を行い、その結果必要となった整備や部品交換を実施することが、未永く車と付き合っていく上で最も大切なことです。
- 点検整備を実施しないと、例えばエンジンオイルの不足・劣化によりエンジン内部が焼き付きなどを起こすおそれがあります。また、ブレーキパッドやブレーキディスクなど、その役割を果たすと共に摩耗していく部品については、使用限度（摩耗限度）をこえての使用は故障を引き起こすばかりか、事故に結びつくおそれもあります。
- 日常点検で異常があったり、車の調子が悪い場合には、プリウス取り扱いトヨタ販売店にご相談ください。

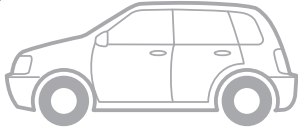
### HYBRID

### ② 車検・点検をする場合は、プリウス取り扱いトヨタ販売店にご相談ください。

- 高電圧システムを使用しているため、取り扱いを誤ると、感電など重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- 車検・点検をする場合は、整備モードに切りかえる必要がありますので、プリウス取り扱いトヨタ販売店にご相談ください。



安全・快適ドライブのために



## 2. お出かけ前の注意

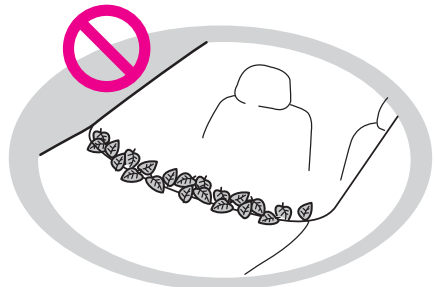
お出かけ前に、次の事項を必ず守ってください。  
お守りいただかないと、思わぬ事故や重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。



2 お出かけ前の注意

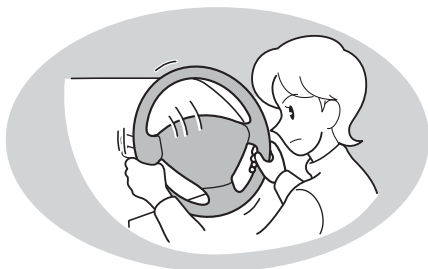
- ① 窓ごしなど車外からのハイブリッドシステムの始動は絶対に行わないでください。
- 思わぬ事故につながるおそれがあり危険ですので、必ず運転席に座って行ってください。
- ② 走行前にすべてのドアが確実に閉まっていることを確認してください。
- ドアが確実に閉まっていないと走行中にドアが突然開き、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。なお、いずれかのドア（バックドアを含む）が確実に閉まっていないときは、半ドア警告灯（P.224参照）が点灯します。

- ③ フロントガラス前部の外気取り入れ口に雪、落ち葉などが付いているときは取り除いてください。



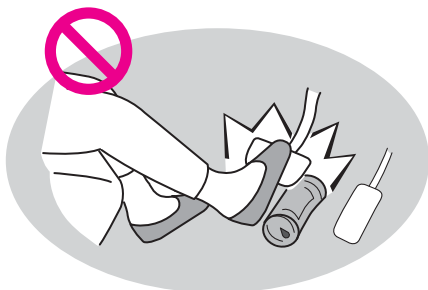
- 外気が導入できず、車内の換気が十分できなくなり、雨天時など車内の湿度が上がり、ガラスが曇ったりして視界が悪くなるおそれがあります。

- ④ 停車中にハンドル位置を調整したときは、確実に固定されていることを確認してください。



- ハンドルの固定が不十分だと、走行中にハンドルの位置が突然変わり、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

- ⑤ 運転席足元、運転席下にものを置かないでください。



- 空缶などがあるとブレーキペダルやアクセルペダルに挟まり、ブレーキ操作ができなくなったり、アクセルペダルがもどらなくなるなど、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

また、シートの動きがさまたげられたり、シートが固定できず、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

- ⑥ 助手席や後席に荷物を積み重ねたり、トノカバー装着車はトノカバーの上に荷物を置かないでください。



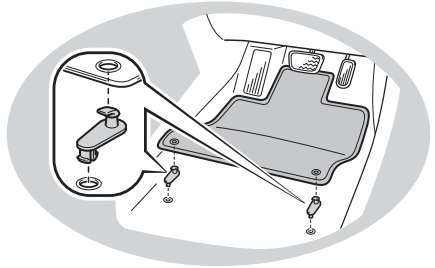
- 急ブレーキをかけたときや車が旋回しているときなどに、荷物が飛び出して乗員にあたったり、荷物を損傷したり、荷物に気をとられたりして、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

- 荷物はラゲージルームに安定した状態（例えば、ラゲージルーム前方に均等に）で置いてください。

**⑦フロアマットはお車（年式）専用のものを、フロアカーペットの上にしっかりと固定して使用してください。**

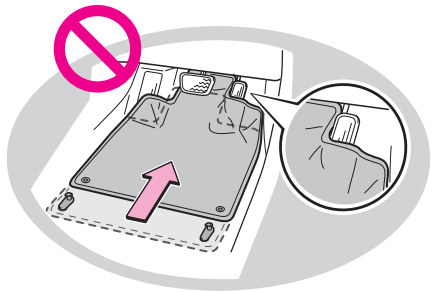
●運転席にフロアマットを敷くときは、次のことをお守りください。お守りいただかないと、フロアマットがずれて運転中に各ペダルと干渉し、思わぬスピードが出たり車を停止しにくくなるなど、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

- ・トヨタ純正品であっても、他車種および異なる年式のフロアマットは使用しないでください。
- ・運転席専用のフロアマットを使用してください。
- ・付属のフック（クリップ）を使って、常にしっかりと固定してください。カーペットの穴は、トヨタ純正フロアマットのずれを防止するために使用する固定クリップ取り付け用です。固定フック（クリップ）の形状およびフロアマットの固定方法はイラストと異なる場合があります。詳しい固定方法はフロアマット付属の取り扱い説明書をお読みください。
- ・他のフロアマット類と重ねて使用しないでください。
- ・フロアマットを前後逆さまにしたり、裏返して使用しないでください。



●運転する前に、次のことを確認してください。

- ・フロアマットがすべての固定フック（クリップ）で正しい位置にしっかりと固定されていることを定期的を確認し、特に洗車後は必ず確認を行ってください。
- ・ハイブリッドシステム停止およびシフトポジションがPの状態、各ペダルを奥まで踏み込み、フロアマットと干渉しないことを確認してください。



⑧ ラゲージルームに荷物を置くときは、背もたれの高さをこえない  
ください。また、確実に荷物を固定してください。

- 後方・側面の確認ができず思わぬ事故につながったり、急ブレーキをかけたときなどに荷物が飛び出し、けがをするおそれがあり危険です。



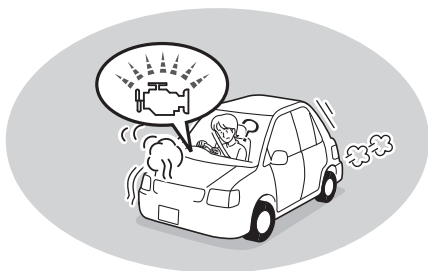
⑨ 燃料が入った容器やスプレー缶  
などは積まないでください。

- 万一のとき引火し、車両火災につながるおそれがあり危険です。

⑩ ボンネットを開けて作業などをしたときは、走行前にボンネット  
が確実にロックされていることを確認してください。

- ロックせずに走行するとボンネットが開いて、思わぬ事故につながるおそれ  
あり危険です。

⑪ 次の場合は車が故障しているおそ  
れがあります。そのまましてお  
くと走行に悪影響をおよぼした  
り、思わぬ事故につながるおそ  
れがあり危険です。プリウス取り扱  
いトヨタ販売店で点検を受けてく  
ださい。



- いつもと違う音や臭いや振動がするとき
- ハンドル操作に異常を感じたとき
- ブレーキ液が不足しているとき
- 地面に油のもれたあとが残っているとき
- メーター・表示灯・警告表示、ランプ類に異常があるとき

**⑫ お酒を飲んでの運転は絶対にしないでください。**



- 飲酒運転は法律で禁止されています。
  - 飲酒運転は非常に危険で、ごく少量のアルコールでも判断力・視力・注意力に影響をおよぼし、重大な事故につながるおそれがあり危険です。
- ⑬ エンジンルーム内および車体床下に、ネコやネズミなどの小動物がいないことを確認してください。**
- ハイブリッドシステム始動時、ファンやベルトなどに小動物が巻き込まれたりして、機能不具合の原因となるおそれがあります。

# 安全・快適ドライブのために



## 3. 燃料補給時の注意

燃料を補給するときは、次の事項を必ず守ってください。  
お守りいただかないと、重大な傷害を受けるおそれがあります。

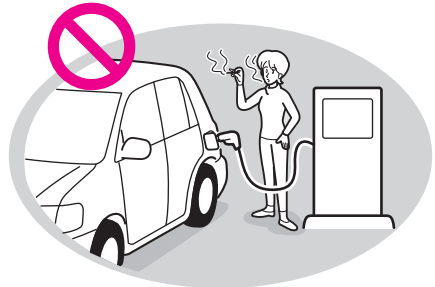


### ① 指定以外の燃料を使用しないでください。



- 指定燃料は無鉛レギュラーガソリンです。給油時に指定されている燃料であることを確認してください。
- 指定以外の燃料（粗悪ガソリン・軽油・灯油・アルコール系燃料など）を使用すると、エンジンの始動性が悪くなったり、ノッキングが発生したり、出力が低下する場合があります。また、そのまま使用するとエンジンの故障や燃料系部品の損傷による燃料もれなどの原因となるおそれがありますので、指定燃料以外は使用しないでください。

### ② 燃料補給時には、次のことを必ずお守りください。お守りいただかないと、燃料に引火してやけどなどの重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。



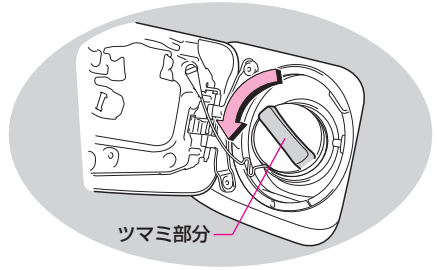
- ハイブリッドシステムは必ず停止してください。
- 車のドア、窓は閉めてください。
- タバコなど火気を近付けしないでください。
- フューエルリッド、フューエルキャップを開けるなど給油操作を行う前に、車体などの金属部分にふれて体の静電気除去を行ってください。体に静電気を帯びていると、放電による火花で燃料に引火する場合があります、やけどをするおそれがあります。

- フューエルキャップを開ける場合は、必ずキャップのツマミ部分を持ち、ゆっくりと開けてください。

気温が高いときなどに、燃料タンク内の圧力が高くなっていると、給油口から燃料が吹き返すおそれがあります。

フューエルキャップを少しゆるめたときに“シュー”という音がする場合は、それ以上開けないでください。

その音が止まってからゆっくり開けてください。



- 給油中、再び車内のシートにもどったり、帯電している人やものにふれないでください。(再帯電することがあります)

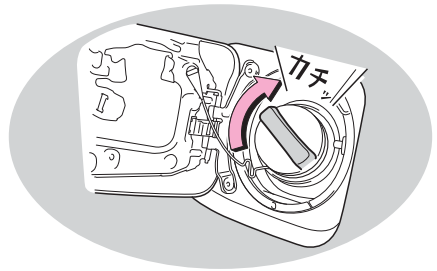
- 給油口には静電気除去を行った方以外を近付けないでください。

- 給油するときは給油口にノズルを確実に挿入してください。ノズルを浮かして継ぎ足し給油を行うと、オートストップが作動せず、燃料がこぼれる場合があります。

- 給油終了後、フューエルキャップを閉める場合、“カチッ”と一度音がするまで右にまわしてください。手を離すと若干もどります。

- 車に合ったトヨタ純正のフューエルキャップ以外は使用しないでください。

- その他、ガソリンスタンド内に掲示されている注意事項を守ってください。正常に給油できない場合は、スタンドの係員を呼んで指示に従ってください。



### ③給油時に気化した燃料を吸わないようにしてください。

- 燃料の成分には、有害物質を含んでいるものもありますので、ご注意ください。

# 安全・快適ドライブのために



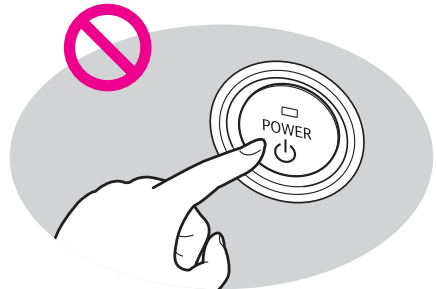
## 4. 走行するときの注意

走行するときは、次の事項を必ず守ってください。

お守りいただかないと、思わぬ事故や重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

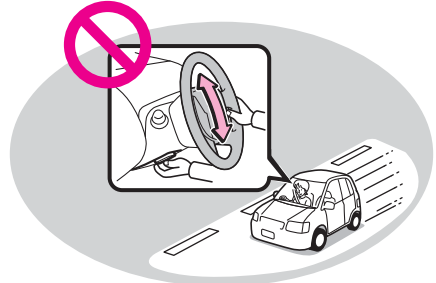


- ① 走行中は“パワー”スイッチにさわらないでください。



- 走行中、誤って“パワー”スイッチを押し続け、ハイブリッドシステムが停止すると、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

- ② 走行中はハンドル位置やミラー、運転席シートの調整はしないでください。



- 調整中に運転を誤ったり、シートが突然動くなどして、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

- ③ ドアミラーを倒したまま走行しないでください。

- ドアミラーによる後方確認ができず、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

- ④ 車が動いているときは、**P**ポジションスイッチにふれないでください。

- 停車直前など、極低速走行中に**P**ポジションスイッチを押すと、シフトポジションが**P**に切りかわることがあるため、車が急停止して思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。



⑤ 運転中にアクセルペダルとブレーキペダルを同時に踏まないでください。

- アクセルペダルとブレーキペダルを同時に踏むと、駆動力を抑制する場合があります。



⑥ ブレーキペダルに足を乗せたり、パーキングブレーキをかけたまま走行しないでください。



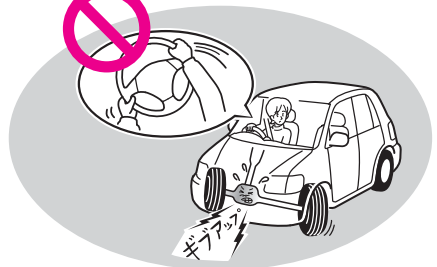
- ブレーキパッドが早く摩耗したり、ブレーキが過熱しブレーキの効きが悪くなり、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

⑦ 下り坂ではシフトポジションを **②** にしてください。



- ブレーキペダルを踏み続けると、過熱によりブレーキの効きが悪くなるおそれがあり危険です。

⑧ ハンドルをいっぱいまわした状態を長く続けないでください。



- パワーステアリングモーターが過熱により損傷するおそれがあります。
- 停車中や微低速走行時にハンドル操作を繰り返したり、ハンドルをいっぱいまでまわした状態を長く続けたときには、モーターやコンピューターが熱くなり過ぎることを防ぐため、ハンドル操作が重くなる場合があります。この場合、しばらくのあいだハンドルを操作しないでおくと、ハンドル操作が正常に復帰します。

⑨車を少し移動させるときも、必ず **READY（走行可能表示灯）** が点灯した状態にしてください。

- **READY** が点灯した状態でないと、ブレーキの効きが悪くなったり、ハンドルが非常に重くなったりして、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- **READY** が点灯していない状態で、坂道を利用して車を動かすと、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。



⑩ **ハンズフリー以外の自動車電話や携帯電話を運転者は運転中に使用しないでください。**

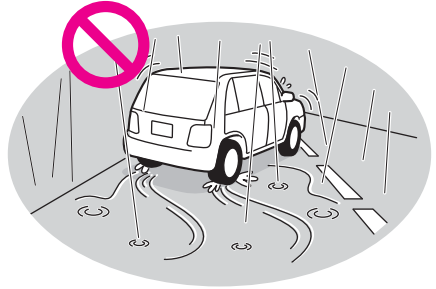
- ハンズフリー以外の自動車電話や携帯電話を運転者が運転中に使用することは、法律で禁止されています。
- 電話をかけるときや、電話がかかってきたときに、注意が電話機に向いてしまい、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。  
ハンズフリー以外の自動車電話や携帯電話を運転者が使用するときは、安全な場所に停車してから使用してください。



⑪ **大きな段差がある場所では慎重に走行してください。**

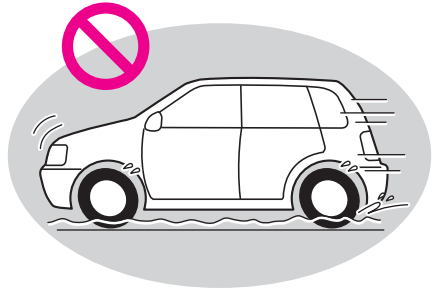
- 次のような場所を走行するときは、バンパーを損傷するおそれがありますので、スピードを落として慎重に走行してください。
  - ・駐車場の出入り口などの段差のある場所を通過するとき
  - ・立体駐車場のスロープなど勾配が急な場所を走行するとき
  - ・輪止めなどのある場所や、路肩に沿って駐停車するとき
  - ・凹凸やわだちのある道を走行するとき
  - ・くぼみ（穴）などを通過するとき
  - ・平坦な道から上り坂・下り坂に進入するとき、または上り坂・下り坂から平坦な道に進入するとき

**12**ぬれた路面や積雪路、凍結路などのすべりやすい路面では、特に慎重に走行してください。



- すべりやすい路面での急ブレーキ・急加速・急ハンドルはタイヤがスリップし、車を制御できなくなり、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- 急激なエンジンブレーキやエンジン回転数の変化は、車が横すべりするなどして、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- 寒いとき、橋の上や日陰など凍結しやすい場所ではあらかじめ減速し、慎重に走行してください。
- 雨の降りはじめは路面がよりすべりやすいため慎重に走行してください。

**13**冠水した道路は走行しないでください。



- 冠水した道路を走行すると、ハイブリッドシステムが停止するだけでなく、電装品のショート、水を吸い込んでのエンジン破損など、重大な車両故障の原因となるおそれがあります。  
万一、冠水した道路を走行し、水中に浸ってしまったときは、必ずプリウス取り扱いトヨタ販売店で下記の項目などを点検してください。
  - ・ブレーキの効き具合
  - ・エンジン、ハイブリッド用トランスミッションなどのオイル量および質の変化（白濁している場合、水が混入していますのでオイルの交換が必要です）
  - ・各ベアリング、各ジョイント部などの潤滑不良
- パーキングロックした状態で冠水すると、パーキングロックを解除できない場合があります。その場合は、前輪を持ち上げるか、4輪とも持ち上げて運搬してください。（P.382参照）

**14**湿度が非常に高いときにエアコンを作動させている場合は、フロントデフロスタースイッチを押さないでください。

- 外気とウインドウの温度差でウインドウ外側表面が曇り、視界をさまたげる場合があります。

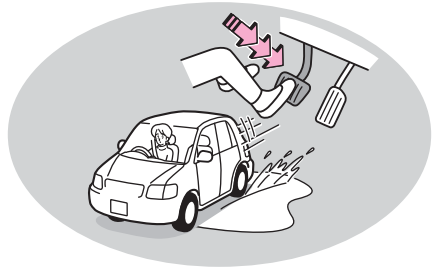


**15**スタック\*したときは

- スタックからの脱出をこころみるときは、必ず周囲の安全を十分に確認してください。脱出の勢いで、ものを損傷させたり、人身事故を引き起こすおそれがあり危険です。
- タイヤを高速で回転させないでください。タイヤがバースト（破裂）したり、駆動部品の異常過熱により、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- スタックからの脱出のために、やむを得ず前進・後退を繰り返すときは、ハイブリッド用トランスミッションなどに損傷を与えるおそれがあるため、次のことに注意してください。
  - ・シフトポジションを確実に**①**または**②**にしてから、アクセルペダルを軽く踏んでください。また、シフトレバー操作中は絶対にアクセルペダルを踏まないでください。
  - ・過度の空ぶかしやタイヤの空転をさせないでください。
  - ・過度にタイヤが空転した場合には、エンジン回転が低くなってから徐々にブレーキ操作をしてください。
  - ・数回行って脱出できないときは、本操作を中止してください。
- スタック脱出には、次の方法が有効です。
  - ・タイヤ前後の土や雪を取り除く
  - ・タイヤの下に木や石などをあてがう
- けん引フックやサスペンション部品などにロープをかけてけん引すると、けん引フックやサスペンション部品を損傷するおそれがあります。無理にけん引せず、プリアス取り扱いトヨタ販売店やJ A Fなどに依頼してください。

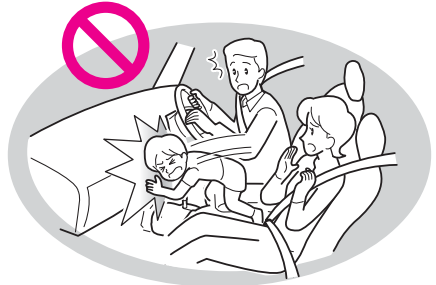
※ぬかるみ・砂地・深雪路などで駆動輪が空転したり、埋まり込んで動けなくなった状態。

- ⑩ 洗車後や水たまり走行後は、ブレーキペダルを軽く踏んでブレーキが正常に働くことを確認してください。



- ブレーキパッドがぬれるとブレーキの効きが悪くなったり、ぬれていない片方だけが効いてハンドルをとられ、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- 効きが悪い場合は、周囲の安全に十分注意して効きが回復するまで、数回ブレーキペダルを軽く踏んでブレーキが正常に働くことを確認してください。

- ⑪ 走行中、シート以外の場所への乗車や車内の移動はしないでください。



- 急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに、体が飛ばされ、頭などを強く打ち、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- ⑫ 窓から手や顔を出さないでください。



- 走行中、手や顔を出していると、車外のものなどにあたったり、急ブレーキ時に頭を窓枠にぶつけたりして、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- ⑬ 走行中はバックドアを閉じてください。

- 開けたまま走行すると、バックドアが車外のものにあたったり荷物が投げ出されたりして、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

- ⑳ ドアガラスを開けるときや閉めるときは、他の人の手・腕・頭・首などを挟んだり巻き込まないように注意してください。

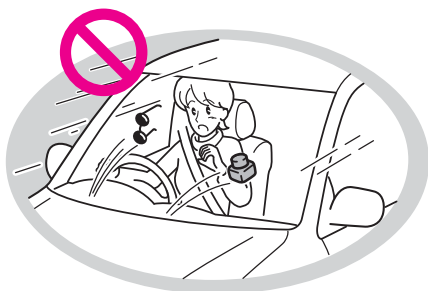


- ドアガラスに挟まれたり巻き込まれたりして、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- ㉑ グローブボックスや小物入れなどのフタを開けたまま走行しないでください。

- 急ブレーキをかけたときなどに荷物が飛び出し、思わぬ事故につながるおそれがあります。

- ㉒ ウインドウガラスにアクセサリを取り付けたり、インストルメントパネルやダッシュボードの上にものを置いたまま走行しないでください。



- 運転者の視界をさまたげたり、発進時や走行中に安全運転のさまたげになり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

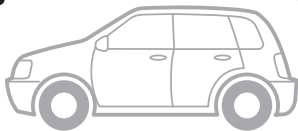
- ㉓ ディスプレイの操作を、運転者は走行中に極力しないでください。

- 走行中の操作は、ハンドル操作を誤るなど思わぬ事故につながるおそれがあります。車を停車させてから操作をしてください。なお、走行中に画面を見るときは、必要最小限の時間にしてください。

- ㉔ 走行中はドアレバーを引かないでください。

- 走行中はドアレバーを引かないでください。ドアが開き車外に放り出されたりして、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。特に、運転席はロックレバーが施錠側になっていてもドアが開くため、注意してください。

# 安全・快適ドライブのために

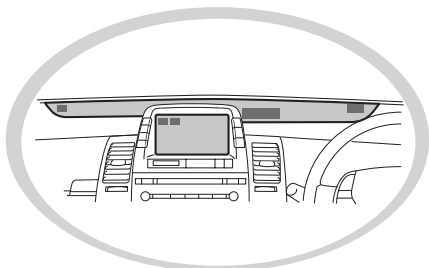


## 5. 走行中、異常に気付いたら

### HYBRID

走行中、異常に気付いたら、次の事項を必ず守ってください。  
お守りいただかないと、思わぬ事故や重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- ① 警告灯が点灯・点滅したり、ディスプレイに警告アイコンや警告画面が表示されたときは、安全な場所に停車し、ただちに処置してください。



- そのまま走行すると、思わぬ事故を引き起こしたり、ハイブリッドシステムなどを損傷するおそれがあります。警告灯・警告アイコン・警告画面の内容を確認し適切な処置をしてください。(P.216、226、233参照)

- ② ブレーキ警告灯(赤)が点灯したまま走行し続けしないでください。



ブレーキ警告灯(赤)

- 警告灯が次のようになったときは、ただちに安全な場所に停車してプリウス取り扱いトヨタ販売店へご連絡ください。
  - ・ READY (走行可能表示灯) 点灯中、パーキングブレーキを解除しても点灯したままのとき、また警告灯の点灯と同時に警告ブザーが鳴ったとき  
この場合、ブレーキの効きが悪くなり、制動距離が長くなるなど、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。効きが悪いときはブレーキペダルを強く踏んでください。
  - ・ 警告灯がABS & ブレーキアシスト警告灯と同時に点灯したままのとき  
この場合、ABS & ブレーキアシストシステムに異常が発生しているだけでなく、強めのブレーキの際に車両が不安定になるおそれがあります。



5 走行中、異常に気付いたら

**③ ハイブリッドシステムが停止したときは、落ち着いて操作してください。**

- ハイブリッドシステムが停止したときは、ブレーキの効きが悪くなったり、ハンドルが非常に重くなったりします。この場合は、制動力などがなくなったわけではありませんので、通常より力を入れて操作し、周囲の安全を確かめ、路肩に寄せて停車してください。

**④ 走行中にタイヤがパンクやバースト（破裂）しても、あわてず対応してください。**

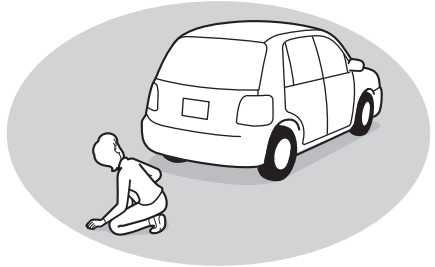


- ハンドルをしっかり持ち、徐々にブレーキをかけてスピードを落としてください。急ブレーキや急ハンドルは車両のコントロールができなくなるおそれがあります。
- 次のようなときは、パンクやバーストが考えられます。
  - ・ ハンドルがとられるとき
  - ・ 異常な振動があるとき
  - ・ 車両が異常に傾いたとき
- パンクしたまま走行しないでください。  
パンクしたまま走行し続けると、走行不安定となり、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。また、タイヤ・ディスクホイールやサスペンション、車体に損傷を与えるおそれがあります。ただちにスペアタイヤに交換してください。（P.365参照）



**HYBRID**

- ⑤ 車体床下やタイヤ・ディスクホイールに強い衝撃を受けたら、ただちに安全な場所に車を止めて、下まわりを点検してください。



- ブレーキ液や燃料のもれ、漏電、サスペンション部品、タイヤ・ディスクホイール、駆動系部品などの変形や損傷の可能性があるため、そのままの状態で使用すると、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- もれや損傷が見つかった場合は、そのまま使用せずプリウス取り扱いトヨタ販売店にご相談ください。

- ⑥ 走行中、継続的にブレーキ付近から警告音（キーキー音）が発生したときは、ブレーキパッドの使用限度です。トヨタ販売店で点検を受けてください。



- 警告音は、ブレーキパッドウェアインジケーターによるもので、走行中に警告音（“キーキー”という金属音）を発生させ、ブレーキパッドが使用限度に近付いたことを運転者に知らせます。  
警告音が発生したときは、ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。
  - 警告音が発生したまま走行し続けると、ブレーキのパッドがなくなり、ブレーキ部品を損傷させたり、効きが悪くなって、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- ⑦ 走行中にやむを得ずハイブリッドシステムを停止するときは、十分に減速するようにしてください。
- ハイブリッドシステムを停止すると、ブレーキの効きが悪くなりハンドルが重くなるため、車のコントロールがしにくくなるなど、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。



## HYBRID

駐停車するときは、次の事項を必ず守ってください。

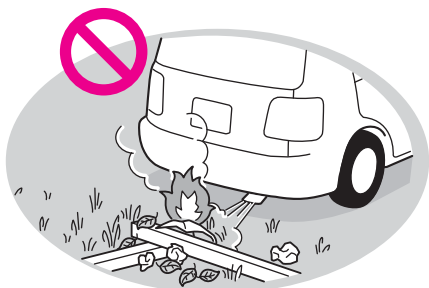
お守りいただかないと、思わぬ事故や重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

## HYBRID

①車から離れるときは、パーキングブレーキをかけ、シフトポジションをPにし、必ずハイブリッドシステムを停止させ、ドアを施錠してください。

- 車から離れるときは、必ずハイブリッドシステムを停止させ、施錠することが法律で義務付けられています。また車両盗難や車内のものを盗まれるおそれがありますので、車内に貴重品などを置かないようにしてください。
- 車から離れるときは、以下のことを守ってください。お守りいただかないと、車が無人で動き出し、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
  - ・パーキングブレーキをかける
  - ・シフトポジションをPにする
  - ・ハイブリッドシステムを停止する
  - ・ドアを施錠する
- ハイブリッド車は走行できる状態（READY [走行可能表示灯] が点灯している状態）になっていても、エンジン音や振動がない場合があります。駐車時は必ずパーキングブレーキをかけ、シフトポジションをPにしてください。
- “パワー”スイッチがアクセサリモードまたはONモードの状態で放置すると、補機バッテリーがあがり、ハイブリッドシステムの始動ができなくなるおそれがあります。

② 可燃物付近に車を止めないでください。



- 車両後方や排気管付近に燃えやすいものがあると、火災につながるおそれがあり危険です。
- 木材・ベニヤ板などが車両後方にあるときは、車両後端を十分離して止めてください。すき間が少ないと排気ガスによって変色や変形したり、火災につながるおそれがあり危険です。
- 枯れ草や紙くずなど燃えやすいものの上を走行したり、車を止めたりしないでください。排気管や排気ガスは高温になり、可燃物が近くにあると火災につながるおそれがあり危険です。

③ 停車中に空ぶかしをしないでください。



- 排気管が過熱し、車両火災につながるおそれがあり危険です。

- ④ 炎天下で駐車するときは、メガネやライター、スプレー缶、炭酸飲料の缶などを車内に放置したままにしないでください。**



- 車内が大変高温になるため、ライターやスプレー缶のガスが自然にもれたり、破裂したりして、車両火災につながるおそれがあり危険です。
- 炭酸飲料の缶が破裂したりして室内を汚したり、電気部品のショートの原因となるおそれがあります。
- 車内が大変高温になるため、プラスチックレンズやプラスチック素材のメガネの変形・ひび割れを起こすことがあります。

- ⑤ 仮眠するときは、“パワー”スイッチをOFFにしてください**

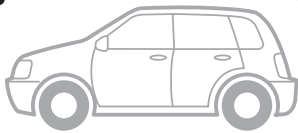


- READY（走行可能表示灯）が点灯した状態のまま仮眠すると、無意識にシフトレバーを動かしたり、アクセルペダルを踏み込んだりして、車の急発進による事故につながるおそれがあり危険です。  
また、排気管が損傷していたり、風通しの悪い場所では、排気ガスが車内に侵入し、重大な健康障害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- ⑥ 寒冷時、パーキングブレーキをかけずに駐車するときは、必ず輪止めをしてください。（P.308参照）**

- 輪止めをしないと、車が動き思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

安全・快適ドライブのために



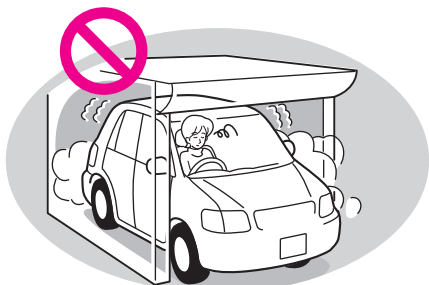
7.排気ガスに対する注意

排気ガスには無色・無臭で有害な一酸化炭素（CO）が含まれています。誤って排気ガスを吸い込まないようにするため、次の事項を必ず守ってください。お守りいただかないと、重大な健康障害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。



7 排気ガスに対する注意

- ① 換気が悪い場所では、READY（走行可能表示灯）が点灯したままの状態にしないでください。



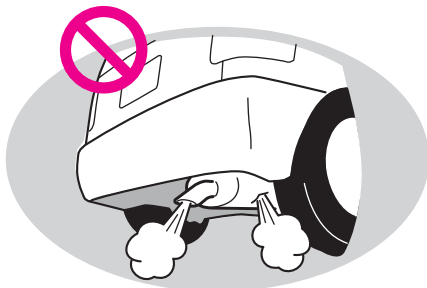
- 車庫内など囲まれた場所では、ガソリンエンジンが始動したとき、排気ガスが充填し排気ガスに含まれる一酸化炭素（CO）により重大な健康障害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- ② 雪が積もった場所や降雪時に駐車するときは、READY（走行可能表示灯）が点灯したままの状態にしないでください。



- READY が点灯した状態で車のまわりに雪が積もると、ガソリンエンジンが始動したとき、排気ガスが車内に侵入して一酸化炭素中毒になり、重大な健康障害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

**③ 排気管はときどき点検してください。**



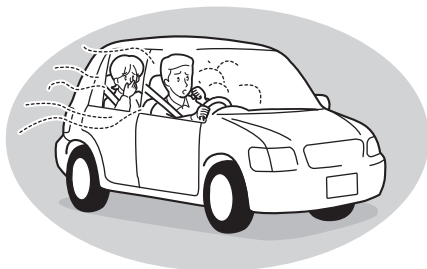
- 排気管の腐食などによる穴や亀裂、および継ぎ手部の損傷、また、排気音の異常などに気付いた場合は、必ずプリウス取り扱いトヨタ販売店で点検整備を受けてください。そのまま使用すると排気ガスが車内に侵入し、重大な健康障害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

**④ バックドアを開けたまま走行しないでください。**



- 開けたまま走行すると、排気ガスが車内に侵入し、重大な健康障害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。走行する前に、必ずバックドアが閉まっていることを確認してください。

**⑤ 車内に排気ガスが侵入してきたと感じたら、次の処置をしてください。**



- すべての窓を全開にして、新鮮な外気を車内に入れてください。
- すみやかにプリウス取り扱いトヨタ販売店で点検整備を受けてください。そのまま放置すると、排気ガスにより重大な健康障害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。



お子さまを乗せるときは、次の事項を必ず守ってください。  
お守りいただかないと、思わぬ事故や重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。



8 お子さまを乗せるときの注意

① お子さまはリヤシートに座らせてください。



- 助手席ではお子さまの動作が気になり運転のさまたげになるだけでなく、お子さまが運転装置にふれて、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- お子さまをリヤシートに座らせるときは、チャイルドプロテクターを使用してください。お子さまが誤って車内からドアを開けることを防止できます。チャイルドプロテクターの使用方法はP.123を参照してください。

**② お子さまにもシートベルトを必ず着用させてください。**

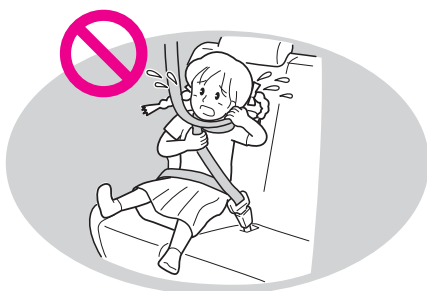


- ひざの上でお子さまを抱いていると、急ブレーキや衝突したときなどに支えきれず、お子さまが放り出されたりして、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- リヤシートでも必ずシートベルトを着用してください。(P.153参照)

- シートベルトの肩部ベルトが首やあごにあたり、腰部ベルトが腰骨にかからないような小さなお子さまには、お子さまの体に合った子供専用シートをご使用ください。  
子供専用シートについては、トヨタ販売店にご相談ください。



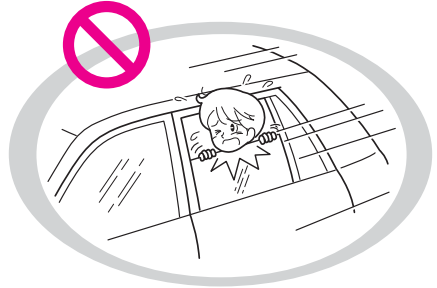
**③ お子さまをチャイルドシート固定機構付シートベルトで絶対に遊ばせないでください。**



- チャイルドシート固定機構は、チャイルドシートを固定するときのみに使用する機構です。ベルトを最後までいっぱい引き出すと、巻き取る方向のみ作動（ロックモード）します。(P.163参照)
- お子さまがシートベルトで遊んで誤って作動させ、万一ベルトが首に巻き付いた場合、ベルトを引き出すことができなくなり窒息など、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。  
万一、誤ってそのような状態になってしまい、バックルもはずせない場合は、ハサミなどでシートベルトを切断してください。



**④ ドア、ドアガラスなどは、お子さまに操作させないでください。**



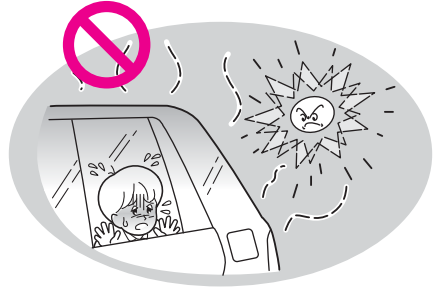
- お子さまが操作すると、閉めるとき手・頭・首などを挟んだりして、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- 走行中にドアを開け、お子さまが車外に放り出されたりして、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- チャイルドプロテクター（P.123参照）やウィンドウロックスイッチ（P.134参照）を使用して、お子さまが誤って操作しないようにしてください。また、ドアガラスを開けるときや閉めるときは、他の人の手・腕・頭・首などを挟んだり巻き込んだりしないように注意して操作してください。

**⑤ お子さまにはバックドアの開閉操作をさせないでください。**



- 不意にバックドアが作動したり、閉めるときに手・頭・首などを挟み、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- ⑥ ラゲージルームでお子さまを遊ばせないでください。**
- 誤って閉じ込められた場合、熱射病などを引き起こし、重大な健康傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

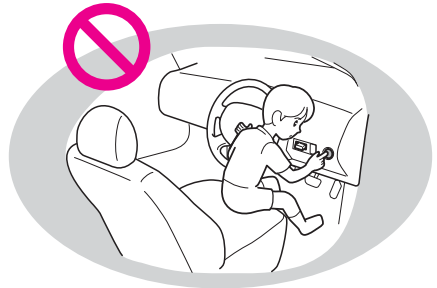
⑦ 車から離れるときは、お子さまを車内に残さないでください。



●炎天下の車内は大変高温となり、お子さまを残しておくと、熱射病や脱水症状となり、重大な健康障害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

●お子さまを残しておくと、マッチ・ライター・発炎筒の火遊びによる車両火災につながるおそれがあり危険です。

●キースロットにキーを挿入したまま車内にお子さまを残しておくと、パワーウィンドウのスイッチを操作し、誤って手・頭・首などを挟み、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。また、運転装置を動かして思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。絶対にキーを挿入したまま、お子さまを車内に残さないでください。



## 安全装備について



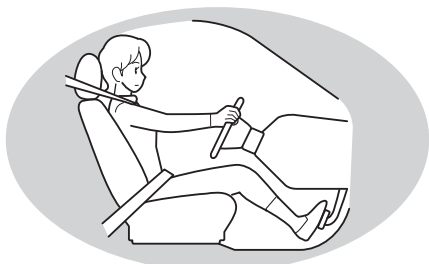
### 1. シートについての注意

シートについては、次の事項を必ず守ってください。

お守りいただかないと、思わぬ事故や重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。



- ① シートは正しい運転姿勢がとれるように位置を調整してください。



- 正しい運転姿勢をとらないと、運転操作を誤り思わぬ事故につながるだけでなく、シートベルト・SRSエアバッグ・ヘッドレストなどの効果が発揮されず、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。正しい運転姿勢については、P.141をお読みください。

- ② シートを調整したあとは、シートを軽く前後にゆさぶり確実に固定されていることを確認してください。



- 固定されていないとシートが動き、思わぬ事故の原因となって、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- ③ 走行中はシートの操作をしないでください。

- ブレーキをかけたときや衝突したときなどに、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- ④ フロントシートの下にもものを置かないでください。

- ものが挟まってシートが固定されず、思わぬ事故の原因となるおそれがあり危険です。また、ロック機構の故障の原因になります。

⑤ 背もたれを必要以上に倒して走行しないでください。



- 必要以上に背もたれを倒していると、衝突または追突されたとき、腰部ベルトが腰骨からずれ、体がシートベルトの下にもぐり込み、強い圧迫を受け、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

⑥ 背もたれと背中とのあいだにクッション（座布団）などを入れないでください。



- 正しい運転姿勢がとれないばかりか、衝突したときシートベルトやヘッドレストの効果十分に発揮されず、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

⑦ ヘッドレストをはずしたまま走行しないでください。



- 衝突したときなどに首に大きな衝撃が加わり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- ・フロントシートのヘッドレストは、ヘッドレストの中央が耳の後方になるように高さを調整してください。

- ・リヤシートのヘッドレストは、常に格納位置（ヘッドレストが最も下がった位置）から“カチッ”と音がするまで上げた位置にしてください。また、ヘッドレストを押し下げ、確実に固定されていることを確認してください。





警告

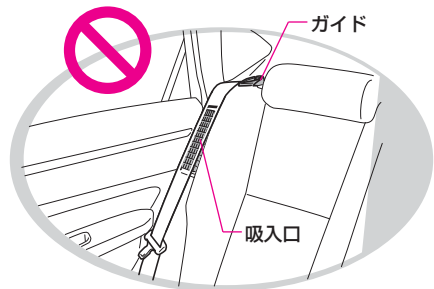
1 シートベルトの注意

## ⑧ フロントフラットシートにするときは、次のことをお守りください。

- 走行中はシートの操作を行わないでください。ブレーキをかけたときや衝突したときなどに重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- シートをフラットにした状態で人や荷物をのせて走行しないでください。ブレーキをかけたときや衝突したときなどに、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- シートをフラットにしたとき、またはもとにもどしたときは、シートを軽く前後にゆさぶり、確実に固定されていることを確認してください。固定されていないとシートが動き、思わぬ事故の原因となって、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

## ⑨ リヤシートを前倒しするときは、次のことをお守りください。

- 走行中はシートの操作を行わないでください。ブレーキをかけたときや衝突したときなどに、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- 倒した背もたれの上やラゲージルームに人を乗せて走行しないでください。急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- リヤシートを前倒ししたときは、お子さまがラゲージルームに入らないように注意してください。ボディの突起にあたるなどして、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- 背もたれをもどすときは、シートベルトを挟み込まないようにしてください。シートベルトが傷付くおそれがあり、傷付いたまま使用すると、衝突したときなどにシートベルトが十分な効果を発揮せず、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- 背もたれをもどしたときは、軽く前後にゆさぶり確実に固定されていることを確認してください。固定されていないと急ブレーキ時などに背もたれが倒れたり、ラゲージルーム内のものが飛び出すなど、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- 運転席側のリヤシート横に駆動用電池冷却用の吸入口があります。この吸入口をシートベルトでふさがないようにしてください。シートベルトはリヤシート上部のガイドにセットして使用してください。吸入口がふさがれると、駆動用電池が過熱してハイブリッドシステムの出力低下につながるおそれがあります。





警告

シートについての注意

- ⑩ SRSサイドエアバッグ・SRSカーテンシールドエアバッグ装着車のフロントシートにはSRSエアバッグが内蔵されていますので、取り扱いに注意してください。**
- 不適切に扱おうと正常に作動しなくなったり、誤ってふくらみ、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- ⑪ シートアレンジをするときは、必ず平坦な場所でパーキングブレーキを確実にかけ、シフトポジションをPにしてください。**
- シートアレンジをするときは、必ず平坦な場所でパーキングブレーキを確実にかけ、シフトポジションをPにしてください。不整地や傾斜地では操作中に不意にシートが動き、手足などを挟まれ、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
  - 走行中はシートアレンジ操作をしないでください。  
ブレーキをかけたときや衝突したときなどに、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
  - シートアレンジをしたあとは、シートを軽くゆさぶり確実に固定されていることを確認してください。固定されていないと走行中にシートが動き、思わぬ事故の原因となって、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- ⑫ ヘッドレストは、それぞれのシート専用です。取り付けるときは、“カチッ”と音がして固定されたことを確認してください。**
- ヘッドレストを間違っ取り付けると、固定することができず、衝突したときなどに重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- ⑬ トノカバーの上に荷物を置いたり、お子さまが乗ったりしないでください。(トノカバー装着車)**
- トノカバーが破損し、荷物が損傷したり、お子さまが重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

## 安全装備について



### 2. 子供専用シートについての注意

子供専用シートについては、次の事項を必ず守ってください。  
お守りいただかないと、思わぬ事故や重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。



2 子供専用シートについての注意

#### ① 車のシートベルトが正しく着用できない小さなお子さまには、体に合った子供専用シートに座らせてください。

- 乳児は、頭や首を含め完全な安全保護サポート（ベビーシート）が必要です。乳児の首は安定してなくて、また頭は他の部分に比べてきわめて重いからです。乳児は、必ず適切なベビーシートに座らせてください。
- 幼児の体形は、シートベルトの設計対象となっている大人とは異なっています。幼児の骨盤は小さく、通常のシートベルトでは骨盤の低い位置にとどまらず、腹部にかかってしまいます。衝突した場合、シートベルトによって腹部に強い圧迫を受け、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。幼児は必ず適切な子供専用シートに座らせてください。

#### ② 子供専用シートをご使用になるときは、必ず商品に付属の取り扱い説明書をよくお読みの上、確実に取り付け、使用方法を守ってご使用ください。



- 使用方法を誤ったり、確実に固定されていないと、急ブレーキや衝突時などに、子供専用シートが正しく機能せず、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- 子供専用シートについては、トヨタ販売店にご相談ください。
- 子供専用シートによっては、取り付けができない、または取り付けが困難な場合があります。

#### ③ 子供専用シートは確実に固定できるように取り付けてください。

子供専用シートは、取り付け位置や取り付け方向に注意をして確実に取り付けてください。取り付けが不適切な場合、急ブレーキや衝突したときなどに、子供専用シートが正しく機能せず、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。




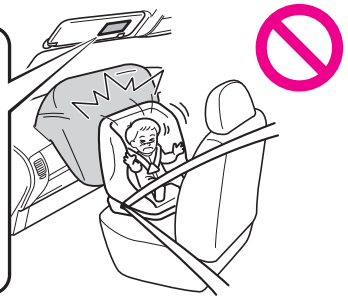
## 安全装備について

### ■子供専用シートはリヤシートに取り付けてください。

- リヤシートには子供専用シートの取り付け装置が装備されています。(P.158参照)
- 運転席側リヤシートで、運転席の位置により安全に取り付けられる十分なスペースが確保できない場合は、子供専用シートを無理に取り付けず、助手席側リヤシートに取り付けてください。



	<b>警告 助手席SRSエアバッグ</b>
	<p>このシートに、ベビーシートを取り付けたり後向きのチャイルドシートを取り付けしないでください。</p> <p>また、絶対にお子さまを前席の前に立たせたり膝の上に抱いたりしないでください。</p> <p>エアバッグの衝撃により、死亡または重大な傷害に至るおそれがあります。</p>



### ■助手席には、子供専用シートをうしろ向きに絶対に取り付けしないでください。

- うしろ向きに取り付けた場合、助手席SRSエアバッグがふくらんだとき、子供専用シートの背面に強い衝撃が加わり危険です。助手席側のサンバイザーに、同内容の警告文が表示されています。併せてご覧ください。
- やむを得ず助手席に前向きに子供専用シートを取り付ける場合には、助手席SRSエアバッグがふくらんだときの衝撃を少しでも緩和させるため、助手席シートの前後位置調整をいちばんうしろにして取り付けてください。お守りいただかないと、助手席SRSエアバッグがふくらんだとき、お子さまに強い衝撃が加わり危険です。



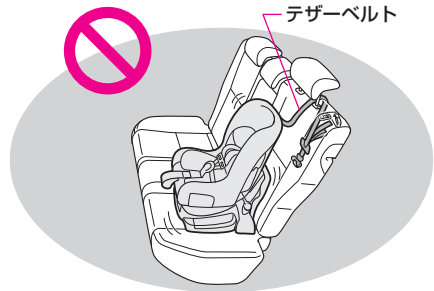
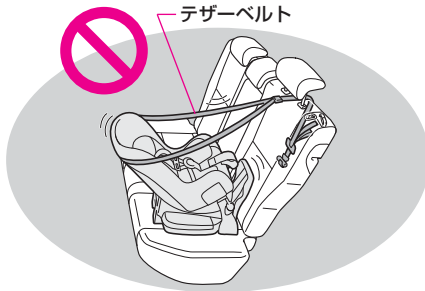
警告

2 子供専用シートについての注意





- I S O F I X対応チャイルドシート固定専用バー & トップテザーアンカーで固定する子供専用シート（チャイルドシート・ベビーシート）を取り付けるときは、固定専用バーおよびアンカー周辺に異物がないこと、シートベルトなどのかみ込みがないことを確認してください。
- 異物やシートベルトなどがかみ込むと、子供専用シートが固定されず、衝突したときなどに飛ばされて、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- 子供専用シートを取り付けるときは、必ずテザーベルトがピンと張るまで張力をかけてください。
- テザーベルトが正しく張っていないと、衝突したときなどに重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。



- 子供専用シートを取り付けるときは、テザーベルトは必ずヘッドレストの下へ通してください。
- ヘッドレストの上にかけて、子供専用シートがしっかり固定されず、衝突したときなどに重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

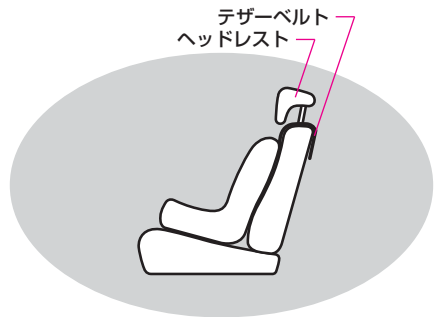




## 安全装備について

■ヘッドレストを引き上げてトップテザーアンカーに固定したあとに、ヘッドレストを下げないでください。

●ヘッドレストを下げると、テザーベルトがヘッドレストにあたってたるみ、衝突したときなどに子供専用シートが動いて重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。



④ 子供専用シートを車両に搭載するときは、以下のことをお守りください。



お守りいただかないと、急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに飛ばされるなどして、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

●車両に子供専用シートを搭載するときは、適切な方法で確実にシートに取り付けてください。子供専用シートを使用しない場合でも、シートにしっかり固定されていない状態で、客室内に置くことは避けてください。

●子供専用シートの取りはずしが必要な場合は、車両から降ろして保管するか、ラゲージルーム内に収納し、しっかりと固定しておいてください。

警告

2 子供専用シートについての注意

## 安全装備について

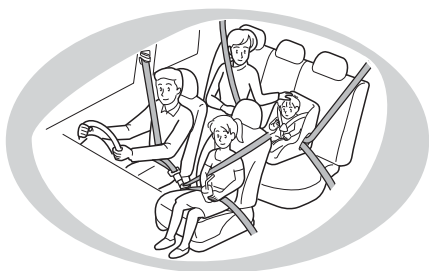


### 3. シートベルトについての注意

シートベルトについては、次の事項を必ず守ってください。  
お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。



- ① 車に乗るときは、全員がシートベルトを正しく着用してください。

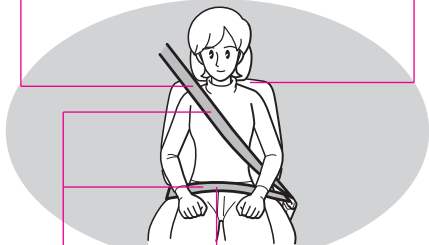


シートベルトを着用しなかったり、正しく着用していないと、急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに、体がシートに保持されず、体をぶついたり、SRSエアバッグがふくらんだときに強い衝撃を受け危険です。また、車外に投げ出されたりして、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- 背もたれを調整し、上体を起こし深く腰かけて座ること

#### 肩部ベルト

- 肩に十分かけること  
(首にかかったり肩からはずれないこと)



#### 腰部ベルト

- 必ず腰骨のできるだけ低い位置に密着させること
- ねじれていないこと  
(正しい着用のしかた)

- シートベルトの着用は法律で義務付けられています。運転者は乗員全員が次の使用方法に従って、シートベルトを正しく着用しているかを確認してから走行してください。

■シートベルトは上体を起こして、シートに深く腰かけた状態で着用してください。  
正しい姿勢についてはP.141を参照してください。

■肩部ベルトは、首にかかったり脇の下を通したりして着用しないでください。

- シートベルトの肩部ベルトは、必ず肩に十分かかるように着用してください。
- ベルトを通す位置が間違っていると、衝突時に、腹部などに強い圧迫を受け危険です。



■フロントシートでは、アジャスタブルショルダーベルトアンカーを確実に調整してください。(P.157参照)

- シートベルトが首にあたらないように、また肩の中央に十分かかるようにできるだけ高い位置に調整してください。
- 調整したあとは、確実に固定されていることを確認してください。

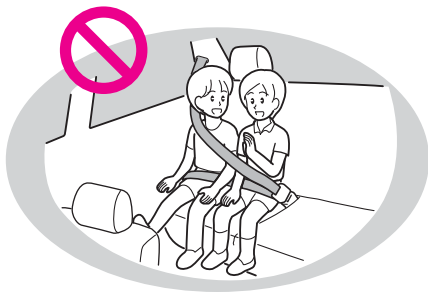
■シートベルトの腰部ベルトは、必ず腰骨のできるだけ低い位置に密着させて着用してください。

- シートベルトの腰部ベルトが腰骨からずれていると、衝突したとき、腹部などに強い圧迫を受け危険です。



■シートベルトは必ず1人で1本のベルトを着用してください。

- 2人以上で1本のシートベルトを着用すると、シートベルトが衝撃を分散できないばかりか、2人がぶつかり合うなどして危険です。

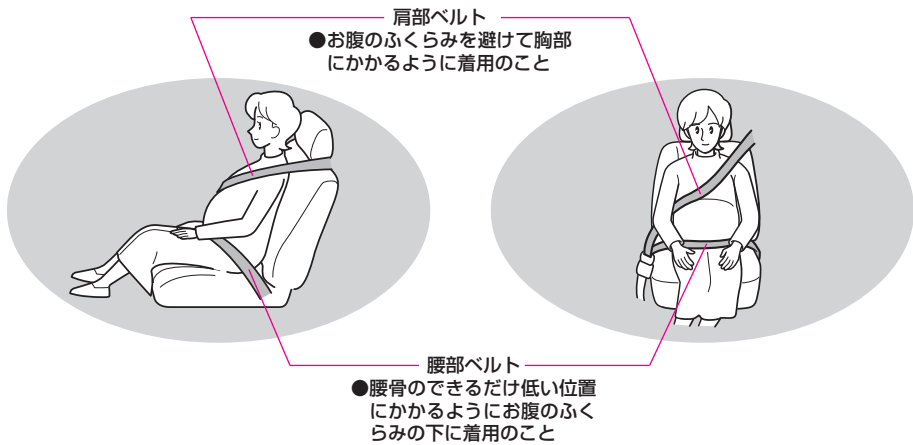




## ② 妊娠中の女性も必ずシートベルトを正しく着用してください。

ただし、医師に注意事項をご確認ください。

- 妊娠中のシートベルトの着用については、基本的に通常着用するときと同様ですが、腰部ベルトが腰骨のできるだけ低い位置にかかるとお腹のふくらみの下に着用するようにしてください。  
また、肩部ベルトは確実に肩を通しお腹のふくらみを避けて胸部にかかるように着用してください。
- ベルトを正しく着用していないと、急ブレーキをかけたときや衝突したときなどにベルトがお腹のふくらみに食い込むなどして、母体だけでなく胎児までが重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。



## ③ 疾患のある方も必ずシートベルトを正しく着用してください。

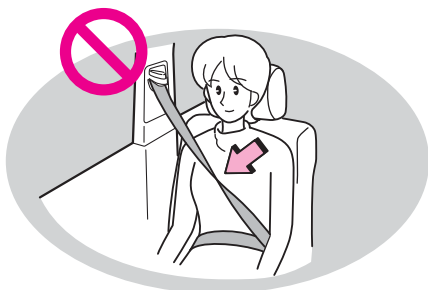
ただし、医師に注意事項をご確認ください。



警告

3 シートベルトについての注意

- ④ シートベルトはねじれやゆるみがなく確実にロックされた状態で着用してください。



正しい運転姿勢でもシートベルトがねじれていたり、ゆるんでいたり、確実にロックをしていない場合には、衝突したときなどに、シートベルトが十分な効果を発揮せず、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- ねじれていると、衝突したときなどに衝撃力を十分に分散させることができず危険です。
- ベルトがねじれている場合は、正しく装着できるようなりほどいてください。ねじれがうまくほじけない場合は、トヨタ販売店にご相談ください。

■リヤシート左右席シートベルトを使用するときは、シートベルトをリヤシート上部のガイドにセットして使用してください。

- ガイドからシートベルトがはずれていると、衝突したときなどにシートベルトが十分な効果を発揮せず、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■洗濯ばさみやクリップなどでシートベルトにたるみを付けて使用しないでください。

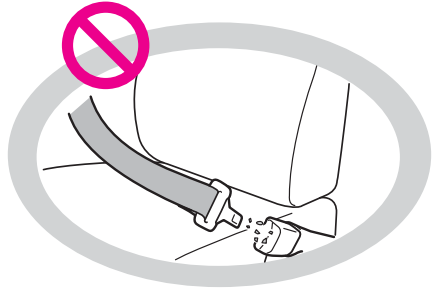
- 肩部ベルトがゆるすぎると、衝突の際、ベルトで体が拘束されるまでの移動量が大きくなり、ベルトが胸部などを圧迫して危険です。また、頭をハンドルにぶつけたり、SRSエアバッグがふくらんだときに強い衝撃を受け危険です。



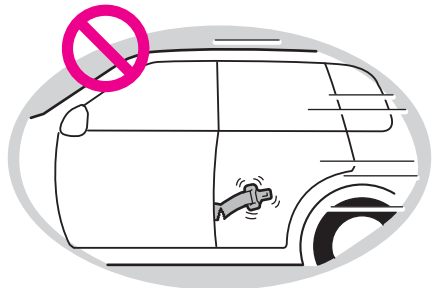


■ プレートをバックルに挿し込むときは、プレートとバックルが“カチッ”と音が出て確実にかみ合っていることを確認してください。

- 異物が入ると、プレートがバックルに完全にはまらない場合があります、衝突したときなどにシートベルトがはずれて危険です。



- ⑤ シートベルトを損傷させたり、損傷したシートベルトは使用しないでください。



損傷したシートベルトをそのまま使用すると、衝突したときなどにシートベルトが十分な効果を発揮せず、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- シートベルトやプレートを、シートやドアに挟まないようにしてください。挟まると傷が付くおそれがあり、そのまま使用すると危険です。

■ ほつれ、すり切れができたり、正常に作動しなくなったシートベルトは、すぐに交換してください。また、事故により強い衝撃を受けたり、傷付いたシートベルトは使用しないでください。衝突したときなどに本来の機能が十分発揮できなくなります。

- そのまま使用すると、衝突のときなどに衝撃によりベルトが切れる可能性があります。また、正常に働かず、シートベルトが十分な効果を発揮せず危険です。
- シートベルトが正常に機能しない場合は、すぐにトヨタ純正の新品と交換してください。



■シートベルトの改造や分解・取り付け・取りはずしなどをしないでください。

- 衝突したときなどにシートベルトが正常に作動しなくなります。シートベルトの取り付け、取りはずし、交換については必ずプリウス取り扱いトヨタ販売店にご相談ください。

■プリテンショナー付シートベルトの改造や分解・取り付け・取りはずしなどをしないでください。

- プリテンショナー付シートベルトを不適切に扱うと、正常に作動しなくなるおそれがありますので、修理は必ずプリウス取り扱いトヨタ販売店で行ってください。

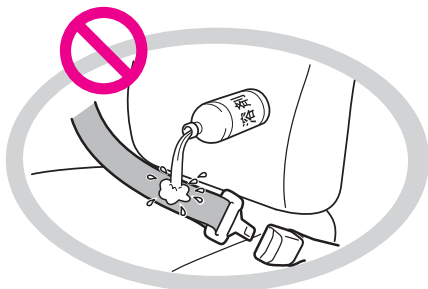


■プリテンショナー付シートベルトが作動した場合は再使用しないでください。

- プリテンショナー付シートベルトが作動するとSRSエアバッグ／プリテンショナー警告灯が点灯します。その場合はシートベルトを再使用することができないため、必ずプリウス取り扱いトヨタ販売店で交換してください。

■シートベルトの清掃にベンジンやガソリンなどの有機溶剤を使用しないでください。また、ベルトを漂白したり、染めたりしないでください。強度が低下します。

- シートベルトの性能が低下し、衝突したときなどにシートベルトが十分な効果を発揮せず危険です。
- 清掃するときは中性洗剤かぬるま湯を使用し、乾くまでシートベルトを使用しないでください。





## 安全装備について



### 4. SRSエアバッグについての注意

SRSエアバッグについては、次の事項を必ず守ってください。  
お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。



#### ① SRSエアバッグはシートベルトを補助する装置で、シートベルトに代わるものではありません。

正しい姿勢でシートに座り、シートベルトを正しく着用しないと、衝突したときなどにSRSエアバッグの効果を十分に発揮させることができないばかりでなく、SRSエアバッグがふくらんだときの強い衝撃で、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

シートベルトの正しい着用についてはP.153をお読みください。

- シートを正しい位置に調整し、背もたれに背中を付けた正しい姿勢でシートに座ってください。
- SRSエアバッグの展開部に覆いかぶさったり、近付きすぎた姿勢で乗車している、SRSエアバッグがふくらんだときに強い衝撃を受け危険です。

#### 《運転者の方は》

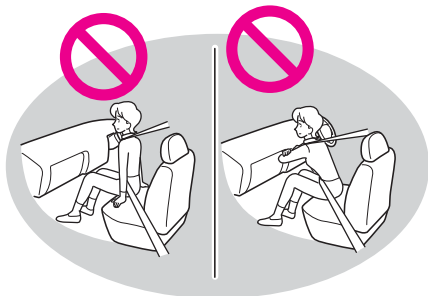
運転操作ができる範囲で、できるだけハンドルに近付きすぎないようにして座ってください。



#### 《助手席乗員の方は》

助手席SRSエアバッグからできるだけ離れて後方に座ってください。シートの前端に座ったり、インストルメントパネルにもたれかかったりしないでください。

シートの調整、正しい姿勢についてはP.141をお読みください。





## 安全装備について

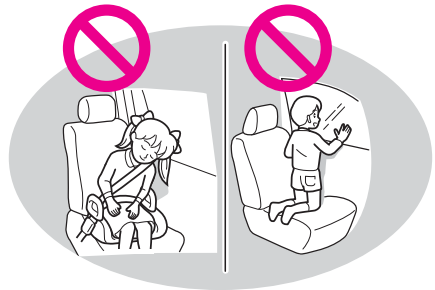
■ひざの上にものをかかえるなど、乗員とSRSエアバッグのあいだにものを置いた状態で走行しないでください。

- SRSエアバッグがふくらんだときに、ものが飛ばされ顔にあたったり、SRSエアバッグの正常な作動がさまたげられ危険です。



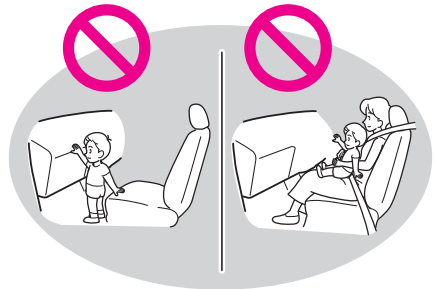
■SRSサイドエアバッグ・SRSカーテンシールドエアバッグ装着車は、ドアにもたれかかったり、フロント・リヤピラーやルーフサイド部に近付かないようにしてください。

- SRSエアバッグがふくらんだときに頭部などに強い衝撃を受け危険です。特にお子さまを乗せるときには注意してください。



■お子さまを助手席SRSエアバッグの前に立たせたり、ひざの上に抱いたりした状態では走行しないでください。

- SRSエアバッグがふくらんだときに強い衝撃を受け危険です。



警告

4 SRSエアバッグについての注意



## ② 車両の整備作業の場合には、必ず次のことをお守りください。

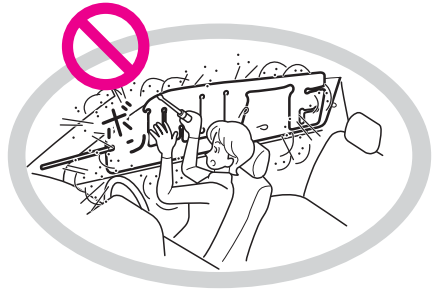
お守りいただかないと、SRSエアバッグが正常に作動しなくなったり、誤ってふくらむなどして、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- SRSエアバッグおよびインストルメントパネルの取りはずし・取り付け・分解・修理などをするときは必ずプリウス取り扱いトヨタ販売店にご相談ください。不適切な作業を行うと、SRSエアバッグが正常に作動しなくなったり、誤ってふくらみ危険です。

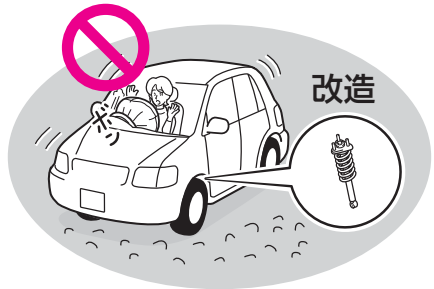


- SRSサイドエアバッグ・SRSカーテンシールドエアバッグ装着車は、フロントシートの表皮の張りかえやフロントシートの取りはずし・取り付け・分解・修理などが必要なときは、必ずプリウス取り扱いトヨタ販売店にご相談ください。また、フロントシートの改造はしないでください。

- SRSサイドエアバッグ・SRSカーテンシールドエアバッグ装着車は、フロント・リヤピラー、ルーフサイド部の取りはずし、取り付けなど、SRSカーテンシールドエアバッグ格納部周辺を分解・修理しないでください。



- サスペンションを改造しないでください。車高がかわったり、サスペンションの硬さが変わるとSRSエアバッグが誤作動し危険です。



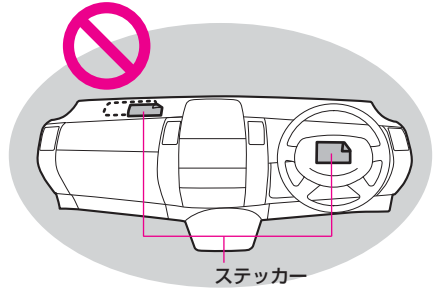


- 車両前部または車両客室部の修理をするときは、必ずプリウス取り扱いトヨタ販売店にご相談ください。不適切な修理を行うとSRSエアバッグセンサーに伝わる衝撃が変わり、SRSエアバッグが正常に作動しなくなり危険です。



- ③ カー用品などを装着するときは、必ず次のことをお守りください。**  
 お守りいただかないと、SRSエアバッグが正常に作動しなくなったり、誤ってふくらみ、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- SRSエアバッグの展開部をカバーやステッカーなどで覆わないでください。SRSエアバッグが正常に作動しなくなるなどして危険です。



- インストルメントパネルやダッシュボードの上に芳香剤などのものを置いたり、傘などを立てかけないでください。助手席SRSエアバッグが正常に作動しなくなったり、SRSエアバッグがふくらんだときに飛ばされるなどして危険です。





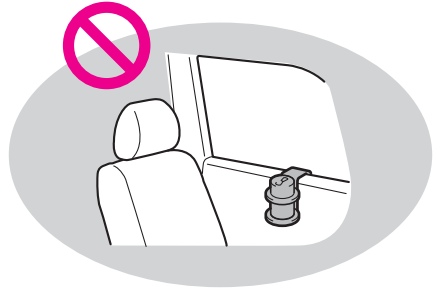
- SRSサイドエアバッグ・SRSカーテンシールドエアバッグ装着車は、フロントシートにこの車専用のトヨタ純正用品（シートカバーなど）以外のものを取り付けしないでください。この車専用のトヨタ純正用品以外のものがSRSサイドエアバッグ展開部を覆うと、SRSサイドエアバッグの正常な作動のさまたげとなります。

なお、トヨタ純正シートカバーなどを装着するときには、商品に付属の取扱書をよくお読みになり、正しく取り付けてください。

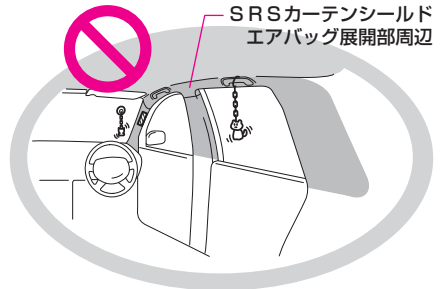


SRSサイドエアバッグ展開部

- SRSサイドエアバッグ・SRSカーテンシールドエアバッグ装着車は、フロントドアやその周辺にカップホルダーなどのカー用品を取り付けしないでください。SRSサイドエアバッグがふくらんだときに飛ばされて危険です。



- SRSサイドエアバッグ・SRSカーテンシールドエアバッグ装着車は、フロントウィンドウガラス、サイドドアガラス、フロント・センター・リヤピラー、ルーフサイド部、アシストグリップなどSRSカーテンシールドエアバッグ展開部周辺にアクセサリ、ハンズフリーマイクなどを取り付けしないでください。SRSカーテンシールドエアバッグがふくらんだときに、飛ばされて危険です。

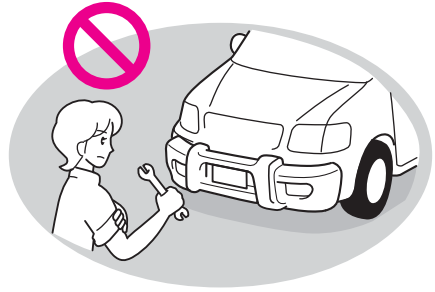
SRSカーテンシールド  
エアバッグ展開部周辺



## 安全装備について

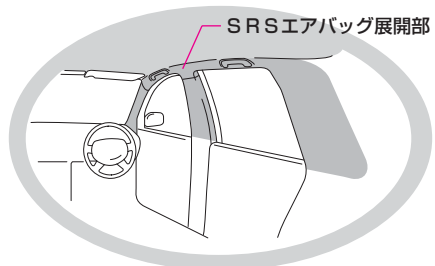
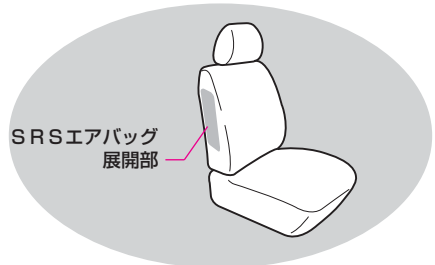
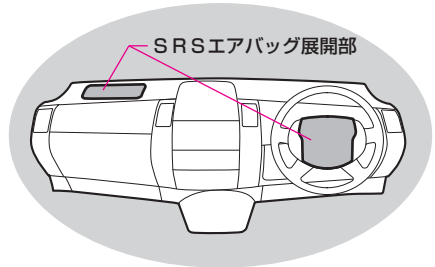
- 無線機の電波などは、SRSエアバッグを作動させるコンピューターに悪影響を与えるおそれがあり、SRSエアバッグが誤作動するなどして危険です。無線機などを取り付けるときは、プリウス取り扱いトヨタ販売店にご相談ください。

- 車両前部にグリルガードやウインチなどを装着する場合は、プリウス取り扱いトヨタ販売店にご相談ください。車両前部の改造をするとSRSエアバッグセンサーに伝わる衝撃がかわり、SRSエアバッグが誤作動するなどして危険です。



### ④ SRSエアバッグ展開部を、強くたたかないでください。

- ステアリングパッド、インストルメントパネル上部、フロント・リヤピラー、ルーフサイド部、フロントシート側面などSRSエアバッグ展開部は、強くたたかなど過度の力を加えないでください。SRSエアバッグが正常に作動しなくなるなどして重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。





- ⑤ SRSエアバッグがふくらんだ直後は、SRSエアバッグ構成部品にふれないでください。



- 構成部品が大変熱くなっているため、やけどなど重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

## 安全装備について



### 5.ABS & ブレーキアシスト についての注意

ABS & ブレーキアシストについては、次の事項を必ず守ってください。お守りいただかないと、思わぬ事故や重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

#### ① ABS & ブレーキアシストを過信しないでください。

- ABSやブレーキアシストが作動した状態でもスリップの抑制やハンドルの効き方には限界があります。無理な運転は思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

ABS & ブレーキアシストを過信せず速度を抑え、車間距離を十分にとって安全運転に心がけてください。

- ・ ABSはタイヤのグリップ限界をこえたり、ハイドロプレーニング現象\*が起こった場合は効果を発揮できません。

※雨天の高速走行などで、タイヤと路面のあいだに水膜が発生し、接地力を失ってしまう現象。

- ABSは制動距離を短くするための装置ではありません。次の場合などは、ABSの付いていない車両に比べて制動距離が長くなる場合があります。速度を控えめにして車間距離を十分にとってください。
  - ・ 砂利道、新雪路を走行しているとき
  - ・ タイヤチェーンを装着しているとき
  - ・ 道路の継ぎ目などの段差を乗り越えるとき
  - ・ 凸凹道や石だたみなどの悪路を走行しているとき
- ABSが作動すると、メーター内のスリップ表示灯（P.214参照）が点滅します。
- ブレーキアシストはブレーキ本来の能力をこえた性能を引き出す装置ではありません。車両・車間距離などに十分注意して安全運転に心がけてください。



警告

5.ABS & ブレーキアシストについての注意



## 安全装備について



### 6. モーターTRCについての注意

モーターTRCについては、次の事項を必ず守ってください。  
お守りいただかないと、思わぬ事故や重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

#### ① モーターTRCを過信しないでください。

- モーターTRCが作動した状態でも車両の方向安定性の確保には限界があります。無理な運転は思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。常に安全運転を心がけ、メーター内のスリップ表示灯が（P.214参照）点滅したときは、特に慎重に運転してください。



警告

6 モーターTRCについての注意

# 運転装置について



## 1. エレクトロシフトマチック についての注意

### HYBRID

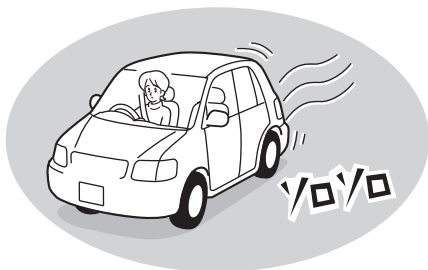
エレクトロシフトマチックについては、次の事項を必ず守ってください。お守りいただかないと、思わぬ事故や重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

### HYBRID

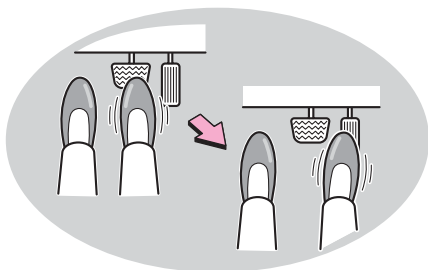
#### ① ハイブリッド用トランスミッションの特性

##### ■ クリープ現象

READY（走行可能表示灯）が点灯しているとき、シフトポジションがP・N以外にあると、動力が繋がった状態になり、アクセルペダルを踏まなくてもゆっくりと動き出す現象をクリープ現象といいます。



#### ② 運転するときはブレーキペダルとアクセルペダルの位置を必ず確認して、踏み間違いのないようにしてください。



● アクセルペダルをブレーキペダルと間違えて踏むと、車が急発進し、思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

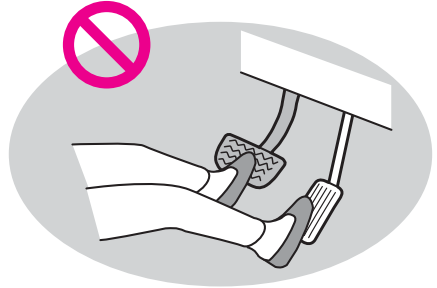
● 後退するときは体をひねった姿勢となるため、ペダルの操作がしにくくなります。ペダル操作が確実にできるように注意してください。

● 車を少し移動させるときも正しい運転姿勢をとり、ブレーキペダルとアクセルペダルが確実に踏めるようにしてください。



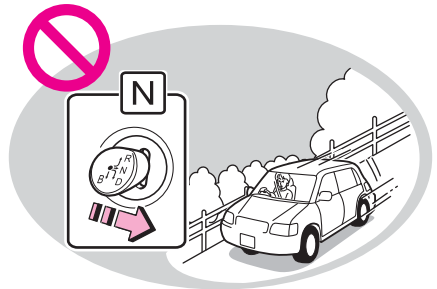
1 エレクトロシフトマチックについての注意

- ③ ブレーキペダルはアクセルペダルと同じ右足で操作してください。



- 左足でのブレーキ操作は、緊急時の反応が遅れるなど、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- ④ ハイブリッドシステムを始動するときは、ブレーキペダルをしっかりと踏み、ハイブリッドシステムを始動してください。
- 安全のためシフトポジションはPにして、ブレーキペダルをしっかりと踏みハイブリッドシステムを始動してください。
- ⑤ 発進するときは、ブレーキペダルをしっかりと踏んだままシフトレバーを操作してください。
- レバー操作は絶対にアクセルペダルを踏み込んだまま行わないでください。車が急発進し、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

- ⑥ 走行中はシフトポジションをNにしないでください。



- Nにすると、エンジンブレーキがまったく効かないため、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- Nにしたまま長時間走行すると、駆動系の故障の原因となるおそれがあります。

**⑦ 走行中はシフトポジションをPにしないでください。**

- 車輪が完全に止まらないうちにPポジションスイッチを押し、シフトポジションをPにするのはやめてください。無理な力がかかり、駆動系を傷めることがあります。走行中にPポジションスイッチを押すとブザーが鳴り、Nに切りかわります。

**⑧ 前進で走行中はシフトポジションをRにしないでください。**

- 前進で走行中にRにするのはやめてください。無理な力がかかり、駆動系を傷めることがあります。前進走行中にRにするとブザーが鳴り、Nに切りかわります。



**⑨ 停車中は、空ぶかしをしないでください。**

- シフトポジションがP・N以外にあると、車が急発進し思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

**⑩ 駐車するときは車両が完全に停止したあと、パーキングブレーキをしっかりかけ、シフトポジションをPにしてください。**

- P以外にある場合、クリープ現象で車がひとりでに動き出したり、誤ってアクセルペダルを踏み込んだとき急発進し、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- シフトポジションをPにするときは、ブレーキペダルを踏みながらパーキングブレーキをかけ、Pポジションスイッチを押します。シフトポジション表示灯でPポジションになっていることを確認してから、ブレーキペダルをゆっくり離してください。

**⑪ 坂道などでは、シフトポジションをDまたはBにしたまま惰性で後退することは絶対にしないでください。**

- 同様にシフトポジションをRにしたまま惰性で前進することは絶対にしないでください。故障や思わぬ事故の原因となるおそれがあり危険です。

**⑫その他にも、以下の点に注意してください。**

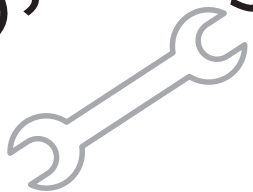
- 少し後退したあとなどは、シフトポジションが**③**にあることを忘れてしまうことがあります。後退したあとはすぐ**④**にもどすよう習慣付けましょう。
- 切り返しなどでシフトポジションを**④**から**③**、**③**から**④**と何度も操作をするときは、そのつどブレーキペダルをしっかり踏み、完全に車を止めてから行ってください。また、シフトポジションも忘れずにメーター内のシフトポジション表示灯で確認してください。
- 車両に取り付けられているシフトレバーのノブをはずしたり、他のノブを取り付けたりしないでください。また、シフトレバーにものをぶら下げないでください。レバーが定位置にもどらなくなる可能性があり、走行中、思わぬ事故につながるおそれがあります。



警告

1 エレクトロシフトマチックについての注意

# メンテナンスについて



## 1.点検・手入れ時の注意

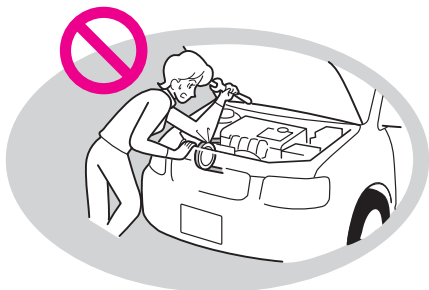
### HYBRID

点検・手入れ時は、次の事項を必ず守ってください。

お守りいただかないと、思わぬ事故や重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。点検整備の詳細については「メンテナンスノート」をお読みください。

### HYBRID

- ① エンジンルームを点検するときは、必ずハイブリッドシステムを停止してください。また、火気を近付けないでください。



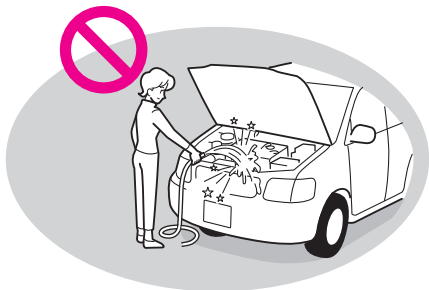
- ハイブリッド車は、ガソリンエンジンが自動的に動き出すことがあります。ガソリンエンジン回転中にベルトやファンなどの回転部分にふれたり近付いたりすると、手や衣服、工具などが巻き込まれたりして、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ガソリンエンジンが停止していても、冷却水温が高いときは、冷却ファンが急にまわり出すことがありますので注意してください。
- 火気をハイブリッドシステムや燃料配管に近付けないでください。爆発し、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- ② ハイブリッドシステム停止直後はエンジン・排気管・ラジエーターなど高温部にはふれないでください。

- やけどをするおそれがあります。なお、オイルやその他の液体も高温になっているときがありますのでご注意ください。

### HYBRID

- ③ エンジンルーム内に水をかけないでください。



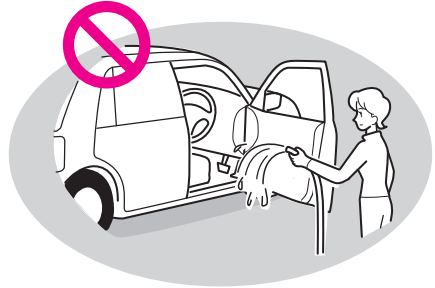
- エンジンルーム内に水をかけると、ハイブリッドシステムや他の電装品がショートしたりして、故障や車両火災につながるおそれがあります。



1 点検・手入れ時の注意

**HYBRID**

- ④ 車の清掃をするときは、車内に水をかけないでください。



- 駆動用電池などに悪影響をおよぼし、損傷するおそれがあります。
- SRSサイドエアバッグ・SRSカーテンシールドエアバッグ装着車は、前席フロアにSRSサイドエアバッグの配線があるため、水がかかるとSRSサイドエアバッグが正常に作動しなくなるおそれがあり危険です。
- オーディオやフロアカーペット下にある電気部品などに水がかかると、車の故障の原因となったり、車両火災につながるおそれがあり危険です。

- ⑤ 洗車する場合は、ブレーキに直接水がかからないように注意してください。

- ブレーキ装置内に水が入ると、凍結してブレーキの効きが悪くなったり、さびてブレーキの固着につながるおそれがあり、走行できなくなる場合があります。

- ⑥ ヒューズを交換するときは、規定容量以外のヒューズを使用しないでください。

- 配線が過熱・焼損し、車両火災につながるおそれがあり危険です。

**HYBRID**

- ⑦ ハイブリッドシステムが熱いときや、READY（走行可能表示灯）が点灯した状態のときは、ウォッシャー液を補給しないでください。

- ウォッシャー液にはアルコール成分が含まれているため、ハイブリッドシステムなどにかかると出火するおそれがあり危険です。

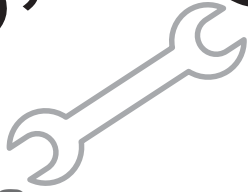
- ⑧ エンジンルームを点検したあとは、エンジンルーム内に工具や布を置き忘れていないことを確認してください。

- 点検や清掃に使用した工具や布などをエンジンルーム内に置き忘れていると、故障の原因となったり、また、エンジンルーム内は高温になるため車両火災につながるおそれがあり危険です。

- ⑨ ブレーキフルードの量を点検してください。

- ブレーキフルードが不足していると、ブレーキの効が悪くなり、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

# メンテナンスについて



## 2. タイヤについての注意

タイヤについては、次の事項を必ず守ってください。

お守りいただかないと、思わぬ事故や重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

### ① 日常点検として必ずタイヤの点検を行ってください。

● タイヤの点検は、法律で義務付けられています。

● タイヤは以下の点について点検してください。

- ・ タイヤの空気圧
- ・ タイヤの亀裂・損傷の有無
- ・ タイヤの溝の深さ
- ・ タイヤの異常な摩耗（極端にタイヤの片側のみが摩耗している・摩耗程度が他のタイヤと著しく異なるなど）

タイヤの点検方法は、「メンテナンスノート」をお読みください。

### ② タイヤ空気圧は必ずタイヤが冷えている状態で指定空気圧に調整してください。

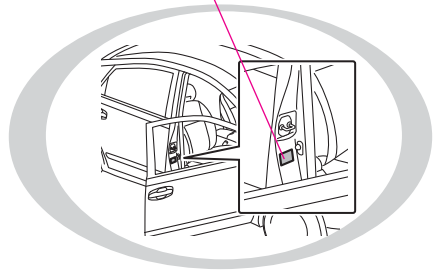
● 指定空気圧は、運転席ドアを開けたボディ側に貼られている「タイヤ空気圧」の表、またはP.351で正しい空気圧を確認の上、調整してください。

指定空気圧より低いと、車両の走行安定性を損なうばかりでなく、タイヤが偏摩耗したりします。高速走行時にスタンディングウェーブ現象\*によりタイヤがバースト（破裂）したりして、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

日常点検で、スペアタイヤも含め、必ずタイヤ空気圧が指定空気圧になっていることを点検してください。

\*高速で走行しているときに、タイヤが波うつ現象。

「タイヤ空気圧」の表



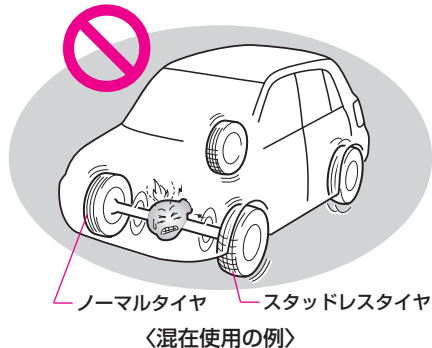
警告

2. タイヤについての注意



**③ タイヤはすべて、必ず指定サイズで同一種類のタイヤを装着してください。**

- タイヤはすべて指定サイズで、同一サイズ・同一メーカー・同一銘柄および同一トレッドパターン（溝模様）のタイヤを装着してください。また、摩耗差の著しいタイヤを混ぜて装着しないでください。
- タイヤを混在使用すると、左右タイヤで常時異常な回転差が発生し、駆動系部品（ディファレンシャルギヤ）に無理な力がかかり、オイルの温度が上昇するなどしてオイルもれや焼き付きなどにより、最悪の場合、車両火災につながるおそれがあります。



- 次の場合もタイヤの混在使用と同様、駆動系部品に悪影響を与えるのでタイヤの空気圧の点検は必ず実施してください。
  - ・ 4輪の空気圧の差が著しいとき
  - ・ 空気圧が指定値からはずれているとき
- タイヤの摩耗を4輪とも均等にし、寿命をのばすためにタイヤのローテーションを行ってください。（P.318参照）
- ディスクホイールを交換するときも、指定以外のディスクホイールを装着しないでください。（P.351参照）
- 指定以外のタイヤおよび4輪とも同一でないタイヤを装着すると、車の性能（燃費・車両の安定性・制動距離など）が十分に発揮できないばかりでなく、前後左右のタイヤに回転差が発生するなどして正確な車両速度が検出できなくなる場合があります。
  - ・ ABS
  - ・ ブレーキアシスト
  - ・ モーターTRC
  - ・ GPSボイスナビゲーション

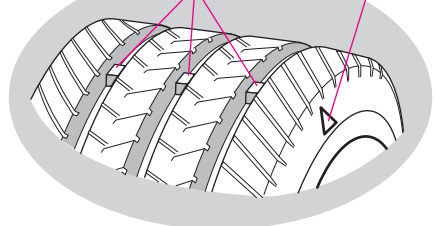
**④ 摩耗限度をこえたタイヤは使用しないでください。**

●タイヤの溝の深さが少ないタイヤやスリップサイン（摩耗限度表示）が出ているタイヤをそのまま使用すると、制動距離が長くなったり、雨の日にハイドロプレーニング現象\*1により、ハンドルが操作できなくなったり、タイヤがバースト（破裂）したりして、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。スリップサインが現れたら、すみやかに正常なタイヤと交換してください。

※1 水のたまった道路を高速で走行すると、タイヤと路面のあいだに水が入り込み、タイヤが路面から浮いてしまい、ハンドルやブレーキが効かなくなる現象。

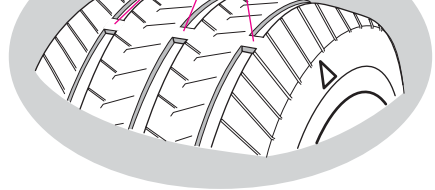
※2 イラストは説明のための例であり、実際とは異なります。

スリップサインの位置を示すマーク  
スリップサイン



〈例：スリップサインが出ていない状態〉\*2

スリップサイン



〈例：スリップサインが出ている状態〉\*2

**⑤ タイヤの側面などに傷や亀裂のあるような異常なタイヤを装着しないでください。**

●異常があるタイヤを装着していると、走行時にハンドルがとられたり、異常な振動を感じる場合があります。

また、バースト（破裂）など修理できないような損傷をタイヤに与えたり、タイヤが横すべりするなど、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

走行中、異常な振動を感じた場合は、すみやかにトヨタ販売店で点検を受け、正常なタイヤに交換してください。

●異常があるタイヤを装着していると、車の性能（燃費・車両の方向安定性・制動距離など）が十分に発揮できないばかりでなく、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。また、部品に悪影響を与えるなど故障の原因となることがあります。

警告

2 タイヤについての注意

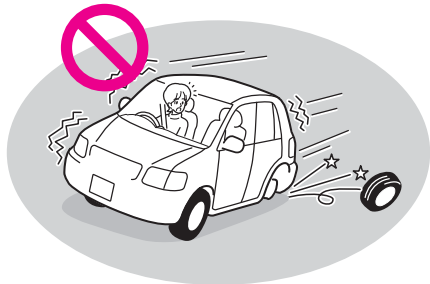
**⑥ 冬用タイヤ装着時は以下の点をお守りください。**

- 指定サイズのタイヤを使用してください。
- 指定空気圧に調整してください。
- お使いになる冬用タイヤの最高許容速度や制限速度をこえる速度で走行しないでください。

**⑦ タイヤチェーン装着時は、速度を控えて慎重に運転してください。**

- タイヤチェーン装着時は、約30km/hまたはチェーンメーカー推奨の制限速度以下で走行してください。
- タイヤチェーンを装着して走行するときは、突起や穴を乗り越えたり、急ハンドルや車輪がロックするようなブレーキ操作などをしないでください。車両が思わぬ動きをして事故につながるおそれがあり危険です。  
また、ABS作動時でも制動距離が長くなる場合がありますので、慎重に運転してください。

**⑧ タイヤを交換したときは、ディスクホイール取り付けナットが確実に締まっていることを確認してください。**



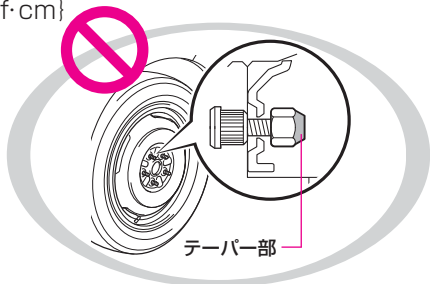
- 確実に締まっていないとディスクホイール取り付けボルトやブレーキ部品を破損したり、ディスクホイールがはずれるなど、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

タイヤ交換後はトヨタ販売店で、できるだけ早くトルクレンチで基準値にナットを締めてください。

締め付けトルク：約105N・m {1050kgf・cm}

- 必ずナットのテーパ部を内側にして取り付けてください。

テーパ部を外側にして取り付けると、ホイールが破損しはずれてしまい、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。



- タイヤを取り付けるナットやボルトにオイルやグリスを塗らないでください。ナットを締めるときに必要以上に締め付けられ、ボルトが破損したり、ディスクホイールが損傷するおそれがあります。また、ナットがゆるんで走行中にタイヤがはずれるなど、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。



警告

2  
タイヤについての注意

- ⑨ ディスクホイール取り付けボルト、ナットのねじ部や、ディスクホイールのボルト穴につぶれや亀裂などの異常がある場合は、トヨタ販売店などで点検を受けてください。**
- つぶれや亀裂などの異常があると、ナットを締め付けても十分に締まらず、ディスクホイールがはずれるなど、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- ⑩ ディスクホイールを取り付けるときは、シート部や裏側の取り付け面が汚れていないか確認してください。**
- ディスクホイールのシート部（P.368参照）や、ホイール裏側の取り付け面がほこりなどで汚れていると、走行中にホイール取り付けナットがゆるみ、タイヤがはずれ、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- ⑪ 段差などを通過するときは、できるだけゆっくり走行してください。**
- 段差や凹凸のある路面を通過するときの衝撃により、タイヤ・ディスクホイールが損傷する場合があります。
- ⑫ 歩道の縁石などにタイヤがあたらないように注意してください。**
- タイヤ・ディスクホイールが損傷する場合があります。
- ⑬ 応急用タイヤについては、以下の点に注意してください。**
- 応急用タイヤは標準タイヤがパンクしたときに一時的に使用するタイヤです。できるだけ早く標準タイヤに交換してください。
  - 応急用タイヤの空気圧は必ず点検してください。空気圧が不足している状態で走行すると、タイヤの径の違いがさらに大きくなるため、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。  
タイヤが冷えているときの空気圧（ゲージ圧）：420kPa {4.2kg/cm<sup>2</sup>}
  - 車に搭載されている応急用タイヤは、お客様の車専用です。他のタイヤやディスクホイールと組み合わせたり、他の車に使用したり、他の車の応急用タイヤをお客様の車に使用しないでください。走行に悪影響が出て思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- ⑭ 走行直後、ディスクホイールやブレーキまわりなどにはふれないでください。**
- 走行直後のディスクホイールやブレーキまわりは高温になっています。タイヤ交換などで手や足などがふれると、やけどをするおそれがあり危険です。



## HYBRID

バッテリーについては、次の事項を必ず守ってください。  
お守りいただかないと、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。



### HYBRID

- ① **補機バッテリーあがりを起こすと、ハイブリッドシステムが始動できなくなりますので注意してください。**
  - 駆動用電池の残量はハイブリッドシステムが自動管理しており、残量が低下すると自動的に充電します。  
ただし、長いあいだご使用にならないと、自動的に充電できないため、駆動用電池がバッテリーあがりを起こすことがあります。

### HYBRID

- ② **駆動用電池または補機バッテリーがあがったときは、押しがけによる始動や、けん引による充電はできません。**
  - ハイブリッドシステムに悪影響をおよぼし、システムが損傷するおそれがありますのでやめてください。  
駆動用電池があがったときは、プリウス取り扱いトヨタ販売店へご連絡ください。  
補機バッテリーがあがったときは、ブースターケーブルを使用して、ハイブリッドシステムを始動してください。(P.374参照)

### HYBRID

- ③ **補機バッテリーあがり、ブースターケーブルをつなぐときは、補機バッテリーの端子につながらず、エンジンルーム内の救援用端子を使用してください。(P.374参照)**
  - 補機バッテリーに直接つなぐと、火花が発生して補機バッテリーから発生する可燃性ガスに引火・爆発し、やけどなど重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
  - 応急時以外は、救援用端子を使用して補機バッテリーの充電をしないでください。
  - ブースターケーブルを接続したり、取りはずすときは、ファンやベルトなどにふれたり、近付いたりしないでください。手や衣服などが巻き込まれたりして、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。



### HYBRID

#### ④急速充電器は使用しないでください。

- 補機バッテリーが爆発するおそれがあり危険です。

### HYBRID

#### ⑤充電中は補機バッテリーに近付かないでください。

- 充電中は補機バッテリーから有毒で、腐食性の高い希硫酸を含んだバッテリー液が吹き出す場合があります。目や皮膚に付着すると、失明など重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。  
万一、付着した場合は、すぐに衣服を脱ぎ、液が付着した体の部分を多量の水で洗浄し、医師の診察を受けてください。

### HYBRID

#### ⑥火気を補機バッテリーに近付けないでください。

- 補機バッテリーから発生する可燃性ガスに引火・爆発し、やけどなど、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

#### ⑦シフトポジションがPで、補機バッテリーがあがった場合は、パーキングロックにより前輪が固定されているため、前輪を持ち上げないと、車両移動ができません。



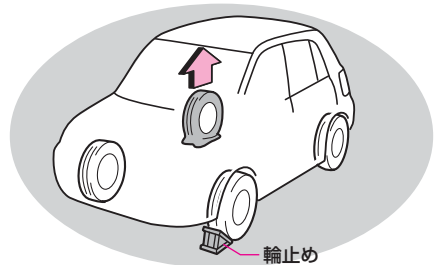
# メンテナンスについて

## 4. ジャッキアップについての注意

ジャッキアップについては、次の事項を必ず守ってください。  
お守りいただかないと、思わぬ事故や重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

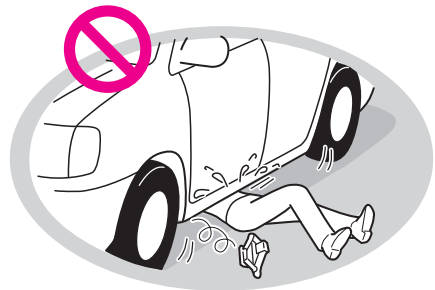


- ① ジャッキアップするときは、平らな場所に車を止め、対角の位置にあるタイヤに必ず輪止めをしてください。また、パーキングブレーキをしっかりとかけてください。



- 車が動きジャッキがはずれ、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。なお、輪止めはトヨタ販売店で購入できますのでトヨタ販売店にご相談ください。
- 輪止めがない場合は、タイヤを固定できる大きさの石などで代用できます。

- ② ジャッキアップした車の下には絶対にもぐらないでください。



- 万一、ジャッキがはずれると、体が車の下敷きになり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- 車載工具のジャッキはタイヤ交換やタイヤチェーン脱着以外は使用しないでください。



### ③ ジャッキアップするときは、次の点に注意しないと車体が損傷したり、ジャッキがはずれ重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- 人を乗せたままジャッキアップしないでください。
- ジャッキアップするときは、ジャッキの上や下にもものを挟まないでください。
- ジャッキアップするときは、ジャッキが確実に車体のジャッキセット位置（P.367参照）にかかっていることを必ず確認してください。
- 車体はタイヤ交換に必要な高さだけ持ち上げてください。
- ジャッキアップしているときは、ハイブリッドシステムを始動しないでください。
- ジャッキアップした車体を降ろすときは、周囲を確認し、十分注意しながら操作してください。

### ④ 車に搭載されているジャッキはお客様の車専用です。

- 他の車に使用したり、他の車のジャッキをお客様の車に使用しないでください。ジャッキの取り扱いを誤ると、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

### ⑤ 工具やジャッキを使用したあとは、決められた場所に確実に格納してください。

- 室内などに放置すると、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。



警告

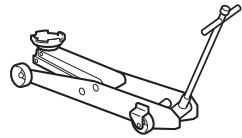
4 ジャッキアップについての注意



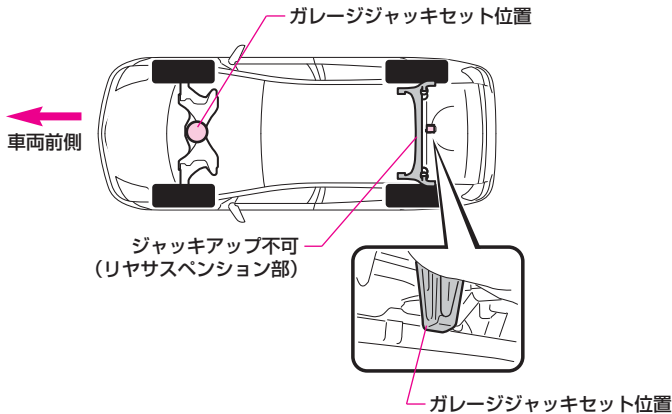
⑥ 車に搭載されているジャッキ以外のジャッキを使用してジャッキアップする場合は、次のことをお守りください。

- 車に搭載されているジャッキ以外のジャッキを使用してジャッキアップする場合は、特別な工具が必要になったり、取り扱いに特別な注意が必要になるため、誤って使用すると車両を損傷したり、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。また、リヤサスペンション部などでジャッキアップすると、車両を損傷することがあります。

車に搭載されているジャッキ以外のジャッキを使用する必要がある場合は、トヨタ販売店にご相談ください。また、ガレージジャッキを使用するときは、必ず下図のガレージジャッキセット位置にあててください。



ガレージジャッキ



- ガレージジャッキは、受け皿の形状がガレージジャッキセット位置に適したサイズの受け皿タイプを使用してください。



警告

1 オーバーヒートについての注意



オーバーヒートについては、次の事項を必ず守ってください。  
お守りいただかないと、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

- ① オーバーヒートし、ボンネットから蒸気が出ているときは、蒸気が出なくなるまでボンネットを開けないでください。



- エンジンルーム内が高温になっているため、やけどなど重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。また、蒸気が出ていない場合でも、高温になっている部分もありますので、ボンネットを開けるときは十分注意してください。

- ② ラジエーターや補助タンクが熱いときは、ラジエーターキャップを開けないでください。



- 蒸気や熱湯が吹き出してやけどなど重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。  
● キャップを開けるときは、ラジエーターや補助タンクが十分に冷えてから、布きれなどでキャップを包みゆっくりと開けてください。



## HYBRID

次の事項を必ず守ってください。  
お守りいただかないと、思わぬ事故や  
重大な傷害におよぶか、最悪の場合死  
亡につながるおそれがあります。



2万一の事故のときの注意

## HYBRID

### ①万一、事故が発生したときは次の点に注意してください。

- プリウスは、駆動用電池などの高電圧システムを使用しています。事故により、高電圧部位（駆動用電池・高電圧配線など）が大きく破損した場合は、不用意にさわると、感電など重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- 他の交通のさまたげにならないような安全な場所に車を移動し、続発事故防止を図ってください。
- 高電圧が各ユニットにかからないようにするため、車両の状態を次のようにしてください。
  - ・ブレーキペダルを踏みながら、パーキングブレーキをかける
  - ・シフトポジションをPにする
  - ・“パワー”スイッチをOFFにする
- 駆動用電池、高電圧配線（オレンジ色）などの高電圧部位には、絶対にさわらないでください。感電のおそれがあり危険です。
- 車室内および車室外にはみ出している電気配線にも、絶対にさわらないでください。漏電による感電のおそれがあり危険です。
- 車両に液体の付着やもれがある場合、絶対にさわらないでください。駆動用電池の電解液（強アルカリ性）が、目や皮膚にふれると失明や皮膚傷害のおそれがあり危険です。万一、目や皮膚に付着した場合、ただちに多量の水で洗い流し、早急に医師の診断を受けてください。
- 万一、車両火災が発生したときは、ABC消火器を使用して消火してください。水をかける場合には、消火栓などから水を大量にかけてください。

## HYBRID

### ②けん引される場合はプリウス取り扱いトヨタ販売店またはJAFなどに依頼してください。

- 特に次の場合は、駆動系の故障が考えられますので、けん引される前にまずプリウス取り扱いトヨタ販売店へご連絡ください。
  - ・ READY（走行可能表示灯）が点灯しているのに車が動かない
  - ・ 異常な音がする
  - ・ Pポジション制御に異常があるとき（P.196参照）
  - ・ 補機バッテリーがあがったとき
- 車両前部の衝突時は、エンジンルーム内部で配線類が破損している可能性があります。けん引時は必ず前輪を持ち上げるか、4輪とも持ち上げて運搬してください。前輪が接地した状態でけん引すると、電気モーターから電気が発電され、破損の状態によっては漏電による火災のおそれがあり危険です。
- 自走できず、危険回避のため、やむを得ず他車にロープでけん引してもらうときは、けん引速度を約30km/h以下、けん引距離をレッカー車までの移動など、できるだけ短い距離にとどめてください。  
次の場合は、パーキングロックにより、前輪が固定されている可能性があるため、他車にロープでけん引してもらうことはできません。前輪を持ち上げるか、4輪とも持ち上げて運搬してください。
  - ・ Pポジション制御に異常があるとき
  - ・ 補機バッテリーがあがったとき
- この車で他車をけん引することはできません。
- けん引フックはけん引されることを目的としており、他車をけん引するものではありません。
- けん引される場合は、シフトポジションをNにして、パーキングブレーキを解除してください。
- けん引する車は、急発進などけん引フックやロープに大きな衝撃が加わるような運転をしないでください。けん引フックやロープが破損し、それが周囲の人などにあたり、重大な傷害を与えるおそれがあり危険です。
- けん引中に“パワー”スイッチをOFFにしないでください。

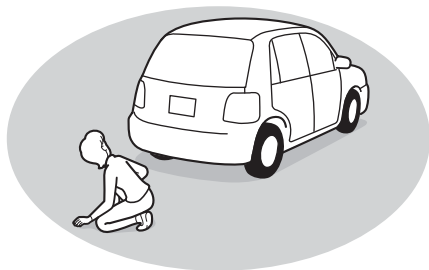


- ③ 発炎筒を燃料などの可燃物の近くで使用しないでください。また、発炎筒を使用中は顔や体に向けたり、近付いたりしないでください。



- 可燃物の近くで使用すると引火するおそれがあり危険です。また、使用中に顔や体に向けると炎でやけどをするなど、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

- ④ 事故後、ハイブリッドシステムを始動する前に燃料がもれていないか確認してください。

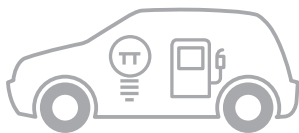


- 車の下の路面などを確認し、液体のもれ（エアコンの水以外）が見つければ、燃料系統が損傷している可能性があります。そのままハイブリッドシステムを始動すると燃料に引火し、重大な事故につながるおそれがあり危険ですので、ハイブリッドシステムを始動しないでください。

この場合は、プリウス取り扱いトヨタ販売店に状況を連絡するときに併せてお伝えください。



# ハイブリッドシステムについて

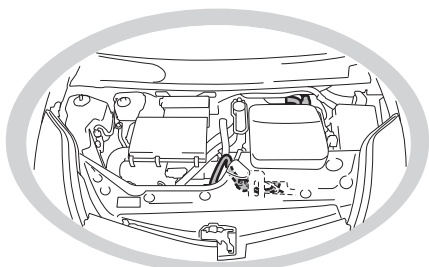


## HYBRID

プリウスを使用するにあたって、次の事項を必ず守ってください。お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

## HYBRID

### ① 高電圧・高温に注意してください。

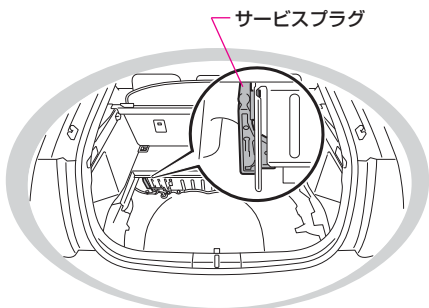


- 高電圧部位、高電圧の配線（オレンジ色）およびそのコネクターの取りはずし、分解などは、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがありますので、絶対に行わないでください。

これらの部位には取り扱い上の注意を記載したラベルが貼付してありますので、ラベルの指示に従って正しい取り扱いをしてください。

## HYBRID

### ② サービスプラグにはさわらないでください。

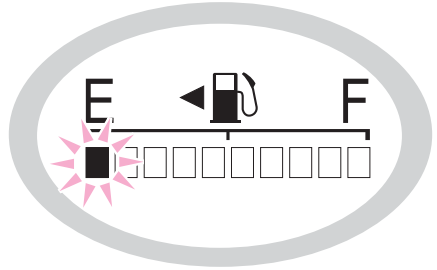


- サービスプラグが駆動用電池横に設置してあります。サービスプラグは、プリウス取り扱いトヨタ販売店にて、車両の修理時などに駆動用電池の高電圧を遮断するためのものです。

取り扱いを誤ると感電し、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがありますので、絶対にさわらないでください。

**HYBRID**

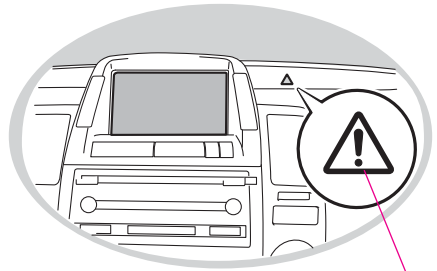
- ③ 燃料計（いちばん左の残量表示）が点滅し、ブザーが鳴ったときは、すみやかに燃料を補給してください。



- ハイブリッド車といっても、燃料がないと走行できません。通常のガソリンエンジン車と同様に、いちばん左の残量表示が点滅し、ブザーが鳴ったときは、すみやかに燃料を補給してください。

**HYBRID**

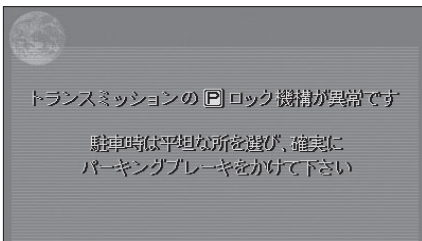
- ④ ブザーが鳴り、メーター内のマスターウォーニングが点灯し、ディスプレイに次のメッセージが表示されたときは、画面の指示に従ってください。



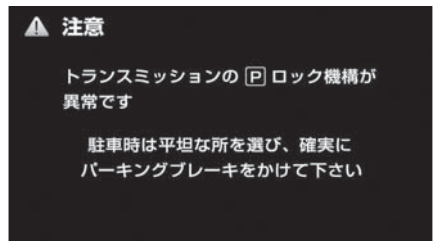
マスターウォーニング

**■ Pポジション制御異常警告**

- Pポジション制御システムに異常があると表示されます。画面の指示に従い、すみやかにプリウス取り扱いトヨタ販売店に連絡してください。
- Pポジション制御システムに異常があると、“パワー”スイッチをOFFにできなくなることがあります。このときはパーキングブレーキを作動させると、OFFにすることができます。



HDDナビゲーションシステム非装着車



HDDナビゲーションシステム装着車

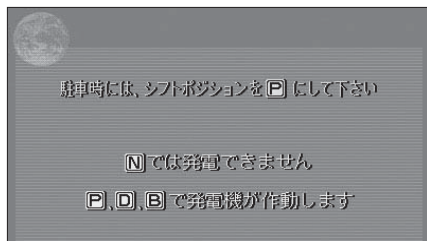


警告

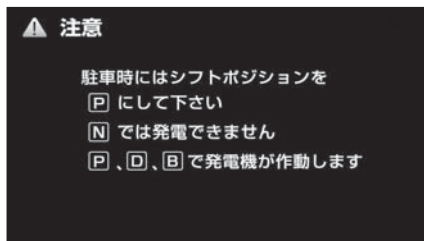
## ■シフトポジション警告（READY [走行可能表示灯] 点灯時）

READY が点灯している状態で、以下のときに表示されます。

- シフトポジションがN・D・Bのまま、運転席ドアを開けたとき
- シフトポジションがNで駆動用電池の残量が低下したとき



HDDナビゲーションシステム非装着車

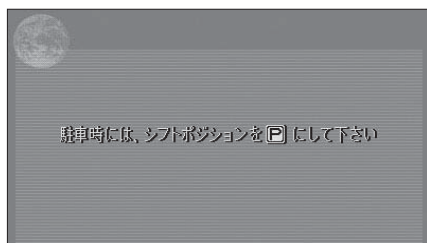


HDDナビゲーションシステム装着車

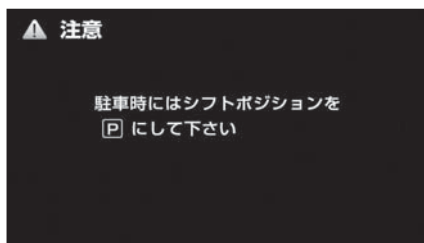
## ■シフトポジション警告（READY [走行可能表示灯] 消灯時）

ハイブリッドシステムを始動したあと、ハイブリッドシステムが停止している状態（READY が消灯）で、“パワー”スイッチがONモード、シフトポジションがP以外  
のとき、運転席ドアを開けると表示されます。

- 駐車時はパーキングブレーキをかけ、シフトポジションをPにして、“パワー”スイッチをOFFにしてください。



HDDナビゲーションシステム非装着車

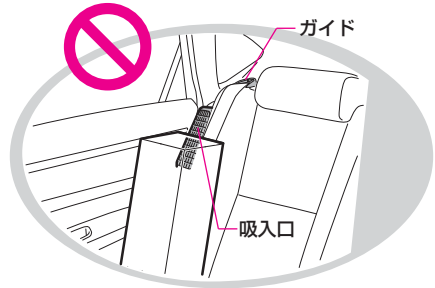


HDDナビゲーションシステム装着車



**HYBRID**

- ⑤ 駆動用電池冷却用の吸入口まわりに荷物などを置いたりして、吸入口をふさがないでください。また、吸入口に水や異物を入れないでください。



- 吸入口がふさがれると駆動用電池が過熱して、ハイブリッドシステムの出力低下につながるおそれがあります。
- 吸入口に水や異物を入れないでください。駆動用電池などに悪影響をおよぼし、損傷するおそれがあります。吸入口に大量の水や異物を入れてしまったときは、プリウス取り扱いトヨタ販売店で点検を受けてください。
- シートベルトがリヤシート上部のガイドからはずれていると、吸入口をふさいでしまう可能性があります。シートベルトはガイドにセットして使用してください。

**HYBRID**

- ⑥ 吸入口は絶対にはずさないでください。

- 吸入口には冷却用ファンがあるため、手などを入れると、ファンが動き出したときにけがをするおそれがあります。吸入口にものを落としたときなどに吸入口をはずす必要があるときは、プリウス取り扱いトヨタ販売店にご相談ください。

**HYBRID**

- ⑦ 修理する場合は、必ずプリウス取り扱いトヨタ販売店にご相談ください。

- 高電圧システムを使用しているため、取り扱いを誤ると、感電など重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

**HYBRID**

- ⑧ 廃車する場合は、必ずプリウス取り扱いトヨタ販売店にご相談ください。

- 駆動用電池は、プリウス取り扱いトヨタ販売店を通じて回収を行っていますので、回収にご協力ください。適切に廃棄されず、不法に投棄または放置されると、第三者が駆動用電池などの高電圧部位にふれた場合に、感電事故などが発生するおそれがあり危険です。

## その他の注意



次の事項を必ず守ってください。  
お守りいただかないと、思わぬ事故や  
重大な傷害におよぶか、最悪の場合死  
亡につながるおそれがあります。



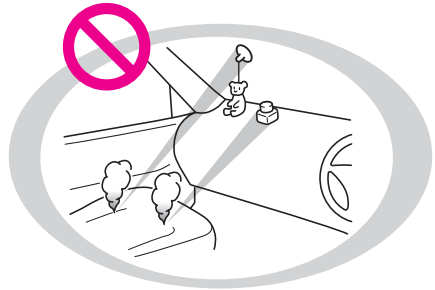
### ① 違法改造は絶対にしないでください。

- トヨタが国土交通省に届け出をした部品以外のものを装着すると、違法改造になることがあります。
- 車高を落としたり、ワイドタイヤを装着するなど、車の性能や機能に適合しない部品を装着すると、故障の原因になったり、事故を起こし、重大な傷害を受けるか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- ハンドルの改造は絶対にしないでください。ハンドルにはSRSエアバッグが内蔵されているため、不適切に扱おうと正常に作動しなくなったり、誤ってふくらみ、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- タイヤ、ディスクホイール、ディスクホイール取り付けナットの交換については、トヨタ販売店にご相談ください。  
異なった種類や指定以外のものを使用すると、走行に悪影響をおよぼしたり、違法改造になることがあります。
- 電装品、無線機などの取り付け、取りはずしについては、プリウス取り扱いトヨタ販売店にご相談ください。  
電子機器部品に悪影響をおよぼしたり、故障や車両火災など事故につながるおそれがあり危険です。
- フロントガラス、および運転席・助手席の窓ガラスに着色フィルム（含む透明フィルム）などを貼り付けないでください。視界をさまたげるばかりでなく、違法改造につながるおそれがあります。

### ② カップホルダーにはカップや飲料缶以外のものを入れないでください。

- 急ブレーキをかけたときや衝突時に収納していたものが飛び出し、けがをするおそれがあります。やけどを防ぐために温かい飲み物にはフタをしてください。
- 急ブレーキをかけたときや衝突時に、カップホルダーに体があたるなどして、思わぬけがをするおそれがあり危険です。カップホルダーを使用しないときはフタを閉めておいてください。

- ③ ウィンドウガラスなどには吸盤を付けしないでください。



- ウィンドウガラスにアクセサリーの吸盤を取り付けたり、インストルメントパネルやダッシュボードの上に芳香剤などの容器を置くと、吸盤や容器がレンズの動きをして、車両火災につながるおそれがあり危険です。

- ④ ミラーヒーター作動中はドアミラーの表面が熱くなりますので、手をふれないでください。(ミラーヒーター装着車)

- やけどをするおそれがあり危険です。

- ⑤ フロントワイパーデアイサー作動中はフロントウィンドウガラス下部、および運転席側ピラー周辺部に手をふれないでください。(フロントワイパーデアイサー装着車)

- 作動中はフロントウィンドウガラス下部、および運転席側ピラー周辺部の表面が熱くなりますので手をふれないでください。やけどをするおそれがあり危険です。

- ⑥ 電球を交換するときは、電球が冷えてから交換してください。

- 電球を交換するときは、必ずハイブリッドシステムを停止し、各ランプを消灯させ、電球が冷えてから交換してください。やけどをするおそれがあり危険です。

- ⑦ ラゲージルームには絶対に人を乗せないでください。



- 急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあり危険です。

## ！ その他の注意

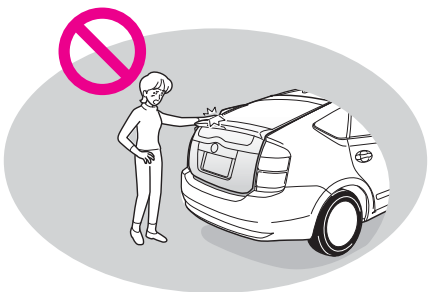
- ⑧ バックドアの操作にあたっては、以下のことを必ずお守りください。  
お守りいただかないと、体を挟むなどして重大な傷害につながるおそれがあり危険です。

- バックドアを開ける前に、バックドアに貼り付いた雪や氷などの重量物を取り除いてください。開いたあとに重みでバックドアが落下するおそれがあります。
- バックドアを開閉するときは、十分に周囲の安全を確認してください。
- 人がいるときは、安全を確認し動かすことを知らせる「声かけ」をしてください。
- 強風時の開閉には十分注意してください。  
バックドアが風にあおられ、勢いよく開いたり閉じたりするおそれがあります。

- 半開状態で使用すると、バックドアが落ちて重大な傷害を受けるおそれがあります。特に傾斜地では、平坦な場所よりもバックドアの開閉がしにくく、急にバックドアが開いたり閉じたりするおそれがあります。必ずバックドアが全開で静止していることを確認して使用してください。



- バックドアを閉めるときは、指などを挟まないよう十分注意してください。



- バックドアは必ず外から軽く押して閉めてください。バックドアグリップで直接バックドアを閉めると、手や腕を挟むおそれがあります。
- バックドアダンパーステーを持ってバックドアを閉めたり、ぶら下がったりしないでください。手を挟んだり、バックドアダンパーステーが破損したりして、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- バックドアにトヨタ純正品以外のアクセサリ用品を取り付けしないでください。バックドアの重量が重くなると、開いたあとに落ちるおそれがあります。



- ⑨樹脂バンパーやアルミ部分には、磁石で固定するアクセサリーを取り付けることはできません。
- 磁石は樹脂やアルミに付かないため、磁石式の初心者運転標識や高齢運転者標識などは取り付けることができません。
- ⑩トノカバーを取り付けるときは、TOPマークを上にして取り付け、“カチッ”と音がして確実に固定されたことを確認してください。  
(トノカバー装着車)
- トノカバーが確実に固定されていないと、走行中にトノカバーがはずれ、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
  - トノカバーを操作するときは、トノカバーとまわりの部品のあいだに指や腕などを入れないように注意してください。指や腕などを挟み、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- ⑪車内のスイッチなどに飲み物などをこぼさないように注意してください。
- インストルメントパネル、コンソールボックス、ドアなどにあるスイッチなどに飲み物がかかると、故障の原因となったり、車両火災につながるおそれがあり危険です。万一、スイッチに飲み物がかかった場合は、すみやかにトヨタ販売店にご相談ください。
- ⑫READY（走行可能表示灯）が点灯しているとき、またはハイブリッドシステム停止直後は、排気管にふれないように注意してください。
- READY（走行可能表示灯）が点灯しているときや、ハイブリッドシステム停止直後の排気管は高温になっています。荷物の積み降ろし時などに手や足がふれると、やけどをするおそれがあります。
- ⑬シルバー色などの金属蒸着フィルムを曲面ガラスに貼った場合は、ドアやウィンドゥを開けたまま放置しないでください。
- ドアやウィンドゥを開けたまま放置すると、直射日光が曲面ガラスの内側に反射し、レンズの動きをして火災につながるおそれがあり危険です。

## ！ その他の注意

⑭寒冷時は、ウインドウガラスが暖まるまでウォッシャー液を使用しないでください。

●ウォッシャー液がウインドウガラスに凍り付き、視界不良を起こして思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

⑮キーの電池交換時に、電池や部品を、特にお子さまが飲み込まないようにご注意ください。

●飲み込むと重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

⑯内装（特にインストルメントパネル）の手入れをするときは、艶出しワックスや艶出しクリーナーを使用しないでください。

●インストルメントパネルがフロントウインドウガラスへ映り込み、運転者の視界をさまたげ思わぬ事故につながり、重大な傷害もしくは死亡におよぶおそれがあります。

⑰メガネ、ライターやスプレー缶を車内に放置したままにしないでください。

●室温が高くなったときの熱や、他の収納物との接触などにより、メガネが変形やひび割れを起こすおそれがあります。

●室温が高くなったときにライターやスプレー缶が爆発するなどして、火災につながるおそれがあり危険です。

●ライターやスプレー缶を収納装備に放置したり、車内に落としたままにしておくと、荷物を押し込んだりシートを動かしたときにライターが着火したりスプレー缶のガスがもれるなどして、火災につながるおそれがあり危険です。



警告

# MEMO



# MEMO





# 2

## 基本操作早わかり

(はじめてこの車にお乗りになる方へ)

この章では、はじめて車を購入された方やトヨタ車にはじめてお乗りになる方のために、この車の基本的な運転装置および装備品を簡単に説明しています。

詳しい取り扱い説明や注意事項は各章をしっかりと読みください。

各部の開閉	96
シートの調整	98
シートベルトの着用	100
始動するときは <b>HYBRID</b>	102
運転するときは <b>HYBRID</b>	104
警告灯・警告アイコン <b>HYBRID</b>	108
スイッチ類の取り扱い	110
車両情報・エアコン・オーディオ <b>HYBRID</b>	112

目次



基本操作  
早わかり

運転装置の  
取り扱い

室内装備の  
取り扱い

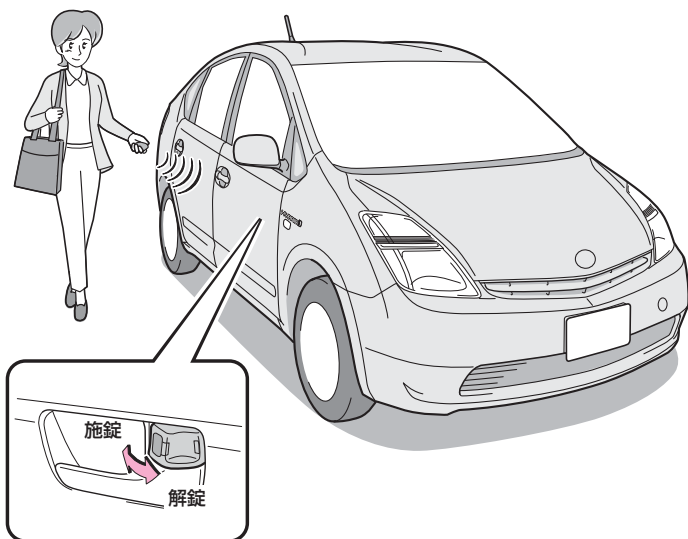
安全・快適装備  
の解説と注意

車との上手な  
付き合い方

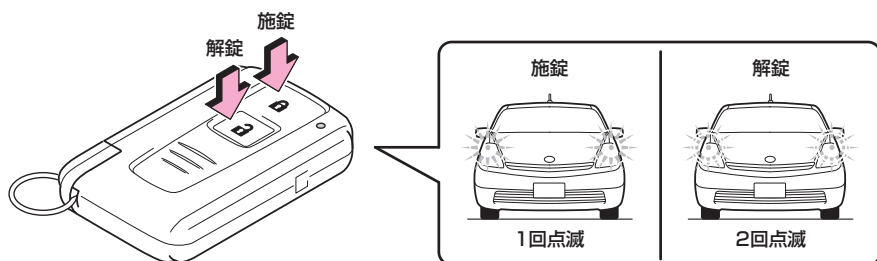
メンテナンス

万一のとき

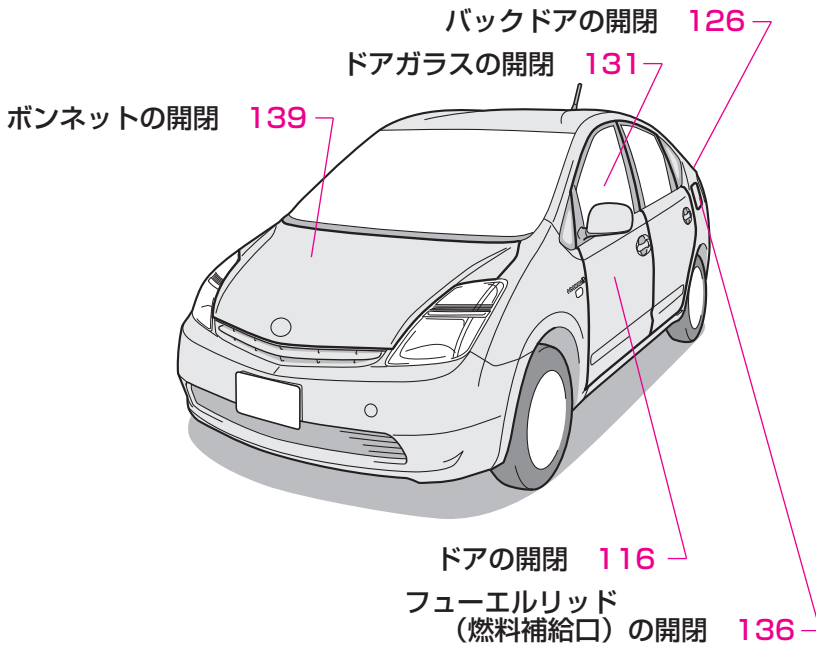
索引



## ドアの施錠と解錠



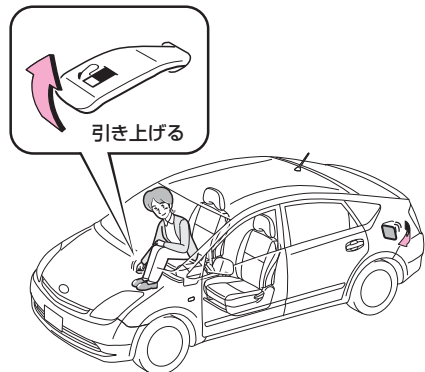
## 各部の開閉に関する詳しい紹介は



### ドアガラスの開閉



### フューエルリッド (燃料補給口)の開け方



目次

警告

基本操作

運転装置の  
取り扱い

室内装備の  
取り扱い

安全・快適装備  
の解説と注意

車との上手な  
付き合い方

メンテナンス

万一のとき

索引



## 運転席の調整機能（その1）

前後位置



背もたれの角度

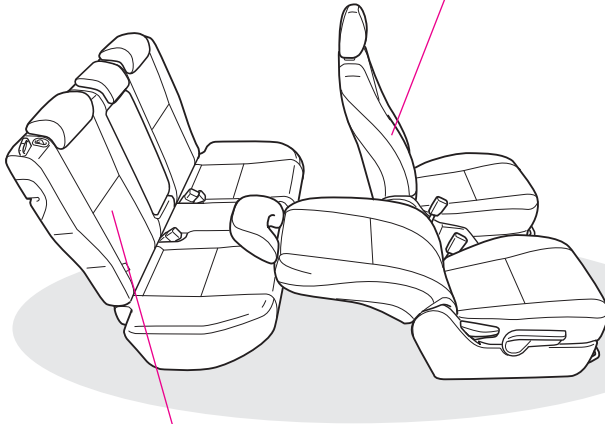


シート全体の上げ下げ



## シートに関する詳しい紹介は

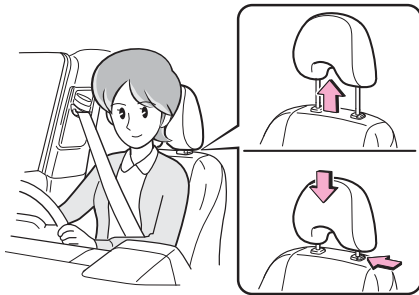
- シートの調整 141
- フロントフラットシートの作り方 149



リヤシート前倒しのしかた 151

## 運転席の調整機能(その2)

ヘッドレストの上げ下げ



目次

警告

基本操作

運転装置の  
取り扱い

室内装備の  
取り扱い

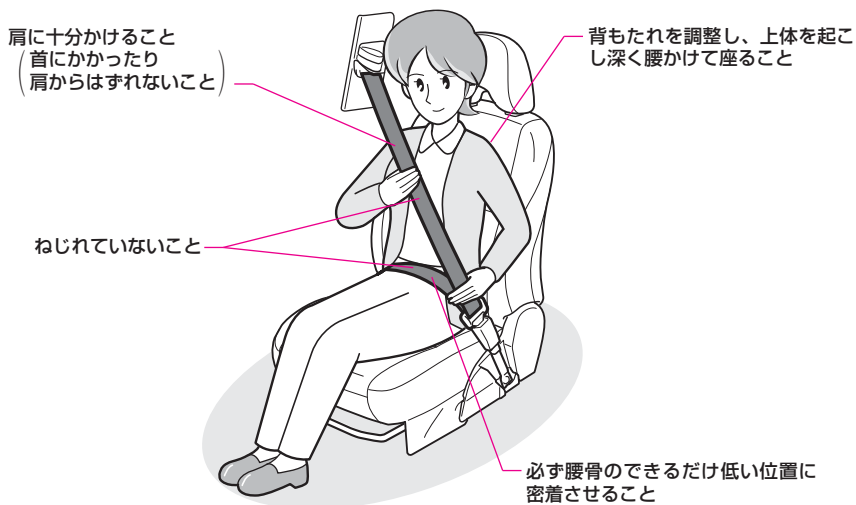
安全・快適装備  
の解説と注意

車との上手な  
付き合い方

メンテナンス

万一のとき

索引

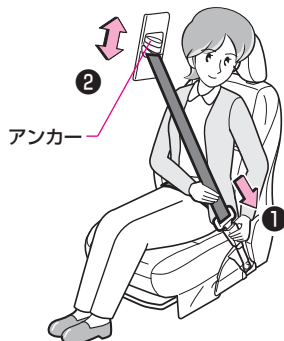


## シートベルトの着用のしかた

1 ベルトを引き出します。



2 プレートをバックルに挿し込みます。

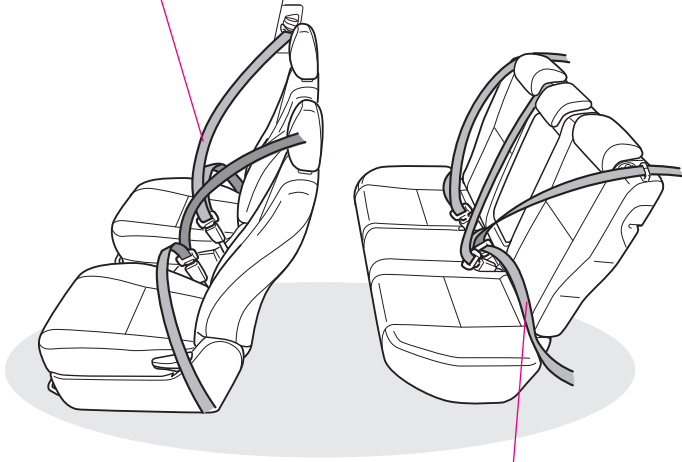


① “カチッ” というまで挿し込みます。

② アンカーの高さを調整します。

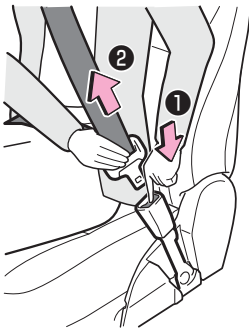
## シートベルトに関する詳しい紹介は

シートベルトの着用 153



チャイルドシートの固定 163

## はずし方



- ① バックルのボタンを押します。
- ② ベルトを巻き取らせます。

目次

警告

基本操作  
早わかり

運転装置の  
取り扱い

室内装備の  
取り扱い

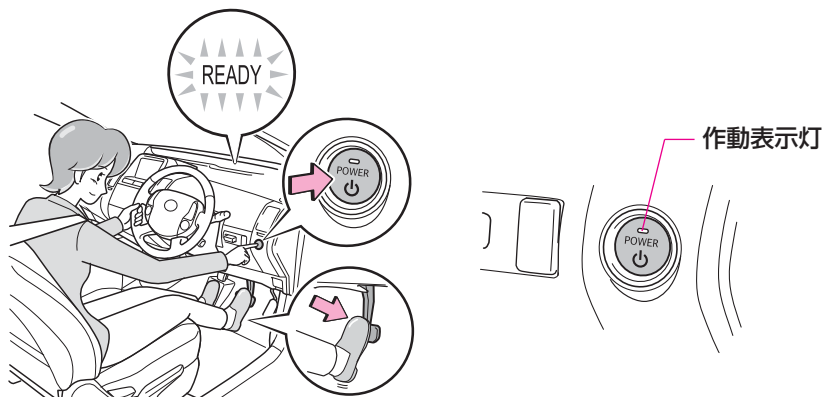
安全・快適装備  
の解説と注意

車との上手な  
付き合い方

メンテナンス

万一のとき

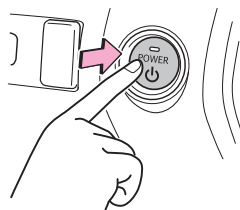
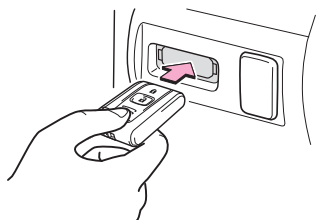
索引



“パワー”スイッチの状態	作動表示灯の色	ハイブリッドシステムの状態	各状態の働き
OFF	消灯	停止	電装品が停止している状態です。
アクセサリモード	緑色	停止	オーディオなどの電装品が使用できます。
ONモード	橙色	停止	すべての電装品が使用できます。
	消灯	作動中 (READY 点灯)	すべての電装品が使用できます。 通常運転中の状態です。

## “パワー” (イグニッション) スイッチの切りかえ方

- 1 キーをキースロットに挿し込みます。
- 2 ブレーキペダルを踏まずに、“パワー”スイッチを押します。



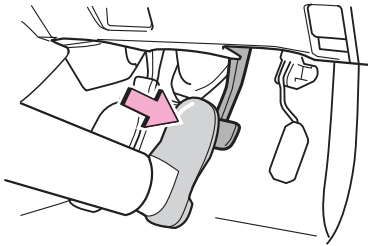
スイッチを押すごとに、OFF⇒アクセサリモード⇒ONモード⇒OFF…の順に切りかわります。

- 作動表示灯の色でスイッチの状態を確認します。



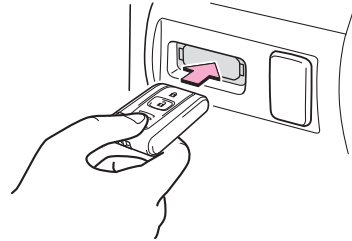
## ハイブリッドシステム始動のしかた

- 1** ブレーキペダルをしっかりと踏みます。

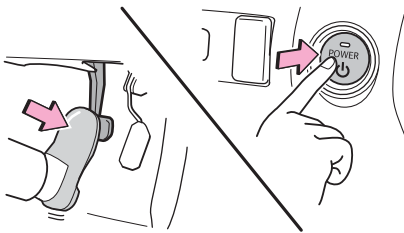


パーキングブレーキがかかっていることを確認します。

- 2** キーをキースロットに挿し込みます。

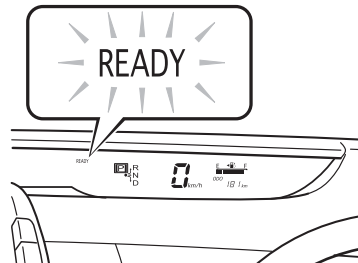


- 3** ブレーキペダルをしっかりと踏みながら、“パワー”スイッチを押します。

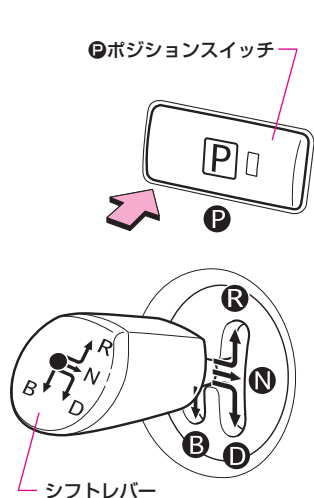


ゆっくり確実に押してください。

- 4** READY（走行可能表示灯）が点滅後、点灯状態になれば発進できます。



READY（走行可能表示灯）が点灯していれば、ガソリンエンジンが始動していなくても走行できます。車両の状態に応じてガソリンエンジンは自動的に始動・停止します。



**P**  
(パーキング)

駐車およびハイブリッドシステム始動  
●Pポジションスイッチを押します。

**R**  
(リバース)

後退  
シフトレバーを右にスライドさせたまま、上に操作します。

**N**  
(ニュートラル)

動力が伝わらない状態  
シフトレバーを右にスライドさせたまましばらく保持します。

**D**  
(ドライブ)

通常走行 (前進)  
シフトレバーを右にスライドさせたまま、下に操作します。

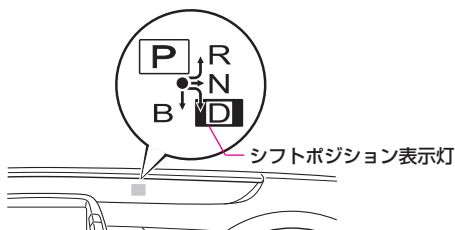
**B**  
(ブレーキ)

下り坂走行 (前進)  
シフトレバーを下に操作します。

## エレクトロシフトマチックの使い方

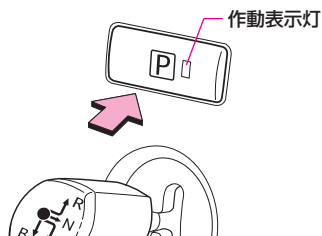
シフトポジションを●から操作するときは

シフトポジションを●にするときは



ブレーキペダルをしっかりと踏みながら、シフトレバーを操作します。

- シフトレバーは操作後、手を離すと、定位置にもどります。
- シフトポジション表示灯でシフトポジションを確認してください。

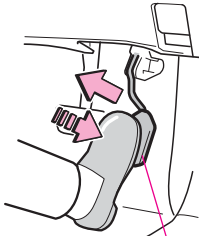


車両を完全に停止させ、ブレーキペダルを踏みながら、●Pポジションスイッチを押します。

- 作動表示灯が点灯します。
- シフトポジション表示灯でシフトポジションを確認してから、ブレーキペダルをゆっくり離してしてください。

## 運転のしかた

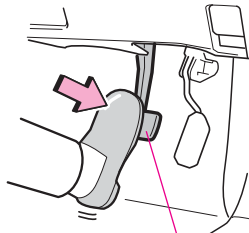
### 加速後



アクセルペダル

いったんアクセルをもどし、その後じわっと踏み込む。

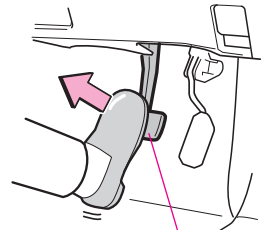
### 減速時



ブレーキペダル

早めにゆるやかなブレーキ操作をする。

### 渋滞での発進

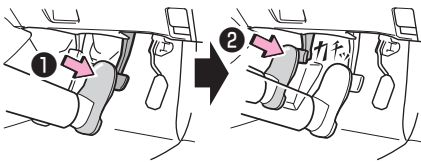


ブレーキペダル

ブレーキをゆるめるだけでアクセルを踏み込まない。

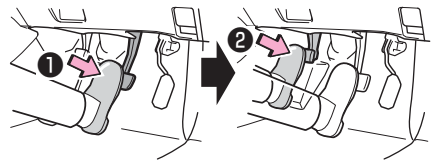
## パーキングブレーキの使い方

### 解除のしかた



- ① 右足でブレーキペダルをしっかり踏みながら
- ② 左足でパーキングブレーキペダルを“カチッ”と音がするまで踏み込み、ゆっくり離します。

### かけ方



- ① 右足でブレーキペダルをしっかり踏みながら
- ② 左足でパーキングブレーキペダルをいっぱいまで踏み込みます。

目次

警告

基本操作

運転装置の  
取り扱い

室内装備の  
取り扱い

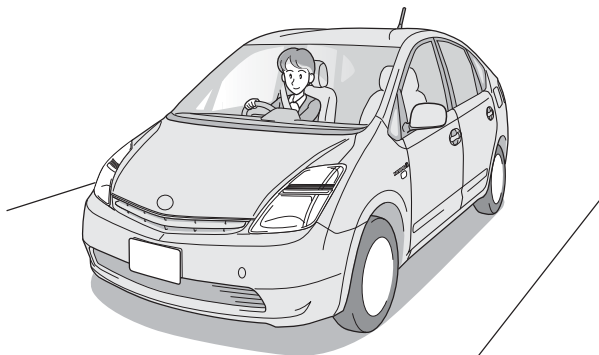
安全・快適装備  
の解説と注意

車との上手な  
付き合い方

メンテナンス

万のとき

索引

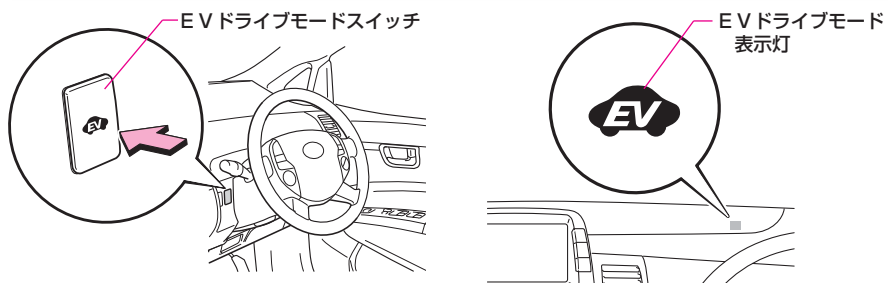


## EVドライブモード

EVドライブモードは、駆動用電池に蓄えられた電気を使って電気モーターを駆動し、「電気自動車」のように走行するモードです。

早朝・深夜の住宅街、または屋内の駐車場などで、騒音や排気ガスを気にすることなく走行することができます。

## EVドライブモードへの切りかえ方



EVドライブモードスイッチを押します。

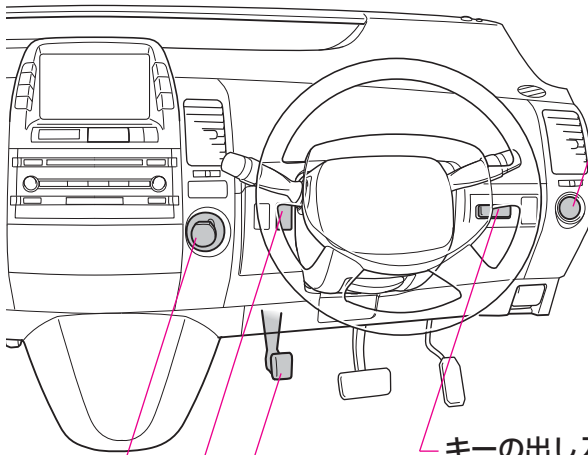
●EVドライブモードになると、EVドライブモード表示灯が点灯します。

- ・車両の状態によっては、EVドライブモードに切りかわらない場合があります。
  - ・EVドライブモードで走行中、車両の状態によって、自動的にEVドライブモードから通常走行（ガソリンエンジンと電気モーターによる走行）になることがあります。
  - ・EVドライブモードの走行可能距離は、車速約55km/h以下で、数百mから約2km程度です。（走行可能距離は、走行状態や駆動用電池の充電量により異なります）
- 詳しくは、P.181の「EVドライブモードへの切りかえ方」をお読みください。

## 運転装置に関する詳しい紹介は

“パワー”（イグニッション）スイッチの  
切りかえ方 174

ハイブリッドシステム始動・  
停止のしかた 176



キーの出し入れ 172

パーキングブレーキペダルの使い方 204

EVドライブモードへの切りかえ方 180

シフトレバーの使い方 184

目次

警告

基本操作

運転装置の  
取り扱い

室内装備の  
取り扱い

安全・快適装備  
の解説と注意









車との上手な  
付き合い方

メンテナンス

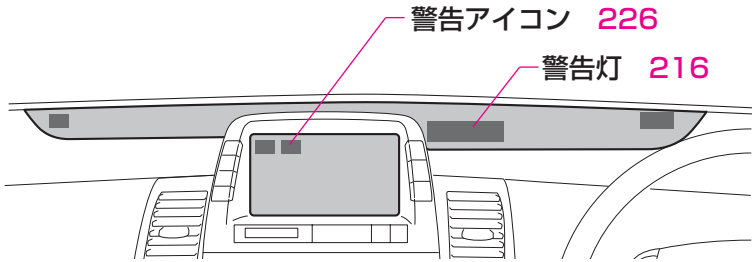
万一のとき

索引


## 警告灯が点灯または点滅したままのときは

警告灯	警告理由
 <b>ABS &amp; ブレーキアシスト警告灯</b>	ABSまたはブレーキアシストシステムの異常です。
 <b>SRSエアバッグ/プリテンショナー警告灯</b>	SRSエアバッグシステムまたはプリテンショナー付シートベルトシステムの異常です。
 <b>エンジン警告灯</b>	エンジン電子制御システムなどの異常です。
 <b>ブレーキ警告灯 (赤)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●パーキングブレーキがかかっています。</li> <li>●パーキングブレーキを解除しても消灯しないときは、以下の原因が考えられます。                         <ul style="list-style-type: none"> <li>・ブレーキ液の不足</li> <li>・電子制御ブレーキシステムの異常</li> <li>・EBDの異常</li> </ul> </li> </ul>
 <b>電子制御ブレーキ警告灯 (橙)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●回生ブレーキシステムの異常です。</li> <li>●電子制御ブレーキシステムの異常です。</li> </ul>
 <b>半ドア警告灯</b>	いずれかのドア (バックドアを含む) が確実に閉まっていません。
 <b>運転席シートベルト非着用警告灯</b>	運転者がシートベルトを着用していません。
 PASSENGER <b>助手席シートベルト非着用警告灯</b>	助手席の乗員がシートベルトを着用していません。

## 警告灯・警告アイコンに関する詳しい紹介は



## 警告アイコンが表示されたときは

警告アイコン <small>左列:HDDナビゲーションシステム非装着車 右列:HDDナビゲーションシステム装着車</small>	警告理由
  <b>ハイブリッドシステム異常警告</b>	ハイブリッドシステム(電気モーター、インバーターユニット、駆動用電池など)の異常です。
  <b>駆動用電池警告</b>	駆動用電池の電圧が低下しています。
  <b>水温警告</b>	エンジン冷却水温または電気モーターおよびインバーター系水温の異常です。
  <b>充電警告</b>	充電系統(インバーターユニットなど)の異常です。
  <b>油圧警告</b>	エンジン内のオイルの圧力の異常です。
  <b>パワーステアリング警告</b>	パワーステアリング制御システムの異常です。

\* ディスプレイに表示される警告画面については、P.196を参照してください。

\* この他にも、表示灯の点灯または点滅により異常を知らせる場合もあります。詳しくはP.210を参照してください。

目次


 警告
基本操作  
早わかり運転装置の  
取り扱い室内装備の  
取り扱い安全・快適装備  
の解説と注意車との上手な  
付き合い方

メンテナンス

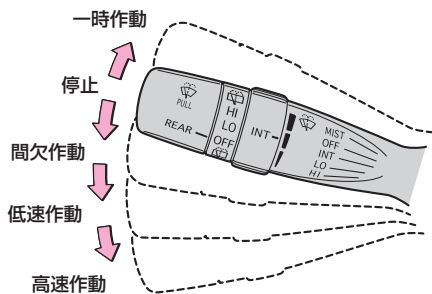
万一のとき

索引

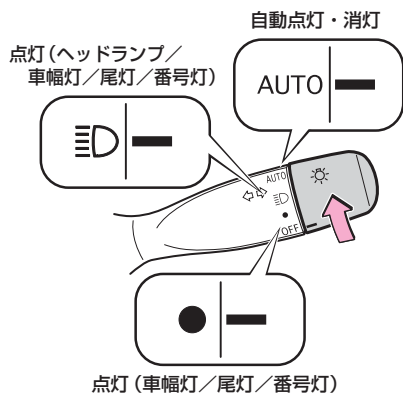


## 夜間や雨天時などの走行

### フロントワイパーの使い方

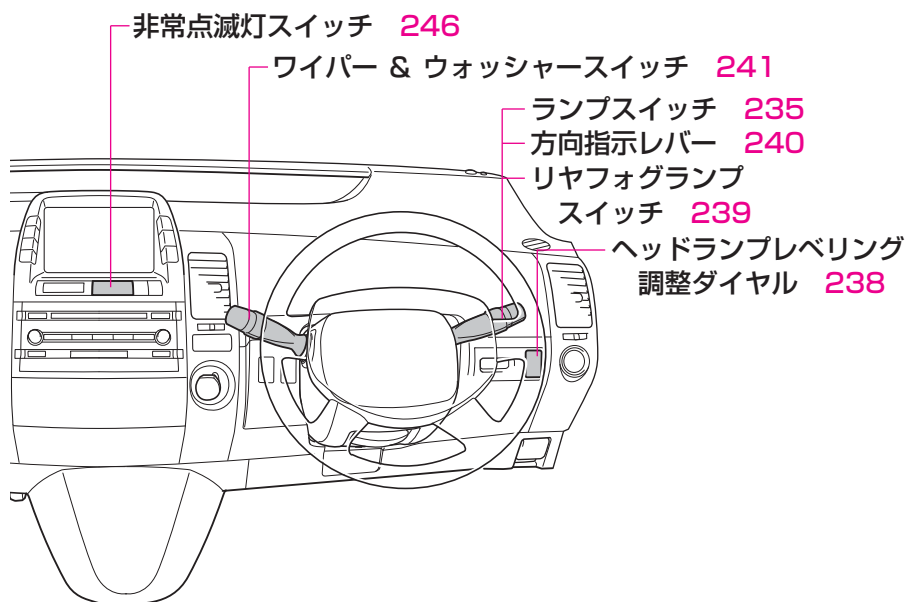


### ランプのつけ方





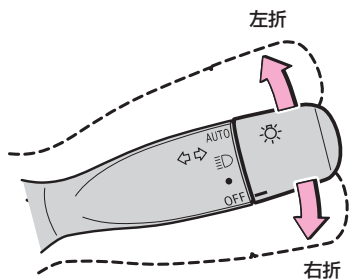
スイッチに関する詳しい紹介は



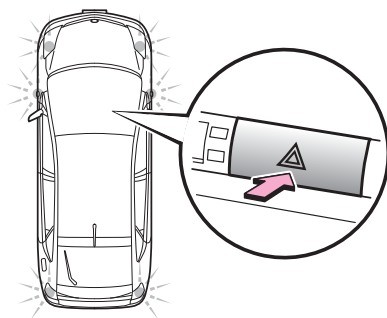
\* 装備のちがひ、注文装備も含んでいます。

他車への合図

方向指示灯



非常点滅灯



目次

警告

基本操作

運転装置の  
取り扱い

室内装備の  
取り扱い

安全・快適装備  
の解説と注意

車との上手な  
付き合い方

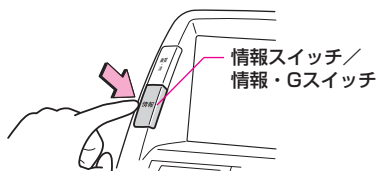
メンテナンス

万一のとき

索引

## 車両情報表示のしかた

- 1 **情報** または **情報・G** スイッチを押します。



情報画面が表示されます。

- ディスプレイに表示される画面は、HDDナビゲーションシステム装着の有無によって異なります。
- 手順2以降の操作説明では、HDDナビゲーションシステム装着車の画面を下段に示します。

- 2 **車両情報** にタッチします。

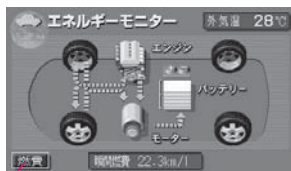


車両情報スイッチ

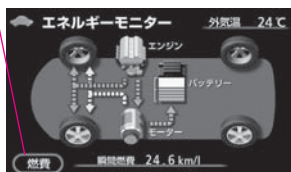


- 3 **エネルギー** または **燃費** にタッチします。

タッチしたスイッチにより、エネルギーモニター画面、または燃費・回収エネルギー画面が表示されます。

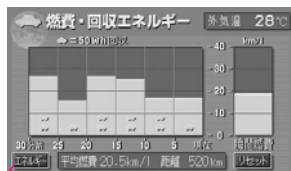


燃費スイッチ



エネルギーモニター画面

車両駆動状況、ハイブリッドシステム動作状況およびエネルギーの回収状況を表示します。



エネルギースイッチ



燃費・回収エネルギー画面

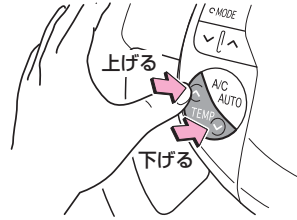
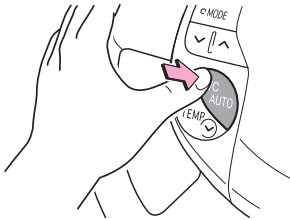
平均燃費・通算燃費・瞬間燃費・総走行距離・回収されたエネルギーを表示します。

## 車両情報・エアコン・オーディオ に関する詳しい紹介は

別冊の「エレクトロマルチビジョン取扱書」または「HDDナビゲーションシステム取扱書」をご覧ください。

### エアコンの使い方（ステアリングスイッチ）

- 1 A/C AUTOスイッチを押します。 2 希望温度に合わせます。



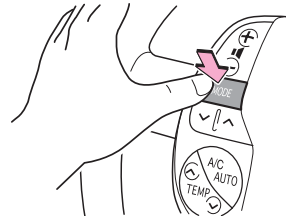
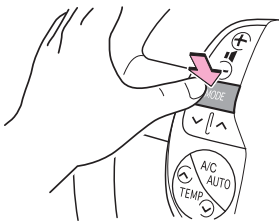
ファンが作動し、吹き出し口と風量が自動で調整されます。  
エアコンがONになります。

### オーディオの使い方（ステアリングスイッチ）

オーディオ電源の入・切

音量の調整

モードの切りかえ方



MODEスイッチを押すとONになります。

MODEスイッチを“ピツ”と音がするまで押すと、OFFになります。

スイッチを押して調整します。

MODEスイッチを押すごとに、オーディオモード（ラジオ、CD、MD※）が切りかわります。

※オーディオの仕様により異なります。

目次

警告

基本操作

運転装置の  
取り扱い

室内装備の  
取り扱い

安全・快適装備  
の解説と注意

車との上手な  
付き合い方

メンテナンス

万のとき

索引

# 3

## 運転装置の取り扱い

### ドア、ドアガラスなどの

#### 開閉…………… 116

ドアの開閉 116

バックドアの開閉 126

ドアガラスの開閉 131

フューエルリッド

(燃料補給口)の開閉 136

ボンネットの開閉 139

#### シートの調整…………… 141

正しい運転姿勢 141

シートの調整 143

#### シートアレンジ…………… 147

インデックス 147

フロントフラットシートの

つくり方 149

リヤシート前倒しの

しかた 151

#### シートベルトの着用…………… 153

シートベルトの

正しい着用 153

シートベルトの

着用のしかた 156

#### チャイルドシートの固定… 158

ISOFIX対応チャイルドシート

固定専用バー & トップテザー

アンカーでの固定 158

シートベルトでの固定 163

#### ハンドル、ミラーの調整…… 166

ハンドルの調整 166

インナーミラーの調整 167

ドアミラーの調整 168

#### ハイブリッドシステムの

#### 始動方法…………… 172

キーの出し入れ 172

“パワー” (イグニッション)

スイッチの切りかえ方 174

ハイブリッドシステム始動・

停止のしかた **HYBRID** 176

EVドライブモードへの

切りかえ方 **HYBRID** 181

#### シフトレバーの使い方…… 184

各シフトポジションの

働き 184

シフトポジションの

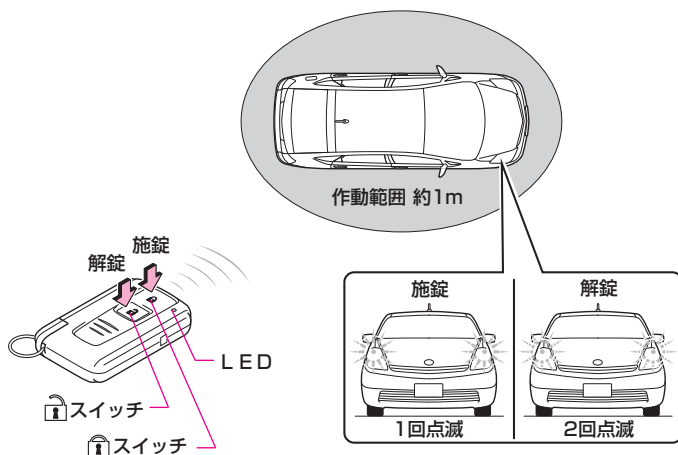
切りかえ方 186

<b>運転のしかた</b> ……………	<b>198</b>	<b>スイッチの使い方</b> ……………	<b>235</b>
発進のしかた <b>HYBRID</b>	198	ランプの使い方	235
走行のしかた <b>HYBRID</b>	200	ヘッドランプの	
停車のしかた <b>HYBRID</b>	202	光軸上下調整	238
駐車 of しかた <b>HYBRID</b>	203	リヤフォグランプの	
<b>パーキングブレーキペダルの</b>		使い方	239
<b>使い方</b> ……………	<b>204</b>	方向指示レバーの使い方	240
パーキングブレーキペダルの		ワイパー & ウォッシャーの	
取り扱い	204	使い方	241
<b>メーター、表示灯、</b>		リヤウインドウデフォグー	
<b>警告表示の見方</b> ……………	<b>206</b>	(曇り取り)、フロントワイパー	
メーター <b>HYBRID</b>	206	デアイサーの使い方	245
表示灯 <b>HYBRID</b>	210	非常点滅灯の使い方	246
警告灯 <b>HYBRID</b>	216	ホーンの使い方	247
警告アイコン <b>HYBRID</b>	226		
警告画面 <b>HYBRID</b>	233		

# ドア、ドアガラスなどの開閉

## ドアの開閉

### ワイヤレスドアロックリモコンでの施錠・解錠のしかた



🔒スイッチを押すと、すべてのドア（バックドアを含む）が施錠されます。※

🔓スイッチを押すと、すべてのドア（バックドアを含む）が解錠されます。※

●施錠したときは、非常点滅灯が1回点滅します。解錠したときは、非常点滅灯が2回点滅します。※

●スイッチは、ゆっくりと確実に押してください。

●スイッチを押すと、キーのLEDが点灯します。

●施錠操作をしたときは、必ず施錠作動したことを確認してください。

※この機能を変更することができます。詳しくは、P.352の「ユーザーカスタマイズ」を参照してください。




キーは電子部品です。強い衝撃などを与えると故障の原因となりますので、以下の点にご注意ください。

- ダッシュボードの上など高温になるところに置かないでください。
- 分解しないでください。
- 落としたり、強い衝撃を与えないでください。
- 水にぬらさないでください。

## 知識

### 作動条件について

- 周囲の状況により作動可能距離がかわることがあります。確実に作動させるためには、車から約1mまで近づいて操作してください。
- ワイヤレスリモコンは微弱な電波を使用しています。次のような場合は、リモコンと車両間の通信をさまたげ、正常に作動しない場合があります。この場合は、メカニカルキーで操作してください。(P.119参照)
  - ・キーのバッテリー(電池)が消耗しているとき
  - ・近くにテレビ塔や発電所、放送局、空港など強い電波を発生する設備があるとき
  - ・無線機や携帯電話、コードレス式電話などの無線通信機器と一緒に携帯しているとき
  - ・リモコンが金属製のものに接したり、覆われたりしているとき
  - ・複数のリモコンが近くにあるとき
  - ・強い電波、ノイズのある場所に置いたとき
  - ・近くでワイヤレスドアロックリモコンを使用しているとき
- バックドアガラスに次のものを貼り付けると、車両後方からスイッチの操作をした場合、受信器への電波がさえぎられて受信感度が低下し、作動可能距離が短くなることがあります。
  - ・金属を含有するウインドフィルム
  - ・その他の金属物(トヨタ純正品以外のアンテナなど)
- リモコンスイッチは、キースロットにキーが挿し込まれているとき、または、いずれかのドア(バックドアを含む)が開いているときは作動しません。
-  スwitchを押して解錠操作をしたあと、約30秒以内にドアを開けなかったときは自動的に施錠されます。\*

※この機能を変更することができます。詳しくは、P.352の「ユーザーカスタマイズ」を参照してください。

### 電池交換について

リモコンスイッチを押しても作動しない場合や、著しく作動可能距離が短くなった場合、またはキー本体のLEDが暗くなったり、点灯しなくなった場合、電池の消耗が考えられます。電池を交換してください。

電池交換は、お客様自身で交換することができます(P.319参照)が、交換の際に破損などのおそれがあるため、トヨタ販売店での交換をおすすめします。

### 便利機能について

#### イルミネーテッドエントリーシステム※(P.264参照)

ドアの開閉、施錠・解錠、“パワー”スイッチの切りかえと連動して、室内の各照明が点灯・消灯します。

※この機能を変更することができます。詳しくは、P.352の「ユーザーカスタマイズ」を参照してください。

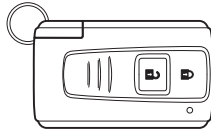
## 知識

### 航空機内へのキーの持ち込みについて

航空機にワイヤレスドアロックリモコンを持ち込む場合は、航空機内でワイヤレスドアロックリモコンのスイッチを押さないでください。また、かばんなどに保管する場合でも、簡単にスイッチが押されないように保管してください。スイッチが押されると電波が発信され、航空機の運行に支障をおよぼすおそれがあります。

### キーについて

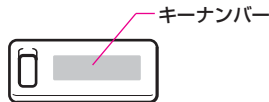
- キーはドアの施錠・解錠の他、ハイブリッドシステムの始動・停止などに使います。
- キーは2個あります。



- 盗難防止システムについてはP.296を参照してください。
- \*キーの個数は、車の仕様により異なる場合があります。

### キーナンバープレートについて

お客様以外にキーナンバーがわからないように、キーではなくプレートにキーナンバーを打刻しました。



- キーナンバープレートは車両以外の場所に大切に保管してください。
- 万一、キーを紛失した場合、キーナンバープレートに打刻されたキーナンバーと残りのキーから、トヨタ販売店でトヨタ純正品の新しいキーをつくることができます。

### 紛失について

- キーを紛失したときは、盗難・事故などを防ぐため、ただちにトヨタ販売店にご相談ください。
- キーを紛失しないように十分注意してください。キーを紛失すると、キーの作製とコンピューターの交換が必要となります。詳しくはトヨタ販売店にご相談ください。

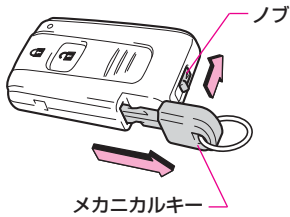
### 使用回数について

キーは、同じ車両で最大4個まで使用することができます。  
詳しくはトヨタ販売店にご相談ください。



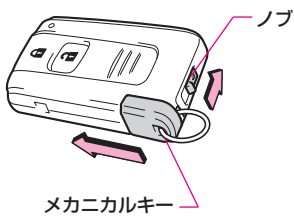
## ●メカニカルキーでの施錠・解錠のしかた

### ■メカニカルキーの取り出し方



キーのノブを矢印の方向にスライドさせたまま、メカニカルキーを取り出します。

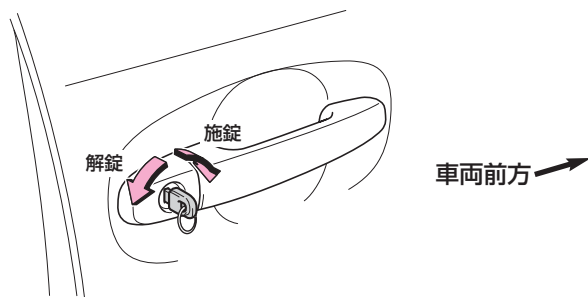
### ■メカニカルキーの格納のしかた



キーのノブを矢印の方向にスライドさせたまま、メカニカルキーを左図のように挿し込み、ノブをもどしてロックします。

## ■ ドアの施錠・解錠のしかた

### 運転席ドア



メカニカルキーを運転席ドアのキーシリンダーに挿し込み、前にまわすと施錠、うしろにまわすと解錠されます。

●施錠・解錠されるのは運転席ドアのみです。

### 知識

#### メカニカルキーについて

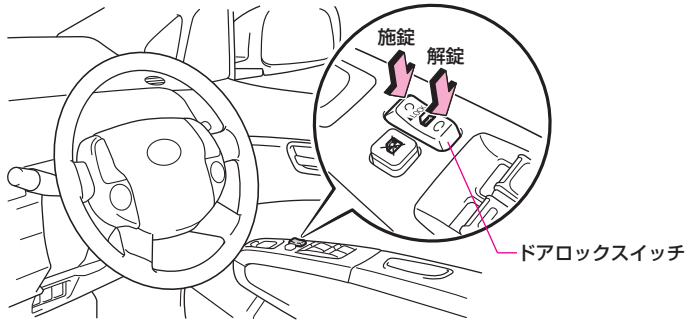
- キーの電池切れなどで、ワイヤレスドアロックリモコンの操作ができないときは、キーに内蔵されているメカニカルキーで施錠・解錠します。
- メカニカルキーを使用したあとは、なくさないようにキーに格納しておいてください。

#### ドアの施錠・解錠について

メカニカルキーを使用する方法は一時的な処置です。電池が切れたときは、ただちに電池の交換をおすすめします。(P.319参照)

## ● ドアロックスイッチでの施錠・解錠のしかた

### 運転席ドア



スイッチの前側を押すと施錠、うしろ側を押すと解錠されます。

●すべてのドア（バックドアを含む）の施錠・解錠が同時にできます。

### 知識

#### 作動条件について

- “パワー” スイッチの状態に関係なく使用できます。
- スイッチを押し続けると作動しないことがあります。いったんスイッチから指を離し、押し直してください。

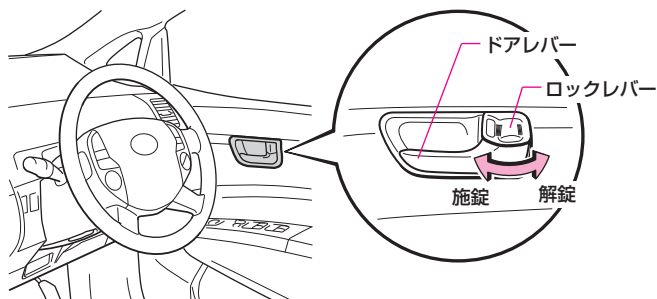
#### セキュリティ機能について

車両盗難などを防ぐため、ドアロックスイッチでの解錠作動を停止する機能です。  
（窓枠とドアガラスのすき間からドアロックスイッチを押して解錠されるのを防止します）  
以下の方法で施錠したとき自動的に機能します。

- ワイヤレスドアロックリモコンを使っての施錠（P.116参照）
- ワイヤレスドアロックリモコンによる解錠操作後のドアを開けなかったときの再施錠（P.117参照）
- ロックレバーを使っての施錠（P.122参照）

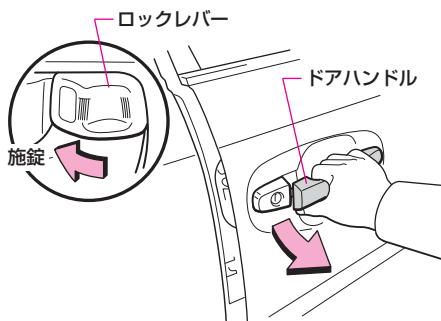
## ● ロックレバーでの施錠・解錠のしかた

### ■ 車内での施錠・解錠



ロックレバーを前方に押し込むと施錠、後方に引き出すと解錠されます。

### ■ 車外からの施錠



フロントドアはロックレバーを施錠側にして、ドアハンドルを引いたままドアを閉めます。

リヤドアはロックレバーを施錠側にしてドアを閉めます。

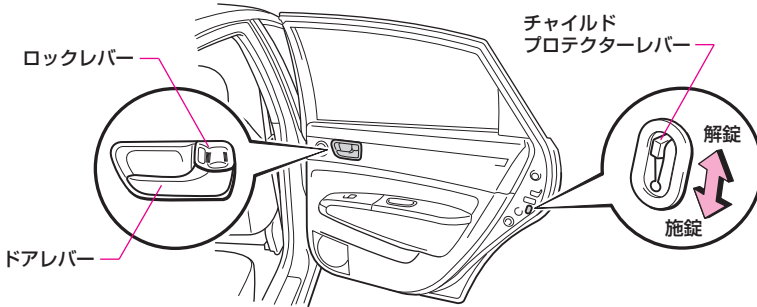
### 🎓 知識

#### 便利機能について

運転席ドアはロックレバーが施錠側になっていても、車内のドアレバーを引くとドアが開きます。

## ● チャイルドプロテクターの使い方

### リヤドア



チャイルドプロテクターレバーを施錠側にしてドアを閉めます。

●車内のドアレバーでリヤドアを開けることができなくなります。

### 知識

#### チャイルドプロテクターについて

走行中などに、お子さまが誤ってドアを開けたりしないように、ロックレバーの位置に関係なく、車内のドアレバーの操作ではリヤドアが開かないように施錠できます。

#### チャイルドプロテクターが働いているときのドアの開け方

ロックレバーを解錠状態にして、車外のドアハンドルを引いて開けます。

万一、車内から開けるときは、ドアガラスを開け、ロックレバーを解錠状態にして車外のドアハンドルを引いて開けます。



## 警告

**走行前にすべてのドアが閉まっていることを確認してください。**

- 走行前にすべてのドアが完全に閉まっていることを確認してください。  
ドアが確実に閉まっていないと、走行中にドアが突然開き、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- 走行中はドアレバーを引かないでください。ドアが開き車外に放り出されたりして、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。特に、運転席はロックレバーが施錠側になっていてもドアが開くため、注意してください。
- お子さまにドアの操作をさせないでください。
  - ・閉めるとき手・頭・首などを挟んだりして、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
  - ・走行中にドアを開け、お子さまが車外に放り出されたりして、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- 傾斜地、ドアと壁などのあいだが狭い場所、強風など周囲の状況を確認し、予期せぬ動きにも対処できるよう、ドアハンドルを確実に保持してドアを開閉してください。



## 知識

### 乗車中の施錠・解錠の効果について

乗車中の施錠・解錠については、それぞれ次のような効果がありますので参考にしてください。

#### 〈乗車中、施錠している場合〉

- 同乗者が誤ってドアを開けることを防ぎます。
- 車外からの不意の侵入者を防ぎます。
- シートベルトの着用と併せて、事故時に車外に投げ出される可能性が少なくなります。

#### 〈乗車中、解錠している場合〉

- 万一の場合に車外からの救援活動が受けやすくなります。

車から離れるときは、必ずハイブリッドシステムを停止し、施錠することが法律で義務付けられています。また、車両盗難や車内のものを盗まれるおそれがありますので、車内に貴重品などを置かないようにしてください。


**知識**
**便利機能について**
**キー抜き忘れ防止チャイム**

キースロットにキーが挿し込まれている状態で、“パワー”スイッチがアクセサリモードまたはOFFのとき、運転席ドアを開けると、キーの抜き忘れを警告するチャイムが“ピー、ピー、ピー”と鳴ります。

キーの閉じ込み防止のため、キーを持っていることを確認してから施錠してください。

**キー閉じ込み防止機能**

キースロットにキーが挿し込まれているときは、運転席ドアを開けた状態から、ドアロックスイッチやロックレバーにより施錠しようとしても施錠できません。

**イルミネーテッドエントリーシステム※ (P.264参照)**

ドアの開閉、施錠・解錠、“パワー”スイッチの切りかえと連動して、室内の各照明が点灯・消灯します。

**補機バッテリーあがり防止機能※**

キースロットにキーが挿し込まれていないとき、いずれかのドアが開いた状態で、キースロット照明、フロントパーソナルランプ・ルームランプ（それぞれスイッチの位置がDOORのとき）が約20分以上点灯し続けると、補機バッテリーあがり防止機能が働き、各ランプが自動的に消灯します。

※この機能を変更することができます。詳しくは、P.352の「ユーザーカスタマイズ」を参照してください。

目次


 警告

 基本操作  
早わかり

 運転装置の  
取り扱い

 室内装備の  
取り扱い

 安全・快適装備  
の解説と注意

 車との上手な  
付き合い方

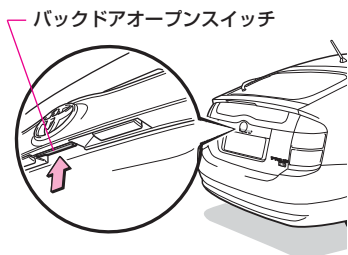
メンテナンス

万一のとき

索引

## バックドアの開閉

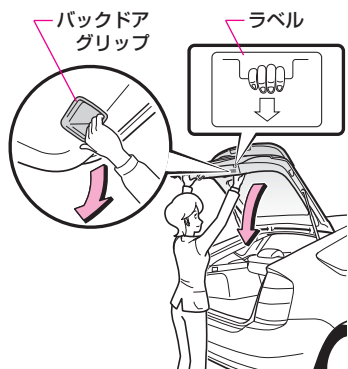
### 開けるときは



バックドアオープンスイッチを押して、バックドアを持ち上げます。

- バックドアを開けるときは、最上部まで持ち上げてください。
- バックドアが自然に降下しないことを確認してください。

### 閉めるときは



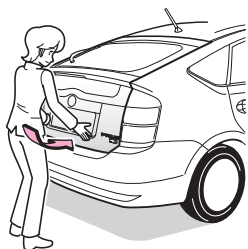
### 1 バックドアを外から押せる高さまで降ろします。

バックドアグリップを使用すると、便利です。

- バックドアグリップの位置を示すラベルが、バックドアに貼り付けられています。

### 2 バックドア下端を外から押して、ロックします。

バックドアグリップを握ったまま、直接ドアを閉めないでください。







## 警告

走行中はバックドアを閉じてください。また、ラゲージルームには絶対に人を乗せないでください。

- 走行中はバックドアを閉じてください。  
開けたまま走行すると、バックドアが車外のものにあたったり荷物が投げ出されたりして、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。  
また、排気ガスが車内に侵入し、重大な健康障害や死亡につながるおそれがあり危険です。走行する前に必ずバックドアが閉まっていることを確認してください。
- 走行前にバックドアが完全に閉まっていることを確認してください。  
バックドアが完全に閉まっていないと、走行中にバックドアが突然開き、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- ラゲージルームには絶対に人を乗せないでください。急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあり危険です。
- お子さまを乗せているときは、以下のことを必ずお守りください。お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあり危険です。
  - ・ ラゲージルームでお子さまを遊ばせないでください。誤って閉じ込められた場合、熱射病などを引き起こすおそれがあります。
  - ・ お子さまにはバックドアの開閉操作をさせないでください。不意にバックドアが作動したり、閉めるときに手・頭・首などを挟んだりするおそれがあります。

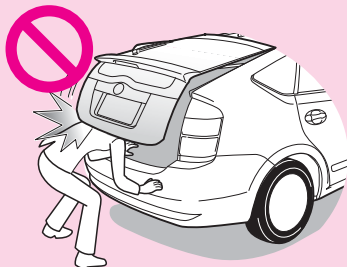


バックドアの操作にあたっては、以下のことを必ずお守りください。

バックドアの操作にあたっては、以下のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、体を挟むなどして重大な傷害につながるおそれがあり危険です。

- バックドアを開ける前に、バックドアに貼り付いた雪や氷などの重量物を取り除いてください。開いたあとに重みでバックドアが落下するおそれがあります。
- バックドアを開閉するときは、十分に周囲の安全を確かめてください。
- 人がいるときは、安全を確認し動かすことを知らせる「声かけ」をしてください。
- 強風時の開閉には十分注意してください。バックドアが風にあおられ、勢いよく開いたり閉じたりするおそれがあります。
- 半開状態で使用すると、バックドアが落ちて重大な傷害を受けるおそれがあります。特に傾斜地では、平坦な場所よりもバックドアの開閉がしにくく、急にバックドアが開いたり閉じたりするおそれがあります。必ずバックドアが全開で静止していることを確認して使用してください。



- バックドアを閉めるときは、指などを挟まないよう十分注意してください。
- バックドアは必ず外から軽く押して閉めてください。バックドアグリップで直接バックドアを閉めると、手や腕を挟むおそれがあります。
- バックドアダンパーステーを持ってバックドアを閉めたり、ぶら下がったりしないでください。手を挟んだり、バックドアダンパーステーが破損したりして、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。



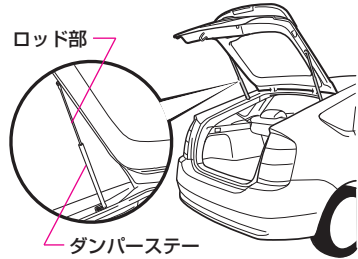
- バックドアにトヨタ純正品以外のアクセサリー用品を取り付けしないでください。バックドアの重量が重くなると、開いたあとに落ちるおそれがあります。



**注意**

バックドアにはバックドアを支えるためのダンパーステーが取り付けられています。ダンパーステーの損傷や作動不良を防ぐため、次のことをお守りください。

- ビニール片・ステッカー・粘着材などの異物をステーのロッド部（棒部）に付着させない
- ロッド部を軍手などでふれない
- バックドアにトヨタ純正品以外のアクセサリ用品を付けない
- ステーに手をかけたり、横方向に力をかけたりしない



**知識**

### 施錠・解錠について

次の方法で施錠・解錠することができます。

- 「ワイヤレスドアロックリモコンでの施錠・解錠のしかた」(P.116参照)
- 「ドアロックスイッチでの施錠・解錠のしかた」(P.121参照)

### 初期設定について

補機バッテリー交換やヒューズ交換などで、補機バッテリーとシステムの接続が断たれたときは、バックドアの初期設定をしてください。

バックドアの初期設定がされていないと、バックドアオープンスイッチでバックドアを開けることができません。

その他にも、初期設定が必要な機能があります。P.353の「初期設定が必要な機能」を参照してください。

#### ■初期設定のしかた

ドアロックスイッチの解錠側を押す (P.121参照)、またはワイヤレスドアロックで解錠操作 (P.116参照) をします。

## 知識

### 便利機能について

#### イルミネーテッドエントリーシステム\* (P.264参照)

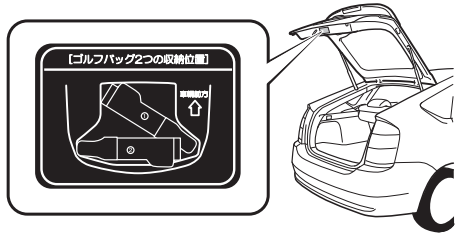
ドアの開閉、施錠・解錠、“パワー”スイッチの切りかえと連動して、室内の各照明が点灯・消灯します。

※この機能を変更することができます。詳しくは、P.352の「ユーザーカスタマイズ」を参照してください。

### ゴルフバッグの収納について

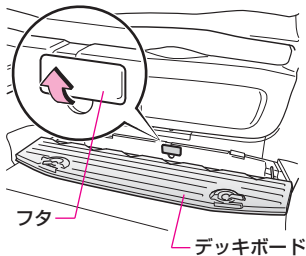
バックドアの図の位置に貼り付けられているラベルの指示に従うと、ゴルフバッグ2個をスムーズに積載することができます。

- ゴルフバッグを奥から①、②の順番で載せます。
- ゴルフバッグの大きさや形によっては、収納できない場合があります。

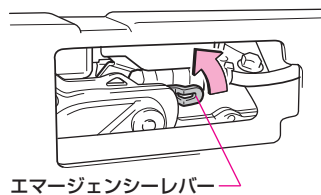


### エマージェンシーレバーについて

キーの電池切れや補機バッテリーがあがったときなど、車外からバックドアを開けられなくなったときは、エマージェンシーレバーを操作して車内からバックドアを開けることができます。



- 1 デッキボードを折りたたみ、デッキアンダートレイ (P.259参照) の側面にあるフタをはずします。



- 2 エマージェンシーレバーを引き上げ、バックドアを押し開けます。

故障しているときは、早めにプリウス取り扱いトヨタ販売店で点検を受けてください。

## ドアガラスの開閉

目次



基本操作  
早わかり

運転装置の  
取り扱い

室内装備の  
取り扱い

安全・快適装備  
の解説と注意

車との上手な  
付き合い方

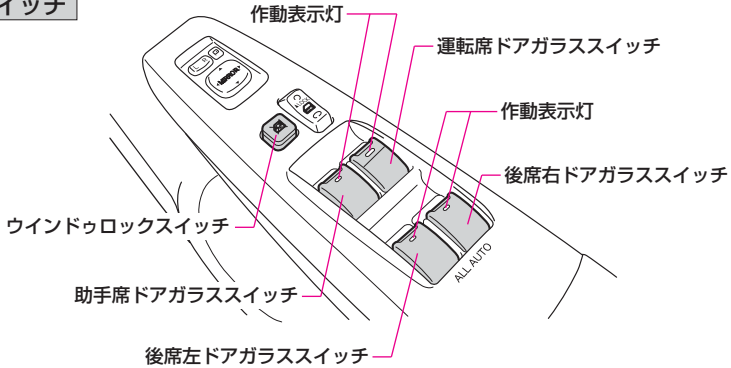
メンテナンス

万一のとき

索引

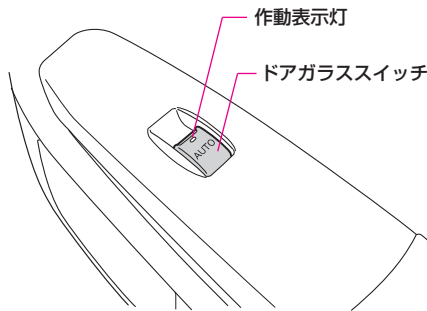
### ● パワーウィンドウの使い方

#### 運転席スイッチ



運転席スイッチでは、すべてのドアガラスの開閉が行えます。

#### 助手席スイッチ・後席スイッチ



助手席スイッチ・後席スイッチでは、自席のドアガラスの開閉が行えます。

## ■ドアガラスの開閉のしかた

スイッチを下に軽く押しているあいだは開き、上に軽く引いているあいだは閉まります。

スイッチから手を離すと、その位置で停止します。

## ■ドアガラスの自動開閉のしかた

- 全開するときには、スイッチを下に強く押して手を離します。  
途中で止めたいときは、スイッチを軽く引き上げます。
- 全閉するときには、スイッチを上にな強く引き上げて手を離します。  
途中で止めたいときは、スイッチを軽く押します。

## 知識

### 作動条件について

“パワー”スイッチがONモード、またはREADY（走行可能表示灯）が点灯しているとき使用できます。

ただし、助手席スイッチ、後席スイッチはウインドロックスイッチがON（P.134参照）になっているときは作動しません。

- “パワー”スイッチをONモード、またはハイブリッドシステムを始動すると、各スイッチの作動表示灯が点灯します。
- 各スイッチの作動表示灯が点滅しているときは、パワーウィンドウの初期設定をしてください。（次ページ参照）

### 安全機能について

#### 挟み込み防止機構

ドアガラスを閉めるときに、窓枠とドアガラスのあいだに異物の挟み込みを感知すると、ドアガラスの上昇を停止し、自動で少し開き止まります。

- 環境や走行条件により、異物を挟んだときと同じ衝撃や荷重がドアガラスに加わると、挟み込み防止機構が作動することがあります。
- ひんぱんにパワーウィンドウの開閉を繰り返すと、挟み込み防止機構が作動してしまい、ドアガラスが閉まらなくなることがあります。その場合は、パワーウィンドウの初期設定を行ってください。（次ページ参照）

### 便利機能について

#### キーOFF後作動機能

ドアガラスは、“パワー”スイッチをアクセサリモードまたはOFFにしたあとでも約45秒間は開閉することができます。ただし、約45秒間に運転席ドアを開けてからいったん閉めると、ドアガラスの開閉はできなくなります。

- キーOFF後作動が機能しているあいだは、各スイッチの作動表示灯が点灯します。

## 知識

### 初期設定について

補機バッテリー交換やヒューズ交換などで、補機バッテリーとシステムの接続が断たれたときは、パワーウィンドウの初期設定をしてください。

●パワーウィンドウの初期設定がされていないと、次の機能は作動しません。

- ・運転席スイッチでの助手席、後席ドアガラスの開閉
- ・ドアガラスの自動開閉
- ・挟み込み防止機構
- ・キーOFF後作動機能

●パワーウィンドウの初期設定がされていないドアガラスは、スイッチの作動表示灯が点滅します。

その他にも、初期設定が必要な機能があります。P.353の「初期設定が必要な機能」を参照してください。

#### ■初期設定のしかた

パワーウィンドウの初期設定は、各ドアガラスごとに、各席スイッチで行います。

運転席スイッチで助手席・後席ドアガラスのパワーウィンドウの初期設定をすることはできません。

#### 〈設定手順〉



- 1 “パワー” スイッチをONモードにします。
- 2 スイッチを下に押し続け、半分くらいまでドアガラスを開けます。
- 3 スイッチを上を引き続け、ドアガラスを全閉します。  
全閉後、約1秒間スイッチを上を引き続けてください。

パワーウィンドウの初期設定が完了すると、スイッチの作動表示灯が点滅から点灯にかわります。

## ● ウインドゥロックスイッチの使い方

ウインドゥロックスイッチを押すごとに、ONとOFFに切りかわります。スイッチをONにすると、運転席ドアガラス以外のパワーウインドゥは作動しません。

- スイッチをONにすると、運転席ドアガラススイッチ以外のドアガラススイッチの作動表示灯が消灯します。

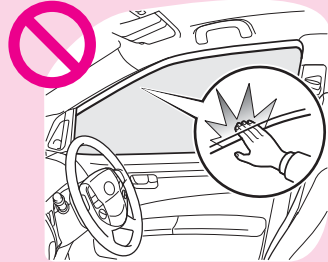
ウインドゥロックスイッチ	運転席スイッチ	助手席スイッチ・後席スイッチ
ON 	運転席ドアガラスの開閉ができます。	開閉できません。
OFF 	すべてのドアガラスの開閉ができます。	開閉できます。



**警告**

走行中は窓から手や顔を出さないでください。また、ドアガラスを開閉するときは手・腕・頭・首などを挟まないようにしてください。

- 走行中は窓から手や顔を出さないでください。車外のものなどにあたり、急ブレーキをかけたときなどに、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- ドアガラスを開閉するときは、他の人の手・腕・頭・首などを挟まないように注意してください。特にお子さまへは手などを出さないよう声かけをしてください。お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- お子さまにドアガラスの操作をさせないでください。開けるとときや閉めるとき手・腕・頭・首などを挟んだり巻き込まれたりして、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- ドアガラスを確実に閉めるため、閉じ切り直前の部分では挟み込みを感知していない領域があります。指などを挟まないように注意してください。重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- 挟み込み防止機構は、スイッチを強く引き続けた状態では作動しません。指などを挟まないように注意してください。重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- 挟み込み防止機構を故意に作動させるため、手などを挟んだりしないでください。重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- 万一、挟み込み防止機構が作動してしまい、ドアガラスを自動で閉めることができないときは、スイッチを引き続けると、閉めることができます。



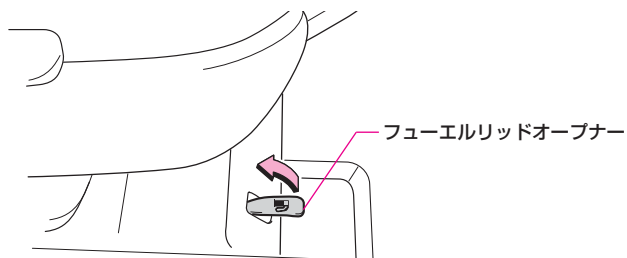
**注意**


運転席スイッチと他のドアのスイッチを同時に逆方向に動かさないでください。パワーウィンドウの故障の原因になります。

- 運転席スイッチと他のドアのスイッチを同時に逆方向に動かさないでください。パワーウィンドウの故障の原因になります。
- ドアガラスの全開、全閉後に同じ方向にスイッチを押し続けしないでください。パワーウィンドウの故障の原因になります。

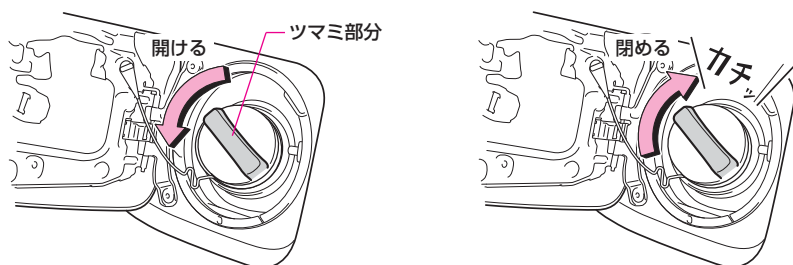
## フューエルリッド（燃料補給口）の開閉

### ● フューエルリッドの開閉のしかた



運転席右下にあるフューエルリッドオープナー（）を引くと開きます。閉めるときは、フューエルリッドを手で“カチッ”と音がするところまで閉めます。

### ● フューエルキャップの開閉のしかた



キャップのツマミ部分を持ち、左にまわして開けます。閉めるときは、キャップのツマミ部分を持ち、“カチッ”と音がするまで右にまわして閉めます。

**警告****燃料補給時には、次のことを必ずお守りください。**

- 燃料補給時には、次のことを必ずお守りください。お守りいただかないと、燃料に引火してやけどなどの重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
  - ・ハイブリッドシステムは必ず停止してください。
  - ・車のドア、窓は閉めてください。
  - ・タバコなど火気を近付けしないでください。
  - ・フューエルリッド、フューエルキャップを開けるなど給油操作を行う前に、車体などの金属部分にふれて体の静電気除去を行ってください。体に静電気を帯びていると、放電による火花で燃料に引火する場合があります、やけどをするおそれがあります。
  - ・フューエルキャップを開ける場合は、必ずキャップのツマミ部分を持ち、ゆっくりと開けてください。  
気温が高いときなどに、燃料タンク内の圧力が高くなっていると、給油口から燃料が吹き返すおそれがあります。  
フューエルキャップを少しゆるめたときに“シュー”という音がある場合は、それ以上開けないでください。その音が止まってからゆっくり開けてください。
  - ・給油中、再び車内のシートにもどったり、帯電している人やものにふれないでください。（再帯電することがあります）
  - ・給油口には静電気除去を行った方以外を近付けしないでください。
  - ・給油するときは給油口にノズルを確実に挿入してください。ノズルを浮かして継ぎ足し給油を行うと、オートストップが作動せず、燃料がこぼれる場合があります。
  - ・給油終了後、フューエルキャップを閉める場合、“カチッ”と一度音がするまで右にまわしてください。手を離すと若干もどります。
  - ・車に合ったトヨタ純正のフューエルキャップ以外は使用しないでください。
  - ・その他、ガソリンスタンド内に掲示されている注意事項を守ってください。正常に給油できない場合は、スタンドの係員を呼んで指示に従ってください。
- 給油時に、気化した燃料を吸わないようにしてください。燃料の成分には、有害物質を含んでいるものもありますのでご注意ください。

**注意****指定以外の燃料を使用しないでください。**

- 指定燃料は無鉛レギュラーガソリンです。給油時に指定されている燃料であることを確認してください。
- 指定以外の燃料（粗悪ガソリン・軽油・灯油・アルコール系燃料など）を使用すると、エンジンの始動性が悪くなったり、ノッキングが発生したり、出力が低下する場合があります。また、そのまま使うとエンジンの故障や燃料系部品の損傷による燃料もれなどの原因となるおそれがありますので、指定燃料以外は使用しないでください。
- 給油中に燃料を車にこぼさないようにしてください。塗装面を侵すおそれがあります。
- フューエルリッド（燃料補給口）を開けた状態で、給油口付近に水をかけないでください。

## 知識

### フューエルリッドの位置について

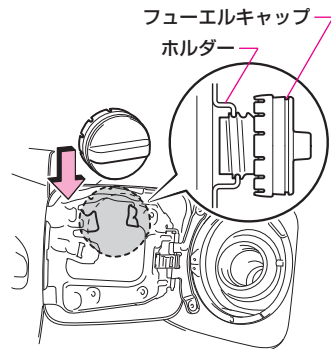
フューエルリッド（燃料補給口）は車両助手席側後方にあります。

### 燃料タンク容量について

燃料タンク容量は約45 Lです。

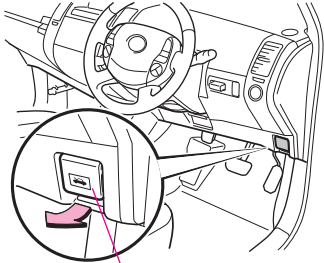
### フューエルキャップホルダーについて

燃料補給時に、はずしたフューエルキャップを、フューエルリッドの裏側にあるホルダーにかけることができます。



## ボンネットの開閉

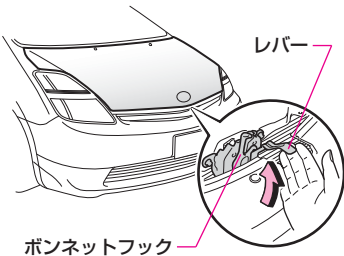
### 開け方



ボンネットオープナー

#### 1 ボンネットオープナーを引きます。

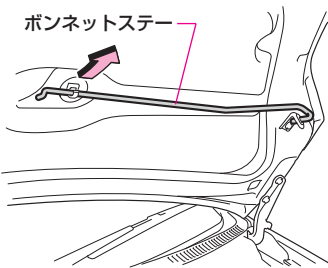
運転席インストルメントパネル右下にあるボンネットオープナーを引くと、ボンネットが少し浮き上がります。



ボンネットフック

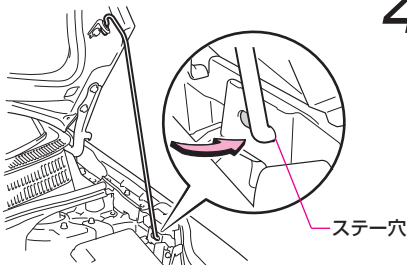
#### 2 ボンネットフックをはずします。

ボンネットのすき間に手を入れ、レバーを押し上げ、ボンネットフックをはずして持ち上げます。



ボンネットステー

#### 3 ボンネットステーを取りはずします。



ステー穴

#### 4 ボンネットステーを挿し込みます。

ボンネットステーをステー穴に挿し込んでボンネットを支えます。

目次

警告

基本操作

運転装置の  
取り扱いは

室内装備の  
取り扱いは

安全・快適装備  
の解説と注意

車との上手な  
付き合い方

メンテナンス

万一のとき

索引

## 閉め方

### 1 ボンネットステーをはずし、固定します。

ステー穴からボンネットステーをはずし、もとどおりに固定します。

### 2 ボンネットを閉めます。

ボンネットを約20cm～25cmの位置から静かに落として閉めます。

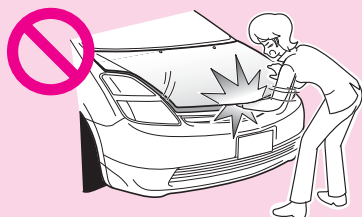
### 3 ロックされていることを確認します。

ボンネットの前端を上下にゆすり、確実にロックされていることを確認します。



走行中にはボンネットがロックされていることを確認してください。ボンネットを閉めるときは、手などを挟まないように注意してください。思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

- ボンネットがしっかりロックされていることを確認してください。ロックせずに走行すると、走行中にボンネットが突然開いて、死亡事故や重大な傷害を受けるおそれがあります。
- ボンネットを閉めるときは、手などを挟まないように注意してください。重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

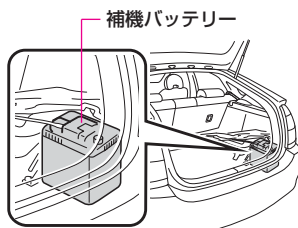


ボンネットを閉めるときは、体重をかけるなどして強く押さないでください。ボンネットがへこむおそれがあります。

## 知識

### 補機バッテリーについて

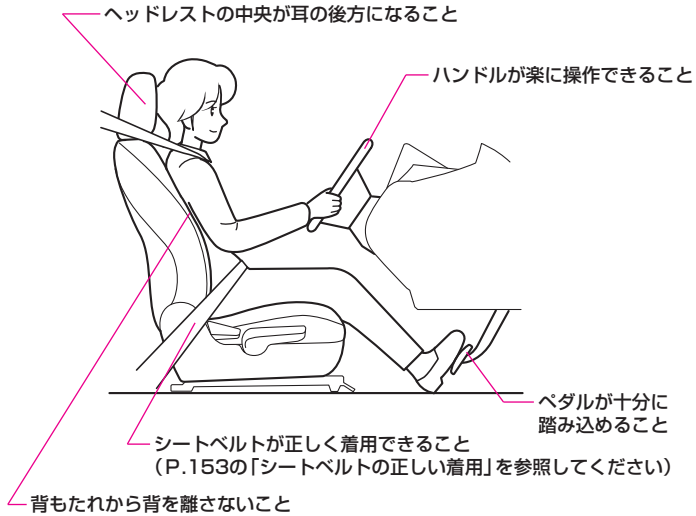
この車の補機バッテリーは、ラゲージルーム下部（運転席側）のカバー内にあり、エンジンルームには搭載されていません。



# シートの調整

## 正しい運転姿勢

正しい運転姿勢がとれるように、次の事項に注意してシートを調整します。



**警告**

走行中は運転席シートの調整をしないでください。

- 走行中は運転席シートの調整をしないでください。調整中にシートが突然動き運転を誤り、思わぬ事故の原因となって、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- シートを調整したあとは、シートを軽く前後にゆさぶり確実に固定されていることを確認してください。固定されていないとシートが動き、思わぬ事故の原因となって、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- フロントシートの下にもものを置かないでください。ものが挟まってシートが固定されず、思わぬ事故の原因となるおそれがあり危険です。また、ロック機構の故障の原因になります。
- 背もたれと背中にあいだにクッション（座布団）などを入れないでください。正しい運転姿勢がとれないばかりか、衝突したときシートベルトやヘッドレストの効果が十分に発揮されず、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

目次



警告

基本操作

運転装置の取り扱い

室内装備の取り扱い

安全・快適装備の解説と注意

車との上手な付き合い方

メンテナンス

万一のとき

索引

**警告****SRSサイドエアバッグ・SRSカーテンシールドエアバッグ装着車は、必ず次のことをお守りください。**

- SRSサイドエアバッグ・SRSカーテンシールドエアバッグ装着車は、必ず次のことをお守りください。お守りいただかないと、SRSサイドエアバッグが正常に作動しなくなったり、誤ってふくらみ重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
  - ・ フロントシートにこの車専用のトヨタ純正用品（シートカバーなど）以外のものを取り付けしないでください。この車専用のトヨタ純正用品以外のものがSRSサイドエアバッグ展開部を覆うと、SRSサイドエアバッグの正常な作動のさまたげとなります。なお、トヨタ純正シートカバーなどを装着するときには、商品に付属の取扱書をよくお読みになり、正しく取り付けてください。
  - ・ フロントシートの表皮の張りかえやフロントシートの取りはずし・取り付け・分解・修理などが必要なときは、必ずプリウス取り扱いトヨタ販売店にご相談ください。また、フロントシートの改造はしないでください。
  - ・ フロントシート側面などSRSサイドエアバッグ展開部は、強くたたくなど過度の力を加えないでください。  
SRSサイドエアバッグが正常に作動しなくなるなどして、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

**注意****シートを調整するときは同乗者や荷物などまわりの状況に注意してください。**

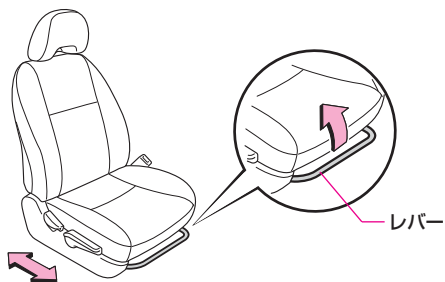
- シートを調整するときは、同乗者や荷物にあてないように注意してください。同乗者がけがをしたり、荷物をこわしたりするおそれがあります。
- シートを調整しているときは、シートの下や動いている部分の近くに手を近づけないでください。指や手を挟み、けがをするおそれがあります。
- 車内を清掃するときやシートの下に落としたものを拾うときなどは、シートの下に手を入れると、シートレール・シートフレーム（シートの土台部分）などにあたり、けがをするおそれがありますので十分に注意して行ってください。



## シートの調整

### ● 前後位置調整のしかた

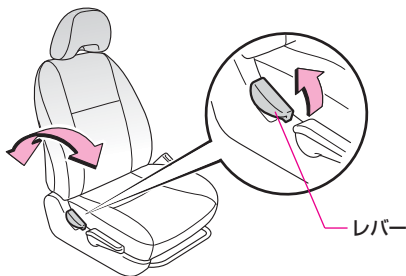
#### フロントシート



レバーを引いたまま、シートを前後に動かして調整します。

### ● リクライニング調整のしかた

#### フロントシート



レバーを引いたまま、背もたれを前後に動かして調整します。

目次

警告

基本操作  
早わかり運転装置の  
取り扱い室内装備の  
取り扱い安全・快適装備  
の解説と注意車との上手な  
付き合い方

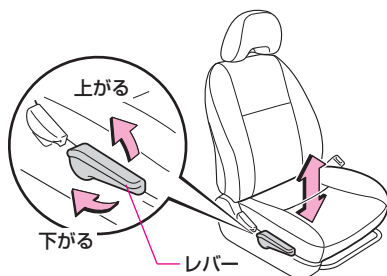
メンテナンス

万一のとき

索引

## ● 上下調整のしかた

### 運転席シート



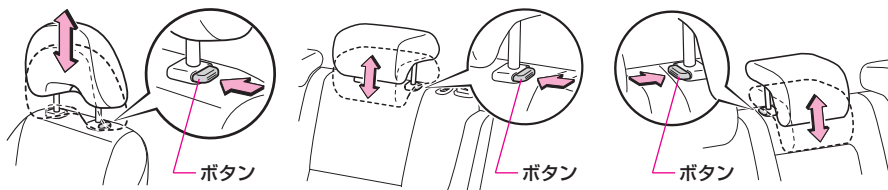
レバーを上または下に動かすごとに、シート全体の高さかわります。

## ● ヘッドレストの上下位置調整のしかた

### フロントシート

### リヤシート左右席

### リヤシート中央席



- 上げるときは、そのまま引き上げます。
- 下げるときは、ボタンを押したまま押し下げます。
- 取りはずすときは、ボタンを押したまま引き抜きます。  
リヤシート左右席のヘッドレストを取りはずすときは、リヤシートを前に倒して取りはずします。(P.151参照)

**警告****助手席や後席に荷物を積み重ねないでください。**

- 助手席や後席に荷物を積み重ねないでください。急ブレーキをかけたときや車が旋回しているときなどに荷物が飛び出して、乗員にあたり、荷物を損傷したり、荷物に気をとられたりして、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 走行中、シート以外の場所への乗車や車内の移動はしないでください。急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに体が飛ばされ、頭などを強く打ち、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- ヘッドレストをはずしたまま走行しないでください。衝突したときなどに、首に大きな衝撃が加わり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
  - ・ フロントシートのヘッドレストは、ヘッドレストの中央が耳の後方になるように高さを調整してください。
  - ・ リヤシートのヘッドレストは、常に格納位置（ヘッドレストが最も下がった位置）から“カチッ”と音がするまで上げた位置にしてください。また、ヘッドレストを押し下げ、確実に固定されていることを確認してください。
- ヘッドレストは、それぞれのシート専用です。取り付けるときは、“カチッ”と音がして固定されたことを確認してください。ヘッドレストを間違えて取り付けると、固定することができず、衝突したときなどに重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

**注意****背もたれをもどすときは、背もたれを押さえながらリクライニングレバーを操作してください。**

- 背もたれをもどすときは、背もたれを押さえながらリクライニングレバーを操作してください。背もたれを押さえずにレバーを操作すると、背もたれが急にもどり、けがをするおそれがあります。
- 背もたれにもたれかかったままリクライニング調整をしないでください。背もたれに力が加わっていると、レバー操作が重かったり、突然背もたれが倒れるおそれがあります。

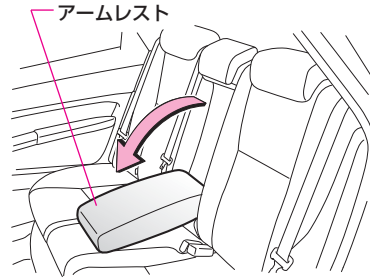
## 知識

### 便利機能について

#### アームレスト

リヤシート中央席の背もたれ部分を手前に倒すと、アームレストとして使用できます。

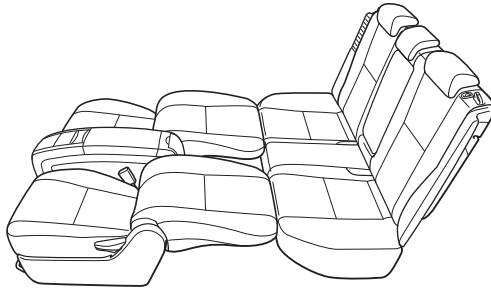
●使用しないときは、シートへ格納してください。



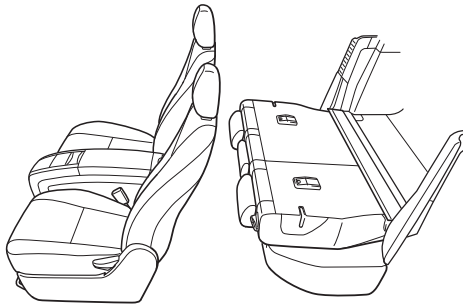
# シートアレンジ

## インデックス

この車のシートは、状況に応じて次のようなアレンジができます。  
シートアレンジは、それぞれの説明ページをよくお読みになってから行ってください。



フロントフラットシートの作り方 ..... P.149



リヤシート前倒しのしかた ..... P.151

目次

警告

基本操作  
早わかり

運転装置の  
取り扱い

室内装備の  
取り扱い

安全・快適装備  
の解説と注意

車との上手な  
付き合い方

メンテナンス

万一のとき

索引

## ● シートアレンジをする前に

車両を安全で平坦な場所に駐車し、パーキングブレーキを確実にかけます。



### 警告

シートアレンジをするときは、必ず平坦な場所でパーキングブレーキを確実にかけ、シフトポジションをPにしてください。

- シートアレンジをするときは、必ず平坦な場所でパーキングブレーキを確実にかけ、シフトポジションをPにしてください。不整地や傾斜地では操作中に不意にシートが動き、手足などを挟まれ、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- 走行中はシートアレンジ操作をしないでください。  
ブレーキをかけたときや衝突したときなどに、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- シートアレンジをしたあとは、シートを軽くゆさぶり確実に固定されていることを確認してください。固定されていないと走行中にシートが動き、思わぬ事故の原因となって、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。



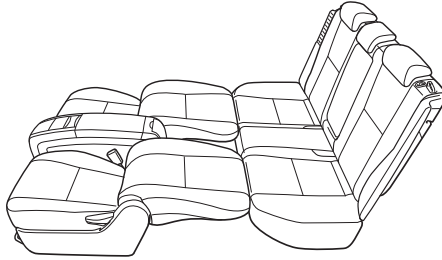
### 注意

シートを操作するときは同乗者や荷物などまわりの状況に注意してください。

- シートを操作するときは、同乗者や荷物にあてないように注意してください。同乗者がけがをしたり、荷物をこわしたりするおそれがあります。
- シートを操作しているときは、シートの下や動いている部分の近くに手や足を近付けないでください。指や手・足を挟み、けがをするおそれがあります。

## フロントフラットシートのつくり方

フロントシートとリヤシートを組み合わせることで、フラット（平ら）な空間をつくることができます。



### ● フラットにするときは

**1** フロントシートのヘッドレストをはずします。(P.144参照)

**2** フロントシートの前後位置をいちばん前にしてから、背もたれをうしろに倒します。(P.143参照)

### ● もとにもどすときは

逆の手順で行います。

- 背もたれをもどすときは、背もたれを手で押さえながらレバーを操作します。レバー操作だけでは、背もたれがもどらないことがあります。その場合、背もたれを手で持ち上げてください。

目次

警告

基本操作  
早わかり運転装置の  
取り扱い室内装備の  
取り扱い安全・快適装備  
の解説と注意車との上手な  
付き合い方

メンテナンス

万一のとき

索引



**シートをフラットにした状態で人や荷物をのせて走行しないでください。**

- シートをフラットにした状態で人や荷物をのせて走行しないでください。ブレーキをかけたときや衝突したときなどに、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- シートをフラットにしたとき、またはもとにもどしたときは、シートを軽く前後にゆさぶり、確実に固定されていることを確認してください。固定されていないと走行中にシートが動き、思わぬ事故の原因となって、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。



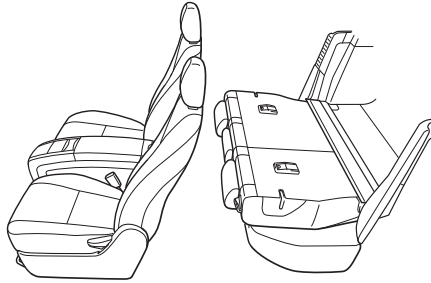
**シートをフラットにした状態でシートの上を走りまわらないでください。**

- シートをフラットにした状態でシートの上を走りまわらないでください。また、シートの上を移動するときは、シートの中央を踏んでゆっくりと移動してください。シートを踏みはずしたり、シートのあいだに足を挟むなどして、けがをするおそれがあります。
- シートに人が乗っている状態ではフラット操作をしないでください。シートがあたるなどしてけがをするおそれがあります。
- 背もたれをもどすときは、背もたれを押さえながらリクライニングレバーを操作してください。背もたれを押さえずにレバーを操作すると、背もたれが急にもどり、けがをするおそれがあります。



## リヤシート前倒しのしかた

リヤシートを前倒しすることで、大きな荷物を積むことが可能になります。左右に分割されているシートを、それぞれ独立して倒すことができます。



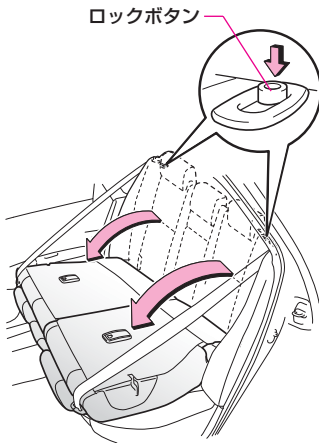
### ● 前倒しするときは

**1** リヤシートのヘッドレストをいちばん下まで下げます。(P.144参照)

**2** 背もたれを倒します。

背もたれのロックボタンを押してロックをはずし、背もたれを前に倒します。

●ロックをはずすと、ボタンのまわりの赤ラベルが見えます。



目次

警告

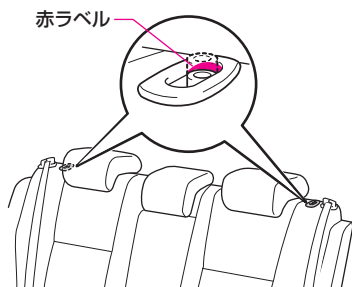
基本操作  
早わかり運転装置の  
取り扱い室内装備の  
取り扱い安全・快適装備  
の解説と注意車との上手な  
付き合い方

メンテナンス

万一のとき

索引

## ● もともにもどすときは



背もたれを起こして固定します。

背もたれを軽くゆさぶり、確実に固定されていることを確認します。

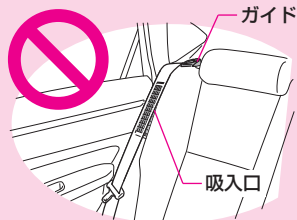
- 背もたれが固定されていないときは、ボタンのまわりの赤ラベルが見えます。赤ラベルが見えていないことを確認してください。



**警告**

**倒した背もたれの上やラゲージルームに人を乗せて走行しないでください。**

- 倒した背もたれの上やラゲージルームに人を乗せて走行しないでください。急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- リヤシートを前倒したときは、お子さまがラゲージルームに入らないように注意してください。ボディの突起にあたるなどして、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- 背もたれをもともにもどしたときは、軽く前後にゆさぶり確実に固定されていることを確認してください。固定されていないと急ブレーキ時などに背もたれが倒れたり、ラゲージルーム内のものが飛び出すなど、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- リヤシートを操作するときは、シートベルトを挟み込まないようにしてください。シートベルトが傷付くおそれがあり、傷付いたまま使用すると、衝突したときなどにシートベルトが十分な効果を発揮せず、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- 運転席側のリヤシート横に駆動用電池冷却用の吸入口があります。この吸入口をシートベルトでふさがないようにしてください。シートベルトはリヤシート上部のガイドにセットして使用してください。吸入口がふさがれると、駆動用電池が過熱してハイブリッドシステムの出力低下につながるおそれがあります。



# シートベルトの着用

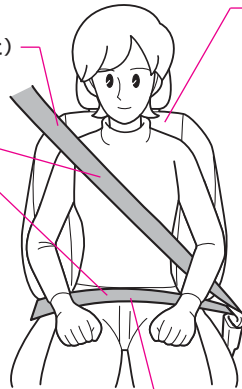
## シートベルトの正しい着用

シートベルトは正しく着用しないと効果が半減したり、危険な場合があります。次の使用方法に従って走行前に運転者は必ず着用し、同乗者にも必ず着用させてください。

肩部ベルト

肩に十分かけること  
(首にかかったり肩からはずれないこと)

ねじれていないこと



背もたれを調整し、上体を起こし  
深く腰かけて座ること

腰部ベルト

必ず腰骨のできるだけ低い位置に  
密着させること



**必ずシートベルトを着用してください。また、着用するときは必ず次のことをお守りください。**

- 車に乗る場合は、全員がシートベルトを着用してください。ベルトを着用しないと、急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに体がシートに保持されず、体をぶつけたり、ふくらむSRSエアバッグに飛ばされたり、車外に投げ出されたりして、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- シートベルトを着用するときは、必ず次のことをお守りください。お守りいただかないと、衝突したときなどにシートベルトが十分な効果を発揮せず、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
  - ・シートベルトは上体を起こして、シートに深く腰かけた状態で着用してください。正しい姿勢についてはP.141を参照してください。
  - ・肩部ベルトは、首にかかったり脇の下を通したりして着用しないでください。必ず肩に十分かかるように着用してください。
  - ・腰部ベルトは、必ず腰骨のできるだけ低い位置に密着させて着用してください。シートベルトの腰部ベルトが腰骨からずれていると衝突したとき、腹部などに強い圧迫を受けるおそれがあります。
  - ・シートベルトはねじれがないように着用してください。ねじれていると衝突したときなどに衝撃力を十分に分散させることができません。
  - ・シートベルトは1人用です。2人以上で1本のベルトを使用しないでください。

目次



基本操作

運転装置の  
取り扱い

室内装備の  
取り扱い

安全・快適装備  
の解説と注意

車との上手な  
付き合い方

メンテナンス

万のとき

索引



**警告**

**必ずシートベルトを着用してください。また、着用するときは必ず次のことをご守りください。**

- ・リヤ左右席シートベルトを使用するときは、シートベルトをリヤシート上部のガイドにセットして使用してください。
- ・シートベルトを着用する場合は、洗たくばさみやクリップなどでたるみをつけないでください。
- ・シートの背もたれを必要以上に倒して走行しないでください。衝突したときなどに体がシートベルトの下にもぐり、腹部などに強い圧迫を受けるおそれがあります。
- ・ハンドルやインストルメントパネルに必要以上に近付いて運転しないでください。
- シートベルトやプレートシートをシートやドアに挟まないようにしてください。シートベルトが傷付いた場合、十分な効果を発揮せず、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- お子さまにもシートベルトを必ず着用させてください。  
ひざの上でお子さまを抱いていると、急ブレーキや衝突したときなどに支えきれず、お子さまが放り出されたりして、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- 妊娠中の女性も必ずシートベルトを正しく着用してください。  
(ただし、医師に注意事項をご確認ください)
  - ・妊娠中のシートベルトの着用については、基本的に通常着用するときと同様ですが、腰部ベルトが腰骨のできるだけ低い位置にかかるようにお腹のふくらみの下に着用するようにしてください。また、肩部ベルトは確実に肩を通しお腹のふくらみを避けて胸部にかかるように着用してください。
- ・ベルトを正しく着用していないと、急ブレーキをかけたときや衝突したときなどにベルトがお腹のふくらみに食い込むなどして、母体だけでなく胎児までが重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。



- 疾患のある方も必ずシートベルトを正しく着用してください。  
(ただし、医師に注意事項をご確認ください)



**必ずシートベルトを着用してください。また、着用するときは必ず次のことをお守りください。**

- シートベルトが首やあごにあたり、腰骨にかからないよう小さなお子さまには、チャイルドシート・ジュニアシートを使用してください。使用しない場合、衝突したときなどに強い圧迫を受け、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。また、ひとり座りのできない小さなお子さまはベビーシートを使用してください。なお、子供専用シートについてはトヨタ販売店にご相談ください。
- シートベルトのバックルには異物が入らないようにしてください。異物が入るとプレートがバックルに完全にはまらない場合があり、衝突したときなどにシートベルトが十分な効果を発揮せず、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- ほつれ・すりきれができたり、正常に作動しなくなったシートベルトはすぐにトヨタ純正の新品と交換してください。また、事故により強い衝撃を受けたり、傷の付いたシートベルトは使用しないですぐに新品と交換してください。そのまま使用すると衝突したときなどに正常に働かず、シートベルトが十分な効果を発揮せず、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- シートベルトの改造や分解・取り付け・取りはずしなどをしないでください。衝突したときなどにシートベルトが十分な効果を発揮せず、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。  
シートベルトの取り付け・取りはずし、交換についてはプリウス取り扱いトヨタ販売店にご相談ください。
- シートベルトの清掃にベンジンやガソリンなどの有機溶剤を使用しないでください。また、ベルトを漂白したり、染めたりしないでください。シートベルトの性能が落ち、衝突したときなどにシートベルトが十分な効果を発揮せず、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。清掃するときは中性洗剤かぬるま湯を使用し、乾くまでシートベルトを使用しないでください。

目次

警告

基本  
操作運  
転  
装  
置  
の  
取  
扱  
い室  
内  
装  
備  
の  
取  
扱  
い安  
全  
・  
快  
適  
装  
備  
の  
解  
説  
と  
注  
意車  
と  
の  
上  
手  
な  
付  
き  
合  
い  
方メン  
テナ  
ンス万  
一  
の  
と  
き索  
引

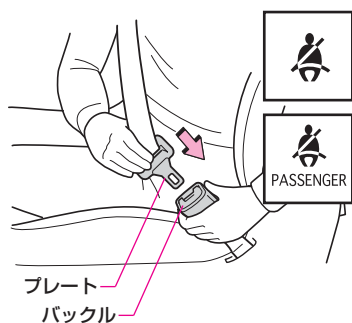
## シートベルトの着用のしかた



### 1 シートベルトを引き出します。

プレートを持って引き出し、ねじれていないことを確認してください。

シートベルトがロックしたまま引き出せないときは、一度ベルトを強く引いてからベルトをゆるめ、再度ゆっくりと引き出します。

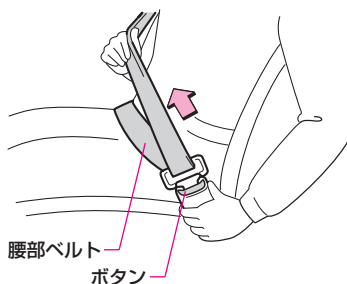


### 2 プレートをバックルに挿し込みます。

プレートを“カチッ”と音がするまでバックルに挿し込みます。

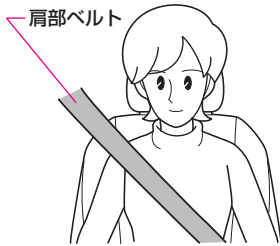
“パワー”スイッチがONモード、またはREADY（走行可能表示灯）が点灯している状態のときは、メーター内のシートベルト非着用警告灯（P.224、225参照）が消灯したことを確認してください。

（フロントシートベルト着用時のみ）



### 3 腰部ベルトを密着させます。

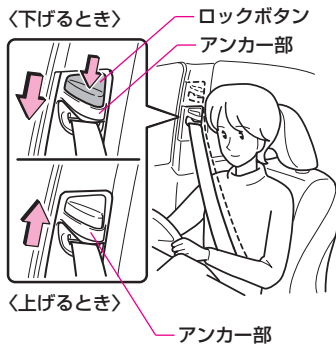
腰部ベルトは必ず腰骨のできるだけ低い位置にかかるとし、肩部ベルトを引き、腰部に密着させます。



## 4 肩部ベルトをかけます。

肩部ベルトは、必ず肩に十分かかるようにします。

このとき、ベルトが首にあたりたり、肩からはずれないようにしてください。



## 5 フロントシート

ベルトの高さを調整します。

アジャスタブルショルダーベルトアンカーで、ベルトの高さを調整します。

調整するときは、ベルトができるだけ肩の中央にかかるようにしてください。

- 下げるときは、ロックボタンを押したままアンカー部を動かし、最適な位置に調整します。

- 上げるときは、アンカー部を持ち、そのまま動かします。

“カチッ”と音がし、確実に固定されていることを確認します。

## 6 はずすときは、バックルのボタンを押してはずします。



**警告**

ショルダーベルトアンカーを調整するときは、次のことをお守りください。お守りいただかないと、衝突したときなどにシートベルトが十分な効果を発揮せず、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- シートベルトが首にあたらないように、また肩の中央に十分かかるようにできるだけ高い位置に調整してください。

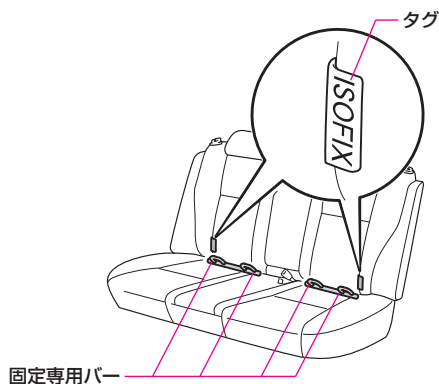
- 調整したあとは、確実に固定されていることを確認してください。

# チャイルドシートの固定

## ISOFIX対応チャイルドシート固定専用バー & トップテザーアンカーでの固定

リヤシート左右席

### ● ISOFIX対応チャイルドシート固定専用バーの取り付け位置

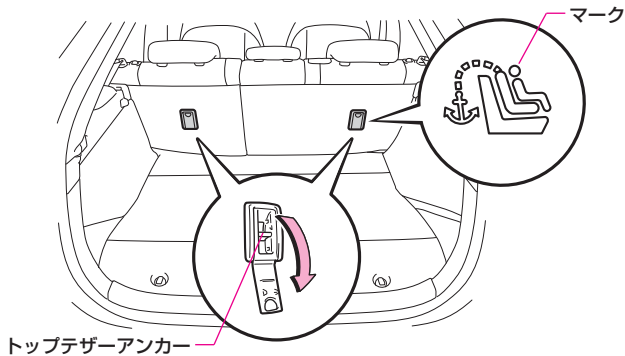


シートクッションと背もたれのあいだにあります。

- 固定専用バーが装備されていることを示すタグ（表面「ISOFIX」・裏面「LATCH」）が、シートに付いています。



## ● トップテザーアンカーの取り付け位置



リヤシート背もたれのうしろ側にあります。

- フタの表面にトップテザーアンカーが装備されていることを示すマークがあります。

## ● 取り付けるときは

- 1 トノカバー装着車は、トノカバーを取りはずします。(P.260参照)
- 2 ISOFIX対応チャイルドシート固定専用バー & トップテザーアンカーの位置を確認します。
- 3 ヘッドレストを止まる位置まで引き上げます。(P.144参照)

## 4 子供専用シートをリヤシートに取り付けます。

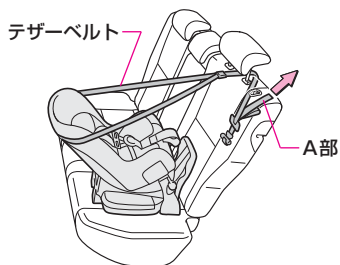
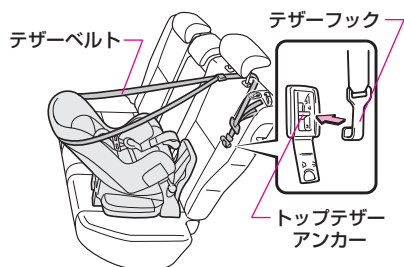
適合する子供専用シートの取り付け金具を I S O F I X 対応チャイルドシート固定専用バー & トップテザーアンカーに連結して取り付けます。

\*取り付け方法および取りはずし方は、それぞれの商品に付属の取り扱い説明書をお読みください。

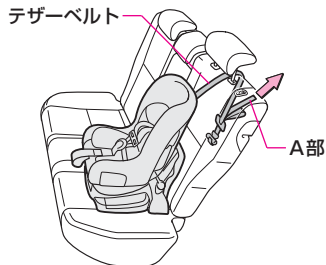
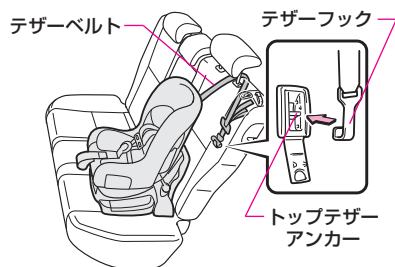
- テザーベルトがねじれないようにヘッドレストのあいだに通し、テザーフックをリヤシート背もたれのうしろ側にあるトップテザーアンカーにかけます。
- テザーベルトがピンと張るまで A 部を強く引っ張って、子供専用シートを固定します。

### ■子供専用シートの取り付け例

#### ベビーシート



#### チャイルドシート



\*イラストは説明のための例であり、実際の子供専用シートの形状とは異なります。

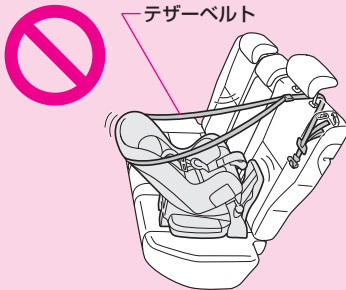
## 5 確実に固定されていることを確認します。

取り付けた子供専用シートを軽くゆさぶり、確実に固定されていることを確認します。

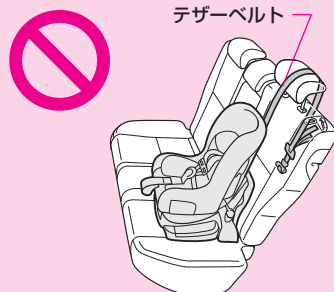
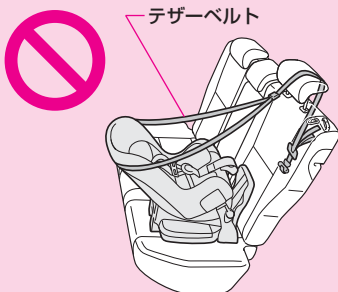


**子供専用シートの取り付けは、必ず商品に付属の取り扱い説明書をよくお読みの上、正しく取り付けてください。**

- 正しく取り付けられていないと、急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに飛ばされるなどして、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。なお、子供専用シートによっては、取り付けができない、または取り付けが困難な場合があります。
- 子供専用シートが固定されていることを必ず確認してください。子供専用シートを取り付けるときは、ISO FIX対応チャイルドシート固定専用バー & トップテザーアンカー周辺に異物がないこと、シートベルトなどのかみ込みがないことを確認してください。異物やシートベルトなどをかみ込むと、子供専用シートが固定されず、衝突したときなどに飛ばされて、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- 子供専用シートを取り付けるときは、必ずテザーベルトがピンと張るまで張力をかけてください。テザーベルトが正しく張っていないと、衝突したときなどに重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。



- テザーベルトは必ずヘッドレストの下へ通してください。ヘッドレストの上にかけて、子供専用シートがしっかり固定されず、衝突したときなどに重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。



目次



基本操作  
早わかり

運転装置の  
取り扱

室内装備の  
取り扱い

安全・快適装備  
の解説と注意

車との上手な  
付き合い方

メンテナンス

万一のとき

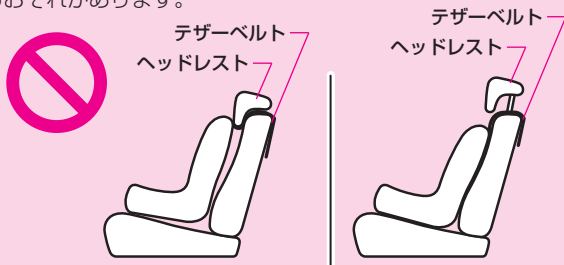
索引



**警告**

**トップテザーアンカーで子供専用シートを固定するときは、次のことをご守りください。**

- ヘッドレストを引き上げてトップテザーアンカーに固定したあとに、ヘッドレストを下げないでください。ヘッドレストを下げると、テザーベルトがヘッドレストにあたってたるみ、衝突したときなどに子供専用シートが動いて重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。



- 子供専用シートの取り扱いについては、以下のことをご守りください。お守りいただかないと、急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに飛ばされるなどして、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
  - ・車両に子供専用シートを搭載するときは、適切な方法で確実にシートに取り付けてください。子供専用シートを使用しない場合でも、シートにしっかり固定されていない状態で、客室内に置くことは避けてください。
  - ・子供専用シートの取りはずしが必要な場合は、車両から降ろして保管するかラゲージルーム内に収納し、しっかりと固定しておいてください。



**知識**

### ISO\*FIX対応チャイルドシート固定専用バー & トップテザーアンカーについて

このISO\*FIX対応チャイルドシート固定専用バー & トップテザーアンカーには、プリウス指定の道路運送車両の保安基準に適合する、ISO\*FIX対応チャイルドシート固定専用バー & トップテザーアンカー対応のトヨタ純正子供専用シートを取り付けることができます。お子さまに最適な子供専用シートについては、トヨタ販売店にご相談ください。

※ISOは、International Organization for Standardization の略で「国際標準化機構」の意味。

## シートベルトでの固定

リヤシート左右席

### ● チャイルドシート固定機構の使い方



#### 1 シートベルトを取り付けます。

子供専用シート（チャイルドシート・ベビーシート）にシートベルトを取り付け、プレートをバックルに“カチッ”と音がするまで挿し込みます。

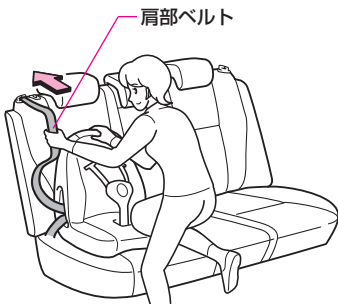
- 取り付け方法は、それぞれの商品に付属の取り扱い説明書をお読みください。



#### 2 肩部ベルトを引き出します。

肩部ベルトを止まるまでゆっくりと最後までいっぱい引き出します。

- 巻き取る方向のみ作動（ロックモード）します。



#### 3 肩部ベルトを巻き取らせませす。

子供専用シートに体重をかけて、リヤシートに押さえ付けながら、ベルトのたるみがなくなるまで肩部ベルトを巻き取らせませす。

- ベルトが引き出し方向に動かないことを確認します。

\* イラストは説明のための例であり、実際の子供専用シートの形状とは異なります。

目次

警告

基本操作  
早わかり

運転装置の  
取り扱い

室内装備の  
取り扱い

安全・快適装備  
の解説と注意

車との上手な  
付き合い方

メンテナンス

万一のとき

索引

## 4 確実に固定されていることを確認します。

子供専用シートを軽くゆさぶり、確実に固定されていることを確認します。

## ● チャイルドシート固定機構の解除

バックルをはずしてベルトをいっぱいまで巻き取らせると、チャイルドシート固定機構が解除されます。



子供専用シートの取り付けは、必ず商品に付属の取り扱い説明書をよくお読みの上、正しく取り付けてください。

- 正しく取り付けられていないと、急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに飛ばされるなどして、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。なお、子供専用シートによっては、取り付けができない、または取り付けが困難な場合があります。
- お子さまをチャイルドシート固定機構付シートベルトで遊ばせないでください。お子さまがシートベルトで遊んで誤って作動させ、万一、ベルトが首に巻き付いた場合、ベルトを引き出すことができなくなり、窒息など重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。万一、誤ってそのような状態になってしまい、バックルもはずせない場合は、ハサミなどでシートベルトを切断してください。
- 子供専用シートの取り扱いについては、以下のことをお守りください。お守りいただかないと、急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに飛ばされるなどして、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
  - ・車両に子供専用シートを搭載するときは、適切な方法で確実にシートに取り付けてください。子供専用シートを使用しない場合でも、シートにしっかりと固定されていない状態で、客室内に置くことは避けてください。
  - ・子供専用シートの取りはずしが必要な場合は、車両から降ろして保管するカラゲージルーム内に収納し、しっかりと固定しておいてください。



 知識

チャイルドシート固定機構付シートベルトについて

- 左右席のリヤシートベルトには、チャイルドシート固定機構付シートベルトが組み込まれています。引き出し方向にベルトが動かないようにできるため、子供専用シートの取り付け時に便利です。
- シートベルトを着用した状態で上体の大きな動きをしたときに、チャイルドシート固定機構が作動する場合があります。その場合、一度バックルをはずし、ベルトをいっぱいまで巻き取らせてチャイルドシート固定機構を解除してから、再度シートベルトを着用してください。

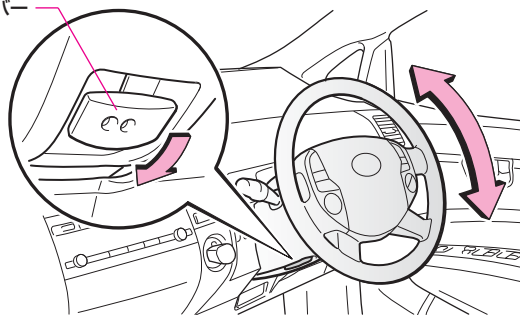
道路運送車両の保安基準に適合する I S O F I X 対応チャイルドシート固定専用バー & トップテザーアンカー対応のトヨタ純正子供専用シートは、I S O F I X 対応チャイルドシート固定専用バー & トップテザーアンカーで固定し、この車のシートベルトでは固定しないでください。

(I S O F I X 対応チャイルドシート固定専用バー & トップテザーアンカーについては、P.158の「I S O F I X 対応チャイルドシート固定専用バー & トップテザーアンカーでの固定」を参照してください)

# ハンドル、ミラーの調整

## ハンドルの調整

チルトステアリングレバー



チルトステアリングレバーを押し下げ、ハンドルを上下に動かし適切な位置にして、チルトステアリングレバーを引き上げると固定されます。



**警告**

走行中はハンドル位置の調整をしないでください。

- 走行中はハンドル位置の調整をしないでください。調整中に運転を誤り、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- ハンドル位置を調整したあとは、確実に固定されていることを確認してください。固定が不十分だとハンドル位置が突然かわり、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。



**注意**

ハンドル位置を調整したあとは、確実に固定されていることを確認してください。確実に固定されていないと、ホーンが鳴らない場合があります。



**知識**

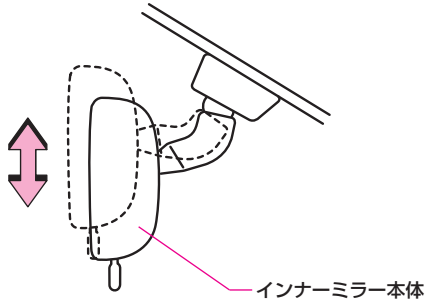
### パワーステアリングモーターの作動音について

ハンドル操作を行ったとき、モーターの音（“ウィーン” という音）が聞こえることがあります。これは、パワーステアリングモーターが作動しているときの音で異常ではありません。



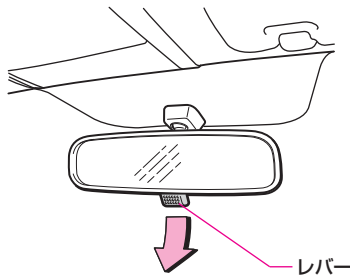
## インナーミラーの調整

### ● 上下位置調整のしかた



インナーミラー本体を持って、上下方向に調整します。

### ● 防眩切りかえのしかた



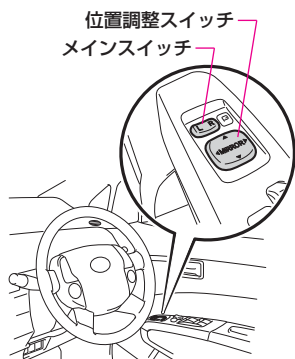
通常はミラー下側のレバーを前方に押した状態で使用します。  
後続車のヘッドランプがまぶしいときは、レバーを手前に引きます。



走行中はインナーミラーの調整をしないでください。運転を誤り思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

## ドアミラーの調整

### ● 鏡面角度調整のしかた



**1** メインスイッチを調整する側に押します。

R…右側ドアミラー  
L…左側ドアミラー

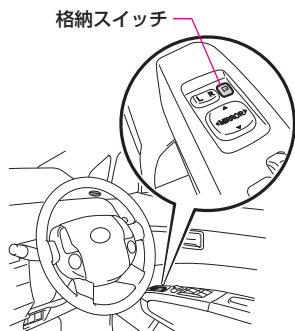
**2** 角度を調整します。

位置調整スイッチでドアミラーの角度を調整します。

**3** メインスイッチを中立にします。

調整したあとは、メインスイッチを中立の位置にもどします。

### ● 格納・復帰のしかた



	スイッチの状態	ミラーの状態
ON (格納)		
OFF (復帰)		

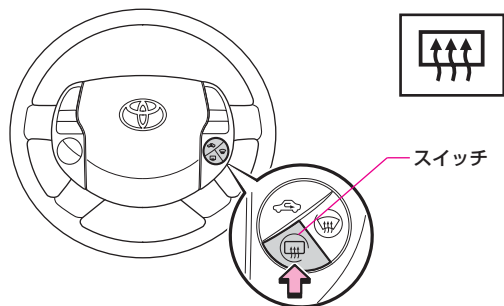
格納スイッチを押すごとに、ON（格納）とOFF（復帰）に切りかわります。  
“パワー”スイッチがOFFのときは、手で格納・復帰することもできます。

 知識

作動条件について

- “パワー”スイッチがアクセサリモード、ONモード、または READY（走行可能表示灯）が点灯しているとき使用できます。
- ドアミラー格納：復帰作動中に、“パワー”スイッチをOFFにすると格納・復帰作動が停止します。
- 次の場合は、ドアミラーを手で格納・復帰してもドアミラーは格納スイッチの状態にもどります。
  - ・ “パワー”スイッチがアクセサリモード、ONモード、または READY（走行可能表示灯）が点灯しているとき
  - ・ 手で操作したあとに “パワー”スイッチをアクセサリモード、ONモード、またはハイブリッドシステムを始動したとき
- 格納スイッチがOFF（復帰）の状態、手でドアミラーを前方に倒したときは、“パワー”スイッチをアクセサリモード、ONモード、またはハイブリッドシステムを始動してもドアミラーは復帰しません。一度格納スイッチをON（格納）にしてから、再度格納スイッチをOFFにして復帰させてください。

## ● ミラーヒーターの使い方★



スイッチを押すと約15分間作動し、作動中にもう一度押すと停止します。

- 作動中はメーター内のリヤウインドウデフォグガー表示灯（P.215参照）が点灯します。

### 知識

#### ミラーヒーターについて

- ドアミラーの鏡面を暖めて、霜・露・雨滴などを取り除きます。
- リヤウインドウデフォグガーも同時に作動します。

#### 作動条件について

“パワー”スイッチがONモード、またはREADY（走行可能表示灯）が点灯しているとき使用できます。

#### エアコン操作画面での操作

ディスプレイにエアコン操作画面を表示させて操作することもできます。詳しくは、別冊の「エレクトロマルチビジョン取扱書」または「HDDナビゲーションシステム取扱書」をご覧ください。



**警告**

**走行中はドアミラーの調整をしないでください。**

- 走行中はドアミラーの調整をしないでください。運転を誤り思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- ドアミラーを倒したまま走行しないでください。ドアミラーによる後方確認ができず、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- ミラーヒーター作動中はドアミラーの表面が熱くなりますので、手をふれないでください。やけどをするおそれがあり危険です。(ミラーヒーター装着車)



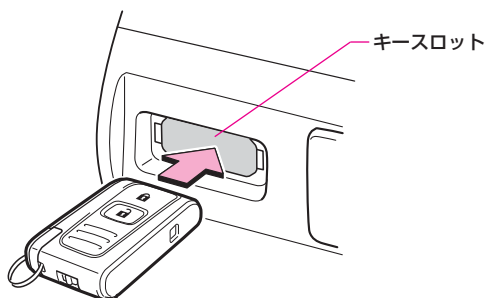
**注意**

**ドアミラーが動いているときは手をふれたりしないでください。**

- ドアミラーが動いているときは手をふれたりしないでください。手を挟んでけがをしたり、ドアミラーの故障などの原因になるおそれがあります。
- ミラーヒーターを連続して長時間使用すると、補機バッテリーあがりの原因となります。(ミラーヒーター装着車)

# ハイブリッドシステムの始動方法

## キーの出し入れ



キースロットにキーを挿し込みます。

取り出すときは、キー本体を持って手前に引き抜きます。



**注意**

キーを挿入するときは、奥まで確実に挿入してください。

- キーを挿入するときは、奥まで確実に挿入してください。
- キーを勢いよく挿入したり、逆向きに挿入しないでください。故障の原因となります。
- キースロットに正規のキー以外は挿入しないでください。
- 油や水などが付着したキーを挿入しないでください。故障の原因となります。その場合は油や水をよく拭き取ってから挿入してください。
- キー本体に損傷（傷や割れ）や汚れなどがある場合、キーを挿入しないでください。故障の原因となります。
- シールなどを貼ったキーを挿入しないでください。スロット内部ではがれたりして、故障の原因となります。
- キーを取り出すときは、キーがバネで押し出されますので、キーの飛び出しに注意してください。
- キーを取り出すときは、キーリング部を引っ張らないでください。故障の原因となります。
- キーがロックされているときは、無理にキーを引き抜かないでください。故障の原因となります。
- キースロット開口部を油などの付いた手でさわらないでください。
- キースロット開口部に指や異物を挿入しないでください。けがをしたり、故障の原因となります。
- キースロット開口部に飲料水などをこぼさないようご注意ください。万一こぼしたあと、異常を感じたら、すみやかにプリウス取り扱いトヨタ販売店に連絡してください。

## 知識

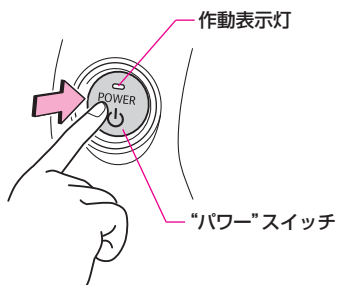
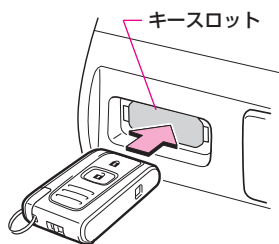
### キーを取り出すときは

- “パワー” スイッチがアクセサリーモードまたはOFFのとき、キーを取り出すことができます。
- “パワー” スイッチがアクセサリーモードのときキーを取り出すと、自動的に “パワー” スイッチがOFFになります。

### キーロックについて

- “パワー” スイッチがONモード、または READY（走行可能表示灯）が点灯しているときは、キーがロックされ、キーを取り出すことはできません。
- キーロック中にキーを引くと、キーが数mm手前にスライドします。この状態で “パワー” スイッチをアクセサリーモードまたはOFFにしても、キーは取り出せません。その場合は、もう一度キーを奥まで確実に挿し込んでください。キーロックが解除され、キーを取り出すことができます。

## “パワー”（イグニッション）スイッチの切りかえ方



**1** 運転席に座り、キーをキースロットに挿し込みます。

**2** ブレーキペダルを踏まずに、“パワー”スイッチを押します。

スイッチを押すごとに、

OFF⇒アクセサリモード⇒ON  
モード⇒OFF…

の順に切りかわります。

- 作動表示灯の色でスイッチの状態を確認します。
- ONモード⇒OFFは車両が停止しているときに切りかわります。
- スwitchを早く押すと、切りかわらないことがあります。目的の状態になるまで、1回ごと確実に押してください。

“パワー”スイッチの状態	作動表示灯	各状態の働き
OFF	消灯	<b>走行不可</b> すべての電装品が作動を停止しています。
アクセサリモード	点灯 (緑)	<b>走行不可</b> オーディオなどの電装品が使用できます。
ONモード	点灯 (橙)	<b>走行不可</b> すべての電装品が使用できます。

→ はブレーキペダルを踏まずに、“パワー”スイッチを押します。

-→ は車両が完全に停止した状態で、“パワー”スイッチを押します。



**注意**

ⓐポジション制御システムが故障すると、“パワー”スイッチをOFFにできなくなることがあります。

- ⓐポジション制御システムが故障すると、“パワー”スイッチをOFFにできなくなることがあります。このときはパーキングブレーキを作動させると、OFFにすることができます。すみやかにプリウス取り扱いトヨタ販売店に連絡してください。
- “パワー”スイッチをアクセサリモードまたはONモードのまま長時間放置すると、補機バッテリーあがりの原因となります。
- 車幅灯が点灯しても、パワースイッチ照明が点灯しないときは、プリウス取り扱いトヨタ販売店で点検を受けてください。

**知識****“パワー”スイッチについて**

- “パワー”スイッチを操作するときは、奥まで確実に押ししてください。
- “パワー”スイッチを早押しした場合、切りかわらないことがあります。

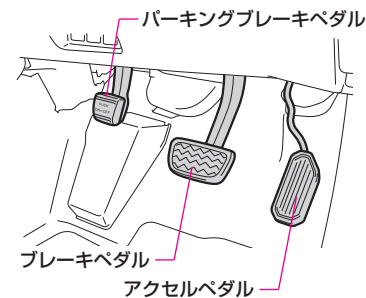
**盗難防止システムについて**

盗難防止システムにより“パワー”スイッチが切りかわらないことがあります。(P.296参照)

**便利機能****オートOFF機能**

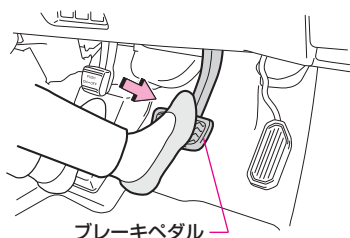
“パワー”スイッチがアクセサリモードのまま約1時間放置すると、補機バッテリーあがり防止のために、自動的にOFFになります。

## ● ハイブリッドシステム始動のしかた

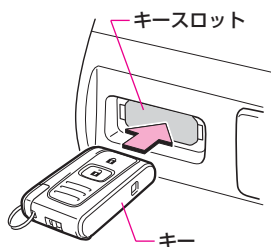


**1** ペダルの位置を確認します。

正しい運転姿勢 (P.141 参照) がとれるようにシートの位置を調整し、ペダルの各位置を確認します。



**2** ブレーキペダルを踏みながら、パーキングブレーキがかかっていることを確認します。



**3** キーをキースロットに挿し込みます。



## 4 ブレーキペダルをしっかりと踏みながら、“パワー”スイッチを押します。

- スイッチの作動表示灯が橙色に点灯し、その後、消灯します。
- メーター内の READY（走行可能表示灯）が点滅から点灯に変わると同時に、“ピッピッ”と音がすれば、ハイブリッドシステムは正常に始動しています。
- シフトポジションが **N** ではハイブリッドシステムは始動できません。必ず **P** にしてから始動させてください。
- 完全にハイブリッドシステムが始動するまでブレーキペダルを踏み続けてください。
- どのスイッチの状態からでも始動することができます。
- READY（走行可能表示灯）が点灯していれば、ガソリンエンジンが始動していなくても走行できます。
- 車両状態に応じて、ガソリンエンジンは自動的に始動・停止します。

---

## ● ハイブリッドシステム停止のしかた

- 1 車両を完全に停止させます。
- 2 パーキングブレーキをかけます。(P.204参照)
- 3 “パワー” スイッチを押します。
  - スイッチがOFFになります。
  - 自動でシフトポジションがPになります。
- 4 ブレーキペダルから、ゆっくり足を離した状態にして、“パワー” スイッチの作動表示灯が消灯していることを確認します。

**警告****車外からのハイブリッドシステムの始動は絶対に行わないでください。**

- 車外からのハイブリッドシステムの始動は絶対に行わないでください。思わぬ事故につながるおそれがあり危険ですので、必ず運転席に座って行ってください。
- 走行中は、“パワー”スイッチにさわらないでください。誤ってスイッチを押し続け、ハイブリッドシステムが停止すると、ブレーキの効きが悪くなったり、ハンドルが非常に重くなったりして、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- 車を少し移動させるときも、必ず READY（走行可能表示灯）が点灯した状態にしてください。READY が点灯していない状態で、坂道を利用して車を動かすと、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

**注意****“パワー”スイッチの作動表示灯が橙色に点滅しているときは、システムの異常が考えられます。**

- “パワー”スイッチの作動表示灯が橙色に点滅しているときは、システムの異常が考えられます。いったんスイッチをOFFにすると、ハイブリッドシステムを再始動できなくなることがありますので、すみやかにプリウス取り扱いトヨタ販売店に連絡してください。
- “パワー”スイッチに引っかかりがあるときは使用をやめ、すみやかにプリウス取り扱いトヨタ販売店に連絡してください。
- “パワー”スイッチを油などの付いた手でさわらないようにしてください。
- “パワー”スイッチに飲料水などをこぼさないよう注意してください。万一こぼしたあと、異常を感じたら、すみやかにプリウス取り扱いトヨタ販売店に連絡してください。
- 炎天下で長時間車両を放置すると、“パワー”スイッチの表面が熱くなっている場合があります。やけどをしないよう気を付けてください。

## 知識

### “パワー”スイッチについて

- “パワー”スイッチを操作するときは、奥まで確実に押してください。
- “パワー”スイッチを早押しした場合、ハイブリッドシステムが始動・停止しないことがあります。

### ハイブリッドシステムについて

- 外気温が低いときには、ハイブリッドシステム始動時に、READY（走行可能表示灯）の点滅時間が長くなることがあります。READYが点灯すれば走行可能になりますので、点灯するまでそのままお待ちください。
- 補機バッテリーを再接続したときなどに、“パワー”スイッチを一度押すだけではハイブリッドシステムが始動しないことがあります。その場合は、再度スイッチを押してください。

### 高電圧リレーの音について

ハイブリッドシステム始動時および停止時に、駆動用電池付近から“コトン”、“カチッ”などの音が聞こえることがあります。これは高電圧リレーの音で、異常ではありません。

### ハイブリッドシステムの緊急停止について

走行中、“パワー”スイッチを約3秒以上押し続けると、ハイブリッドシステムを停止することができます。緊急時以外は走行中にハイブリッドシステムを停止しないでください。

- スイッチはアクセサリーモード、シフトポジションはNになります。
- キーを取り出すときは車両を完全に停止させ、シフトポジションをPにし、“パワー”スイッチを押して、OFFにしてから取り出してください。
- この状態ではオートOFF機能は作動しません。(P.175参照)

### 盗難防止システムについて

盗難防止システムにより、ハイブリッドシステムが始動しないことがあります。(P.296参照)

EV※ドライブモードへの切りかえ方 **HYBRID**

目次

警告

基本操作

運転装置の

室内装備の

安全・快適装備の解説と注意

車との上手な付き合い方

メンテナンス

万 one のとき

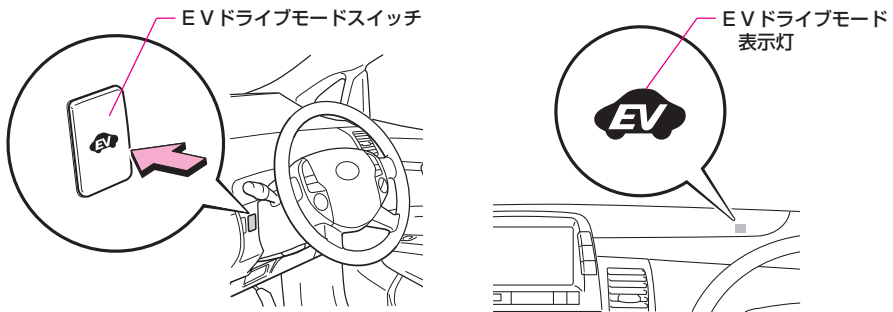
索引

## ● EVドライブモードについて

EVドライブモードは、駆動用電池に蓄えられた電気を使って電気モーターを駆動し、「電気自動車」のように走行するモードです。

早朝、深夜の住宅街、または屋内の駐車場などで、騒音や排気ガスを気にすることなく走行することができます。

## ● EVドライブモードへの切りかえ方



EVドライブモードスイッチを押します。

- EVドライブモードになると、EVドライブモード表示灯が点灯し、ディスプレイに車両情報画面が表示されます。
- EVドライブモードのときスイッチを押すと、通常走行（ガソリンエンジンと電気モーターによる走行）にもどります。



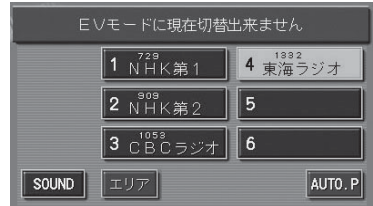
EVドライブモードで走行するときは、エンジン音がしないため、特に周囲の状況に注意して運転してください。

※ EVとは、Electric Vehicleの略で「電気自動車」の意味。

### E Vドライブモードの切りかえについて

車両の状態によっては、E Vドライブモードに切りかわらない場合があります。E Vドライブモードに切りかわらないときは、ディスプレイにメッセージが表示され、ブザーが鳴ります。次のときはE Vドライブモードに切りかわらない場合があります。

- ハイブリッドシステムが高温のとき  
(車両を炎天下に放置したあとや登降坂、高速走行後など)
- ハイブリッドシステムが低温のとき  
(約0℃を下まわるような低温に長時間放置したあとなど)
- ガソリンエンジン暖機運転中
- 駆動用電池の充電量が3レベル以下のとき
- 車速が約55km/h以上のとき
- アクセルペダルを大きく踏み込んだときや坂道など
- デフロスターを使用しているとき



メッセージ画面  
(HDDナビゲーションシステム非装着車)



メッセージ画面  
(HDDナビゲーションシステム装着車)

### エンジンが冷えているときのE Vドライブモードの切りかえについて

早朝などエンジンが冷えているときは、READY (走行可能表示灯) 点灯後約10秒でエンジンが始動し、暖気運転を行います。暖気運転中はE Vドライブモードを使用することはできません。(エンジンが始動するまでの時間は気温や駆動用電池の充電量、エアコン等の状態によって異なります)

エンジンが始動する前にE Vドライブモードスイッチを押してください。



## 知識

### E Vドライブモードの自動キャンセルについて

E Vドライブモードで走行中、自動的に通常走行（ガソリンエンジンと電気モーターによる走行）になることがあります。自動でE Vドライブモードから通常走行になると、ブザーが鳴り、E Vドライブモード表示灯が3回点滅後、消灯します。

次のときは自動でE Vドライブモードがキャンセルされる場合があります。

- 駆動用電池の充電量が2レベルまで低下したとき
- 車速が約55km/hをこえたとき
- アクセルペダルを大きく踏み込んだときや坂道など

### E Vドライブモードの走行可能距離について

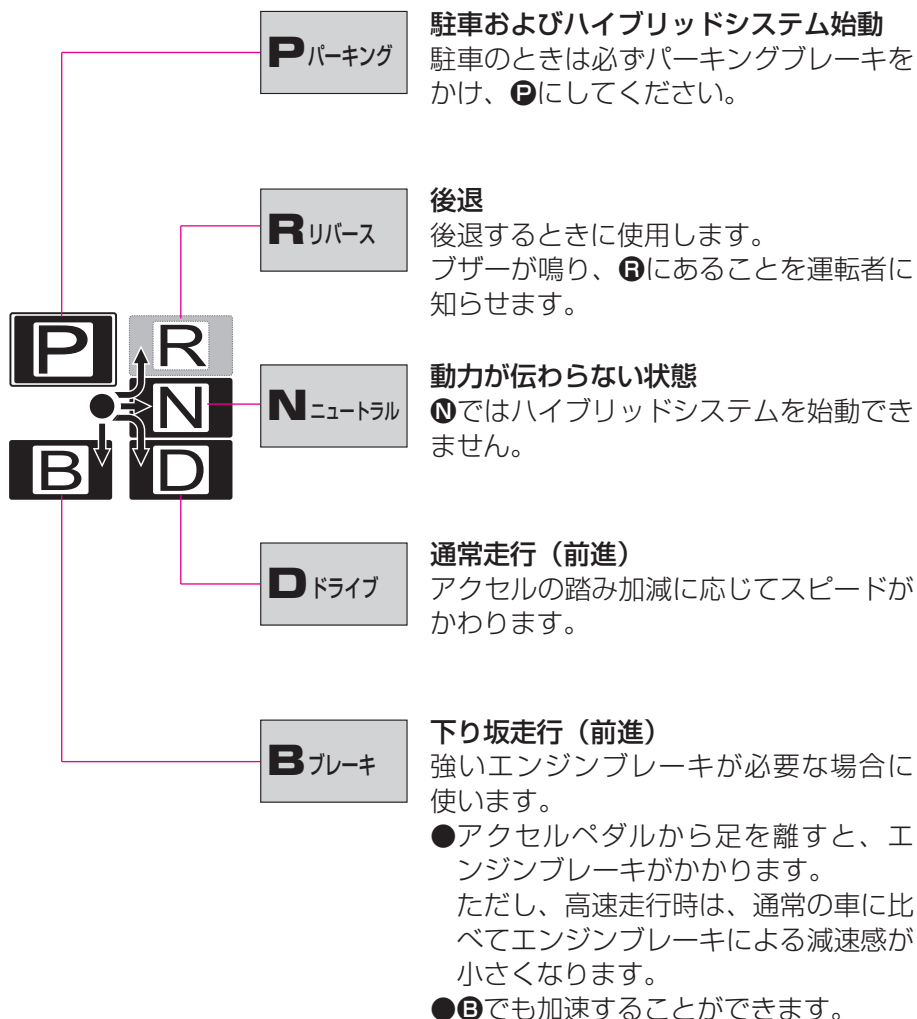
E Vドライブモードの走行可能距離は、車速約55km/h以下で、数百mから約2km程度です。（走行可能距離は、走行状態や駆動用電池の充電量により異なります）

### 燃費について

プリウスは通常走行（ガソリンエンジンと電気モーターによる走行）において、最も燃費が良くなるように制御されていますので、E Vドライブモードを多用すると、燃費が悪くなる場合があります。

# シフトレバーの使い方

## 各シフトポジションの働き





駐車時は、必ずパーキングブレーキをかけ、シフトポジションをP<sup>Ⓟ</sup>にしてください。

メーター内の READY（走行可能表示灯）が点灯した状態にしておくと、万一シフトポジションがP<sup>Ⓟ</sup>・N<sup>Ⓝ</sup>以外のおとき、クリーブ現象で車がひとりでに動き出したり、誤ってアクセルペダルを踏み込んだおとき急発進し、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

また、この車両はハイブリッドシステムが始動し走行可能な状態（READY が点灯している状態）になっおてもエンジン音や振動がない場合があるため、駐車時は必ずパーキングブレーキをかけ、シフトポジションをP<sup>Ⓟ</sup>にしてください。



シフトポジションがN<sup>Ⓝ</sup>では、ガソリンエンジンが回転しているおても駆動用電池は充電されないので、N<sup>Ⓝ</sup>で長時間放置すると、駆動用電池がバッテリーあがりをおこし、走行不能になるおそれがあります。

## 知識

### エンジンブレーキについて

この車両のエンジンブレーキは、減速力を得るためだけでなく、「回生ブレーキ」として駆動用電池の充電も行っていきます。（P.269参照）

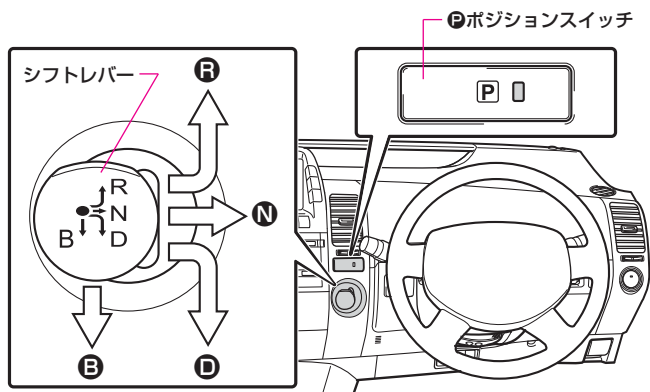
### 補機バッテリーがあがったおときは

補機バッテリーがあがったおときは、シフトポジションがP<sup>Ⓟ</sup>から切りかわらないおことがあります。P.374「補機バッテリーがあがったおときは」を参照して処置を行ってください。

## シフトポジションの切りかえ方

### ●シフトポジションを切りかえるときは

シフトポジションを切りかえるときは、シフトレバーおよび**P**ポジションスイッチを操作します。



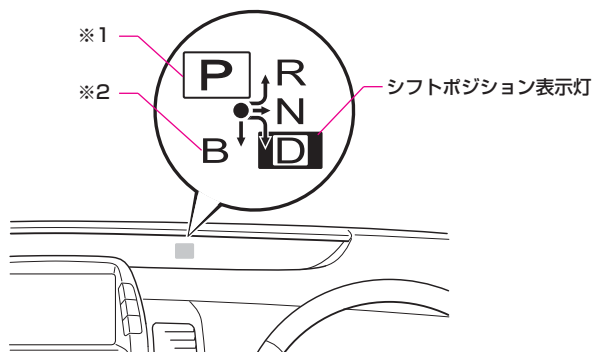
- シフトレバーは、操作後に手を離すと、定位置にもどります。
- シフトレバーは、ゆっくり確実に操作してください。



車両に取り付けられているシフトレバーのノブをはずしたり、他のノブを取り付けたりしないでください。また、シフトレバーにものをぶら下げないでください。レバーが定位置にもどらなくなる可能性があり、走行中思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

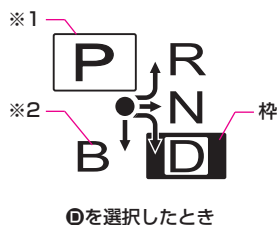
## ■シフトポジション表示灯について

シフトポジション表示灯で、現在のシフトポジションを確認します。

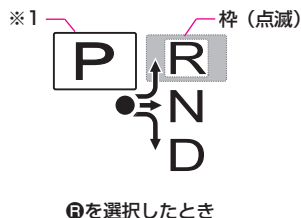


シフトポジションを切りかえると、シフト操作と連動して、シフトポジション表示灯上の、枠の表示位置がかわります。

- シフトポジションを**P**・**N**・**D**・**B**にすると、それぞれ選択した位置で、枠の表示が点灯します。



- シフトポジションを**R**にすると、**R**の位置で枠の表示が点滅し、ブザーが鳴ります。

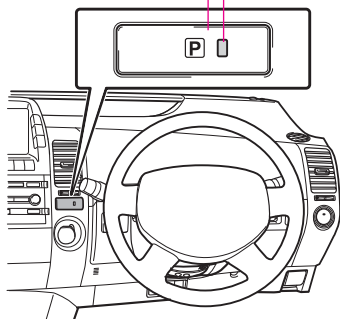


※1 **P**のポジション表示の細い枠は、現在のシフトポジションに関係なく、常に表示されています。

※2 **B**のポジションの表示は、シフトポジションが**D**、または**B**のときのみ表示されます。

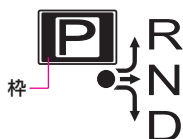
## ■ Pにするときは

● Pポジションスイッチ — 作動表示灯



車両を完全に停止させ、ブレーキペダルを踏みながら、Pポジションスイッチを押します。

- シフトポジションをPにすると、スイッチの作動表示灯が点灯します。
- シフトポジション表示灯で、Pの枠が点灯していることを確認してから、ブレーキペダルをゆっくり離してください。



シフトポジションがPのとき

## 知識

### 作動条件について

“パワー”スイッチがONモード、またはREADY（走行可能表示灯）が点灯しているとき選択することができます。

### 警告ブザーについて

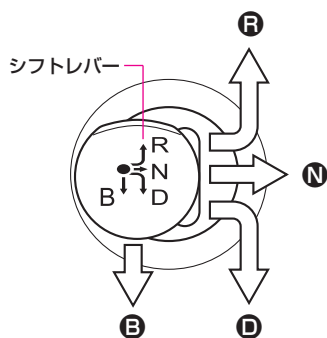
走行中、Pポジションスイッチを押すとブザーが鳴り、Nに切りかわります。\*  
適切なシフトポジションに切りかえてください。

\* 極低速走行時は、Pに切りかわることがあります。(P.194参照)

### オートPポジション機能について

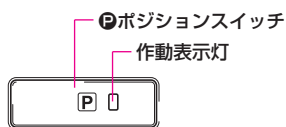
- READY（走行可能表示灯）が点灯しているとき、車両を完全に停止させ“パワー”スイッチを押すと、自動的にシフトポジションがPに切りかわり、“パワー”スイッチがOFFになります。
- Pポジション制御システムが故障すると、“パワー”スイッチをOFFにできなくなることがあります。この場合は、パーキングブレーキを作動させるとOFFにすることができます。すみやかにプリウス取り扱いトヨタ販売店で点検を受けてください。

## ■各シフトポジションに操作するとき

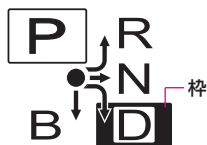


ブレーキペダルを踏みながら、シフトレバーを操作します。

- R** シフトレバーを右にスライドさせたまま、上に操作します。
- N** シフトレバーを右にスライドさせたまま、しばらく保持します。
- D** シフトレバーを右にスライドさせたまま、下に操作します。
- B** シフトレバーを下に操作します。



- シフトポジションを**P**以外にすると、**P**ポジションスイッチの作動表示灯が消灯します。
- シフトポジション表示灯で、枠の表示が選択したシフトポジションで点灯 (**R**のときは点滅) していることを確認してください。



シフトポジションが**P**のとき

## 知識

### 作動条件について

- READY (走行可能表示灯) が点灯しているときは、**D**・**N**・**R**を選択することができます。
- “パワー”スイッチがONモードのときは、**N**のみ選択することができます。

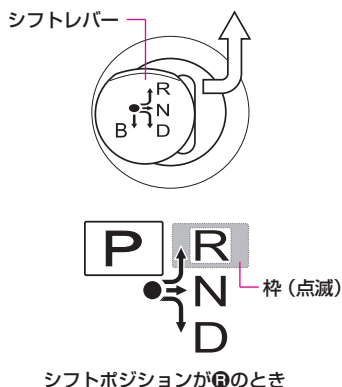
### 警告ブザーについて

- ブレーキペダルを踏まずにシフトレバーを操作するとブザーが鳴り、シフトポジションを切りかえることができません。
- ブレーキペダルを踏んでいても**P**から**B**を選択しようとする、ブザーが鳴り、シフトポジションを切りかえることができません。

### 坂路で**P**から他のシフトポジションに切りかえるときは

坂路で**P**から他のシフトポジションへ切りかえる場合、パーキングロックのはずれる大きな音がしますが、異常ではありません。

## ■ Rにするときは



どのシフトポジションからでも、Rに切りかえることができます。

- 車を完全に停止させ、ブレーキペダルを踏みながら、シフトレバーを右にスライドさせたまま、上に操作します。
- ブザーが鳴りRにあることを運転者に知らせます。車外の人にはブザーは聞こえませんのでご注意ください。(車外の人に対する警告音ではありません)
- シフトポジション表示灯で、Rの枠が点滅していることを確認してください。

## 知識

### 作動条件について

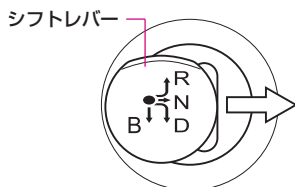
READY (走行可能表示灯) が点灯しているとき選択することができます。

### 警告ブザーについて

車両が約12km/h以上で前進しているときにRを選択するとブザーが鳴り、Nに切りかわります。  
適切なシフトポジションに切りかえてください。



## ■ N にするとき



シフトポジションが N のとき

どのシフトポジションからでも、N に切りかえることができます。

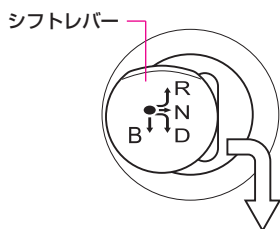
- シフトレバーを右にスライドさせたまま、しばらく保持します。
- シフトポジション表示灯で、N の枠が点灯していることを確認してください。

## 知識

### 作動条件について

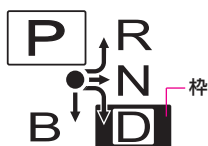
“パワー”スイッチがONモード、または READY（走行可能表示灯）が点灯しているとき選択することができます。

## ■Dにするときは



どのシフトポジションからでも、Dに切りかえることができます。

- シフトレバーを右にスライドさせたまま、下に操作します。
- シフトポジション表示灯で、Dの枠が点灯していることを確認してください。



シフトポジションがDのとき

## 🎓 知識

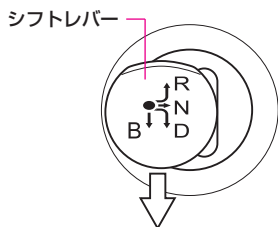
### 作動条件について

READY（走行可能表示灯）が点灯しているとき選択することができます。

### 警告ブザーについて

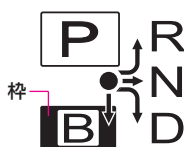
車両が約12km/h以上で後退しているとき、Dを選択するとブザーが鳴り、Nに切りかわります。  
適切なシフトポジションに切りかえてください。

## ■Bにするときは



シフトポジションが**D**のとき選択できます。

- シフトレバーを下に操作します。
- シフトポジション表示灯で、**B**の枠が点灯していることを確認してください。



シフトポジションが**B**のとき

## 知識

### 作動条件について

シフトポジションが**D**のとき選択できます。

### 警告ブザーについて

- シフトポジションが**P**・**N**のとき、**B**を選択するとブザーが鳴り、シフトポジションを切りかえることができません。
- シフトポジションが**R**のとき、**B**を選択するとブザーが鳴り、**N**に切りかわります。適切なシフトポジションに切りかえてください。



車が動いているときは、**P**ポジションスイッチにふれないでください。停車直前など、極低速走行中に**P**ポジションスイッチを押すと、シフトポジションが**P**に切りかわることがあるため、車が急停止して思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。



次のときはシステムの異常が考えられます。ただちに安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけ、プリウス取り扱いトヨタ販売店に連絡してください。

- メーター内のマスターウォーニングが点灯すると同時にブザーが鳴り、ディスプレイに**P**ポジション制御異常警告画面が表示されたとき (P.196参照)
- P**ポジションスイッチの作動表示灯が点滅したとき (ただし、このときディスプレイに**P**ポジション制御異常警告画面が表示されない場合は異常ではありません)
- シフトポジション表示灯の**P**・**R**・**N**・**D**・**B**の文字が消灯し、すべての枠が点滅したとき
- シフトポジション表示灯が点灯しないとき



#### 補機バッテリーを再接続したときは

“パワー”スイッチをONモードにして、シフトポジションが**N**に切りかわることを確認してください。

## 各シフトポジションにおける作動条件

各シフトポジションへの切りかえ操作は、“パワー”スイッチの状態（P.174参照）や、選択されているシフトポジションなどにより、操作可能かどうか異なります。

下表を参照してください。

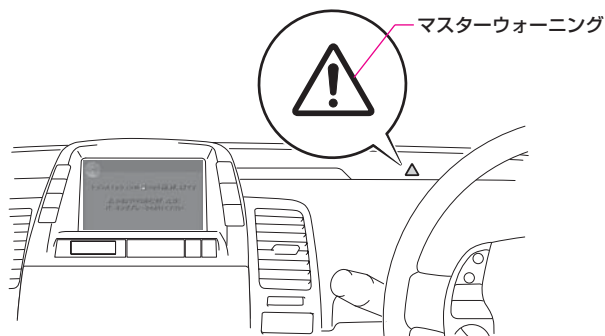
“パワー”スイッチ の状態	シフトポジション 操作	P	R	N	D	B	
		■	■				
アクセサリモード (走行不可)	シフトレバー	■					
	Pポジションスイッチ	■					
ONモード (走行不可)	シフトレバー	●	/	○			
	Pポジションスイッチ	○	/	●			
READY 点灯 (走行可)	シフトレバー	●	○	○	○	/	
		/	●	○	○	/	
		/	○	●	○	/	
		/	○	○	●	○	
		/	○	○	○	●	
	Pポジションスイッチ	○	●	●	●	●	

■→保持

●→現在のシフトポジション

○→現在のシフトポジションから操作できるシフトポジション

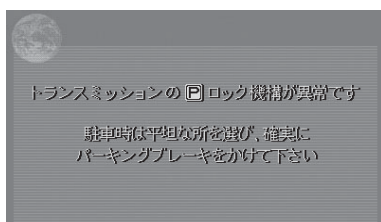
## 警告画面表示



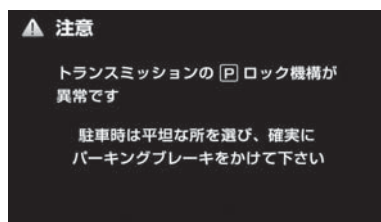
お知らせしたい事項が発生すると、メーター内のマスターウォーニングが点灯し、ブザーが鳴ると同時にディスプレイに警告画面が表示されます。

- 警告内容が解消されるか、または他のモードに画面を切りかえるまで警告画面が表示されます。

### ■Pポジション制御異常警告



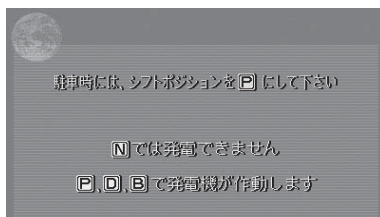
HDDナビゲーションシステム非装着車



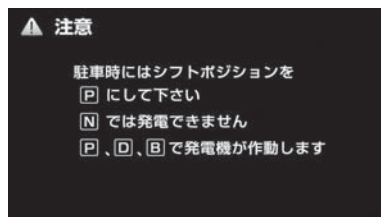
HDDナビゲーションシステム装着車

- Pポジション制御システムに異常があると表示されます。画面の指示に従い、すみやかにプリウス取り扱いトヨタ販売店に連絡してください。
- Pポジション制御システムに異常があると、“パワー”スイッチをOFFにできなくなることがあります。この場合は、パーキングブレーキを作動させると、OFFにすることができます。

## ■シフトポジション警告（READY【走行可能表示灯】点灯時）



HDDナビゲーションシステム非装着車

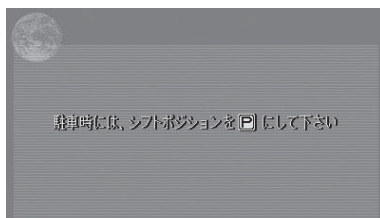


HDDナビゲーションシステム装着車

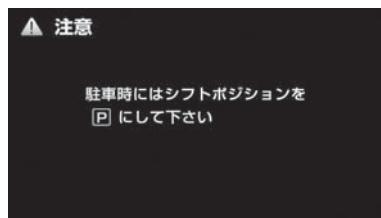
READY 点灯中、以下のときに表示されます。

- シフトポジションが**N**・**D**・**B**のまま運転席ドアを開けたとき
- シフトポジションが**N**で駆動用電池の残量が低下したとき

## ■シフトポジション警告（READY【走行可能表示灯】消灯時）



HDDナビゲーションシステム非装着車



HDDナビゲーションシステム装着車

ハイブリッドシステムを始動したあと、ハイブリッドシステムが停止している状態（READY 消灯）で、“パワー”スイッチがONモード、シフトポジションが**P**以外のとき、運転席ドアを開けると表示されます。

- 駐車時はパーキングブレーキをかけ、シフトポジションを**P**にして、“パワー”スイッチをOFFにしてください。

# 運転のしかた

## 発進のしかた

HYBRID

### 通常発進のしかた

1 READY（走行可能表示灯）が点灯していることを確認します。

2 右足でブレーキペダルをしっかりと踏んだまま、シフトポジションを前進時は**D**、後退時は**R**にします。

ブレーキペダルをしっかりと踏んでいないと、クリーブ現象により車が動くことがあります。

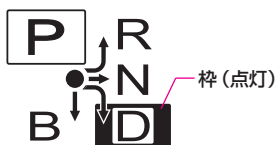
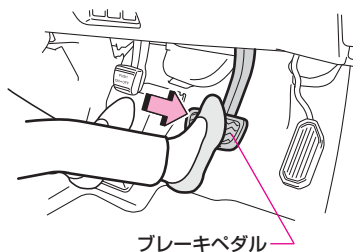
3 シフトポジションをメーター内のシフトポジション表示灯で確認します。

- シフトポジションを**D**にしたときは、**D**の枠が点灯します。
- シフトポジションを**R**にしたときは、**R**の枠が点滅し、ブザーが鳴ります。

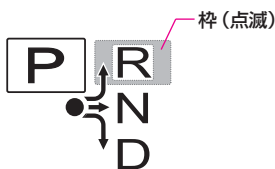
4 パーキングブレーキを解除します。  
(P.204参照)

5 ブレーキペダルを徐々にゆるめてから、右足でアクセルペダルをゆっくり踏み発進します。

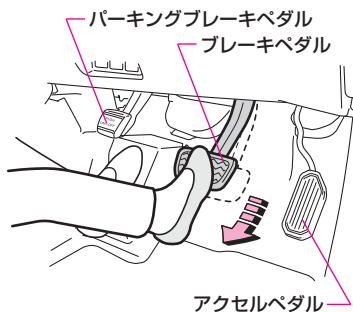
この車両は、通常のオートマチック車と同様に、発進時のスピード調節をアクセル操作のみで行いますので、アクセル操作は慎重に行ってください。



**D**を選択したとき



**R**を選択したとき





## ● 上り坂の発進のしかた

- 1 READY（走行可能表示灯）が点灯していることを確認します。
- 2 パーキングブレーキがしっかりかかっていることを確認してから、シフトポジションをDにします。  
メーター内のシフトポジション表示灯で、Dの枠が点灯していることを確認します。
- 3 右足でアクセルペダルをゆっくり踏みます。
- 4 車が動き出す感触を確認してから、左足でパーキングブレーキを解除し、発進します。



**警告**

右足でブレーキペダルをしっかり踏んだままシフトレバーを操作してください。

- 発進するときは、右足でブレーキペダルをしっかり踏んだままシフトレバーを操作してください。
- 運転するときは、ブレーキペダルとアクセルペダルの位置を必ず確認して、踏み間違いないようにしてください。アクセルペダルをブレーキペダルと間違えて踏むと、車が急発進し、思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- アクセルペダルを踏み込んだままでのシフトレバー操作は絶対に行わないでください。車が急発進し、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。



**注意**

駆動用電池の残量が低下した場合は、ハイブリッドシステムの出力が低下することがあります。この場合、急な加速を避けて走行してください。

### ● 通常の走行

シフトポジションを**D**にして走行します。

● アクセルとブレーキの操作だけで加速・減速します。

### ● 急加速するには

アクセルペダルをいっぱい踏み込みます。

### ● 下り坂の走行

シフトポジションが**D**のままでスピードが出すぎる時は、坂道に応じて**B**にし、エンジnbrakeを併用します。

フットブレーキを使いすぎると、ブレーキの効きが悪くなるおそれがあります。長い下り坂や急な下り坂では、必ずエンジnbrakeを併用してください。

● 下り坂を連続して走行したときなどに、アクセルペダルをもどすとエンジン回転が高くなるがありますが、異常ではありません。



**警告**

**走行中にはシフトポジションをNにしないでください。**

- 走行中はシフトポジションをNにしないでください。Nにすると、エンジンブレーキがまったく効かないため、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- 前進で走行中は、シフトポジションをRにしないでください。前進走行中にRにするとブザーが鳴り、Nに切りかわります。また無理な力がかかり、駆動系を傷めることがあります。
- ブレーキペダルはアクセルペダルと同じ右足で操作してください。左足でのブレーキ操作は、緊急時の反応が遅れるなどの思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- 坂道などでは、シフトポジションをDまたはBにしたまま惰性で後退したり、Rにしたまま惰性で前進することは絶対にやめてください。故障や思わぬ事故の原因となるおそれがあり危険です。



**注意**

**シフトポジションをNにしたままで走行すると駆動系の故障の原因となるおそれがあります。**

- シフトポジションをNにしたままで走行すると、駆動系の故障の原因となるおそれがあります。
- 渋滞のときはDのまま走行してください。  
シフトポジションがNでは、ガソリンエンジンが回転していても駆動用電池は充電されないため、Nのまま長時間放置すると、駆動用電池がバッテリーあがりを起こし、走行不能になるおそれがあります。



**知識**

**燃費を良くする走り方**

ハイブリッド車も急加速をひかえるなど、通常ガソリンエンジン車と同様の心がけが必要です。P.310の「経済的な運転」を参照してください。

**エンジンブレーキについて**

高速走行時は、通常の車に比べてエンジンブレーキによる減速感が小さくなります。

**1** 車を停止させます。シフトポジションは**Ⓓ**のまま、右足でブレーキペダルをしっかりと踏みます。

**2** 必要に応じて、パーキングブレーキをかけます。

上り坂での停車は、クリーブ現象で前へ進もうとする力よりも、車が後退しようとする力の方が大きくなり、車が後退するおそれがあります。

右足でブレーキペダルをしっかりと踏んだまま、左足でパーキングブレーキをしっかりとかけてください。

**3** 長時間停車する場合は、パーキングブレーキをかけ、**Ⓔ**ポジションスイッチを押して、シフトポジションを**Ⓔ**にします。

- シフトポジション表示灯で、シフトポジションが**Ⓔ**になっていることを確認してください。
- 停車後、再発進するときはシフトポジション表示灯でシフトポジションが**Ⓓ**にあることをしっかり確認してから発進してください。



**警告**

走行中にシフトポジションを**Ⓔ**にしないでください。

- 車輪が完全に止まらないうちに**Ⓔ**ポジションスイッチを押し、シフトポジションを**Ⓔ**にしないでください。走行中に**Ⓔ**ポジションスイッチを押すとブザーが鳴り、**N**に切りかわります。また、無理な力がかかり、駆動系を傷めることがあります。
- 停車中の空ぶかしはしないでください。シフトポジションが**Ⓔ**または**N**以外にあると、車が急発進し、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。



**注意**

停車が長くなりそうなときは、必ずパーキングブレーキをかけ、シフトポジションを**Ⓔ**にしてください。

- 停車が長くなりそうなときは、必ずパーキングブレーキをかけ、シフトポジションを**Ⓔ**にしてください。シフトポジションが**N**では、ガソリンエンジンが回転していても駆動用電池は充電されないため、**N**のままで長時間放置すると、駆動用電池がバッテリーあがりを起こし、走行不能になるおそれがあります。
- アクセルペダルとブレーキペダルを同時に踏んだり、上り坂でシフトポジションが**Ⓓ**、または**Ⓔ**のままアクセルを踏み込みながら止まらないでください。駆動系部品が過熱し、故障の原因になります。

## 駐車のみかた

HYBRID

**1** 車を完全に停止させます。

**2** パーキングブレーキをかけます。

右足でブレーキペダルをしっかりと踏んだまま、左足でパーキングブレーキをしっかりとかけます。

**3** **P**ポジションスイッチを押して、シフトポジションを**P**にします。

車が動き出さないためにも、必ず**P**にしてください。

●シフトポジション表示灯で、シフトポジションが**P**になっていることを確認してください。

**4** “パワー” スイッチを押します。

ハイブリッドシステムが停止し、スイッチがOFFになります。

**5** ブレーキペダルから、ゆっくり足を離します。

車を離れるときは、必ずハイブリッドシステムを停止して、ドアを施錠してください。



**警告**

車から離れるときは、必ずハイブリッドシステムを停止してドアを施錠してください。メーター内の READY（走行可能表示灯）が点灯した状態にしておくと、万一シフトポジションが**P**・**N**以外のおとき、クリープ現象で車がひとりでに動き出したり、誤ってアクセルペダルを踏み込んだとき、急発進し思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。また、この車両は、ハイブリッドシステムが始動し走行可能な状態（READY が点灯している状態）になっていてもエンジン音や振動がない場合があるため、駐車時は必ずパーキングブレーキをかけ、シフトポジションを**P**にしてください。

目次



警告

基本  
操作

運転  
装置  
の  
扱い

室内  
装備  
の  
扱い

安全・  
快適  
装備  
の  
解説  
と  
注意

車  
との  
上手  
な  
付き  
合い  
方

メン  
テナ  
ンス

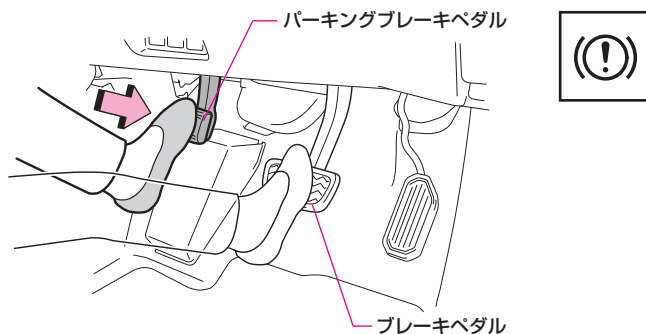
万  
一  
の  
と  
き

索引

# パーキングブレーキペダルの使い方

## パーキングブレーキペダルの取り扱い

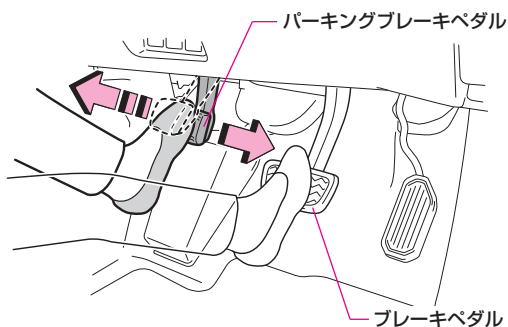
### ● パーキングブレーキをかけるときは



右足でブレーキペダルをしっかりと踏みながら、左足でパーキングブレーキペダルをいっぱいまで踏み込みます。

- “パワー”スイッチがONモード、またはREADY（走行可能表示灯）が点灯しているときは、ブレーキ警告灯（赤）が点灯します。

### ● パーキングブレーキを解除するときは



右足でブレーキペダルをしっかりと踏みながら、左足でパーキングブレーキペダルを“カチッ”と音がするまで踏み込み、ゆっくり離します。

- ブレーキ警告灯（赤）が消灯したことを確認してください。



パーキングブレーキをかけたまま走行しないでください。  
ブレーキ部品が早く摩耗したり、ブレーキが過熱し効きが悪くなるおそれがあります。

 知識

かけなおすときは

パーキングブレーキをかけたあと、かけなおしたい場合は、一度解除してから踏みなおします。

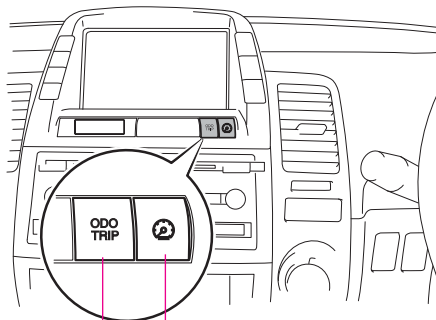
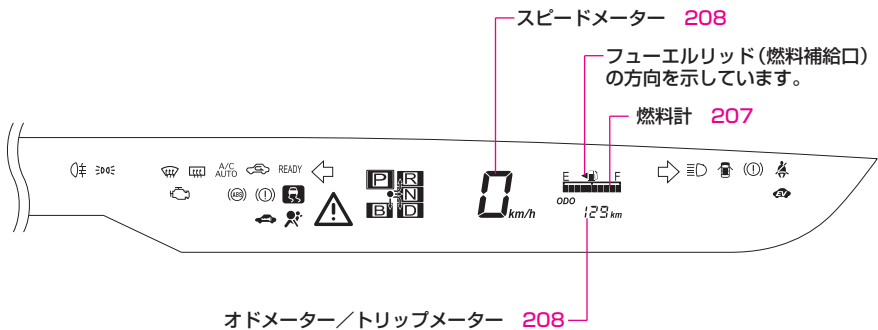
警告ブザーについて

パーキングブレーキを解除しないまま車を発進させ、車速が約5km/h以上になると、警告ブザーが鳴ります。

# メーター、表示灯、警告表示の見方

## メーター

HYBRID



\*図ではすべての警告灯・表示灯を掲載しています。実際の車に設定される警告灯・表示灯はオプション等の装備の有無により異なります。



## 燃料計

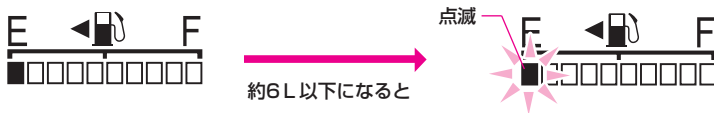
“パワー”スイッチがONモード、またはREADY（走行可能表示灯）が点灯しているとき、燃料残量を示します。

燃料タンク容量は約45 Lです。

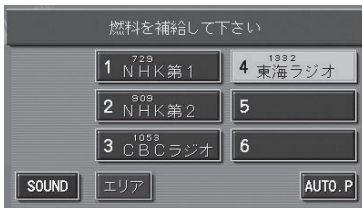
### ■燃料残量が約6 L以下になったときは

次のようにお知らせします。すみやかに燃料を補給してください。

●いちばん左の残量表示が点滅から点滅にかわり、ブザーが鳴ります。



●ディスプレイに約6秒間、メッセージが表示されます。



HDDナビゲーションシステム非装着車



HDDナビゲーションシステム装着車




**注意**

ハイブリッド車といっても燃料がないと走行できません。

通常のガソリンエンジン車と同様に、いちばん左の残量表示が点滅したときは、すみやかに燃料を補給してください。

## 知識

### 燃料計について

- 坂道やカーブなどでは、タンク内の燃料が移動するため、いちばん左の残量表示が早めに点滅することがあります。
- “パワー”スイッチがONモード、またはREADY（走行可能表示灯）が点灯しているとき燃料を補給すると、正しい燃料残量が表示できません。燃料補給時には、安全のためにもスイッチをOFFにしてください。
- 燃料計にある  印は、フューエルリッド（燃料補給口）が助手席側車両後方にあることを示しています。

---

## ●スピードメーター

車両の走行速度を示します。

## ●オドメーター／トリップメーター

“パワー”スイッチがONモード、またはREADY（走行可能表示灯）が点灯しているとき、次の表示を示します。

### ■オドメーター

走行した総距離をkmの単位で示します。

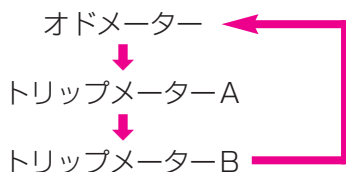
### ■トリップメーター

2種類の区間距離（トリップA・トリップB）をkmの単位で示します。

## ●オドメーター／トリップメーター切りかえボタン (トリップメーターリセットボタン)

### ■オドメーターとトリップメーターの表示の切りかえ方

切りかえボタンを押すごとに、次のように表示が切りかわります。

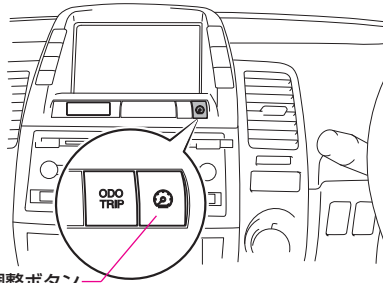


### ■トリップメーターを0（ゼロ）にもどすときは

トリップメーターA、トリップメーターBのうち0にしたい方を表示させてから、リセットボタンを表示が0になるまで押し続けます。

補機バッテリーとの接続が断たれたときは、トリップメーターは0になります。

## メーター照度調整ボタン



メーター照度調整ボタン

メーター照度調整ボタンを押すごとに、メーター照度が順次切りかわります。

### 知識

#### 作動条件について

ランプスイッチがONのとき、またはAUTOの位置で車幅灯が点灯しているとき、メーター照度を調整することができます。

ただし、ランプスイッチがONのとき、またはAUTOの位置で車幅灯が点灯していても、昼間など明るいときには、メーター照度の調整をすることはできません。

#### 減光キャンセル機能について

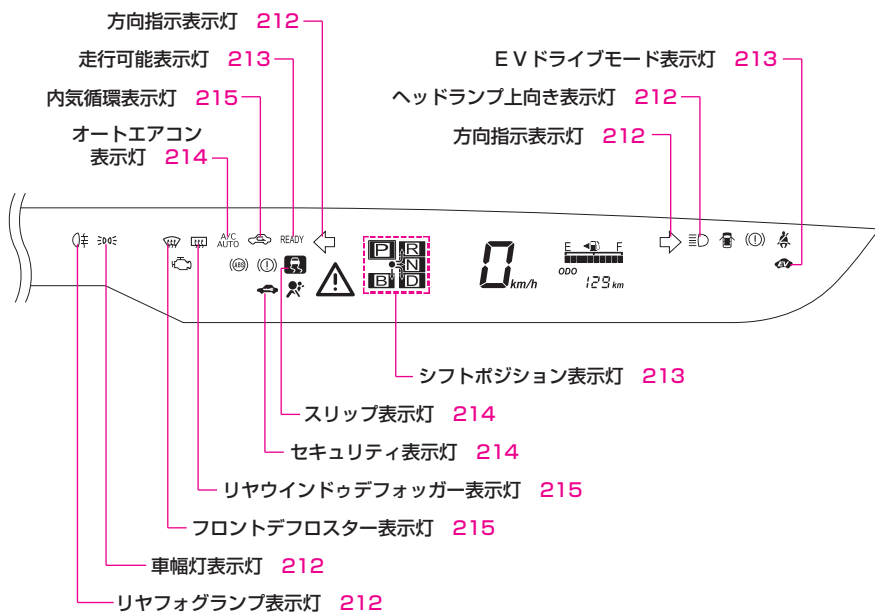
車幅灯の点灯に連動してメーター照明が減光されたとき、メーター照度調整ボタンを押し続けると、メーター照明を最大で固定することができます。

日中にトンネルを通過するときや昼間に雪道を走行するときなど、ランプの点灯に連動してメーター照明が減光させたくない場合に使用します。

- 解除するときは、もう一度ボタンを押し続けます。また、“パワー”スイッチをOFFにすると解除されます。
- 車外の明るさによっては、ボタンを押し続けても減光キャンセル機能が解除されない場合があります。
- 夜間にメーター照明を最大にすると、フロントウィンドウガラスにメーター照明が映ってしまうことがあります。その場合は、安全のために減光させてください。

# 表示灯

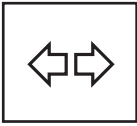
HYBRID



\*図ではすべての表示灯を掲載しています。実際の車に設定される表示灯はオプション等の装備の有無により異なります。

## 〈表示灯一覧表〉

表示灯	表示灯名
	方向指示表示灯
	ヘッドランプ上向き表示灯
	車幅灯表示灯
	リヤフォグランプ表示灯
READY	走行可能表示灯
	シフトポジション表示灯
	EVドライブモード表示灯
	スリップ表示灯
	セキュリティ表示灯
A/C AUTO	オートエアコン表示灯
	内気循環表示灯
	フロントデフロスター表示灯
	リヤウインドウデフォグガー表示灯



## ● 方向指示表示灯

方向指示灯・非常点滅灯を作動させると点滅します。  
(P.240、246参照)



### 知識

#### 点滅が異常に速くなったときは

方向指示灯の電球切れが考えられます。  
すべての方向指示灯が点滅するか確認してください。



## ● ヘッドランプ上向き表示灯

ヘッドランプを上向きにすると点灯します。(P.237参照)



## ● 車幅灯表示灯

車幅灯を点灯させると点灯します。(P.235参照)



## ● リヤフォグランプ表示灯

### リヤフォグランプ装着車

リヤフォグランプを点灯させると橙色に点灯します。  
(P.239参照)

READY

## ● 走行可能表示灯

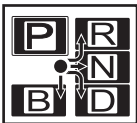
ブレーキペダルを踏んで、“パワー”スイッチを押し、ハイブリッドシステムを始動すると点灯し、走行可能状態であることを示します。

詳しくはP.176を参照してください。



**注意**

表示灯が点灯しない場合は走行できません。再度ブレーキペダルを踏み、“パワー”スイッチを押してください。以上の操作をしても消灯したままの場合は、プリウス取り扱いトヨタ販売店へご連絡ください。



## ● シフトポジション表示灯

- シフトポジションを**P**・**N**・**D**・**B**にしたときは、選択したシフトポジションの枠が点灯します。
- シフトポジションを**R**にしたときは、**R**の枠が点滅しブザーが鳴ります。
- B**の表示は、シフトポジションが**D**・**B**のときのみ表示されます。

詳しくはP.184を参照してください。



**注意**

**P**・**R**・**N**・**D**・**B**の各文字が消灯し、すべての枠が点滅したときは、システムの異常が考えられます。ただちに安全な場所に停車し、プリウス取り扱いトヨタ販売店に連絡してください。



## ● EVドライブモード表示灯

- EVドライブモードにすると点灯します。
- 自動的にEVドライブモードから通常走行になると、ブザーが鳴り、3回点滅後、消灯します。

詳しくはP.181を参照してください。



## ● スリップ表示灯

ABS、またはモーターTRCシステムが作動したときに点滅します。(P.290、294参照)



“パワー”スイッチをONモード、またはハイブリッドシステムを始動しても点灯しないときは、システムの異常が考えられますので、プリアス取り扱いトヨタ販売店で点検を受けてください。



### 知識

#### 表示灯について

- “パワー”スイッチをONモードにすると点灯し、ハイブリッドシステムを始動すると消灯します。
- “パワー”スイッチがアクセサリモードまたはOFFの状態、ハイブリッドシステムを始動すると点灯し、数秒後に消灯します。



## ● セキュリティ表示灯

盗難防止システムが作動状態になると点滅します。(P.296参照)

A/C  
AUTO

## ● オートエアコン表示灯

オートエアコンを作動させると点灯します。  
詳しくは、別冊「エレクトロマルチビジョン取扱書」または「HDDナビゲーションシステム取扱書」を参照してください。





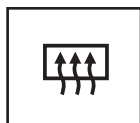
## ● 内気循環表示灯

空調を内気循環にすると点灯します。  
詳しくは、別冊「エレクトロマルチビジョン取扱書」または「HDDナビゲーションシステム取扱書」を参照してください。



## ● フロントデフロスター表示灯

フロントデフロスターを作動させると点灯します。  
詳しくは、別冊「エレクトロマルチビジョン取扱書」または「HDDナビゲーションシステム取扱書」を参照してください。

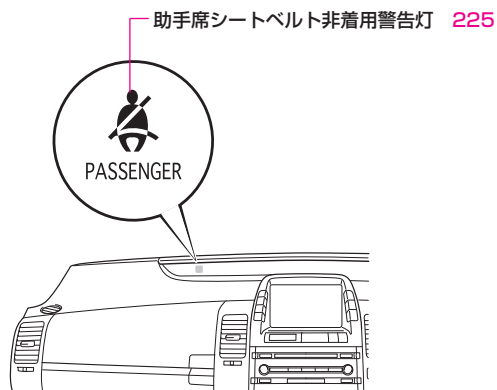
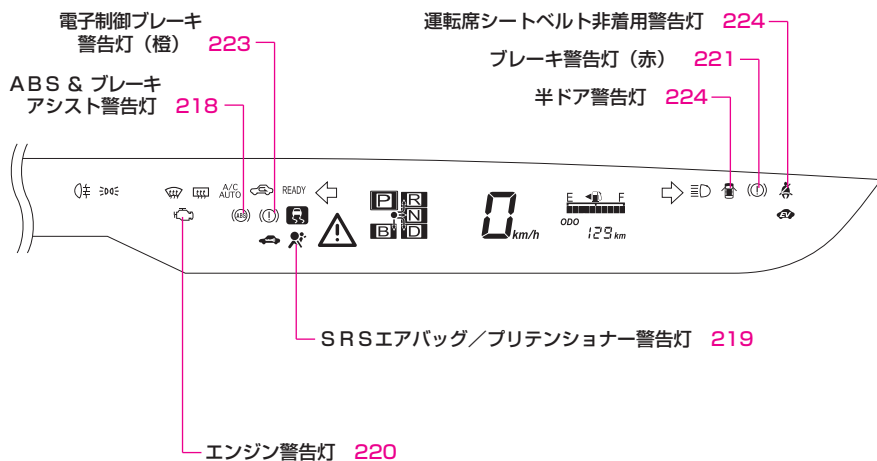


## ● リヤウインドウデフォグガー表示灯

リヤウインドウデフォグガーを作動させると点灯します。  
(P.245参照)

# 警告灯

HYBRID



\* 図ではすべての警告灯を掲載しています。実際の車に設定される警告灯はオプション等の装備の有無により異なります。

## 〈警告灯一覧表〉

警告灯	警告灯名
	ABS & ブレーキアシスト警告灯
	SRSエアバッグ／プリテンショナー警告灯
	エンジン警告灯
	ブレーキ警告灯（赤）
	電子制御ブレーキ警告灯（橙）
	半ドア警告灯
	運転席シートベルト非着用警告灯
 PASSENGER	助手席シートベルト非着用警告灯

次の警告灯が点灯または点滅したままのときは、システムの異常が考えられますので、すみやかにプリウス取り扱いトヨタ販売店で点検を受けてください。



## ● ABS & ブレーキアシスト警告灯

ABS & ブレーキアシストシステムに異常があると点灯します。(P.290参照)

- 警告灯が点灯しているときは、下記のシステムは作動しませんが、通常のブレーキとしての性能は確保されています。
  - ・ABS
  - ・ブレーキアシスト
- 警告灯が点灯しているときは、ABSが作動しないため、急ブレーキ時やすべりやすい路面でのブレーキ時にはタイヤがロックすることがあります。



**ブレーキ警告灯(赤)と同時に点灯したままのときはただちに停車してください。**

- 警告灯がブレーキ警告灯(赤)と同時に点灯したままのときは、ただちに安全な場所に停車し、プリウス取り扱いトヨタ販売店にご連絡ください。この場合、ABS & ブレーキアシストシステムに異常が発生しているだけでなく、強めのブレーキの際に車両が不安定になるおそれがあります。
- 警告灯が次のようになったときは、システムの異常が考えられますので、プリウス取り扱いトヨタ販売店で点検を受けてください。
  - ・“パワー”スイッチをONモード、またはハイブリッドシステムを始動しても点灯しないとき
  - ・ハイブリッドシステムを始動しても点灯したまま消灯しないとき、または走行中、点灯したままのときなお、走行中に点灯しても、その後消灯すれば異常ではありません。ただし、同じ現象が再度発生した場合は、トヨタ販売店で点検を受けてください。



### 警告灯について

- “パワー”スイッチをONモードにすると点灯し、ハイブリッドシステムを始動すると消灯します。
- “パワー”スイッチがアクセサリモードまたはOFFの状態、ハイブリッドシステムを始動すると点灯し、数秒後に消灯します。
- ハイブリッドシステムを始動したとき、約60秒間警告灯が点灯することがありますが、その後、消灯すれば異常ではありません。
- 繰り返しブレーキペダルを踏むと、警告灯が点灯することがありますが、数秒後に消灯すれば異常ではありません。

次の警告灯が点灯または点滅したままのときは、システムの異常が考えられますので、すみやかにプリウス取り扱いトヨタ販売店で点検を受けてください。



## SRSエアバッグ／ プリテンショナー警告灯

SRSエアバッグシステム、またはプリテンショナー付シートベルトシステムに異常があると点灯します。  
(P.274、288参照)



警告灯が次のようになったときは、システムの異常が考えられますので、ただちにプリウス取り扱いトヨタ販売店で点検を受けてください。衝突したときなどにSRSエアバッグ、またはプリテンショナー付シートベルトが正常に作動せず、けがをするおそれがあります。

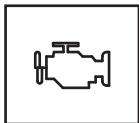
- “パワー”スイッチをONモード、またはハイブリッドシステムを始動しても点灯しないとき、または点灯したままのとき
- 走行中に点灯したとき



### 警告灯について

“パワー”スイッチをONモード、またはハイブリッドシステムを始動すると点灯し、数秒後に消灯します。

次の警告灯が点灯または点滅したままのときは、システムの異常が考えられますので、すみやかにプリウス取り扱いトヨタ販売店で点検を受けてください。



## ● エンジン警告灯

READY（走行可能表示灯）が点灯した状態で、エンジン電子制御システムまたは電子制御スロットルシステムに異常があると点灯します。



**注意**

READY（走行可能表示灯）が点灯した状態で点灯したときは、ただちにプリウス取り扱いトヨタ販売店で点検を受けてください。

- READY（走行可能表示灯）が点灯した状態で警告灯が点灯したときは、ただちにプリウス取り扱いトヨタ販売店で点検を受けてください。
- 走行中に万一電子制御系の異常が解消した場合でも、“パワー”スイッチをアクセサリモードまたはOFFにするまでは、正常状態に復帰することはありません。

## 知識

### 警告灯について

- “パワー”スイッチをONモードにすると点灯し、ハイブリッドシステムを始動すると消灯します。
- “パワー”スイッチがアクセサリモードまたはOFFの状態、ハイブリッドシステムを始動すると点灯し、数秒後に消灯します。

次の警告灯が点灯または点滅したままのときは、ただちに安全な場所に停車し、プリウス取り扱いトヨタ販売店へ連絡してください。



## ● ブレーキ警告灯（赤）

“パワー”スイッチをONモードにすると点灯します。また READY（走行可能表示灯）が点灯しているとき、次のときに点灯します。

- パーキングブレーキをかけたままのとき  
パーキングブレーキが解除されていてもハイブリッドシステムを始動すると数秒間点灯します。
- ブレーキ液が不足しているとき
- 電子制御ブレーキシステムに異常があるとき
- EBDに異常があるとき

### ■ ブレーキ警告ブザー

- ブレーキの大幅な効き低下につながる異常があると、警告灯の点灯と同時に警告ブザー（“ピー”という連続音）が鳴ります。
- パーキングブレーキを解除しないまま車を発進させ、車速が約5km/h以上になると、警告ブザーが鳴ります。



**警告**

警告灯が次のようになったときは、ただちに安全な場所に停車してプリウス取り扱いトヨタ販売店へご連絡ください。

- READY（走行可能表示灯）点灯中、パーキングブレーキを解除しても点灯したままのとき、また警告灯の点灯と同時に警告ブザーが鳴ったとき  
この場合、ブレーキの効きが悪くなり、制動距離が長くなるなど、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。効きが悪いときはブレーキペダルを強く踏んでください。
- 警告灯がABS & ブレーキアシスト警告灯と同時に点灯したままのとき  
この場合、ABS & ブレーキアシストシステムに異常が発生しているだけでなく、強めのブレーキの際に車両が不安定になるおそれがあります。



警告灯が次のようになったときは、システムの異常が考えられますので、プリウス取り扱いトヨタ販売店で点検を受けてください。

- 警告灯が次のようになったときは、システムの異常が考えられますので、プリウス取り扱いトヨタ販売店で点検を受けてください。
  - ・“パワー”スイッチをONモードにしても点灯しないとき
  - ・READY（走行可能表示灯）が点灯している状態で、パーキングブレーキをかけても点灯しないとき
  - ・パーキングブレーキが解除された状態で“パワー”スイッチをONモード、またはハイブリッドシステムを始動しても点灯しないときなお、走行中に点灯しても、その後消灯すれば異常ではありません。ただし、同じ現象が再度発生した場合は、トヨタ販売店で点検を受けてください。
- パーキングブレーキを解除しないまま車を発進させ、警告ブザーが鳴ったときは、すみやかに停車し、パーキングブレーキを解除してください。パーキングブレーキをかけたまま走行すると、ブレーキ部品が早く摩耗したり、ブレーキが過熱し効きが悪くなるおそれがあります。



### 警告灯について

- ハイブリッドシステムを始動したとき、約60秒間点灯することがありますが、その後、消灯すれば異常ではありません。
- 繰り返しブレーキペダルを踏むと警告灯が点灯し、警告ブザーが鳴ることがありますが、数秒後に消灯、消音すれば異常ではありません。この場合、一時的にブレーキペダルの操作感がかわりますが、消灯・消音すればもとにもどります。



次の警告灯が点灯または点滅したままのときは、ただちに安全な場所に停車し、プリウス取り扱いトヨタ販売店へ連絡してください。



## ● 電子制御ブレーキ警告灯（橙）

次のような場合に点灯します。

- 回生ブレーキシステムに異常があるとき
- 電子制御ブレーキシステムに異常があるとき



警告灯が次のようになったときは、システムの異常が考えられますので、プリウス取り扱いトヨタ販売店で点検を受けてください。

- “パワー”スイッチをONモード、またはハイブリッドシステムを始動しても点灯しないとき
- ハイブリッドシステムを始動しても、点灯したまま消灯しないとき、または走行中、点灯したままのとき

## 🎓 知識

### 警告灯について

- “パワー”スイッチをONモードにすると点灯し、ハイブリッドシステムを始動すると消灯します。
- “パワー”スイッチがアクセサリモードまたはOFFの状態、ハイブリッドシステムを始動すると点灯し、数秒後に消灯します。
- ハイブリッドシステムを始動したとき、約60秒間警告灯が点灯することがありますが、その後、消灯すれば異常ではありません。
- 繰り返しブレーキペダルを踏むと警告灯が点灯し、警告ブザーが鳴ることがありますが、数秒後に消灯、消音すれば異常ではありません。この場合、一時的にブレーキペダルの操作感がかわりますが、消灯・消音すればもとにもどります。

次の警告灯が点灯または点滅したままのときは、すみやかに対処してください。



## ● 半ドア警告灯

いずれかのドア（バックドアを含む）が確実に閉まっていないときに点灯します。



警告灯が点灯したまま走行しないでください。ドアが確実に閉まっていないため、走行中にドアが開き、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。



## ● 運転席シートベルト非着用警告灯

“パワー”スイッチがONモード、またはREADY（走行可能表示灯）が点灯しているとき、運転席シートベルトを着用していないと点滅します。

ただちにシートベルトを着用してください。

### ■ 運転席シートベルト非着用警告ブザー

警告灯が点滅している状態で、車速が約20km/h以上になると、ブザーが約120秒間鳴ります。（ブザーが鳴りはじめてから約30秒後に断続音の速さかわります）

● シートベルトを着用すると消音します。

次の警告灯が点灯または点滅したままのときは、すみやかに対処してください。



PASSENGER

## ● 助手席シートベルト非着用警告灯

“パワー”スイッチがONモード、またはREADY（走行可能表示灯）が点灯しているとき、助手席シート座面の乗員検知センサーが乗員を検知したときに助手席シートベルトを着用していないと点滅します。

ただちにシートベルトを着用してください。

### ■ 助手席シートベルト非着用警告ブザー

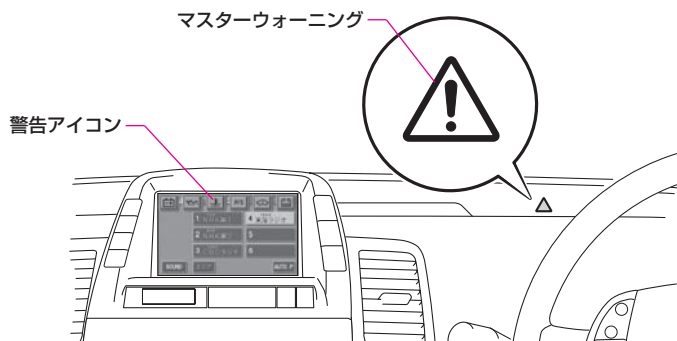
警告灯が点滅している状態で、車速が約20km/h以上になると、ブザーが約120秒間鳴ります。（ブザーが鳴りはじめてから約30秒後に断続音の速さがかわります）

● シートベルトを着用すると消音します。

## 🎓 知識

### 警告灯について













- センサーは、助手席シート座面（うしろ半分）に、ある一定以上の重量がかかったとき検知します。従って、荷物などを置いた場合にも検知することがあります。
- 助手席シート座面上にクッション（座布団）などを敷くと、重量が分散され、センサーが乗員を検知しない場合があります。



各システムに異常が発生すると、メーター内のマスターウォーニングが点灯すると同時にブザーが鳴り、ディスプレイに警告アイコンが表示されます。

- 異常が解消されるまでマスターウォーニングは点灯し、警告アイコンが表示されます。

## 〈警告アイコン一覧表〉

アイコン		警告アイコン名
HDDナビゲーションシステム非装着車	HDDナビゲーションシステム装着車	
		ハイブリッドシステム異常警告
		駆動用電池警告
		水温警告
		充電警告
		油圧警告
		パワーステアリング警告

目次



警告

基本操作  
早わかり運転装置の  
取り扱い室内装備の  
取り扱い安全・快適装備  
の解説と注意車との上手な  
付き合い方

メンテナンス

万一のとき

索引

## 警告内容の見方



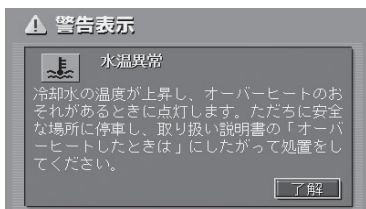
メッセージ画面

(HDDナビゲーションシステム非装着車)



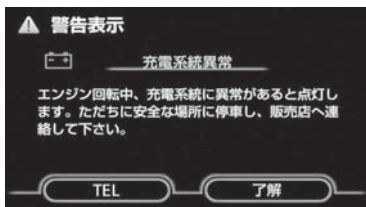
メッセージ画面

(HDDナビゲーションシステム装着車)



メッセージ画面

(HDDナビゲーションシステム非装着車)



メッセージ画面

(HDDナビゲーションシステム装着車)

- 1 表示された警告アイコンにタッチします。
- 画面の指示に従って、処置してください。

- 2 最初の画面にもどすときは、**了解** にタッチします。

警告アイコンがディスプレイに表示されたときは、警告アイコンにタッチして画面の指示に従ってください。



## ● ハイブリッドシステム異常警告

ハイブリッドシステム（電気モーター、インバーターユニット、駆動用電池など）に異常があると表示されます。



**警告アイコンが表示されたときはただちに安全な場所に停車し、プリウス取り扱いトヨタ販売店へご連絡ください。**

- 警告アイコンが表示されたときはただちに安全な場所に停車し、プリウス取り扱いトヨタ販売店へご連絡ください。
- 警告アイコンが表示されてもアクセルペダルの操作に応じて多少の加速ができる場合もありますが、これは一時的な性能であるため、長時間の使用はできません。車両をより安全な場所に移動させる場合に限り使用し、移動させたらただちにプリウス取り扱いトヨタ販売店へご連絡ください。
- 警告アイコンが表示され、アクセルペダルに応じて加速しない場合は、アクセルペダル系の故障の可能性があります。ただちにプリウス取り扱いトヨタ販売店へご連絡ください。

また、車両をより安全な場所に移動させる場合には、下記の「アクセルペダルに応じて加速しないときの移動方法」で車両を動かします。よくお読みになってから移動させ、ただちにプリウス取り扱いトヨタ販売店へご連絡ください。

## 🎓 知識

### アクセルペダルに応じて加速しないときの移動方法

通常の走行方法と異なり、ブレーキペダルのみで速度調整を行います。

- 1 ブレーキペダルをしっかりと踏みます。
- 2 シフトポジションをⓀにします。
- 3 ブレーキペダルを右足でしっかりと踏んだまま、パーキングブレーキを解除します。
- 4 ブレーキペダルを徐々にゆるめると車両が動き、移動できます。
- 5 減速、停止するときは、ブレーキペダルを踏みます。

アクセルペダルを使用しないでブレーキペダルだけで走行する方法ですので、ペダルの踏み間違いなどに十分注意して運転してください。

警告アイコンがディスプレイに表示されたときは、警告アイコンにタッチして画面の指示に従ってください。



## ● 駆動用電池警告

駆動用電池の電圧が低下すると表示されます。



警告アイコンが表示されたときはただちに安全な場所に停車し、プリウス取り扱いトヨタ販売店へご連絡ください。

- READY（走行可能表示灯）が点灯した状態で警告アイコンが表示されたときは、ただちに安全な場所に停車し、プリウス取り扱いトヨタ販売店へご連絡ください。
- ハイブリッドシステムを始動したときに表示されたときは、プリウス取り扱いトヨタ販売店へご連絡ください。



## ● 水温警告

冷却水の温度が上昇し、オーバーヒートのおそれがあるときに表示されます。



警告アイコンが表示されたときは、オーバーヒートのおそれがあります。ただちに安全な場所に停車し、P.379の「オーバーヒートしたときは」に従って処置をしてください。



警告アイコンがディスプレイに表示されたときは、警告アイコンにタッチして画面の指示に従ってください。



## ● 充電警告

充電系統（インバーターユニットなど）に異常があると表示されます。



**注意**

警告アイコンが表示されたときは、ただちに安全な場所に停車し、プリウス取り扱いトヨタ販売店へご連絡ください。



## ● 油圧警告

エンジン内部を潤滑しているオイルの圧力に異常があると表示されます。



「油圧警告」はオイル量を示すものではありません。オイル量の点検はオイルレベルゲージにより行ってください。（点検方法は「メンテナンスノート」をお読みください）



**注意**

警告アイコンが表示されたときは、ただちに安全な場所に停車し、「パワー」スイッチをOFFにしエンジンオイル量を点検してください。点灯したまま走行し続けるとエンジンを損傷するおそれがあります。エンジンオイルが減っていないのに表示されているときやエンジンオイルを補給しても表示されているときは、プリウス取り扱いトヨタ販売店へご連絡ください。

警告アイコンがディスプレイに表示されたときは、警告アイコンにタッチして画面の指示に従ってください。



## ● パワーステアリング警告

パワーステアリング制御システムに異常があると表示されます。



警告アイコンが表示されたときはただちに安全な場所に停車し、プリウス取り扱いトヨタ販売店で点検を受けてください。

- 警告アイコンが表示されたときは、ただちに安全な場所に停車し、プリウス取り扱いトヨタ販売店で点検を受けてください。  
この場合、ハンドルの操作が非常に重くなる場合がありますので、ハンドルを操作して通常より重いときは、ハンドルをしっかり持ち、通常より強く操作してください。
- 下り坂などでハイブリッドシステムが始動していないのに車両が動いてしまったときなど、READY（走行可能表示灯）が消灯している状態で車両が動いているときに、“パワー”スイッチをONモードにすると、ハンドルの操作が非常に重くなります。  
この場合、車両を完全に停止させ、ハイブリッドシステムを始動させてください。

## 警告画面

HYBRID

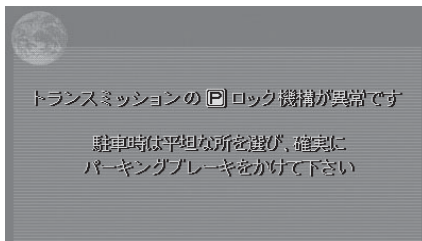


お知らせしたい事項が発生すると、メーター内のマスターワーニングが点灯すると同時にブザーが鳴り、ディスプレイに警告画面が表示されます。

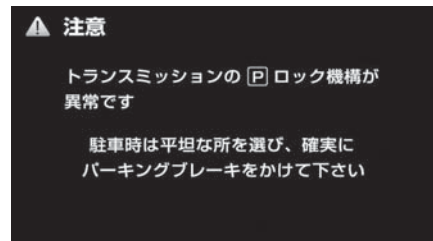
次のような画面が表示された場合は、画面の指示に従ってください。

●警告内容が解消されるか、または他のモードに画面を切りかえるまで警告画面は表示されます。

### ■Pポジション制御異常警告 (P.196参照)



HDDナビゲーションシステム非装着車



HDDナビゲーションシステム装着車

目次

警告

基本操作

運転装置の

室内装備の

安全・快適装備

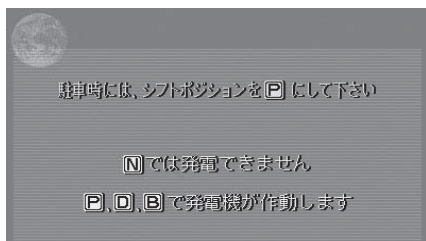
車との上手な

メンテナンス

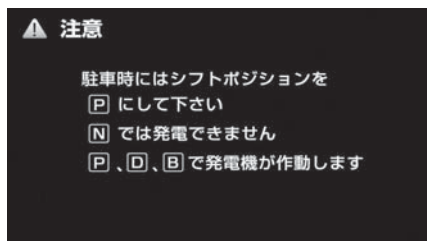
万のとき

索引

■シフトポジション警告（READY [走行可能表示灯] 点灯時）（P.197参照）

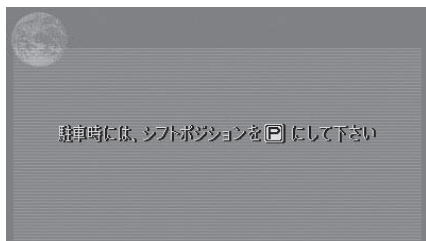


HDDナビゲーションシステム非装着車

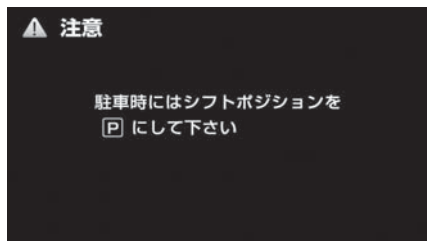


HDDナビゲーションシステム装着車

■シフトポジション警告（READY [走行可能表示灯] 消灯時）（P.197参照）



HDDナビゲーションシステム非装着車

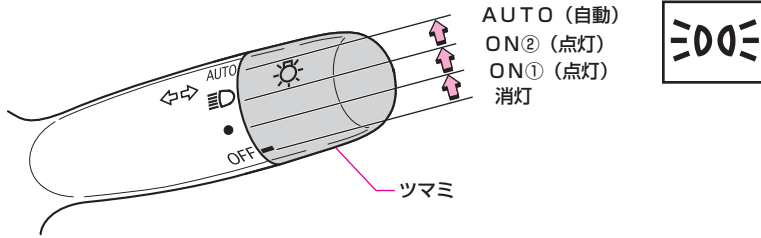


HDDナビゲーションシステム装着車

# スイッチの使い方

## ランプの使い方

### ● ランプの点灯・消灯のしかた



ツマミの位置	点灯するランプ
ON① (点灯)	車幅灯・尾灯・番号灯・各スイッチ照明
ON② (点灯)	①のランプ+ヘッドランプ
AUTO (自動)	①のランプ+ヘッドランプ (自動制御)

ツマミをON①・ON②にまわすと点灯します。  
ツマミをAUTOにまわすと、周囲の明るさに応じて、ヘッドランプ・車幅灯などが自動で点灯・消灯します。(コンライト※)

●車幅灯が点灯すると、メーター内の車幅灯表示灯 (P.212参照) が点灯します。

※コンライトの設定を変更することができます。詳しくは、P.352の「ユーザーカスタマイズ」を参照してください。



**注意**

完全に充電された補機バッテリーでも、ハイブリッドシステムを停止した状態で長時間ランプ類を点灯すると、補機バッテリーあがりの原因となります。

## 知識

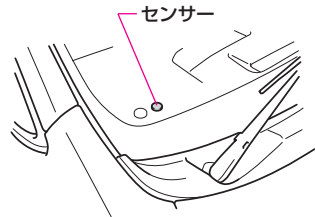
### 作動条件について

- ON①・ON②の位置は、“パワー”スイッチの状態に関係なく使用できます。
- AUTOの位置（コンライト）は、“パワー”スイッチがONモード、またはREADY（走行可能表示灯）が点灯しているとき使用できます。

### コンライトセンサーについて

- コンライトのセンサーの上にものを置いたり、ガラスクリーナーなどを吹きかけると、センサーが正常に作動なくなることがあります。\*
- 連続するトンネルや半地下道路など、ひんぱんにヘッドランプの点灯・消灯を繰り返さないように、ヘッドランプ消灯直後に再点灯を連続して検知した場合は、通常より消灯するまでの時間が長くなります。

※コンライトセンサーの設定を変更することができます。詳しくは、P.352の「ユーザーカスタマイズ」を参照してください。



### 便利機能について

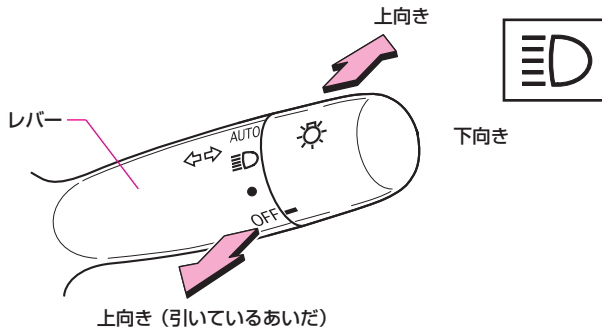
#### ランプオートカットシステム

ツマミがON①・ON②、またはAUTOのまま“パワー”スイッチをOFFにし、運転席ドアを開けると自動的に消灯します。

次のいずれかの操作をすると再び点灯します。

- “パワー”スイッチをONモード、またはハイブリッドシステムを始動する。
- ランプスイッチをOFFにし、もう一度ONにする。  
(この場合、運転席ドアを開けてもランプは消灯しません)

## 前方を遠くまで照らしたいときは



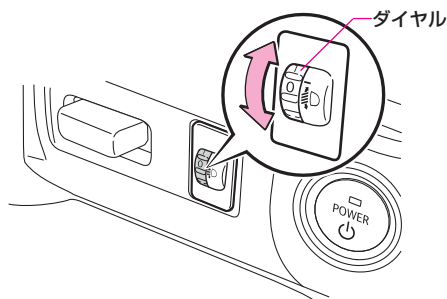
- ヘッドランプが点灯しているとき、レバーを前方に押し、ヘッドランプが上向きになります。
- ヘッドランプが消灯しているとき、レバーを手前に引いているあいだ、ヘッドランプが上向きになります。
- ヘッドランプが上向きのときは、メーター内のヘッドランプ上向き表示灯（P.212参照）が点灯します。



**注意**

完全に充電された補機バッテリーでも、ハイブリッドシステムを停止した状態で長時間ランプ類を点灯すると、補機バッテリーあがりの原因となります。

## ヘッドランプの光軸上下調整



ダイヤルをまわすと、ヘッドランプの光軸（光の照らす方向）を下向きに調整できます。

通常は0（ゼロ）の位置（光軸がいちばん上向きの位置）で使用します。

### 知識

#### 作動条件について

ヘッドランプが点灯しているときに使用できます。

#### 光軸上下調整について

- 荷物や人をのせることにより車両前面が上を向いて、ヘッドランプの照らす範囲がいつもより上向きになっているときに、ダイヤルをまわしてヘッドランプの光軸を下向きにします。荷物や人を降ろしたあとには、必ずダイヤルを0（ゼロ）の位置にもどしておいてください。

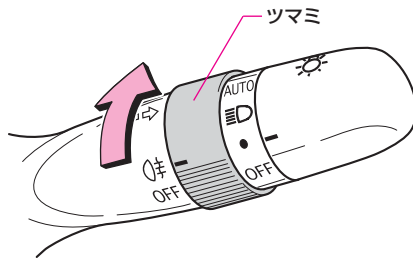
#### 〈ダイヤル位置の目安〉

乗員やラゲージルームの積載状況	ダイヤル位置
運転席のみ乗車時	0
運転席と助手席に乗車時	0
5名乗車時	1.5
5名乗車時でかつラゲージルーム満載時	2
運転席のみ乗車時でかつラゲージルーム満載時	3.5

- 車検などで光軸調整をするときは、ヘッドランプレベリング調整ダイヤルを0（ゼロ）の位置（いちばん上向きの位置）にしてから行ってください。



## リヤフォグランプの使い方★



ツマミを (★) にまわすと点灯します。(手をはなすと自動でOFFの位置までもどります)

- 点灯中は、メーター内のリヤフォグランプ表示灯 (P.212参照) が橙色に点灯します。
- リヤフォグランプが点灯しているときに、ツマミを再度 (★) にまわすと消灯します。

### 知識

#### リヤフォグランプについて

雨や霧などで視界が悪いときに後続車に自分の車の存在を知らせるために使用します。

- 視界が悪いとき以外に使用すると後続車の迷惑になる場合があります。必要なとき以外は使用しないでください。

#### 作動条件について

- ヘッドランプが点灯しているときに使用できます。
- ランプスイッチがAUTOの位置で、リヤフォグランプが点灯しているとき、ハイブリッドシステムを停止し、運転席ドアを開けると、リヤフォグランプは消灯します。
- リヤフォグランプが点灯しているときに、ヘッドランプを消灯させると、リヤフォグランプも消灯します。
- リヤフォグランプが消灯したあとに、再度点灯させるためには、リヤフォグランプスイッチの操作が必要です。

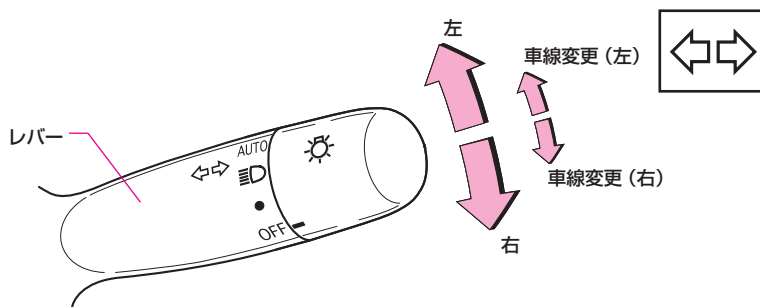
目次

警告

基本  
操作運  
転  
装  
置  
の  
取  
り  
扱  
い室  
内  
装  
備  
の  
取  
り  
扱  
い安  
全  
・  
快  
適  
装  
備  
の  
解  
説  
と  
注  
意車  
と  
の  
上  
手  
な  
付  
き  
合  
い  
方メン  
テナ  
ンス万  
一  
の  
と  
き

索引

## 方向指示レバーの使い方



- レバーを上または下へ操作すると、左または右側の方向指示灯が点滅します。メーター内にある方向指示表示灯 (P.212参照) も点滅します。レバーはハンドルをもどすと自動的にもどります。もどらないときは、手でもどしてください。
- 車線変更のときには、レバーを軽く上または下へ押さえているあいだ、それぞれの方向指示灯および方向指示表示灯が点滅し、手を離すと消灯します。

### 知識

#### 作動条件について

“パワー”スイッチがONモード、またはREADY（走行可能表示灯）が点灯しているとき使用できます。

#### 点滅が異常に速くなったときは

方向指示灯の電球切れが考えられます。すべての方向指示灯が点滅するか確認してください。

## ワイパー & ウォッシャーの使い方

目次

警告

基本操作

運転装置の  
取り扱いは

室内装備の  
取り扱いは

安全・快適装備  
の解説と注意

車との上手な  
付き合い方

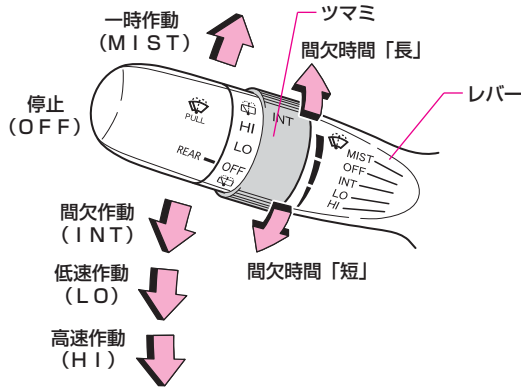
メンテナンス

万のとき

索引

### ワイパーの動かし方

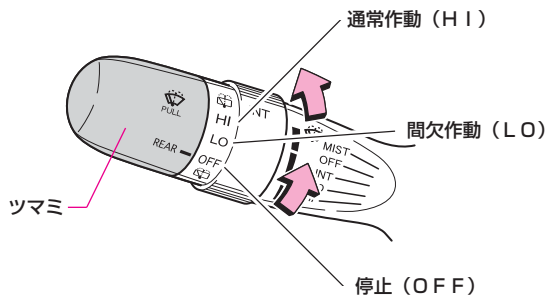
#### ■フロント



レバーを操作すると、上図のように作動します。

- 間欠作動 (INT) のときツマミをまわすと、間欠時間を約3～12秒のあいだで調整できます。
- 一時作動 (MIST) は、レバーをOFFから押し上げているあいだ、ワイパーが低速作動します。手を離すとOFFにもどります。

#### ■リヤ



ツマミをまわすと、上図のように作動します。



ワイパーゴムがガラスに張り付いていないことを確認してください。

- ウインドウガラスが凍結しているときや、長時間ワイパーを使用しなかったときは、ワイパーゴムがガラスに張り付いていないことを確認してください。ガラスに張り付いたまま作動させると、ワイパーゴムを損傷するおそれがあります。
- 積雪などにより、ワイパーが途中で止まったときは、車を安全な場所に止めてワイパースイッチと“パワー”スイッチをOFFにし、ワイパーが作動できるように積雪などの障害物を取り除いてください。



#### 作動条件について

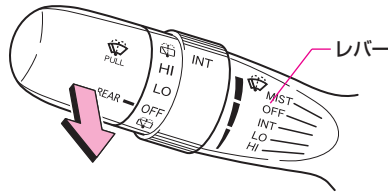
“パワー”スイッチがONモード、またはREADY（走行可能表示灯）が点灯しているとき使用できます。

#### 保護機能について

ワイパーモーターには、保護機能としてブレーカーを内蔵しています。モーターの負担が大きい状況が続いたときなどには、ブレーカーが作動し、一時的にモーターが止まることがあります。10分ほどすると、ブレーカーが復帰して通常どおり使用できるようになります。

## ● ウォッシャー液の噴射のしかた

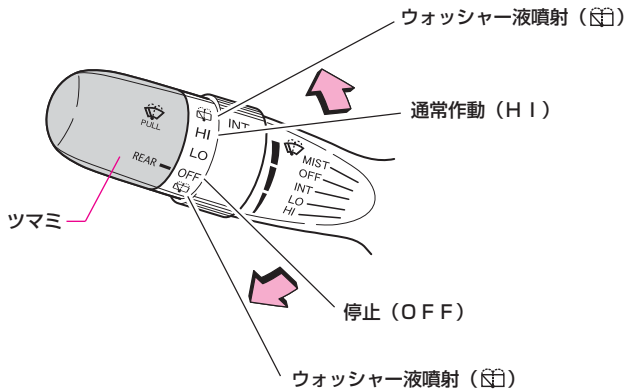
### ■ フロント



レバーを手前に引いているあいだ、ウォッシャー液が噴射されます。

- ウォッシャー液噴射後、ワイパーが数回作動します。

### ■ リヤ



- 作動中にウォッシャー液を噴射させるときは、ツマミをHIから上のON側にまわします。
- ツマミをOFFから下のON側にまわすと、ウォッシャー液が噴射されます。
  - ・ ウォッシャー液噴射後、ワイパーが数回作動します。



**警告**

寒冷時はウインドウガラスが暖まるまでウォッシャー液を使用しないでください。ウォッシャー液がウインドウガラスに凍り付き、視界不良を起こして思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。



**注意**

**必ずウォッシャー液を噴射してからワイパーを作動させてください。**

- 必ずウォッシャー液を噴射してからワイパーを作動させてください。ガラスが乾いているときにワイパーを作動させると、ガラスを傷付けるおそれがあります。
- ウォッシャー液が出ないとき、ウォッシャースイッチを操作し続けると、ポンプが故障するおそれがあります。ウォッシャー液量やノズルのつまりを点検してください。また、ノズルがつまって噴射状態が悪い場合は、トヨタ販売店にご相談ください。

## 知識

### 作動条件について

“パワー”スイッチがONモード、またはREADY（走行可能表示灯）が点灯しているとき使用できます。

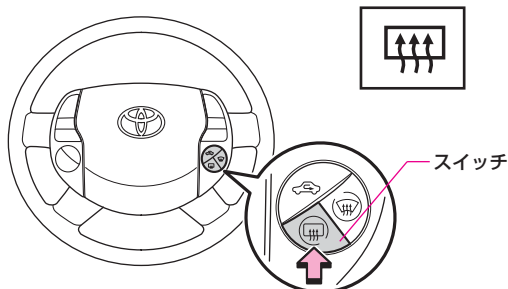
### ガラスに付いた油膜について

油膜があると、雨の夜は対向車のランプなどが乱反射します。ガラスクリーナーを使ってガラスの表面をきれいにしてください。

### ウォッシャー液の補給について

ウォッシャー液の補給については、P.338を参照してください。

## リヤウインドゥデフォグガー(曇り取り)、フロントワイパーデアイサー★の使い方



スイッチを押すと約15分間作動し、作動中にもう一度押すと停止します。

- 作動中はメーター内のリヤウインドゥデフォグガー表示灯 (P.215参照) が点灯します。



**警告**

フロントワイパーデアイサー作動中はフロントウインドウガラス下部、および運転席側ピラー周辺部の表面が熱くなりますので、手をふれないでください。やけどをするおそれがあり危険です。



**注意**

連続して長時間使用すると、補機バッテリーあがりの原因となります。

### 知識

#### リヤウインドゥデフォグガーについて

- リヤウインドウガラスを熱線で暖めて曇りを取ります。
- ミラーヒーター装着車は、ミラーヒーターも同時に作動します。(P.170参照)

#### フロントワイパーデアイサーについて

フロントウインドウガラスの下部、および運転席側ピラー周辺部の表面を暖めてガラスとワイパーブレードの凍結を防止します。

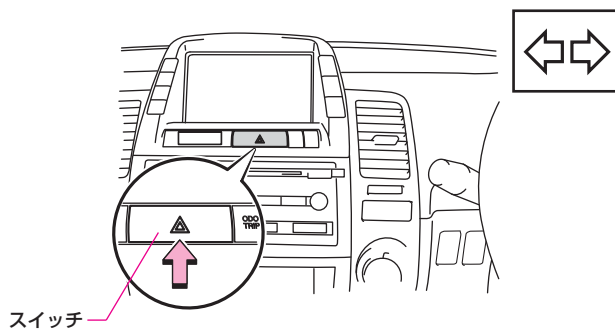
#### 作動条件について

“パワー”スイッチがONモード、またはREADY(走行可能表示灯)が点灯しているとき使用できます。

#### エアコン操作画面での操作

ディスプレイにエアコン操作画面を表示させて操作することもできます。詳しくは、別冊の「エレクトロマルチビジョン取扱書」または「HDDナビゲーションシステム取扱書」をご覧ください。

## 非常点滅灯の使い方



スイッチを押すとすべての方向指示灯が点滅し、もう一度押すと消灯します。

●メーター内にある方向指示表示灯（P.212参照）も点滅します。



補機バッテリーがあがるのを防ぐため、ハイブリッドシステムが停止しているときに長時間使用しないでください。

### 知識

#### 非常点滅灯について

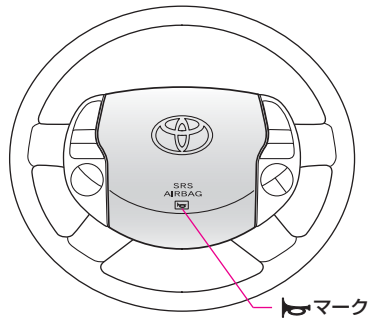
故障などでやむを得ず路上駐車する場合、他車に知らせるため使用します。

#### 作動条件について

“パワー” スイッチの状態に関係なく使用できます。



## ホーンの使用方



ハンドルの  マーク周辺部を押すとホーン（警音器）が鳴ります。



**注意**

ハンドル位置を調整したあとは、確実に固定されていることを確認してください。確実に固定されていないと、ホーンが鳴らない場合があります。ハンドルの固定方法については、P.166の「ハンドルの調整」を参照してください。



**知識**

### 作動条件について

“パワー” スイッチの状態に関係なく使用できます。

目次



警告

基本操作  
早わかり運転装置の  
取り扱い室内装備の  
取り扱い安全・快適装備  
の解説と注意車との上手な  
付き合い方

メンテナンス

万一のとき

索引

# MEMO

---

# 4

## 室内装備の取り扱い

### 室内装備品の使い方…………… 250

サンバイザー	250
室内灯	251
ドアカーテシランプ	252
ラゲージランプ	252
グローブボックス	253
コンソールボックス	254
デッキフック	255
カップホルダー	256
ボトルホルダー	257
小物入れ	257
オーバーヘッドコンソール	258
デッキサイドボックス	258
デッキアンダートレイ	259
トノカバー	260
アクセサリーソケット	262
時計	263
イルミネーテッド	
エントリーシステム	264
フロアマット	266

目次



警告

基本操作  
早わかり

運転装置の  
取り扱い

室内装備の  
取り扱い

安全・快適装備  
の解説と注意

車との上手な  
付き合い方

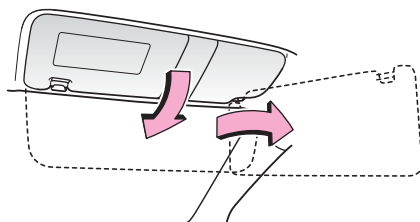
メンテナンス

万のとき

索引

# 室内装備品の使い方

## サンバイザー



日差しがまぶしいときに使用します。  
側面にまわして使用することもできます。

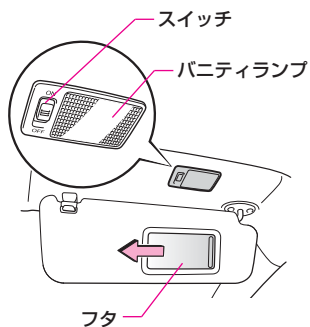


ハイブリッドシステム停止中、長時間バニティランプを点灯したままにしておくと、補機バッテリーがあがることがあります。

### 知識

#### 便利機能について

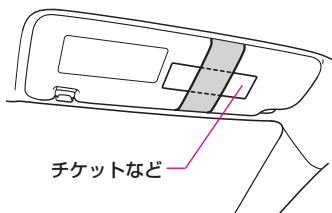
**バニティ（化粧用）ミラー、バニティランプ**  
サンバイザーの裏側に化粧用ミラーが付いています。  
フタをスライドさせて使用します。  
●フタをスライドさせると、バニティランプ（スイッチがONの位置のとき）が点灯します。



#### チケットホルダー

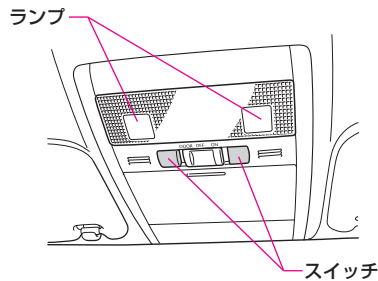
##### 運転席側

サンバイザーの表側にあります。チケットなどを収納することができます。



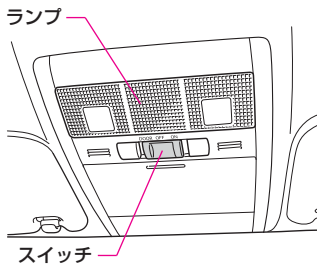
## 室内灯

### ■マップランプ

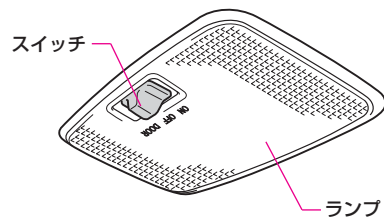


スイッチを押すと、押した側のマップランプが点灯します。

### ■フロントパーソナルランプ



### ■ルームランプ



- スイッチがONの位置のときは、常に点灯します。
- スイッチがOFFの位置のときは、常に消灯します。
- スイッチがDOORの位置のとき、ドアの開閉（バックドアを含む）、解錠・施錠、“パワー”スイッチの切りかえに連動して点灯・消灯します。  
（詳しくは、P.264の「イルミネーテッドエントリーシステム」を参照してください）



ハイブリッドシステム停止中、長時間使用すると補機バッテリーがあがる場合があります。

### 知識

#### 作動条件について

“パワー”スイッチの状態に関係なく使用できます。

目次

警告

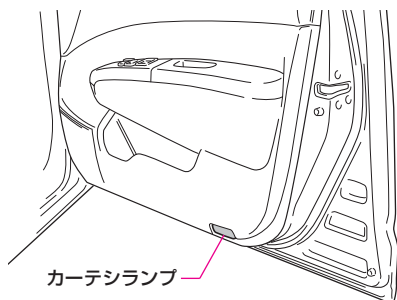
基本操作  
早わかり運転装置の  
取り扱い室内装備の  
取り扱い安全・快適装備  
の解説と注意車との上手な  
付き合い方

メンテナンス

万一のとき

索引

## ドアカーテシランプ



フロントドアにあります。

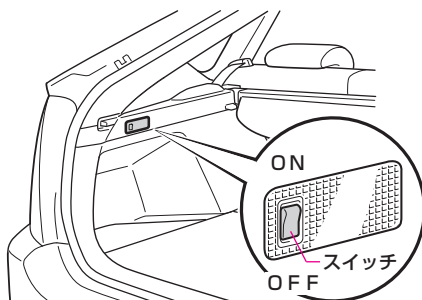
- ドアを開けると、開けたドアのカーテシランプが点灯し、閉めると消灯します。



**注意**

ハイブリッドシステム停止中、長時間使用すると補機バッテリーがあがることがあります。

## ラゲージランプ



- スイッチがONの位置のときは、バックドアを開けたとき点灯し、閉めると消灯します。
- スイッチがOFFの位置のときは、常に消灯します。



**注意**

ハイブリッドシステム停止中、長時間使用すると補機バッテリーがあがることがあります。



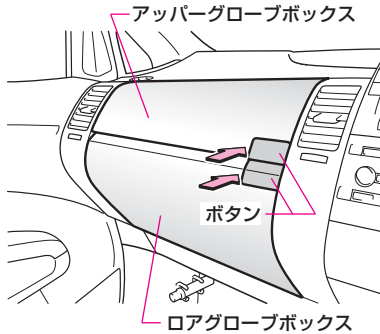
**知識**

### 作動条件について

“パワー”スイッチの状態に関係なく使用できます。

## グローブボックス

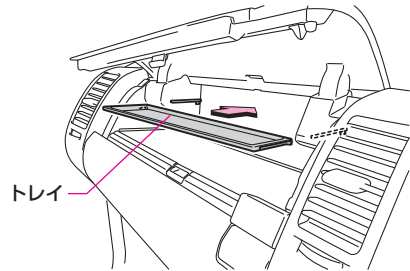
### ■グローブボックス



ボタンを押すと開きます。

- グローブボックスを閉めるときは、確実に閉めてください。

### ■アッパーグローブボックストレイ



アッパーグローブボックスには取りはずし可能なトレイがあります。

- 取り付けるときは、“カチッ”と音がするまで挿し込みます。
- 取りはずすときは、トレイを手前に引き出します。



**警告**

グローブボックスのフタを開けたまま走行しないでください。急ブレーキをかけたときなどに荷物が飛び出し、思わぬ事故につながるおそれがあります。



**注意**

アッパーグローブボックストレイに手をつかないようにしてください。トレイが破損するおそれがあります。



**知識**

#### 便利機能について

#### ロアグローブボックスランプ

車幅灯を点灯させると、ロアグローブボックス内のランプが点灯します。

目次

警告

 基本操作  
早わかり

 運転装置の  
取り扱い

 室内装備の  
取り扱い

 安全・快適装備  
の解説と注意

 車との上手な  
付き合い方

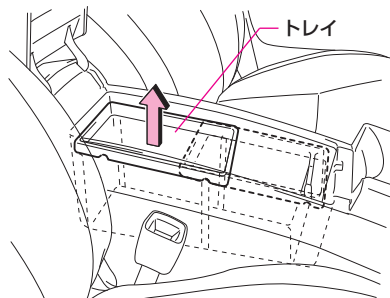
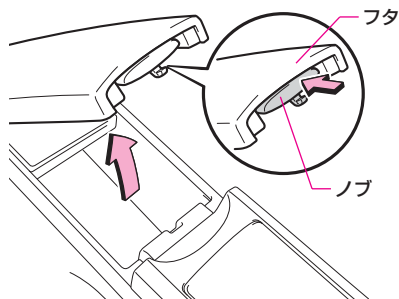
メンテナンス

万一のとき

索引

## コンソールボックス

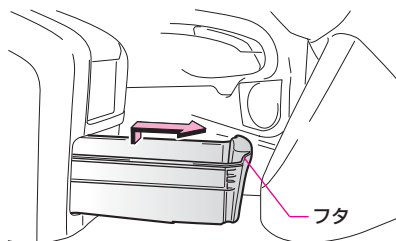
### ■上段コンソールボックス



ノブを押してフタを開けます。

- 閉めるときは“カチッ”と音がするまで確実に閉めます。
- コンソールボックス内のトレイは前後に移動させたり、取りはずして使用することができます。
- 使用しないときは、フタを閉めておいてください。

### ■下段コンソールボックス



フタを持ち上げながら引いて開けます。

- 使用しないときは、閉めておいてください。



**警告**

コンソールボックスのフタを開けたまま走行しないでください。急ブレーキをかけたときなどに荷物が飛び出し、思わぬ事故につながるおそれがあります。



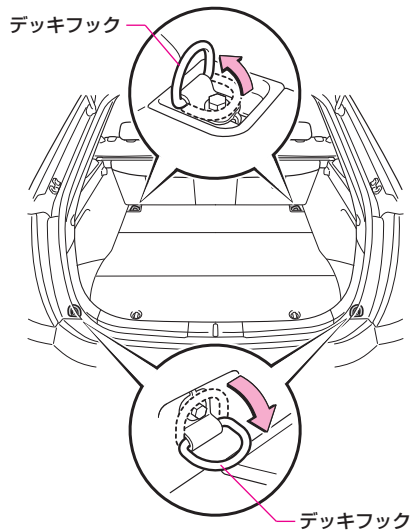
**注意**

コンソールボックスに手をついたり、足で踏んだりしないでください。

- コンソールボックスに手をついたり、足で踏んだりしないでください。コンソールボックスが破損するおそれがあります。
- コンソールボックスのフタを開閉するときは、指などを挟まないように注意してください。



## デッキフック



ラゲージルームに備え付けられています。

- 市販のネットやロープを併用して、荷物を固定することができます。



**注意**

フックを使用しないときは、格納しておいてください。指を挟むなどして思わぬけがをするおそれがあります。



**知識**

### デッキフックについて

- 積荷の固定用としてご利用ください。
- フックは4か所あります。

目次

警告

基本操作  
早わかり運転装置の  
取り扱い室内装備の  
取り扱い安全・快適装備  
の解説と注意車との上手な  
付き合い方

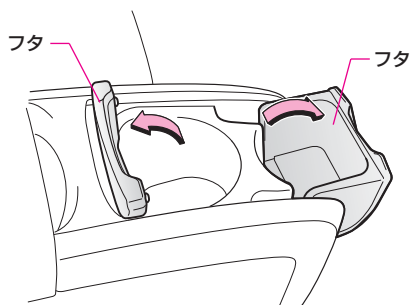
メンテナンス

万一のとき

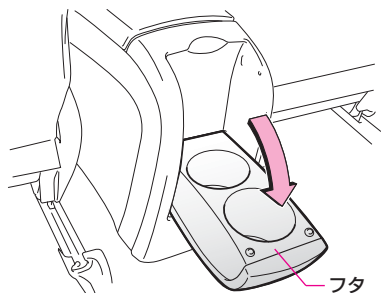
索引

## カップホルダー

### ■フロント



### ■リヤ



フタを開けて使用します。

●使用しないときは、フタを閉めておいてください。



**警告**

カップホルダーには、カップや飲料缶以外のものを入れないでください。

- カップホルダーには、カップや飲料缶以外のものを入れないでください。急ブレーキをかけたときや衝突時に収納していたものが飛び出し、けがをするおそれがあります。やけどを防ぐために温かい飲み物にはフタをしてください。
- 急ブレーキをかけたときや衝突時に、カップホルダーに体があたるなどして、思わぬけがをするおそれがあり危険です。カップホルダーを使用しないときはフタを閉めておいてください。

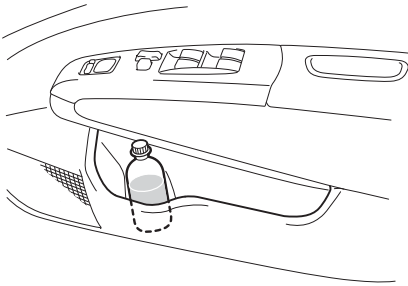


**注意**

カップホルダーを破損から守るためカップホルダーに手をついたり、足で踏んだりしないでください。

- カップホルダーを破損から守るためカップホルダーに手をついたり、足で踏んだりしないでください。
- カップホルダーのフタを開閉するときは、指などを挟まないように注意してください。
- カップホルダーにはペットボトルや安定性の悪いものを置かないでください。倒れる可能性があります。ペットボトルなどはボトルホルダーに置いてください。

## ボトルホルダー



フロントドアにあります。

### ⚠ 注意

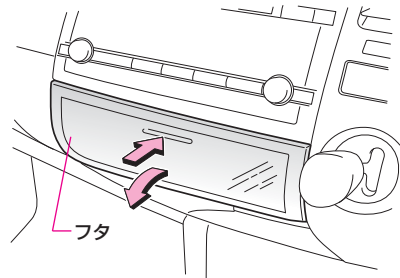
走行するとき、ドアを開閉するとき、ジュースなどが入っている紙コップやガラス製のコップなどを収納しないでください。ジュースなどがこぼれたり、ガラス製品が割れたりするおそれがあります。

### 🎓 知識

#### ボトルホルダーについて

- ペットボトルのフタを必ず閉めてから収納してください。
- ペットボトルの大きさ、形によっては収納できないことがあります。

## 小物入れ



フタを押して開けます。

- 使用しないときは、フタを閉めておいてください。

### ⚠ 警告

小物入れのフタを開けたまま走行しないでください。急ブレーキをかけたときなどに荷物が飛び出し、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

目次

⚠ 警告

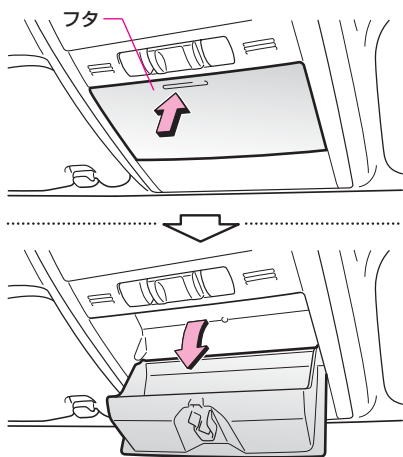
基本操作  
早わかり運転装置の  
取り扱い室内装備の  
取り扱い安全・快適装備  
の解説と注意車との上手な  
付き合い方

メンテナンス

万一のとき

索引

## オーバーヘッドコンソール



フタを押して、開けます。

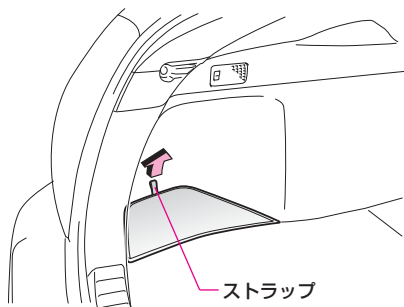
- 使用しないときは、フタを閉めておいてください。

### 警告

- オーバーヘッドコンソールを開けたまま走行しないでください。急ブレーキをかけたときなどに荷物が飛び出し、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- メガネやライターを放置したまま、車から離れないでください。オーバーヘッドコンソール内に放置したままにしておくと、ライターが爆発したりして思わぬ事故につながるおそれがあります。プラスチックレンズ・プラスチック素材のメガネの変形・ひび割れを起こすことがあります。

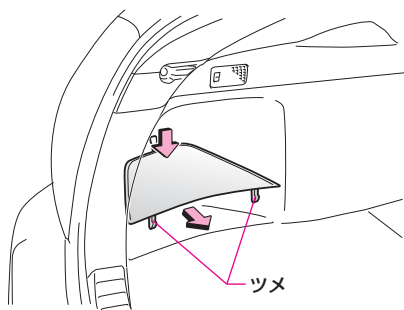
## デッキサイドボックス

### ■カバーの取りはずし方



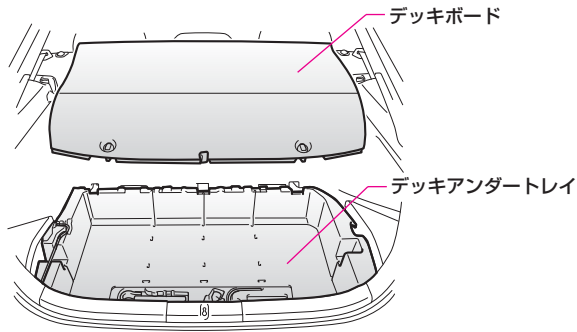
ストラップを引いてカバーを取りはずします。

### ■カバーの取り付け方



ツメを先にはめ込んで、取り付けます。

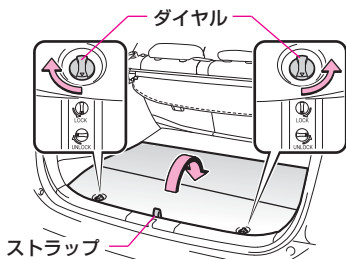
## デッキアンダートレイ



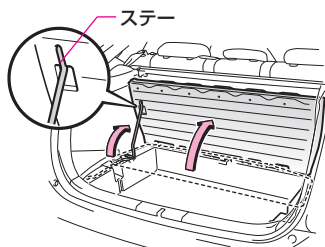
デッキボードの下に、荷物を収納することができるトレイがあります。

### ■デッキボードの折りたたみ方

デッキボードは2段階に折りたたみ、立てかけることができます。



- 1 ダイヤルをUNLOCK側にまわしてデッキボードのロックをはずし（2か所）、ストラップを持って左図のように折りたたみます。



- 2 デッキボードを左図のように持ち上げ、ステーで固定します。



**警告**

デッキボードを開けたまま走行しないでください。急ブレーキをかけたときなどに荷物が飛び出し、思わぬ事故につながるおそれがあります。



**注意**

デッキボードの上に乗らないでください。デッキボードが破損するおそれがあります。

目次



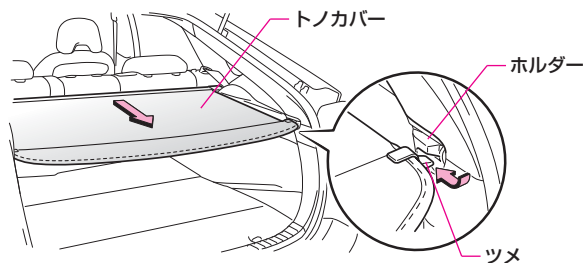
警告

基本  
操作運転  
装置  
の  
扱い室内  
装備  
の  
扱い安全・快適  
装備  
の  
解説  
と  
注意車  
との  
上手  
な  
付き  
合い  
方メン  
テナ  
ンス万  
一  
の  
と  
き

索引

## トノカバー★

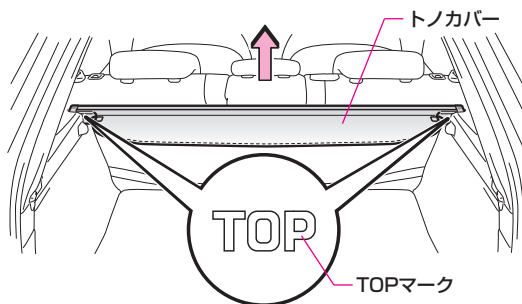
### トノカバーの使い方



トノカバーを引いてツメを左右のホルダーにかけます。

- 収納するときは、ツメを左右のホルダーからはずし、トノカバーをゆっくりと巻き取らせます。

### トノカバーの取りはずし方



トノカバーを巻き取らせ、トノカバー本体を持って上に持ち上げて取りはずします。

- 取り付けるときは、TOPマークを上にして取り付けます。  
“カチッ”と音がして確実に固定されたことを確認してください。



**トノカバーの上に荷物を置いたり、お子さまが乗ったりしないでください。**

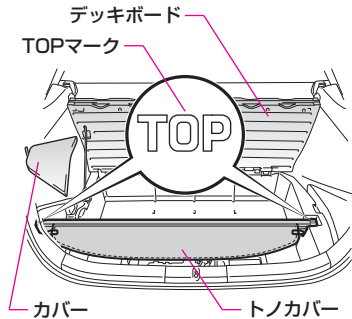
- トノカバーの上に荷物を置いたり、お子さまが乗ったりしないでください。トノカバーが破損し、荷物が損傷したり、お子さまが重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- トノカバーを操作するときは、トノカバーとまわりの部品のあいだに指や腕などを入れないように注意してください。指や腕などを挟み、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- トノカバーを取り付けるときは、TOPマークを上にして取り付け、“カチッ”と音がして確実に固定されたことを確認してください。トノカバーが確実に固定されていないと、走行中にトノカバーがはずれ、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

## 知識

### トノカバーの収納について

トノカバーは以下の手順でデッキアンダートレイ内に格納できます。

- 1 トノカバーを取りはずします。
- 2 デッキボードを折りたたみます。(P.259参照)
- 3 デッキサイドボックスのカバーを取りはずします。(P.258参照)
- 4 トノカバーを図のように収納します。  
収納するときは、TOPマークが上になるように収納してください。
- 5 デッキサイドボックスのカバーを取り付け、デッキボードを閉じます。



目次

警告

基本操作

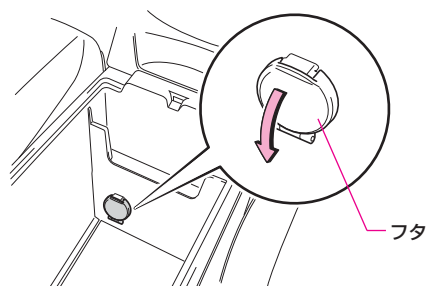
運転装置の  
取り扱い室内装備の  
取り扱い安全・快適装備  
の解説と注意車との上手な  
付き合い方

メンテナンス

万一のとき

索引

## アクセサリソケット



車内で電化製品を使用することのできるソケットが上段コンソールボックス (P.254参照) 内にあります。

- フタを開けて使します。



**注意**

アクセサリソケットを使わないときは、ソケットのフタを閉めておいてください。

- アクセサリソケットを使わないときは、ソケットのフタを閉めておいてください。異物がソケットに入ったり、飲料水等がかかったりすると、故障したりショートするおそれがあります。
- ハイブリッドシステム停止中、長時間使用すると補機バッテリーがあがることがあります。

### 知識

#### 作動条件について

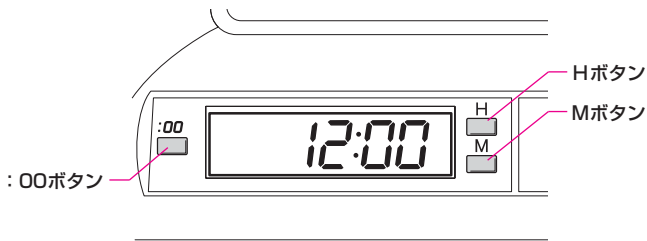
“パワー”スイッチがアクセサリモード、ONモード、またはREADY（走行可能表示灯）が点灯しているとき使用できます。

#### アクセサリソケットについて

- 使用する電化製品は、必ずDC 12Vで最大電流10A（最大消費電力120W）以下の電化製品を使用してください。
- 規定容量をこえる電化製品を使用すると、車両ヒューズが切れることがあります。



## 時計



### ● “時” “分” を調整するときは

Hボタンを押すと“時”、Mボタンを押すと“分”が調整されます。

●ボタンを押し続けると、早送りされます。

### ● 時報に合わせるときは

時報と同時に：00ボタンを押すと、時報に合わせることができます。

●0～29分は切り下げられます。

●30～59分は切り上げられます。

(例) 1：00～1：29の場合は1：00に、1：30～1：59の場合は2：00になります。

### 🎓 知識

#### 作動条件について

“パワー”スイッチがアクセサリモード、ONモード、またはREADY（走行可能表示灯）が点灯しているとき時刻が表示されます。

#### 表示について

秒表示はありませんが、次の場合は0秒から作動を開始します。

●Mボタンを押して分を調整後、Mボタンから手を離れたとき

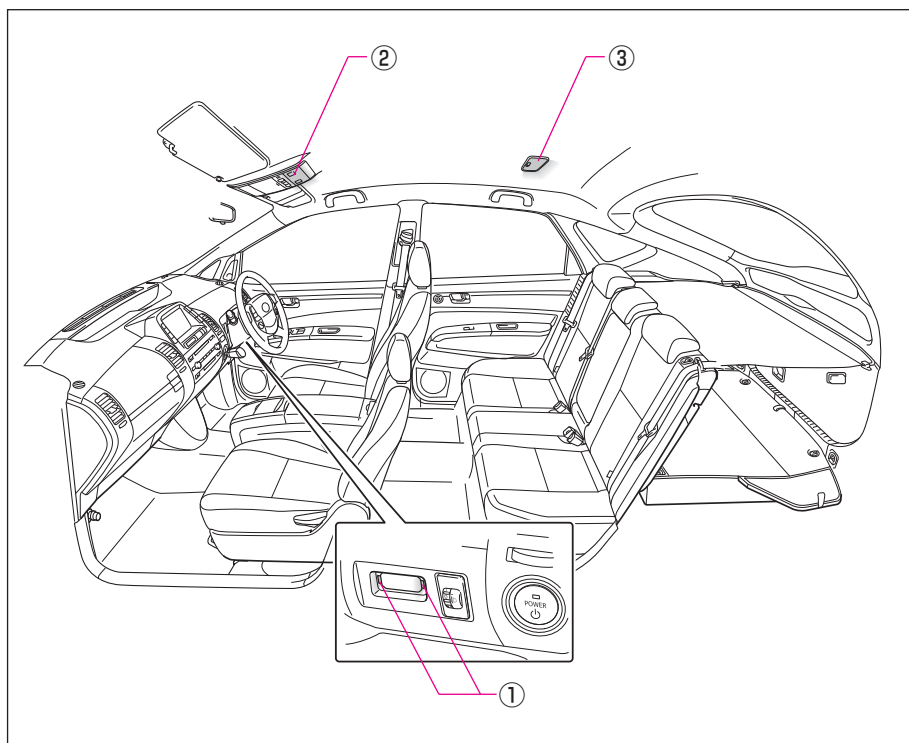
●：00ボタンを押したとき

## イルミネーテッドエントリーシステム※

### ● イルミネーテッドエントリーシステムについて

ドアの施錠・解錠、開閉、“パワー”スイッチの状態などによって、各部の照明が点灯・消灯するシステムです。

※この機能を変更することもできます。詳しくは、P.352「ユーザーカスタマイズ」をお読みください。



- ①キースロット照明
- ②フロントパーソナルランプ（スイッチがDOORのとき）
- ③ルームランプ（スイッチがDOORのとき）

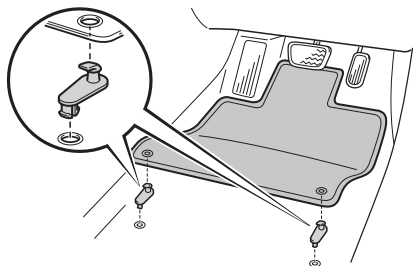
## ● 作動のしかた

下記の作動は、条件がひとつしか成立しない場合の例です。  
実際には、いくつかの条件が同時に成立することにより、下記の作動と異なる場合があります。

		キースロット照明 フロントパーソナルランプ ルームランプ
ドア	解錠したとき	消灯→約15秒間点灯
	施錠したとき	点灯→消灯
	いずれかのドアを開けたとき	消灯→点灯
	すべてのドアを閉めたとき	点灯→約15秒後に消灯
“パワー” スイッチ の状態	OFF→ACCにしたとき	点灯→消灯
	OFF→ READY (走行可能表示灯) 点灯	点灯→消灯
	ON→OFFにしたとき	点灯→約15秒後に消灯
	READY (走行可能表示灯) 点灯 →OFFにしたとき	点灯→約15秒後に消灯

## フロアマット

お車（年式）専用のものを、フロアカーペットの上にとしっかりと固定して使用してください。



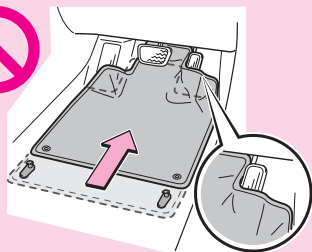
フロアマット付属の固定フック（クリップ）を使用して固定してください。

固定フック（クリップ）の形状およびフロアマットの固定方法はイラストと異なる場合があります。詳しい固定方法はフロアマット付属の取り扱い説明書をお読みください。



運転席にフロアマットを敷くときは、次のことを必ずお守りください。お守りいただかないと、フロアマットがずれて運転中に各ペダルと干渉し、思わぬスピードが出たり車を停止しにくくなるなど、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

- 運転席にフロアマットを敷くときは、次のことをお守りください。
  - ・ トヨタ純正品であっても、他車種および異なる年式のフロアマットは使用しないでください。
  - ・ 運転席専用のフロアマットを使用してください。
  - ・ 付属のフック（クリップ）を使って、常にしっかりと固定してください。
  - ・ 他のフロアマット類と重ねて使用しないでください。
  - ・ フロアマットを前後逆さまにしたり、裏返して使用しないでください。
- 運転する前に、次のことを確認してください。
  - ・ フロアマットがすべての固定フック（クリップ）で正しい位置にしっかりと固定されていることを定期的を確認し、特に洗車後は必ず確認を行ってください。
  - ・ ハイブリッドシステム停止およびシフトポジションがPの状態、各ペダルを奥まで踏み込み、フロアマットと干渉しないことを確認してください。



# 5

## 安全・快適装備の 解説と注意

目次



基本操作  
早わかり

運転装置の  
取り扱い

室内装備の  
取り扱い

安全・快適装備  
の解説と注意

車との上手な  
付き合い方

メンテナンス

万一のとき

索引

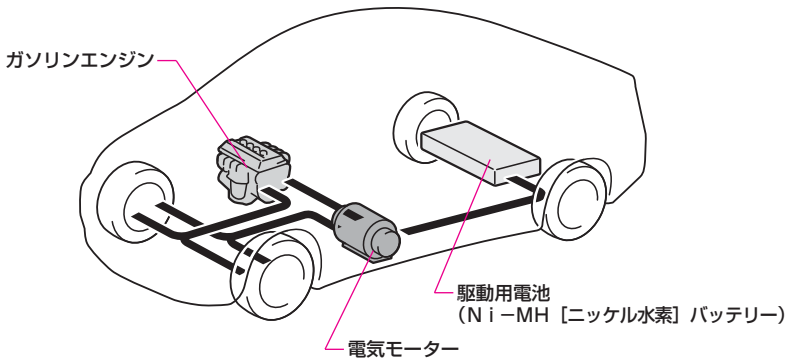
トヨタ ハイブリッド システムⅡ .....	268	ABS & ブレーキアシスト .....	290
トヨタ ハイブリッド システムⅡ とは <b>HYBRID</b>	268	ABS & ブレーキアシスト とは <b>HYBRID</b>	290
トヨタ ハイブリッド システムⅡ の構成 <b>HYBRID</b>	270	ABS & ブレーキアシストが 作動しているとき <b>HYBRID</b>	292
トヨタ ハイブリッド システムⅡ の作動状態 <b>HYBRID</b>	272	EBDの働き <b>HYBRID</b>	293
<b>SRSエアバッグ</b> .....	274	<b>モーターTRC</b> .....	294
SRSエアバッグとは	274	モーターTRCとは <b>HYBRID</b>	294
SRSエアバッグ作動の しくみ	276	<b>電子制御ブレーキ システム (ECB)</b> .....	295
SRSエアバッグが作動 するとき	277	電子制御ブレーキシステム とは <b>HYBRID</b>	295
<b>シートベルト関係</b> .....	288	<b>盗難防止システム</b> .....	296
シートベルトの働き	288	盗難防止システムとは	296

# トヨタ ハイブリッド システムⅡ

## トヨタ ハイブリッド システムⅡとは **HYBRID**

### ● トヨタ ハイブリッド システムⅡの特徴

トヨタ ハイブリッド システムⅡは、モーターとエンジンという2つのパワーのシナジー（相乗）効果により、優れた動力性能と低燃費化の両立を高い次元で実現したシステムです。さらに、排出ガスを低減・クリーン化した、環境に配慮した技術になっています。



- ガソリンエンジンの駆動や、減速時の回生ブレーキ（次ページ参照）により電池が充電されるため、車外からの充電は必要ありません。
- ガソリンエンジンは必要に応じて始動・停止するので燃料の無駄な消費を防ぎます。
- 発進時は電気モーターが駆動を担当し、急加速時にはガソリンエンジンと電気モーターの両方で駆動しますので、なめらかな発進・力強い加速性能を実現しています。
- ガソリンエンジンと電気モーターを最適に使い分けることにより、画期的な燃費向上、排出ガスのクリーン化を可能にしています。

## 走行特性

### ■ハイブリッド走行

車両状態に応じて、ガソリンエンジンが自動的に始動・停止します。  
READY（走行可能表示灯）が点灯していれば、ガソリンエンジンが停止していても発進可能です。

なお、下記の状態ではガソリンエンジンが自動停止しないことがあります。

- ガソリンエンジン暖機中
- 駆動用電池の温度が高いとき、または低いとき
- 駆動用電池充電レベルが低いとき

### ■クリーブ現象

坂道での車両の保持、発進時のペダル操作をより使いやすくするため、通常のオートマチック車と同様にクリーブ力を発生させるようにしてあります。  
(P.64参照)

### ■回生ブレーキ

アクセルペダルから足を離れたときや、ブレーキペダルを踏んだときに、電気モーターを発電機として使用し、タイヤの回転で発電機をまわして発電し、駆動用電池に回収する機能です。

- 操作方法は通常の車のブレーキと同じです。



## 知識

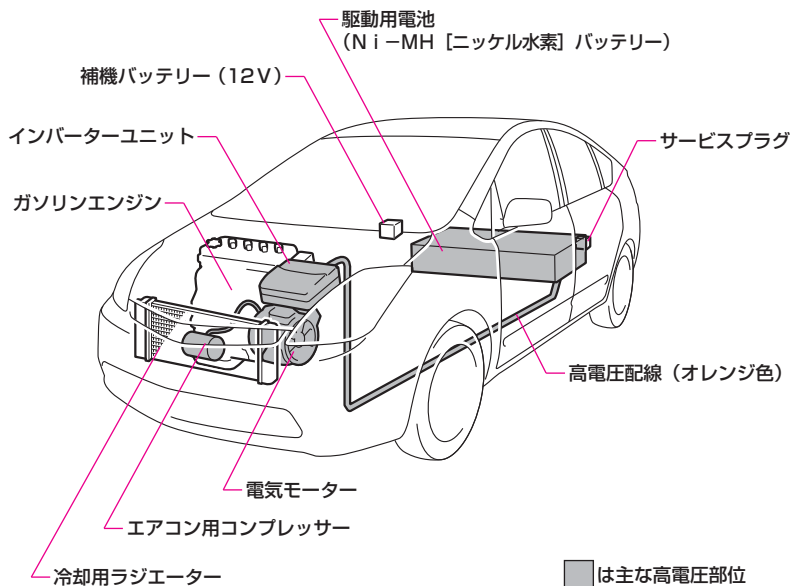
### ハイブリッド車特有の音について

- 走行できる状態でもエンジン音や振動がないことがあります。駐車時は必ずパーキングブレーキをかけ、シフトポジションをPにしてください。
- 走行中、エンジンルームからモーター音が聞こえることがあります。
- ハイブリッドシステム始動時や停止時に、駆動用電池付近から“コトン”、“カチツ”など音が聞こえることがあります。これは高電圧リレーの音で異常ではありません。
- ブレーキペダルを踏むと“ウーン”という音がします。これは駆動用電池へ電気エネルギーを回収するときに発生する音で異常ではありません。

## トヨタ ハイブリッド システム II の構成

HYBRID

トヨタ ハイブリッド システム II には、駆動用電池（約202V）、インバーター（約500V）、オレンジ色の高電圧の配線、電気モーターなどの高電圧部位や、冷却用ラジエーターなどの高温部位があります。





**警告****高電圧・高温に注意してください。**

- 高電圧部位、高電圧の配線（オレンジ色）およびそのコネクターの取りはずし、分解などは、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがありますので、絶対に行わないでください。  
これらの部位には取り扱い上の注意を記載したラベルが貼付してありますので、ラベルの指示に従って正しい取り扱いをしてください。
- サービスプラグが駆動用電池横に設置してあります。サービスプラグは、プリウス取り扱いトヨタ販売店にて車両の修理時などに駆動用電池の高電圧を遮断するためのものです。取り扱いを誤ると感電し、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがありますので、絶対にさわらないでください。

**知識****ガス欠になったときは**

ガス欠でハイブリッドシステムが始動できないときは、燃料残量表示（P.207参照）が点滅から点灯にかわるまで給油してから再始動してください。少量の給油では始動できない場合があります。（給油量は車両水平状態で約8.4Lです。車両の傾きによって給油量はかわります）

**電磁波について**

- 高電圧部位や高電圧配線は、電磁シールド構造になっています。従来車や家電製品と比べて、電磁波が多いということはありません。
- アマチュア無線の一部（遠距離通信）において、受信時に雑音が入る場合がありますので、あらかじめご了承ください。

**駆動用電池について**

駆動用電池には寿命があります。寿命は車の使い方、走行条件により異なります。

目次



警告

基本  
操作運転  
装置  
の  
取  
扱  
い室内  
装  
備  
の  
取  
扱  
い安全・  
快  
適  
装  
備  
の  
解  
説  
と  
注  
意車  
と  
の  
上  
手  
な  
付  
き  
合  
い  
方  
なメン  
テ  
ナ  
ンス万  
一  
の  
と  
き

索引

## トヨタ ハイブリッド システムⅡの作動状態

HYBRID

トヨタ ハイブリッド システムⅡが状況により、どのように作動するかを説明します。

実際には、駆動用電池の充電が必要なときやエンジン冷却水温が低い（暖機中）など、使用状況によりさまざまな制御を行います。



電気を意味します。

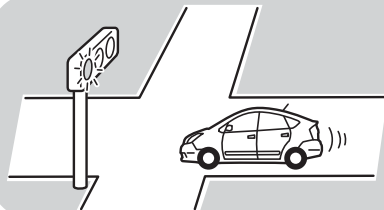


ガソリンを意味します。



回生（充電）を意味します。

### ■発進・低中速時、後退時



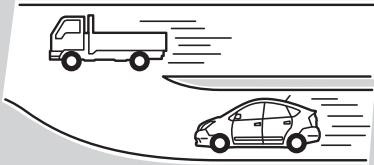
ガソリンエンジンの効率の悪い領域では、ガソリンエンジンを停止し、電気モーター（駆動用電池の電気を利用）で走行します。

### ■通常走行時



ガソリンエンジンと電気モーター（エンジンが発電した電気を使用）を使って最も燃費の良い走りを考えながら走行します。

## ■全開走行時



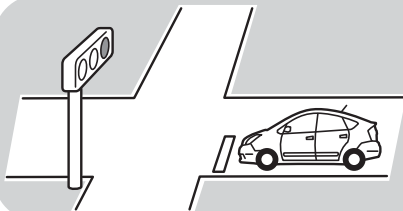
ガソリンエンジンに加え、駆動用電池からも電気モーターに電力を供給し、電気モーターの出力を上げ、力強く加速します。

## ■減速時・制動時



車輪が電気モーターを発電機として働き、駆動用電池に充電します。  
(回生ブレーキ)

## ■停車時



ガソリンエンジンを自動的に停止します。  
(駆動用電池の充電が必要なときなど、車両の状態により、エンジンが停止しないときがあります)

# SRS※エアバッグ

## SRSエアバッグとは

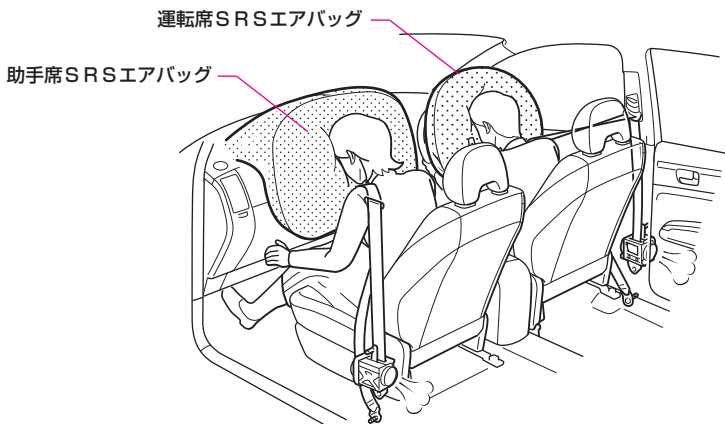
SRSエアバッグは、あくまでも乗員保護の補助装置でシートベルトの補助をするもので、SRSエアバッグの効果を発揮させるためには、正しい姿勢と正しいシートベルトの着用が絶対条件です。

また、正しく取り扱えば効果のあるSRSエアバッグも、誤った取り扱いをすると効果を発揮しないばかりか、かえって乗員に傷害または死亡の危険を与えるおそれがあります。

### ● 運転席・助手席SRSエアバッグ

運転席SRSエアバッグ・助手席SRSエアバッグは、運転者または助手席乗員に重大な危害がおよぶような強い衝撃を、車両前方から受けたときにふくらみ、シートベルトが体を拘束する働きと併せて、乗員の頭や胸などに作用する衝撃を分散、緩和させる働きをするものです。

助手席SRSエアバッグは乗員がいなくてもふくらみます。

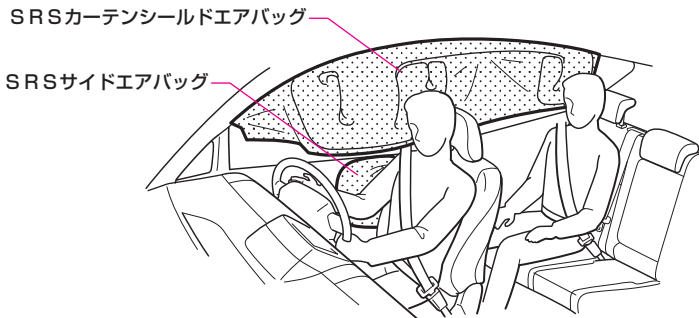


※ SRSは、Supplemental Restraint Systemの略で「乗員保護補助装置」の意味。

## SRSサイドエアバッグ・ SRSカーテンシールドエアバッグ★

SRSサイドエアバッグは前席乗員、SRSカーテンシールドエアバッグは前後席乗員に重大な危害がおよぶような強い衝撃を、側方から車両客室部に受けたときに、衝撃を受けた側のSRSサイドエアバッグ、SRSカーテンシールドエアバッグがふくらみ、シートベルトが体を拘束する働きと併せて、SRSサイドエアバッグは前席乗員の胸などの上体に、SRSカーテンシールドエアバッグは前後席乗員の主に頭部に作用する衝撃力を分散、緩和させる働きをします。

SRSサイドエアバッグ・SRSカーテンシールドエアバッグは乗員がいなくてもふくらみます。

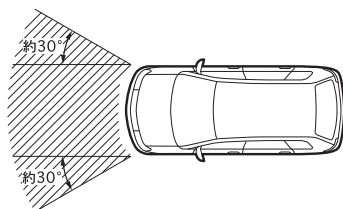


## SRSエアバッグ作動のしくみ

### ● 運転席・助手席SRSエアバッグの作動

車両前方左右約30° 以内の方向から乗員に重大な危害がおよぶような強い衝撃を受けたときに作動します。

衝撃は車両前方・車両中央床部に取り付けられたセンサーで感知し、運転席・助手席SRSエアバッグをふくらませるようコンピューターに信号を送りSRSエアバッグが作動します。



車両前方にグリルガードなどを装着すると、センサーが正常に衝撃を感知できなくなり、運転席・助手席SRSエアバッグの正常な作動を損なうおそれがあります。

### ● SRSサイドエアバッグ・ SRSカーテンシールドエアバッグの作動★

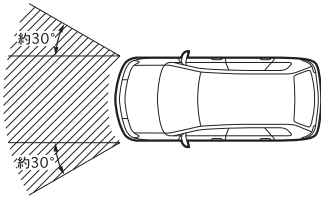
車両側面方向から乗員に重大な危害がおよぶような強い衝撃を受けたときに作動します。

衝撃はセンターピラー、リヤピラー、車両中央床部に取り付けられたセンサーで感知し、SRSサイドエアバッグ・SRSカーテンシールドエアバッグをふくらませるようコンピューターに信号を送り、SRSエアバッグが作動します。

## SRSエアバッグが作動するとき

シートベルトを正しく着用している乗員が、重大な傷害を受けるおそれがあるような強い衝撃があった場合に作動し、重大な傷害を受けるおそれの少ない衝撃では作動しにくくなっています。

### ● 作動する場合



運転席・助手席SRSエアバッグは、車両前方左右約30°以内の方向から乗員に重大な傷害がおよぶような強い衝撃を受けたときに作動します。

SRSサイドエアバッグ・SRSカーテンシールドエアバッグは、車両側面方向から乗員に重大な傷害がおよぶような強い衝撃を受けたときに作動します。

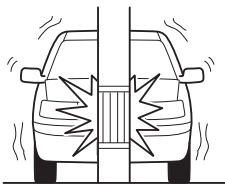
### ● 作動しにくい場合

#### ■ 運転席・助手席SRSエアバッグ

次のようなボディが受ける衝撃が弱い場合には、作動しない場合があります。



- 衝突時に変形、移動しないコンクリートのような固い壁に正面衝突したときであっても、衝突速度が約25km/h以下の場合



- 衝突時に変形、移動しない電柱や立木などの狭い範囲に正面衝突したときであっても、衝突速度が約30km/h以下の場合

目次

警告

基本操作  
早わかり運転装置の  
取り扱い室内装備の  
取り扱い安全・快適装備  
の解説と注意車との上手な  
付き合い方

メンテナンス

万一のとき

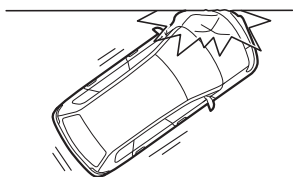
索引

---

次のような場合にも衝突による衝撃がゆるめられるため、作動しない場合があります。

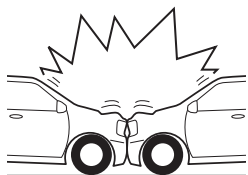


- トラックの荷台下などへもぐり込み衝突した場合

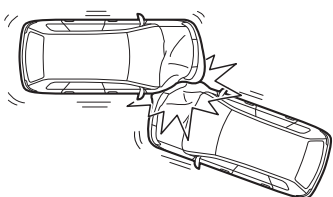


- 斜め前方から衝撃を受けた場合

衝突したものが変形したり移動した場合は、衝突による衝撃がゆるめられるため、作動する车速は高くなります。



- 例えば、停車中の同程度の重さの車へ正面から衝突した場合には、約50km/h程度の速度であっても、作動しない場合があります。



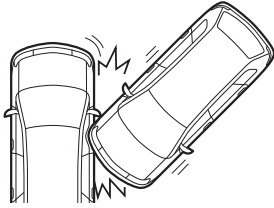
- 衝突の方向（角度）や片側衝突（オフセット衝突）などによっては、さらに高い速度であっても、作動しない場合があります。



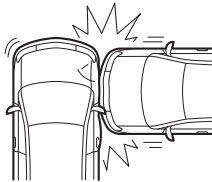
## ■SRSサイドエアバッグ・SRSカーテンシールドエアバッグ★

次のようなボディが受ける衝撃が弱い場合には、作動しない場合があります。

- 斜め側面から衝撃を受けた場合

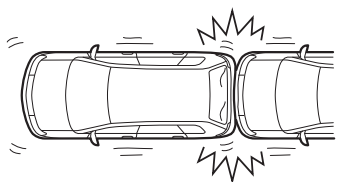


- 客室部以外の側面に衝撃を受けた場合



## ● 本来の効果を発揮しない場合

次のような場合は作動する場合がありますが、本来の効果を発揮しません。



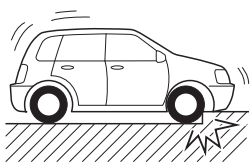
- 側面や後方から衝撃を受けた場合  
(運転席・助手席SRSエアバッグ)



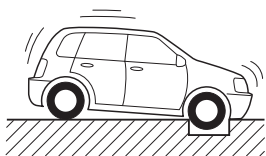
- 車両が横転・転覆した場合

## ● 車両下部に衝撃を受けた場合

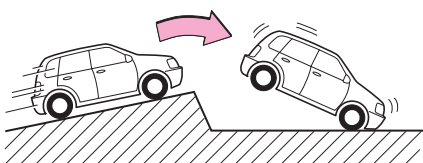
次のような車両下部に強い衝撃を受けた場合には、作動する場合があります。



- 縁石などにぶつかった場合



- 深い穴や溝に落ちたり、乗り越えた場合



- ジャンプして地面にぶつかったり、道路から落下した場合



警告

SRSエアバッグの効果を十分に発揮させるために、以下の項目を必ずお守りください。

● SRSエアバッグはシートベルトを補助する装置で、シートベルトに代わるものではありません。

乗車するときには必ず次のことをお守りください。お守りいただかないと、衝突したときなどにSRSエアバッグの効果を十分に発揮させることができないばかりでなく、SRSエアバッグがふくらんだときの強い衝撃で重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- ・ シートベルトを正しく着用してください。シートベルトを着用していないと急ブレーキなどで前方に放り出されると同時にSRSエアバッグがふくらみ、強い衝撃を受け危険です。シートベルトの正しい着用については、P.153をお読みください。
- ・ シートを正しい位置に調整し、背もたれに背中を付けた正しい姿勢でシートに座ってください。SRSエアバッグに近付きすぎた姿勢で乗車していると、SRSエアバッグがふくらんだときに強い衝撃を受け危険です。

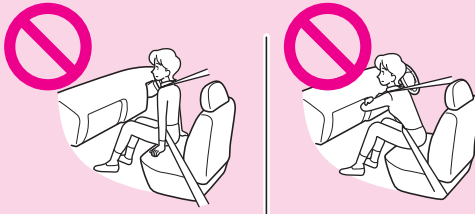
#### <運転者の方は>

運転操作ができる範囲で、できるだけハンドルに近付きすぎないようにして座ってください。

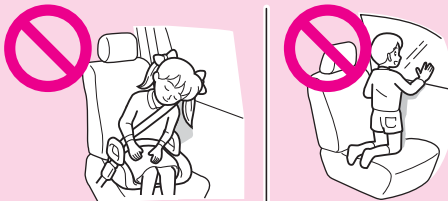
#### <助手席乗員の方は>

助手席SRSエアバッグからできるだけ離れて後方に座ってください。

シートの前端に座ったり、インストルメントパネルにもたれかかったりしないでください。シートの調整、正しい姿勢についてはP.141をお読みください。



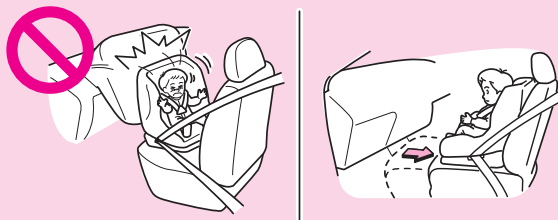
- ・ SRSサイドエアバッグ・SRSカーテンシールドエアバッグ装着車は、ドアにもたれかかったり、フロント・リヤピラーやルーフサイド部に近付かないようにしてください。SRSサイドエアバッグ・SRSカーテンシールドエアバッグがふくらんだときに頭部などに強い衝撃を受け、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。特にお子さまを乗せるときには注意してください。



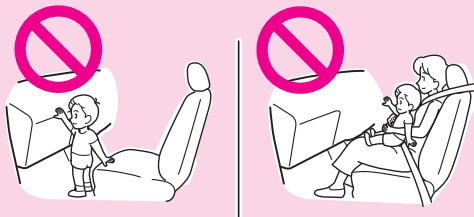


## SRSエアバッグの効果を十分に発揮させるために、以下の項目を必ずお守りください。

- ・ひざの上にものかかえるなど、乗員とSRSエアバッグのあいだにものを置いた状態で走行しないでください。SRSエアバッグがふくらんだときにものが飛ばされたり、SRSエアバッグの正常な作動がさまたげられ危険です。
  - お子さまを乗せるときには、必ず次のことをお守りください。お守りいただかないと、SRSエアバッグがふくらんだときの強い衝撃で、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
    - ・お子さまはリヤシートに座らせて必ずシートベルトを着用させてください。
    - ・シートベルトを正しく着用できない小さなお子さまには、ベビーシート・チャイルドシート・ジュニアシートなどの子供専用シートをリヤシートに装着してご使用ください。
    - ・助手席には子供専用シートをうしろ向きに絶対に取り付けしないでください。助手席SRSエアバッグがふくらんだとき、子供専用シートの背面に強い衝撃が加わり危険です。助手席側のサンバイザーに、同内容の警告文が表示されています。併せてご覧ください。(P.46参照)
- なお、やむを得ず助手席に前向きに子供専用シートを取り付ける場合には、シートの前後調整位置をいちばんうしろにして取り付けてください。



- ・お子さまを助手席SRSエアバッグの前に立たせたり、ひざの上に抱いたりした状態では走行しないでください。



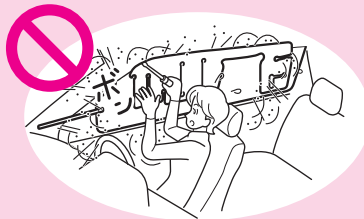


## SRSエアバッグの効果を十分に発揮させるために、以下の項目を必ずお守りください。

- 車両の整備作業の場合には、必ず次のことをお守りください。お守りいただかないと、SRSエアバッグが正常に作動しなくなったり、誤ってふくらむなどして、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。これらの作業が必要なときは、必ずプリウス取り扱いトヨタ販売店にご相談ください。
  - ・ SRSエアバッグおよびインストルメントパネルの取りはずし・取り付け・分解・修理などをしないでください。



- ・ SRSサイドエアバッグ・SRSカーテンシールドエアバッグ装着車は、フロントシートの表皮の張りかえやフロントシートの取りはずし・取り付け・分解・修理などが必要なときは、必ずプリウス取り扱いトヨタ販売店にご相談ください。また、フロントシートの改造はしないでください。
- ・ SRSサイドエアバッグ・SRSカーテンシールドエアバッグ装着車は、フロント・リヤピラー、ルーフサイド部の取りはずし、取り付けなどSRSカーテンシールドエアバッグ格納部周辺を分解・修理しないでください。



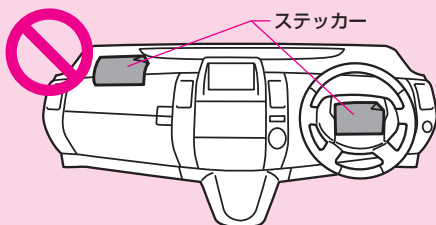
- ・ サスペンションを改造しないでください。車高がかわったり、サスペンションの硬さがかわるとSRSエアバッグの誤作動につながります。
- ・ 車両前部または車両客室部の不適切な修理をしないでください。不適切な修理を行うとSRSエアバッグセンサーに伝わる衝撃がかわり、SRSエアバッグが正常に作動しなくなります。



## SRSエアバッグの効果を十分に発揮させるために、以下の項目を必ずお守りください。

- カー用品などを装着するときは、必ず次のことをお守りください。お守りいただかないと、SRSエアバッグが正常に作動しなくなったり、誤ってふくらむなどして、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- ・ SRSエアバッグの展開部をカバーやステッカーなどで覆わないでください。



- ・ インストルメントパネル上部に芳香剤などのものを置いたり、傘などを立てかけないでください。助手席SRSエアバッグが正常に作動しなくなったり、ふくらんだときに飛ばされて危険です。



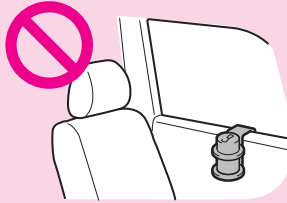
- ・ SRSサイドエアバッグ・SRSカーテンシールドエアバッグ装着車は、フロントシートにこの車専用のトヨタ純正用品（シートカバーなど）以外のものを取り付けしないでください。この車専用のトヨタ純正用品以外のものがSRSサイドエアバッグ展開部を覆うと、SRSサイドエアバッグの正常な作動のさまたげとなります。なお、トヨタ純正シートカバーなどを装着するときには、商品に付属の取扱書をよくお読みになり、正しく取り付けてください。



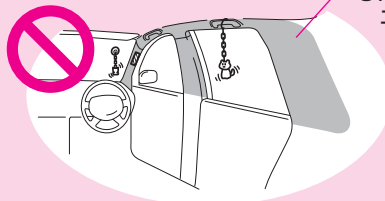
**警告**

**SRSエアバッグの効果を十分に発揮させるために、以下の項目を必ずお守りください。**

- ・ SRSサイドエアバッグ・SRSカーテンシールドエアバッグ装着車は、フロントドアやその周辺にカップホルダーなどのカー用品を取り付けしないでください。SRSサイドエアバッグがふくらんだときに飛ばされて危険です。



- ・ SRSサイドエアバッグ・SRSカーテンシールドエアバッグ装着車は、フロントウインドウガラス、サイドドアガラス、フロント・センター・リヤピラー、ルーフサイド部、アシストグリップなどSRSカーテンシールドエアバッグ展開部周辺にアクセサリー、ハンズフリーマイクなどを取り付けしないでください。SRSカーテンシールドエアバッグがふくらんだときに、飛ばされて危険です。

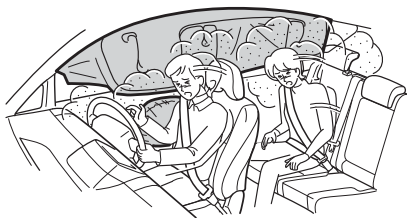
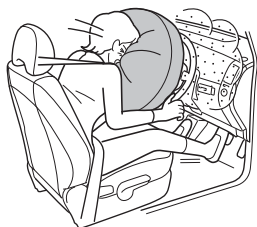


- ・ 無線機の電波などは、SRSエアバッグを作動させるコンピューターに悪影響を与えるおそれがありますので、無線機などを取り付けるときは、プリウス取り扱いトヨタ販売店にご相談ください。
- ・ 車両前部にグリルガードやウインチなどを装着するときは、プリウス取り扱いトヨタ販売店にご相談ください。車両前部の改造をするとSRSエアバッグセンサーに伝わる衝撃がかわり、SRSエアバッグの誤作動につながります。
- ステアリングパッド、インストルメントパネル上部、フロント・リヤピラー、ルーフサイド部、フロントシート側面などSRSエアバッグ展開部は、強くたたきなど過度の力を加えないでください。SRSエアバッグが正常に作動しなくなるなどして、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- SRSエアバッグがふくらんだ直後はSRSエアバッグ構成部品にふれないでください。構成部品が大変熱くなっているため、やけどなど重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。



## SRSエアバッグが正常に作動した場合でも次のような場合があります。

- SRSエアバッグは非常に速いスピードでふくらむため、SRSエアバッグとの接触により打撲やすり傷などを受けることがあります。



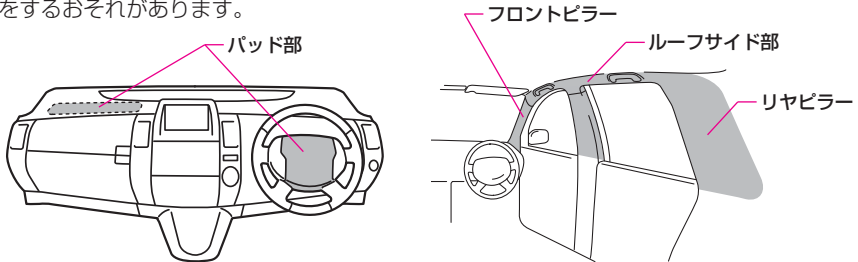
- SRSエアバッグが作動すると作動音と共に白い煙のようなガスが発生しますが、火災ではありません。このガスを吸うと、喘息などの呼吸器系を患った経緯のある方は、呼吸が苦しくなることがあります。  
この場合は、乗員が車外に出ても安全であることを確認して車外に出てください。なお、車外に出られない場合は、窓やドアを開けて新鮮な空気を入れてください。  
また、SRSエアバッグ作動時の残留物（カスなど）が目や皮膚に付着したときは、できるだけ早く水で洗い流してください。皮膚の弱い方は、まれに皮膚を刺激する場合があります。
- 衝突時などに助手席SRSエアバッグがふくらむことによって、車両のフロントウィンドウガラスが破損することがあります。
- 一度作動したSRSエアバッグは、2回目以降の衝突では再作動しません。必ずプリウス取り扱いトヨタ販売店で交換してください。同様に連続して衝突した場合、1回目の衝突でSRSエアバッグが作動すれば、2回目の衝突ではSRSエアバッグは作動しません。
- 車やSRSエアバッグを廃棄するときは、必ずプリウス取り扱いトヨタ販売店にご相談ください。SRSエアバッグが思いがけなく作動し、けがをするおそれがあります。



**注意**

**SRSエアバッグが正常に作動した場合でも次のような場合があります。**

- SRSエアバッグが収納されているパッド部およびフロント・リヤピラー、ルーフサイド部に傷が付いていたり、ひび割れがあるときはそのまま使用せず、プリウス取り扱いトヨタ販売店で交換してください。衝突したときなどにSRSエアバッグが正常に作動せずけがをするおそれがあります。



- ハイブリッドシステム停止時およびSRSエアバッグ作動時は、フューエルポンプ制御が作動し、燃料供給を停止し、燃料もれを最小限に抑えます。  
燃料供給の停止を解除するときは、燃料もれがないことを十分確認してから、“パワー”スイッチを一度OFFにします。

目次

警告

基本  
操作運転  
装置  
の  
取  
扱  
い室内  
装  
備  
の  
取  
扱  
い安全・  
快適  
装  
備  
の  
解  
説  
と  
注  
意車  
と  
の  
上  
手  
な  
付  
き  
合  
い  
方メン  
テナ  
ンス万  
一  
の  
と  
き

索引

# シートベルト関係

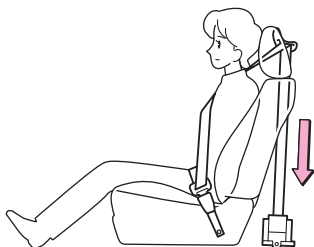
## シートベルトの働き

### ● プリテンショナー & フォースリミッター付 シートベルトの働き

#### フロントシートベルト

- プリテンショナー機構は、前席の乗員に重大な危害がおよぶような強い衝撃を車両前方から受けたときに、シートベルトを瞬時に巻き取り、適切な乗員拘束効果の確保に役立ちます。
- フォースリミッター機構は、シートベルトの荷重を規定値に維持することで胸部への衝撃を緩和します。

#### プリテンショナー機構



【衝突初期にシートベルトを瞬時に巻き取る】

#### フォースリミッター機構



【衝突時規定荷重を維持しながらシートベルトを引き出す】

### ● E L R機構付シートベルトの働き

シートベルトは体の動きに合わせて伸縮しますが、強い衝撃で体が前に倒れそうなときは、ベルトが自動的にロックされ体を固定します。

### ● テンションリデューサー(ベルト圧迫感減少装置) 機構付シートベルトの働き

#### 運転席

シートベルト着用時にベルトによる肩への圧迫感を減少させます。

**警告****プリテンショナー付シートベルトを着用するときは、必ず次のことをお守りください。**

- プリテンショナー付シートベルトを着用するときは、必ず次のことをお守りください。お守りいただかないと、プリテンショナーが十分な効果を発揮せず、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
  - ・シートベルトを正しく着用する。(P.153参照)
  - ・シートを正しい運転姿勢のとれる位置に調整する。(P.141参照)
- プリテンショナー付シートベルトの取り付け・取りはずし、分解などをしてしないでください。また、プリテンショナー付シートベルトを修理するときは、必ずプリウス取り扱いトヨタ販売店で行ってください。プリテンショナー付シートベルトを不適切に扱うと、正常に作動しなくなったり、誤って巻き取り、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- プリテンショナー付シートベルトが作動すると、SRSエアバッグ／プリテンショナー警告灯が点灯します。その場合はシートベルトを再使用することができないため、必ずプリウス取り扱いトヨタ販売店で交換してください。

**注意****車やプリテンショナー付シートベルトを廃棄するときは、必ずプリウス取り扱いトヨタ販売店にご相談ください。**

- 車やプリテンショナー付シートベルトを廃棄するときは、必ずプリウス取り扱いトヨタ販売店にご相談ください。プリテンショナー付シートベルトが思いがけなく作動し、けがをするおそれがあります。
- プリテンショナー付シートベルトが作動すると、作動音と共に白い煙のようなガスが発生しますが火災ではありません。また、人体への影響もありません。

**知識****プリテンショナー付シートベルトの作動条件について**

プリテンショナー付シートベルトは、車両前方から強い衝撃を受けたときに作動します。次のような衝撃が弱いときには作動しない場合があります。

- コンクリートの壁に約25km/h以下の速度で正面衝突したとき

なお、次のような場合は作動する場合もありますが、本来の効果を発揮しません。

- 側面や後方から衝撃を受けたとき
- 車両が横転・転覆したとき

**作動後について**

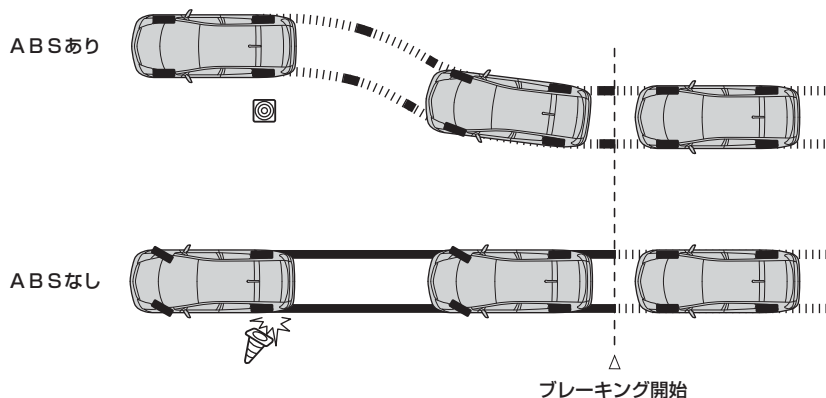
プリテンショナー付シートベルトは一度しか作動しません。玉突き衝突などで連続して衝撃を受けた場合でも、一度作動したあとは、その後の衝突では作動しません。

# ABS<sup>\*</sup> & ブレーキアシスト

## ABS & ブレーキアシストとは **HYBRID**

### ● ABSの働き

ABSは、急ブレーキをかけたときや、すべりやすい路面でブレーキをかけたときに起こるタイヤのロック（回転が止まること）を防ぐことにより、スリップを抑制します。



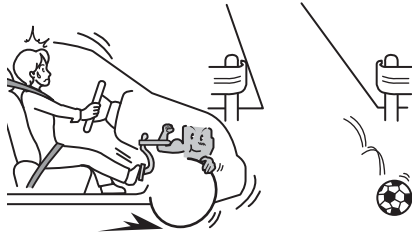
<sup>\*</sup>ABSは、Antilock Brake System（アンチロック・ブレーキ・システム）の略。

## ● ブレーキアシストの働き

ブレーキアシストは、

- 緊急制動時の運転に不慣れな運転者が緊急制動するとき
- 緊急制動時にパニック状態に陥ったとき

などのブレーキペダルが強く踏めず、ブレーキ性能を十分に発揮できない場合に、運転者のペダル踏力を増加させ、制動力を確保する装置です。



ドライバーの踏力での制動力  
+  
ブレーキアシストの制動力



ABS の効果



ブレーキ性能の  
十分な発揮

## ● ABS & ブレーキアシストについて

ABS & ブレーキアシストが作動した状態でもスリップの抑制やハンドルの効き方には限界がありますので、過信することなく安全運転を心がけましょう。

また、ABS & ブレーキアシストは、車輪に取り付けられたセンサーによりタイヤのロックを検出します。タイヤの状態がシステムに大きく影響しますので、タイヤの状態には細心の注意をしてください。詳しくは、P.70の「タイヤについての注意」をよくお読みください。

## ● 運転について



- 急ブレーキ時は、ABS & ブレーキアシストが効果を発揮するようにブレーキペダルをできるだけ速く、強く踏み続けることが必要です。
- 急ブレーキ時にポンピングブレーキ\*をしないでください。ポンピングブレーキをすると制動距離が長くなります。

\*ブレーキペダルを数回に分けて小刻みに踏むブレーキのかけ方。



思いきり踏む



踏み続ける



ゆるめたり、ポンピングはしない

## ● 作動について

ABSが作動すると、スリップ表示灯（P.214参照）が点滅することで作動中であることを示します。

ブレーキアシストが作動すると、次のような現象が発生することがありますが異常ではありません。

- ブレーキペダルを急速度で踏んだとき、ブレーキが強くなるようになり、ABSが作動することがあります。

EBD<sup>\*1</sup>の働き

HYBRID

ABSの制御技術を応用して、車両の走行状態に応じた適切な制動力を前後輪に配分します。これにより、積載時や減速度による荷重変化に応じ、前後輪の制動力配分を適切に行い、高いブレーキ性能を確保します。さらに、旋回中の制動時にも左右輪の制動力をコントロールして走行安定性を確保します。

**警告****ABS & ブレーキアシストを過信しないでください。**

## ●ABS &amp; ブレーキアシストを過信しないでください。

ABSやブレーキアシストが作動した状態でもスリップの抑制やハンドルの効き方には限界があります。無理な運転は思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

ABS & ブレーキアシストを過信せず速度を抑え、車間距離を十分にとって安全運転に心がけてください。

・ABSはタイヤのグリップ限界をこえたり、ハイドロブレーキング現象<sup>\*2</sup>が起こった場合は効果を発揮できません。

<sup>\*2</sup> 雨天の高速走行などで、タイヤと路面のあいだに水膜が発生し、接地力を失ってしまう現象。

## ●ABSは制動距離を短くするための装置ではありません。

次の場合などは、ABSの付いていない車両に比べて制動距離が長くなる場合があります。速度を控えめにして車間距離を十分にとってください。

- ・砂利道・新雪路を走行しているとき
- ・タイヤチェーンを装着しているとき
- ・道路の継ぎ目などの段差を乗り越えるとき
- ・凸凹道や石だたみなどの悪路を走行しているとき

## ●ブレーキアシストはブレーキ本来の能力をこえた性能を引き出す装置ではありません。車両・車間距離などに十分注意して安全運転に心がけてください。

**知識****作動条件について**

- ABS & ブレーキアシストシステムは、車速が約10km/hをこえると作動できるようになります。また、車速が約5km/hまで下がると作動を止めます。
- 雨の日に、マンホールのフタ・橋の継ぎ目・工事中の鉄板などの上でブレーキを踏むとすべりやすいため、ABSが作動しやすくなります。

<sup>\*1</sup> EBDは、Electronic Brake force Distribution (エレクトロニック・ブレーキフォース・ディストリビューション) の略で「電子制動力配分制御」の意味。

# モーターTRC\*

## モーターTRCとは

HYBRID

### ● モーターTRCの働き

モーターTRCは、すべりやすい路面での発進時や加速時に、過剰な駆動力により生ずる駆動輪のホイールスピンを抑え、車両の方向安定性と駆動力を確保しようとする装置です。

タイヤと直結した高出力かつ高応答のモーター制御システムを用いて、タイヤのスリップを瞬時に検出し、そのグリップを回復させる駆動力を自動的に設定します。設定された駆動力は、ドライバーのアクセル操作で変更できます。モーターTRCは、スリップに対するドライバーの操作の遅れを自動補正するアシストシステムであり、操作の主体はドライバーのアクセル操作です。スリップ抑止機能を過信したアクセル操作は、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。安全のため、スリップ表示灯（P.214参照）が点滅し続けるアクセル操作はしないでください。

- モーターTRCが作動すると、スリップ表示灯が点滅します。このとき、車両の振動を感じることがありますが、これはモーター制御によるもので、異常ではありません。

### ● モーターTRCとタイヤの関係について

モーターTRCは、車輪に付いているセンサーからの信号を基準に作動させるため、4輪の中で1輪でもタイヤの種類が異なると、信号の出方がわかり、コンピューターがスリップと判断したりします。

- タイヤの状態がシステムに大きく影響しますので、タイヤの状態には細心の注意をしてください。詳しくは、P.70の「タイヤについての注意」を参照してください。



**警告**

モーターTRCを過信しないでください。モーターTRCが作動した状態でも車両の方向安定性の確保には限界があります。無理な運転は思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。常に安全運転を心がけ、スリップ表示灯が点滅したときは、特に慎重に運転してください。



**知識**

#### 作動条件について

ハイブリッドシステムを始動すると、モーターTRCが作動可能状態になります。

\*TRCは、Traction Control (トラクション・コントロール)の略。



# 電子制御ブレーキシステム（ECB<sup>※</sup>）

## 電子制御ブレーキシステムとは **HYBRID**

電子制御ブレーキシステムは、ブレーキペダル操作から得た入力信号をもとに、電氣的に制動力を決定する電子制御式の4輪独立油圧ブレーキシステムです。

このシステムでは、油圧ブレーキと電気モーターによる回生ブレーキの2つの制動力を最適配分します。また、車両の状態に応じて4輪独立制御ブレーキ・ABS・ブレーキアシスト・EBDを統合制御します。

●4輪独立油圧ブレーキは、常に蓄圧状態を監視しているため、ブレーキペダル操作以外やハイブリッドシステム停止時でもポンプが作動することがあります。



**警告**

走行中、ブレーキ警告灯（赤）の点灯と同時に警告ブザーがなったときは、ただちに安全な場所に停車し、プリウス取り扱いトヨタ販売店に連絡してください。詳しくはP.221を参照してください。

### 知識

#### 作動音について

- “パワー” スイッチがOFFのとき、システムチェックのためにモーター音が聞こえることがあります。
- “パワー” スイッチがOFFのとき、または、キーを抜いたあと、しばらくしてモーター音が聞こえることがあります。これはブレーキシステムの作動音で異常ではありません。
- ハイブリッドシステムを始動したときや、繰り返しブレーキペダルを踏んだとき、エンジンルームからモーター音がすることがありますが、これはブレーキシステムの作動音で異常ではありません。
- 最適なブレーキ制御を行うため、モーター音が聞こえることがあります。
- “パワー” スイッチがOFFの状態でもブレーキペダルを踏むと、ペダルストロークが短い場合があります。

※ ECBは、Electronically Controlled Brake（エレクトロニカルリー・コントロールド・ブレーキ）の略。

目次



警告

基本操作

運転装置の  
取り扱い

室内装備の  
取り扱い

安全・快適装備  
の解説と注意

車との上手な  
付き合い方

メンテナンス

万のとき

索引

# 盗難防止システム

## 盗難防止システムとは

車両の盗難防止のために、キーに信号発信機を内蔵しており、あらかじめ登録されたキー以外では“パワー”スイッチの切りかえ、ハイブリッドシステムの始動をできないようにしたシステムです。

- キーに登録された信号は車ごとに異なります。
- キーをキースロットから抜くと、システムが作動し、メーター内のセキュリティ表示灯（P.214参照）が点滅します。
- 登録されたキーをキースロットに挿し込むとシステムが解除され、セキュリティ表示灯が消灯します。
- 車両から離れる場合は、車内にキーを残さないでください。



### 注意

盗難防止システムの故障を防ぐために次のことをお守りください。

- キーは信号発信機を内蔵している電子部品です。故障を防ぐために次のことをお守りください。
  - ・キーを無理に曲げたり、強い衝撃を与えたりしないでください。
  - ・ダッシュボードの上など高温になる場所に置かないでください。
  - ・磁気を帯びたキーホルダーなどを付けしないでください。
  - ・キーを超音波洗浄機などでは洗浄しないでください。
- 盗難防止システムの改造や、取りはずしをしないでください。システムが正常に作動しないおそれがあります。



### 知識

#### 盗難防止システムのキーについて

キーは、同じ車両で最大4個まで使用することができます。  
詳しくはトヨタ販売店にご相談ください。

#### メンテナンスについて

盗難防止システムのメンテナンスは不要です。

# MEMO

---

目次



基本操作  
早わかり

運転装置の  
取り扱い

室内装備の  
取り扱い

安全・快適装備  
の解説と注意

車との上手な  
付き合い方

メンテナンス

万一のとき

索引

# MEMO

---

# 6

## 車との上手な 付き合い方

雨の日の運転について……………	300
雨の日の運転	300
寒冷時の取り扱い……………	301
冬の前の準備、点検	301
運転する前に	303
走行するときは	305
駐車するときは <b>HYBRID</b>	308
経済的な運転……………	310
環境に配慮した経済的な運転を するために <b>HYBRID</b>	310
環境保護のために……………	311
使用済み部品、廃オイル類は 適正な処理をする	311

目次

警告

基本操作  
早わかり

運転装置の  
取り扱い

室内装備の  
取り扱い

安全・快適装備  
の解説と注意

車との上手な  
付き合い方

メンテナンス

万一のとき

索引

# 雨の日の運転について

## 雨の日の運転

### ● すべりやすい路面は慎重に走行してください

雨の日は視界が悪くなり、またガラスが曇ったり、路面がすべりやすくなるので慎重に走行してください。

- 雨の降りはじめは路面がよりすべりやすいため、慎重に走行してください。
- 雨の日は hidroplaning 現象\*でハンドルやブレーキが効かなくなるおそれがあるのでスピードは控えめにしてください。

\*雨天の高速走行などで、タイヤと路面のあいだに水膜が発生し接地力を失ってしまう現象。



**警告**

すべりやすい路面では慎重に運転してください。

- すべりやすい路面での急ブレーキ・急加速・急ハンドルはタイヤがスリップし、車両の制御ができなくなり、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- 急激なエンジンブレーキやエンジン回転数の変化は、車が横すべりするなどして、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- 水たまり走行後は、ブレーキペダルを軽く踏んでブレーキが正常に働くことを確認してください。ブレーキパッドがぬれるとブレーキの効きが悪くなったり、ぬれていない片方だけが効いてハンドルをとられ、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

### ● 冠水した道路は走行しないでください

大雨などで冠水した道路では、車両に重大な損傷を与えるおそれがあるので走行しないでください。



**警告**

冠水した道路を走行すると、ハイブリッドシステムが停止するだけでなく、電装品のショート、水を吸い込んだエンジンの破損など、重大な車両故障の原因となるおそれがあります。

万一、冠水した道路を走行し、水中に浸ってしまったときは、必ずプリウス取り扱いトヨタ販売店で下記の項目などを点検してください。

- ブレーキの効き具合
- エンジン、ハイブリッド用トランスミッションなどのオイル量および質の変化（白濁している場合、水が混入していますのでオイルの交換が必要です）
- 各ベアリング、各ジョイント部などの潤滑不良

# 寒冷時の取り扱い

## 冬の前の準備、点検

### ● エンジンオイルを交換する

外気温に応じたエンジンオイルに交換してください。  
(P.350の「指定エンジンオイル」参照)

### ● ウォッシャー液の濃度を調整する

ウォッシャー液の凍結を防ぐために、購入されたウォッシャー液容器に表示してある凍結温度を参考に希釈して補給します。

### ● 冷却水の濃度を調整する

冷却水の凍結を防ぐために冷却水濃度を調整してください。

使用地域	希釈割合	凍結保証温度
温暖地	30%	-12℃
寒冷地	50%	-35℃



**注意**

アルコール系不凍液や真水だけの使用はしないでください。

目次



警告

基本操作  
早わかり

運転装置の  
取り扱い

室内装備の  
取り扱い

安全・快適装備  
の解説と注意

車との上手な  
付き合い方

メンテナンス

万一のとき

索引

---

## ● 冬用タイヤ、タイヤチェーンを準備する

- 積雪路・凍結路では冬用タイヤを装着し、併せてタイヤチェーンをご用意ください。冬用タイヤの装着サイズについては、必ず標準タイヤと同じ指定サイズで同一種類のタイヤを装着してください。詳しくは、トヨタ販売店にご相談ください。
- タイヤを取りかえるときは、必ずP.70の「タイヤについての注意」をお読みください。
- タイヤサイズに合ったタイヤチェーンを準備してください。
- タイヤチェーンは、必ずプリウス指定のトヨタ純正品を使用してください。トヨタ純正品以外のタイヤチェーンを使用すると、車体側にあたり、走行に悪影響をおよぼすおそれがあります。詳しくはトヨタ販売店にご相談ください。

## ● 寒冷地用ワイパーブレードを準備する

降雪期に使用する寒冷地用ワイパーブレードは、雪が付着するのを防ぐために金属部分をゴムで覆ってあります。

トヨタ販売店で各車指定のブレードをお求めください。

- 高速走行時は通常のワイパーブレードよりガラスが拭き取りにくくなる場合があります。その場合には速度を落としてください。
- 寒冷地用ワイパーブレードを必要としない時季は、通常のワイパーブレードを使用してください。



## 運転する前に

目次

警告

基本操作

運転装置の  
取り扱い室内装備の  
取り扱い安全・快適装備  
の解説と注意車との上手な  
付き合い方

メンテナンス

万一のとき

索引

### ● 屋根に積もった雪は

走行時にガラス面に落ちた雪が視界のさまたげになります。  
走行する前に取り除いてください。

### ● ガラスに付いた雪や霜は

ガラス内外の雪や霜を落として視界を確保してください。  
デフロスターを使うと、ガラスを傷付けずに落とすことができます。  
詳しくは、別冊「エレクトロマルチビジョン取扱書」または「HDDナビゲーションシステム取扱書」を参照してください。



**注意**

フロントウィンドウガラスに付いた氷を除去するために、たたいて割らないでください。フロントウィンドウガラスの内側（車内側）が割れるおそれがあります。

### ● ランプ類に付いた雪や霜は

ランプ類に付いた雪や霜を落としてから走行してください。  
夜間の走行時などに視界のさまたげとなったり、後続車などへの合図がわかりにくくなるおそれがあります。また、走行中にも安全な場所に停車した上でときどき点検してください。

### ● 足まわりなどに付いた氷塊は

車体などに傷を付けないように取り除いてください。

### ● 外気取り入れ口に積もった雪は

フロントウィンドウガラス前部の外気取り入れ口に積もった雪を取り除いてから、エアコンのファンを作動させてください。  
雪が積もったままで作動させると、ファンが故障したり、ガラスが曇ったりするおそれがあります。

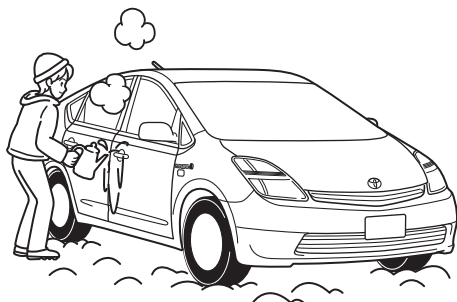
---

## ● ワイパーなどが凍結したときは

ワイパー、ドアミラー、ドアガラスなどが凍って動かない場合は、無理に動かさないでください。

スイッチを押し続けたりすると、装置を傷めたり、補機バッテリーあがりを起こすおそれがあります。

## ● ドアが凍結したときは



お湯をかけて氷を溶かしてください。なお、すぐに水分を十分拭き取ってください。

無理に開けようとする、ドアまわりのゴムがはがれたり、損傷するおそれがあります。

## ● 靴に付いた雪をよく落とす



ペダル類を操作するときにすべったり、室内の湿気が多くなりガラスが曇ったり、凍結することがあります。

## 走行するときは

### ● すべりやすい路面では“急”の付く操作はしない

急発進・急ハンドル・急ブレーキなどは、車両が思わぬ動きをして事故につながるおそれがあります。ゆっくり発進し、控えめな速度で、車間距離を十分とって走行してください。

橋の上や日陰など凍結しやすい場所ではあらかじめ減速し、慎重に走行してください。



**警告**

急激なエンジンブレーキやエンジン回転数の変化は、車が横すべりするなどして、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

### ● フェンダー裏側に付いた氷は

ハンドル操作に影響しますので、ときどき確認し、氷塊が大きくなる前に取り除いてください。

### ● ブレーキ装置に付いた氷は

ブレーキの効きが悪くなる場合があります。

ときどき軽くブレーキペダルを踏んでブレーキの効き具合を確認してください。

### ● すべり止めは早めに

積雪時、凍結路では早めにタイヤチェーンまたは冬用タイヤを装着してください。タイヤを取りかえるときは、必ずP.70の「タイヤについての注意」をお読みください。



**警告**

冬用タイヤ装着時は以下の点をお守りください。

- 指定サイズのタイヤを使用してください。
- 指定空気圧に調整してください。
- お使いになる冬用タイヤの最高許容速度や制限速度を超える速度で走行しないでください。

目次

警告

基本  
操作運  
転  
装  
置  
の  
取  
り  
扱  
い室  
内  
装  
備  
の  
取  
り  
扱  
い安  
全  
・  
快  
適  
装  
備  
の  
解  
説  
と  
注  
意車  
と  
の  
上  
手  
な  
付  
き  
合  
い  
方  
なメ  
ン  
テ  
ナ  
ン  
ス万  
一  
の  
と  
き索  
引

---

## ● タイヤチェーン

- タイヤチェーンは前2輪に取り付けてください。
- タイヤチェーンの取り扱い方法は、タイヤチェーンに付属の取り扱い説明書に従ってください。
- タイヤサイズに合ったタイヤチェーンを準備してください。
- タイヤチェーンは、必ずプリウス指定のトヨタ純正品を使用してください。トヨタ純正品以外のタイヤチェーンを使用すると、車体側にあたり、走行に悪影響をおよぼすおそれがあります。詳しくはトヨタ販売店にご相談ください。

### ■ タイヤチェーンを取り付ける前に

交通のじゃまにならず、安全に作業できる平らな場所に移動し、パーキングブレーキをしっかりとかけます。以下の手順により準備作業を行います。

#### 〈手順〉

### 1 ハイブリッドシステムを停止します。

車を完全に停止させ、ブレーキを踏みながらシフトポジションをPにし、ハイブリッドシステムを停止します。

### 2 車の存在を知らせます。

必要に応じて非常点滅灯（P.246参照）を点滅させ、人や荷物を降ろし、停止表示板（または停止表示灯）を使用します。

### 3 工具を用意します。

ジャッキ、ジャッキハンドル、ホイールナットレンチを用意します。（P.356参照）

### 4 タイヤチェーンを用意します。

## 5 輪止めを用意します。

タイヤチェーンを取り付ける場合には輪止めが必要です。

- 輪止めについてはトヨタ販売店にご相談ください。
- 輪止めがない場合は、タイヤを固定できる大きさの石などで代用できます。



**警告**

**タイヤチェーン装着時は必ず慎重に運転してください。**

- タイヤチェーン装着時は、約30km/hまたはチェーンメーカー推奨の制限速度以下で走行してください。また、走行性に影響を与えるため必ず慎重に走行してください。
- タイヤチェーンを装着して走行するときは、突起や穴を乗り越えたり、急ハンドルや車輪がロックするようなブレーキ操作などをしないでください。車両が思わぬ動きをして事故につながるおそれがあり危険です。また、ABS作動時でも制動距離が長くなる場合がありますので慎重に運転してください。



**注意**

**タイヤチェーンを取り付けるときは、ホイールに傷を付けないよう注意してください。**

- アルミホイールにタイヤチェーンを取り付けると、ホイールに傷が付くことがあります。
- プリウス指定のトヨタ純正品以外のタイヤチェーンを使用すると、車体側にあたり走行に悪影響をおよぼすおそれがあります。

## ● READY（走行可能表示灯）が点灯した状態のままにしない

雪が積もった場所や降雪時に駐車するときは、READY（作動可能表示灯）が点灯した状態のままにしないでください。



**警告**

READY（作動可能表示灯）が点灯した状態のままに雪が積もると、ガソリンエンジンが始動したときに、排気ガスが車内に侵入して重大な健康障害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

## ● パーキングブレーキはかけない



寒冷時はパーキングブレーキをかけると、ブレーキ装置が凍結してパーキングブレーキが解除できなくなるおそれがあります。

### ■ 平らな場所に駐車するときは

パーキングブレーキをかけないで、シフトポジションをPにし、輪止めをします。

### ■ やむを得ず坂道に駐車するときは

下り坂では前輪の前側、上り坂では後輪のうしろ側に輪止めをして、パーキングブレーキをかけず、シフトポジションをPにします。

- 輪止めについてはトヨタ販売店にご相談ください。
- 輪止めがない場合は、タイヤを固定できる大きさの石などで代用できます。



**警告**

パーキングブレーキをかけずに駐車するときは、必ず輪止めをしてください。輪止めをしないと、車が動き思わぬ事故につながるおそれがあります。危険です。

## ● ワイパーアームは立てておく

降雪時は、寒さでワイパーがガラスに凍り付いたりします。ワイパーアームは立てて駐車してください。

# 経済的な運転

環境に配慮した経済的な運転をするために

**HYBRID**

スムーズな加減速で走行してください。

- 通常の車と同様に無駄な加減速を行わないことで、より効率の良い走行が可能です。
- 急な加減速を控えることにより、駆動用電池の残量を確保することができ、常にガソリンエンジンの動力と駆動用電池からの電気を利用して走行することが可能です。

## 知識

### ハイブリッド車特有のテクニック

- 加速後にいったんアクセルをもどし、その後じわっと踏み込んでください。こうすると、ガソリンエンジンを使わずに、電気モーターでの走行が多くなります。
- 減速時は、早めにゆるやかなブレーキ操作を行ってください。減速時に発生するエネルギーをより多く回収できます。
- 渋滞での発進は、ブレーキをゆるめるだけでアクセルペダルをあまり踏まないでください。

### 車両情報の表示

車両情報（燃費・回収エネルギー、エネルギーモニター）をディスプレイに表示させることができます。燃費のよい走行をするための参考にしてください。また、エネルギーモニター画面では、駆動用電池の残量も確認できます。

詳しくは、別冊の「エレクトロマルチビジョン取扱書」または「HDDナビゲーションシステム取扱書」を参照してください。



# 環境保護のために

## 使用済み部品、廃オイル類は適正な処理をする

- 補機バッテリーは鉛や硫酸が使われていますので、特定産業廃棄物として適切な処理が法律で義務付けられています。  
補機バッテリー交換時は、プリウス取り扱いトヨタ販売店で処分を依頼してください。
- タイヤは個人が燃やすなどすると、亜硫酸ガスなど有毒なガスを発生させます。  
購入した販売店に処分を依頼してください。
- エンジンオイルは放置しておくといずれ流れ出し、地下に浸透したり、水に浮き、環境を悪くします。  
購入した販売店に処分を依頼してください。
- 不凍液は冷却水の凍結温度を下げるエチレングリコールが入っています。  
川などに流すと水質汚濁の原因になりますので、不凍液の交換はトヨタ販売店にご相談ください。
- エアコン冷媒用フロンガス（特定フロンガスCFC12）は、大気に放出されるとオゾン層の破壊を進めます。  
トヨタではオゾン層を破壊しない代替フロンガス（HFC134a）に全車切りかえを完了しています。（93年完）  
それでも、代替フロンガス（HFC134a）は地球を温暖化する働きがあります。  
エアコンの効きが悪い場合、ガスを充填するのみでなく、ガスもれの点検を併せて行い、もれ箇所を修理した上でガス充填をしてください。

目次



基本操作  
早わかり

運転装置の  
取り扱い

室内装備の  
取り扱い

安全・快適装備  
の解説と注意

車との上手な  
付き合い方

メンテナンス

万のとき

索引

# MEMO

---

# 7

## メンテナンス

<b>車の手入れ</b> .....	<b>314</b>
日頃の手入れ	314
外装の手入れ	315
内装の手入れ	317
タイヤローテーション	318
キーの電池交換	319
ヒューズの点検、交換	321
外装の電球（バルブ）交換	327
<b>日常点検</b> .....	<b>332</b>
日常点検について	332
エンジンルームの点検	333
車のまわりの点検	339
運転席に座っての点検 <b>HYBRID</b>	342
走行しての点検 <b>HYBRID</b>	344
<b>メンテナンスデータ</b> .....	<b>346</b>
メンテナンスデータ <b>HYBRID</b>	346
<b>ユーザーカスタマイズ</b> .....	<b>352</b>
ユーザーカスタマイズ一覧	352
<b>初期設定が必要な機能</b> .....	<b>353</b>
初期設定について	353

目次



警告

基本操作  
早わかり

運転装置の  
取り扱い

室内装備の  
取り扱い

安全・快適装備  
の解説と注意

車との上手な  
付き合い方

メンテナ  
ンス

万  
一  
の  
と  
き

索引

# 車の手入れ

## 日頃の手入れ

車をいつまでも美しく保つためには日頃の手入れが必要です。

### ● 洗車、ワックス用品について

それぞれの用品に記載されている説明をよく読み、用途や注意事項などを必ずお守りください。

### ● 月に一度はワックスがけを行ってください

月に一度、または水のはじきが悪くなったら行ってください。

### ● 保管・駐車について

風通しのよい車庫や屋根のある場所をおすすめします。

### ● 塗装について

- 飛び石傷やかき傷は、ボディの腐食の原因となりますので見つけたら早めにトヨタ純正タッチアップペイントなどで補修してください。
- ベンジン、ガソリンなどの有機溶剤が付着したときは、塗装を損傷しますので、ただちに拭き取る、洗車するなどしてください。

### ● 次のような場合は、ただちに洗車をしてください



塗装の劣化や車体・部品の腐食などを早める原因となります。

- 海岸地帯の走行をしたとき
- 凍結防止剤を散布した道路を走行したとき
- コールタール・花粉・樹液・鳥のふん・虫の死がいなどが付着したとき
- ばい煙・油煙・粉じん・鉄粉・化学物質などの降下の多い場所を走行したとき
- ほこり・泥などで著しく汚れたとき

## 外装の手入れ

目次

警告

基本操作

運転装置の  
取り扱い室内装備の  
取り扱い安全・快適装備  
の解説と注意車との上手な  
付き合い方

メンテナンス

万のとき

索引

### ● 洗車するときは

十分水をかけながら、汚れを洗い落とし、洗い落としたあとは水を拭き取ります。

- 車体・足まわり・下まわりと、上から下の順に行います。
- 車体はスポンジやセーム皮のような柔らかいもので洗います。
- 汚れのひどいときは、カーシャンプーを使用し、水で十分洗い流してください。
- はん点が残らないように水を拭き取ります。

### ● 自動洗車機を使うときは

- ドアミラーは格納し、アンテナは取りはずして前側から洗車してください。また、走行前は必ずアンテナをもとどおりに取り付けて、ドアミラーを復帰状態にもどしてください。
- ブラシの傷が付き、塗装の光沢が失われたり劣化を早めることがあります。
- 洗車機によってはリヤスポイラーが引っかかり、洗車できない場合や傷付いたり、破損するおそれがあります。

### ● 高圧洗車機を使うときは

- ノズルの先端をドアガラスなどに近付けすぎないでください。水圧が高いため、近付けすぎると車内に水が入るおそれがあります。
- 駆動系部品（ディファレンシャルギヤなど）のベアリングやオイルシール部品に近付けすぎないでください。近付けすぎると、水圧が高いため、内部への水入りやグリース流出により、性能が劣化するおそれがあります。

### ● アルミホイールの手入れ

- スポンジに中性洗剤を含ませ、汚れを早めに落としてください。傷付きやすいので、研磨剤の入った洗剤や硬いブラシを使用しないでください。
- 光沢を失うおそれがありますので、スチーム洗浄などで熱湯がホイールに直接かからないようにしてください。

## ● ワックスがけをするときは

洗車後、車体の温度が冷えているとき（およそ体温以下を目安としてください）に行います。



**警告**

**エンジンルーム内に水をかけないでください。**

- エンジンルーム内の電気部品に水などをかけないでください。ハイブリッドシステムの始動不良や電気部品がショートして、故障や車両火災につながるおそれがあり危険です。
- 寒冷時に洗車する場合は、ブレーキに直接水がかからないように注意してください。ブレーキ装置内に水が入ると、凍結してブレーキの効きが悪くなったり、ブレーキの固着につながるおそれがあり、走行できなくなる場合があります。
- 洗車後は、ブレーキペダルを軽く踏んでブレーキが正常に働くことを確認してください。ブレーキパッドがぬれるとブレーキの効きが悪くなったり、ぬれていない片方だけが効いてハンドルをとられ、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- 排気管は排気ガスにより高温になります。洗車などでふれる場合は、十分に排気管が冷めてからにしてください。やけどをするおそれがあります。



**注意**

**洗車をするときは、けがをしないように注意してください。**

- 下まわり・足まわりを洗うときは、手にけがをしないように注意してください。
- 洗車するときは、硬いブラシやたわしなどを使用しないでください。塗装などに傷が付きまします。
- フューエルリッド（燃料補給口）を開けた状態で、給油口付近に水をかけないでください。
- ランプのレンズ表面をワックス・ベンジンやガソリンなどの有機溶剤で拭いたり、硬いブラシなどで擦ったりしないでください。破損したり、劣化を早めることがあります。
- 目地のある素地部※に塗装用ワックスを使用しないでください。塗装用ワックスが付着すると、目地に入って取れなくなり、白くなることがあります。  
※素地部＝塗装されていないバンパー・ドアミラーなどの樹脂部分。

## 内装の手入れ

### ● 室内の清掃

カークリーナーや電気掃除機などでほこりを取り除き、水またはぬるま湯を含ませた布で軽く拭き取ります。


**警告**
**車内に水をかけないでください。**

- 車の清掃をするときは、車内に水をかけないでください。
  - ・駆動用電池などに悪影響をおよぼし、損傷するおそれがあります。
  - ・SRSサイドエアバッグ・SRSカーテンシールドエアバッグ装着車は、前席フロアにSRSサイドエアバッグの配線があるため、水がかかるとSRSサイドエアバッグが正常に作動しなくなるおそれがあり危険です。
  - ・オーディオやフロアカーペット下にある電気部品などに水がかかると、車の故障の原因となったり、車両火災につながるおそれがあり危険です。
- シートベルトの清掃にベンジンやガソリンなどの有機溶剤を使用しないでください。また、ベルトを漂白したり、染めたりしないでください。シートベルトの性能が低下し、衝突などのとき十分な効果を発揮せず、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。清掃するときは中性洗剤かぬるま湯を使用し、乾くまでシートベルトを使用しないでください。
- 内装（特にインストルメントパネル）の手入れをするときは、艶出しワックスや艶出しクリーナーを使用しないでください。インストルメントパネルがフロントウインドウガラスへ映り込み、運転者の視界をさまたげ思わぬ事故につながり、重大な傷害もしくは死亡におよぶおそれがあります。


**注意**
**クリーナーに含まれる成分に注意してください。**

- 内装の手入れをするときは、ベンジン・ガソリンなどの有機溶剤や酸またはアルカリ性の溶剤は使用しないでください。変色やしみの原因になります。また、各種クリーナー類には、これらの成分が含まれているおそれがありますのでよく確認の上、使用してください。
- 芳香剤（液体・固体・ゲル状・プレートタイプなど）を、内装品（エアコンやオーディオなど）に直接ふれさせたり、こぼしたりしないよう注意してください。含まれる成分によっては変色やしみ、塗装はがれの原因になるおそれがあります。
- リヤウインドウガラスの内側を清掃するときは、熱線を損傷するおそれがあるため、ガラスクリーナーなどを使わず、熱線にそって水またはぬるま湯を含ませた布で軽く拭いてください。
- リヤウインドウガラスの内側を掃除するときは、熱線を引っかいたり、損傷させないように気を付けてください。
- ガラスの内側を清掃するときは、コンパウンドが入ったガラスクリーナーを使用しないでください。清掃は水またはぬるま湯を含ませた布で軽く拭いてください。
- ドアの内側やインストルメントパネルなどの内装部分に、日焼け止めクリームやファンデーションなどの化粧品が付着すると、白く変色することがあります。
- 内装の手入れをするときは、艶出しワックスや艶出しクリーナーを使用しないでください。インストルメントパネルやその他内装の塗装のはがれ・溶解・変形の原因になるおそれがあります。

目次

警告

 基本操作  
早わかり

 運転装置の  
取り扱ひ

 室内装備の  
取り扱ひ

 安全・快適装備  
の解説と注意

 車との上手な  
付き合い方

メンテナンス

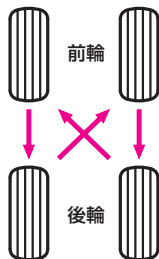
万のとき

索引

## タイヤローテーション

タイヤの摩耗を4輪とも均等にし、寿命をのばすために、5,000kmごとにタイヤローテーションを行います。

搭載されているジャッキを使用してタイヤ位置交換を行うときは、スペアタイヤを使用して1輪ずつ交換してください。



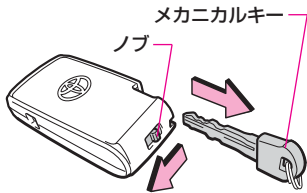
**注意**

日常点検として必ずタイヤを点検してください。

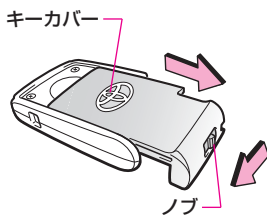
- 日常点検として必ずタイヤの点検を行ってください。  
(P.70の「タイヤについての注意」参照)
- タイヤ・ディスクホイール・ホイール取り付けナットを交換するときは、トヨタ販売店にご相談ください。(P.88の「その他の注意」参照)



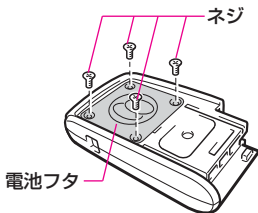
## キーの電池交換



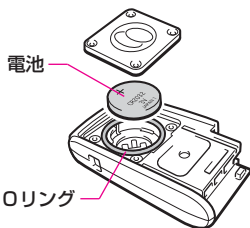
- 1** メカニカルキーを取り出します。  
ノブを矢印の方向にスライドさせながら、ロックをはずし取り出します。



- 2** キーカバーをはずします。  
ノブを矢印の方向にスライドさせながらキーカバーをはずします。



- 3** 電池フタを取りはずします。  
ネジ（4本）を取りはずし、電池フタを取りはずします。



- 4** 電池を交換します。  
古い電池を取り出し、新しい電池の⊕側を上にして取り付けます。

- 5** 電池フタを取り付けます。  
Oリングがあるのを確認してから、電池フタをもとどおりにネジ（4本）でしっかりと取り付けます。

目次

警告

基本操作

運転装置の  
取り扱い

室内装備の  
取り扱い

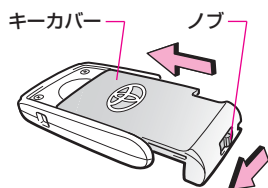
安全・快適装備  
の解説と注意

車との上手な  
付き合い方

メンテナンス

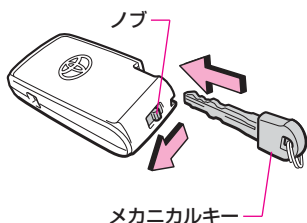
万一のとき

索引



## 6 キーカバーを取り付けます。

ノブを矢印の方向にスライドさせながら取り付けます。



## 7 メカニカルキーを取り付けます。

ノブを矢印の方向にスライドさせながら取り付けます。

## 8 作動確認をします。

いずれかのスイッチを押したとき、本体のLEDが点灯することを確認します。



### 警告

電池および取りはずした部品は、特にお子さまが飲み込まないようにご注意ください。飲み込むと重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。



### 注意

電池および取りはずした部品の取り扱いにはご注意ください。

- 電池交換時には、ネジ・リングなどの取りはずした部品などを紛失しないようにご注意ください。
- 電池フタを曲げたりしないように注意してください。
- 電池以外の部品にふれたり、動かしたりしないでください。
- 電池の⊕極と⊖極は必ず正しい向きにして取り付けてください。
- 電池挿入部の電極を曲げたり、ゴミや油などが付着しないように注意してください。
- リングは傷付けたり、ねじって取り付けたりしないように注意してください。



### 知識

#### 電池について

使用電池……リチウム電池CR2032

電池はトヨタ販売店・時計店・カメラ店などでお求めください。

## ヒューズの点検、交換

ランプがつかないときや電気系統の装置が働かないときは、ヒューズ切れやランプ自体の球切れが考えられます。

次の手順でヒューズの点検・交換を行ってください。

### ● ヒューズの点検・交換のしかた

1 “パワー” スイッチをOFFにします。

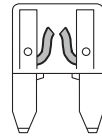
2 ヒューズボックスを開けます。(P.322、324、326参照)

3 ヒューズの点検をします。

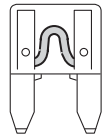
故障の状況から、点検すべきヒューズをヒューズボックスのフタの裏面または表面で確認し、ヒューズを引き抜き、ヒューズが切れていないかを点検します。

- ヒューズはずし・予備ヒューズは、エンジンルーム内ヒューズボックスの中に入っています。(次ページ参照)
- ヒューズは車の仕様によりないものもあります。

切れた状態



切れていない状態



4 ヒューズを交換します。

ヒューズが切れていたら、規定容量のヒューズに交換します。

- ランプ類が点灯しないときは、電球切れも考えられます。
- 以下の場合にはトヨタ販売店で点検を受けてください。
  - ・取りかえても再びヒューズが切れるとき
  - ・取りかえても電気系統の装置が働かないとき



規定容量以外のヒューズを使用しないでください。配線が過熱・焼損し、火災につながるおそれがあり危険です。



#### 初期設定について

バッテリーあがりの処置や、ヒューズ交換などの作業を行った場合、作業後に初期設定操作が必要な機能があります。詳しくは、P.353の「初期設定が必要な機能」を参照してください。

目次

基本操作  
早わかり運転装置の  
取り扱い室内装備の  
取り扱い安全・快適装備  
の解説と注意車との上手な  
付き合い方

メンテナンス

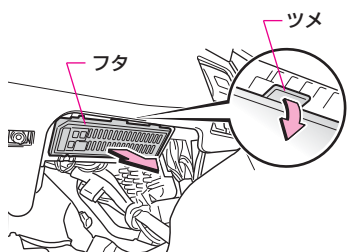
万のとき

索引



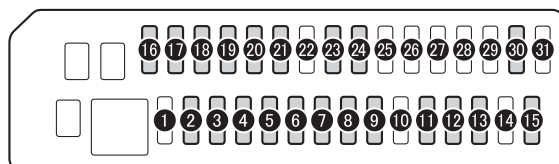
	ヒューズ名称	アンペア数	ヒューズの受け持つ主な装置名称
①	H-LP L O R H	10A	ヘッドランプ (右側ロービーム)
②	H-LP L O L H	10A	ヘッドランプ (左側ロービーム)
③	H-LP H I R H	10A	ヘッドランプ (右側ハイビーム)
④	H-LP H I L H	10A	ヘッドランプ (左側ハイビーム)
⑤	E F I	15A	エンジンコントロール
⑥	A M 2	15A	エレクトロニクス
⑦	H O R N	10A	ホーン
⑧	H E V	20A	T H S II
⑨	P C O N M A I N	7.5A	エレクトロニクス
⑩	A B S - 1	25A	A B S
⑪	E T C S	10A	エンジンコントロール
⑫	B A T T F A N	10A	T H S II
⑬	H A Z	10A	非常点滅灯
⑭	D O M E	15A	室内灯、オーディオ、ナビゲーションシステム
⑮	A B S M A I N 3	15A	A B S
⑯	A B S M A I N 2	10A	A B S
⑰	A B S M A I N 1	10A	A B S
⑱	F R F O G	15A	フロントフォグランプ
⑲	* 1 (R R F O G L P)	10A	リヤフォグランプ
⑳	A M P	30A	オーディオ
㉑	P T C H T R 2	30A	エアコン
㉒	P T C H T R 1	30A	エアコン
㉓	C D S F A N	30A	ファン

## ■室内ヒューズボックス



運転席足元にあります。

- フタにあるツメを引いてはずします。
- フタ表面に、ヒューズ名称が表示されています。



	ヒューズ名称	アンペア数	ヒューズの受け持つ主な装置名称
①	—	—	—
②	M/HTR	15A	ミラーヒーター
③	WIP	25A	ワイパー
④	RR WIP	15A	リヤワイパー
⑤	WSH	20A	ウォッシャー
⑥	ECU-IG	7.5A	エレクトロニクスIG
⑦	GAUGE	10A	エレクトロニクス
⑧	OBD	7.5A	エンジンコントロール
⑨	STOP	7.5A	制動灯
⑩	—	—	—
⑪	DOOR	25A	ドアロック
⑫	ACC-B	25A	アクセサリ、アクセサリソケット
⑬	ECU-B	15A	エレクトロニクス
⑭	—	—	—
⑮	AM1	7.5A	エレクトロニクス
⑯	TAIL	10A	尾灯
⑰	PANEL	7.5A	エレクトロニクス
⑱	A/C (HTR)	10A	エアコン
⑲	FR DOOR	20A	パワーウィンドウ
⑳	RL DOOR	20A	パワーウィンドウ
㉑	RR DOOR	20A	パワーウィンドウ
㉒	—	—	—
㉓	PWR OUTLET	15A	アクセサリソケット
㉔	ACC	7.5A	アクセサリ
㉕	—	—	—
㉖	—	—	—
㉗	—	—	—
㉘	—	—	—
㉙	—	—	—
㉚	IGN	7.5A	エレクトロニクス
㉛	—	—	—

目次



基本操作  
早わかり

運転装置の  
取り扱い

室内装備の  
取り扱い

安全・快適装備  
の解説と注意

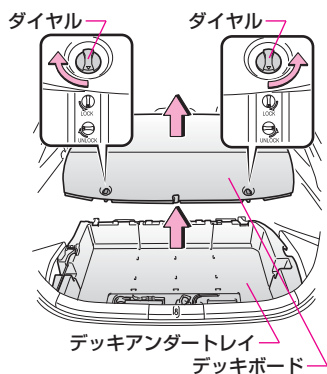
車との上手な  
付き合い方

メンテナンス

万一のとき

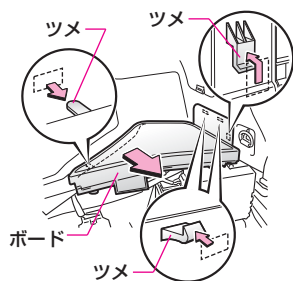
索引

## ■補機バッテリーヒューズボックス

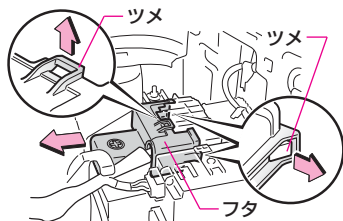


**1** デッキボードとデッキアンダートレイを取りはずします。

- ダイヤルをUNLOCK側にまわしてロックをはずし、デッキボードを取りはずします。
- デッキアンダートレイは持ち上げて取りはずします。

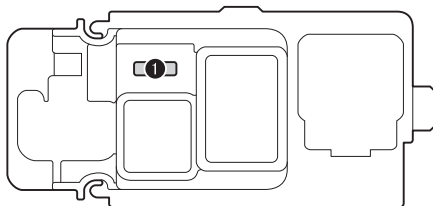


**2** ツメをはずして、ボードを取りはずします。



**3** ツメを引いてフタをはずします。

- ヒューズ名称がフタ表面に表示されています。



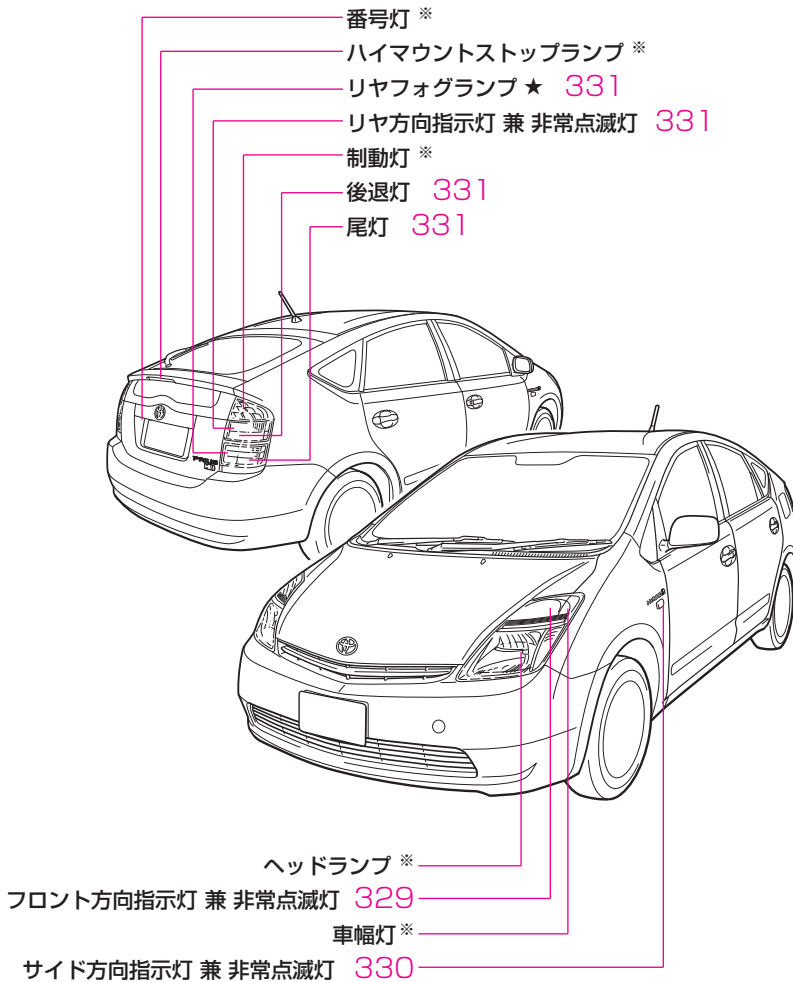
	ヒューズ名称	アンペア数	ヒューズの受け持つ主な装置名称
①	DC/DC-S	5A	THS II



## 外装の電球（バルブ）交換

この車の外装には、下図で示した電球（バルブ）があります。

- ページ数が記載してある電球の交換については、該当ページをお読みください。
- ※印が記載してある電球の交換については、トヨタ販売店にご相談ください。





## 警告

電球を交換するときは、必ずハイブリッドシステムを停止し、各ランプを消灯させ、電球が冷えてから交換してください。やけどをするおそれがあります。



## 注意

電球は十分注意して取り扱ってください。

- ハロゲン電球はガラス内部の圧力が高いため、落としたり、ものをぶつけたり、傷を付けたりすると、破損してガラスが飛び散る場合がありますので、十分注意して取り扱ってください。また、素手でふれずにきれいな手袋を着用してください。
- 必ず同じワット数の電球を使用してください。(P.347参照)
- 電球および電球固定具の取り付けは確実に行ってください。取り付けが不完全な場合、水入りなどによる故障およびレンズ内面の曇りにつながるおそれがあります。
- 電球の交換をするときは、工具や電球・電球固定具・ソケットなどを紛失しないように注意して作業してください。



## 知識

### ランプの曇りについて

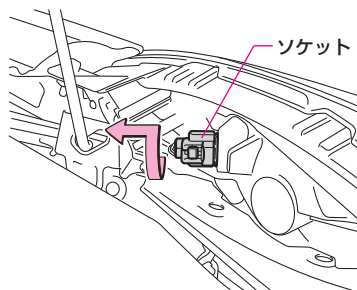
ヘッドランプ・制動灯などのランプは、雨天走行や洗車などの使用条件によりレンズ内面が曇ることがあります。これはランプ内部と外気の温度差によるもので、雨天時などに窓ガラスが曇ると同様の現象であり、機能上の問題はありません。ただし、レンズ内面に大粒の水滴が付いているときやランプ内に水がたまっているときは、トヨタ販売店で点検を受けてください。

### 電球の交換について

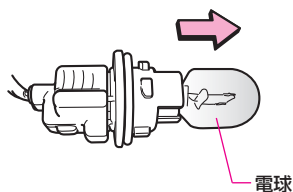
電球の交換作業をするときに、部品などの破損が心配な方は、トヨタ販売店にご相談ください。

## ● フロント方向指示灯 兼 非常点滅灯

### ■ 取りはずし方



**1** ボンネットを開け、ソケットを矢印の方向にまわして取りはずします。



**2** ソケットから電球を引き抜きます。

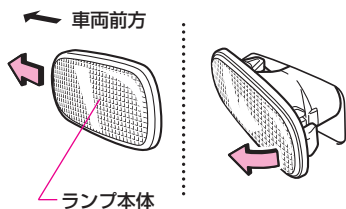
### ■ 取り付け方

取りはずしたときの逆の手順で取り付けます。

\* 図は助手席側で説明しています。

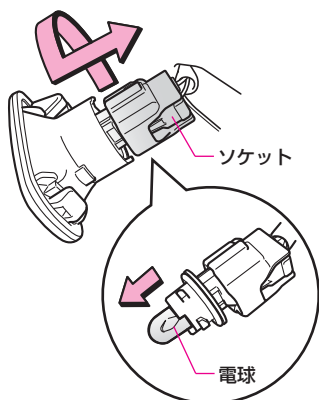
## ● サイド方向指示灯 兼 非常点滅灯

### ■取りはずし方



#### 1 ランプ本体を取りはずします。

ランプ本体を車両前方に向かって押しながら、ランプ本体の車両後方側を手前に引いてははずします。



#### 2 ランプ本体からソケットと電球を取りはずします。

ソケットを矢印の方向にまわしてランプ本体から取りはずし、ソケットから電球を引き抜きます。

### ■取り付け方

取りはずしたときの逆の手順で取り付けます。

\* 図は助手席側で説明しています。

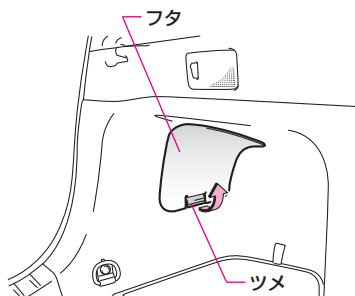


ランプ本体からソケットをはずすと、ソケットが車両内部に落ちやすくなります。落ちないように注意して作業してください。

## ● リヤ方向指示灯 兼 非常点滅灯・後退灯・ 尾灯・リヤフォグランプ★

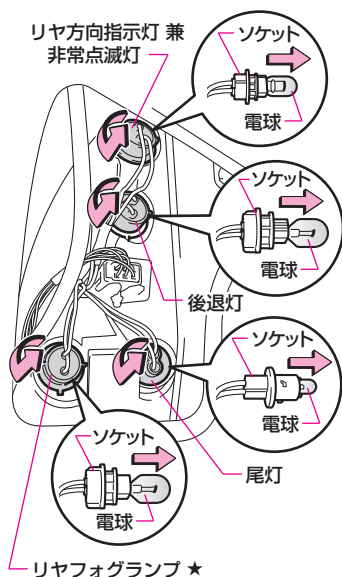
### ■取りはずし方

- 1 バックドアを開け、フタを開けます。  
ツメを上側に押しながら手前に引いて、  
フタを開けます。



- 2 交換したい電球を取りはずします。

ソケットを矢印の方向にまわして取り出し、ソケットから電球を引き抜きます。



### ■取り付け方

取りはずしたときの逆の手順で取り付けます。

\* 図は助手席側で説明しています。

# 日常点検

## 日常点検について

---

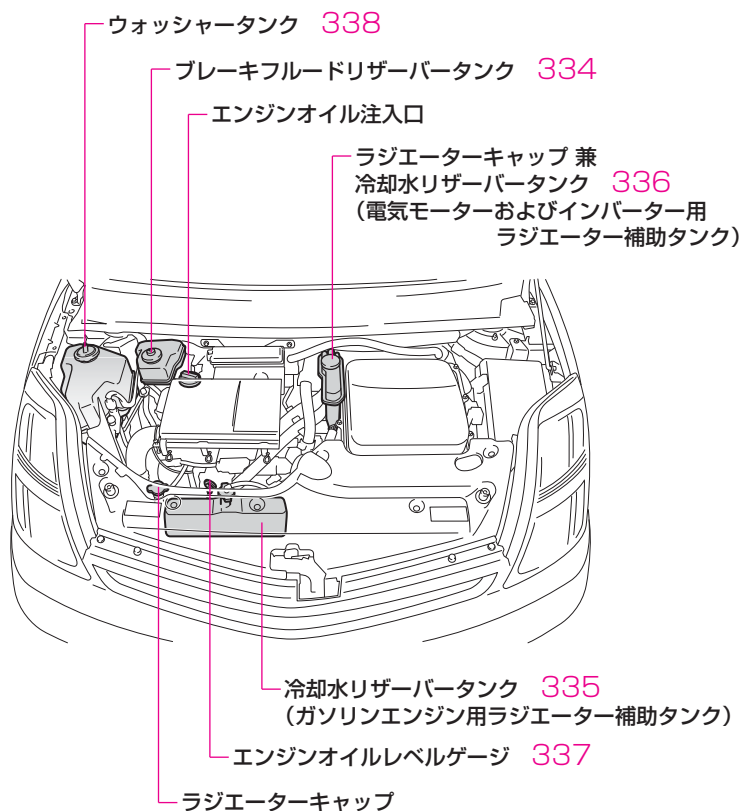
日常点検整備は、お客様の責任において実施していただくことが法律で義務付けられています。

日常点検は、簡単に点検できる項目になっていますので、長距離走行前や洗車時・給油時などを目安に実施してください。

ここでは、点検内容を簡単に説明します。

点検方法および実施時の注意事項は、「メンテナンスノート」をお読みください。

## エンジンルームの点検



**警告**

点検や交換したあとは、工具や布などをエンジンルームに置き忘れていないことを確認してください。万一、置き忘れてしまうと、故障の原因となったり、また、エンジンルーム内は高温になるため車両火災につながるおそれがあり危険です。

目次



基本操作  
早わかり

運転装置の  
取り扱い

室内装備の  
取り扱い

安全・快適装備  
の解説と注意

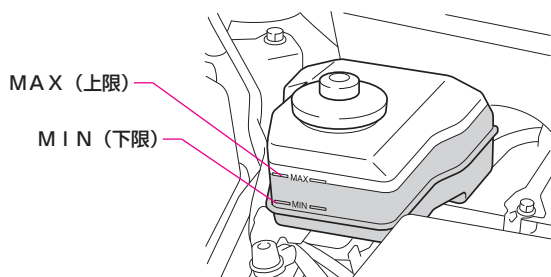
車との上手な  
付き合い方

メンテナンス

万一のとき

索引

## ● ブレーキの液量



ブレーキフルードの量がリザーバータンクのMAX（上限）とMIN（下限）のあいだにあるかを点検します。

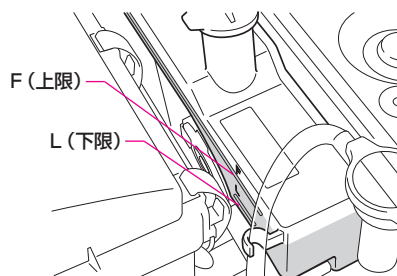


**警告**

ブレーキフルードが不足しているとブレーキの効きが悪くなり、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。



## ● 冷却水の量（ガソリンエンジン用）



冷却水の量がリザーバータンクのF（上限）とL（下限）のあいだにあるかを点検します。



**注意**

冷却水の量が不足していると、ラジエーターの腐食やオーバーヒートによるエンジン破損のおそれがあるため、定期的に点検してください。  
また、水のみで使用していると寒冷時に凍結し、ラジエーターなどに損傷を与えるため、必ず冷却水を適切な濃度でご使用ください。

目次



基本操作  
早わかり

運転装置の  
取り扱い

室内装備の  
取り扱い

安全・快適装備  
の解説と注意

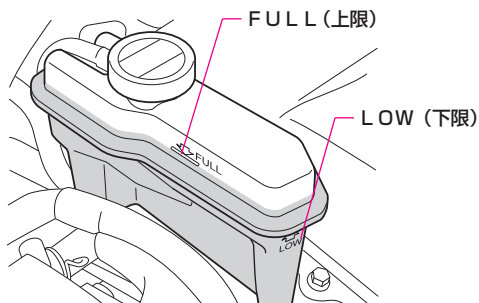
車との上手な  
付き合い方

メンテナンス

万一のとき

索引

## ● 冷却水の量（電気モーターおよびインバーター用）



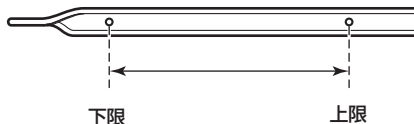
冷却水の量がリザーバータンクのFULL（上限）とLOW（下限）のあいだにあるかを点検します。



**注意**

冷却水の量が不足していると、ラジエーターの腐食やハイブリッドシステム破損のおそれがあるため、定期的に点検してください。  
また、水のみで使用していると寒冷時に凍結し、ラジエーターやハイブリッドシステムなどに損傷を与えるため、必ず冷却水を適切な濃度で使用ください。

## ● エンジンオイルの量



エンジンオイルの量がオイルレベルゲージの上限と下限のあいだにあるかを点検します。



**警告**

エンジンオイルを点検・交換するときは、次のことをお守りください。お守りいただかないと、重大な傷害ややけどにつながるおそれがあります。

- ハイブリッドシステムを停止してください。  
ハイブリッド車は、ガソリンエンジンが自動的に動き出すことがあります。ガソリンエンジン回転中にベルトやファンなどの回転部分にふれたり付近にいたりすると、手や衣服・工具などが巻き込まれたりして、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- エンジンオイルの温度が低いときに、点検・交換してください。
- ガソリンエンジンが停止していても冷却水温が高いときは、エンジンオイルも高温になっており、やけどをするおそれがあり危険です。

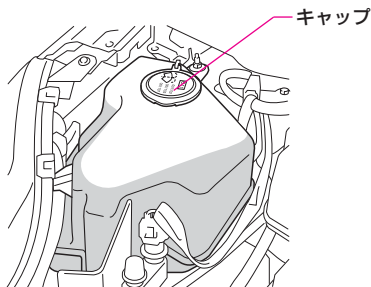


**注意**

エンジンオイルは定期的に点検・交換してください。

- 定期的な点検を怠ると、オイル不足や劣化により回転部分が潤滑不良になり、焼き付きなどを起こしてエンジンに損傷を与えるため、定期的に点検・交換をしてください。  
・ エンジンオイルはエンジン内部の潤滑、冷却などをする働きがあります。通常の運転をしていても、ピストンおよび吸・排気バルブを潤滑しているオイルの一部が燃焼室などで燃えるため、オイル量は走行と共に減少します。また、減少する量は走行条件などにより異なります。
- オイルを補給するときは、入れすぎないように注意してください。
- エンジンオイルを点検するときは、オイルがハイブリッドシステムなどに付着しないように布などをあてて点検してください。  
万一、オイルが付着したときは、完全に拭き取ってください。

## ● ウィンドウウォッシャーの液量



ウォッシャータンクの液面を確認し、ウォッシャー液が不足しているときは、ウォッシャー液を補給してください。

### ■ ウォッシャー液を補給するには

#### 1 キャップを開けます。

ウォッシャータンクのキャップを開けます。

#### 2 ウォッシャー液を補給します。

補給が終わったら、ウォッシャータンクのキャップを確実に閉めてください。

- ウォッシャー液の容器に表示してある凍結温度を参考に希釈して補給します。
- 液量については、P.350の「ウォッシャータンク容量」を参照してください。
- リヤワイパー用ウォッシャータンクはフロントワイパー用と兼用です。



ハイブリッドシステムが熱いときや、READY（走行可能表示灯）が点灯した状態のときは、ウォッシャー液を補給しないでください。ウォッシャー液にはアルコール成分が含まれているため、ハイブリッドシステムなどにかかると出火するおそれがあります。

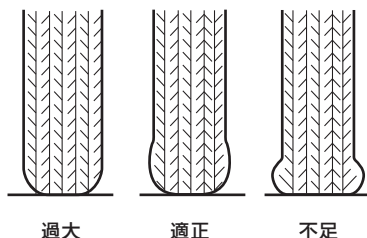


ウォッシャー液の代わりに石けん水などを入れないでください。塗装のしみになるおそれがあります。

## 車のまわりの点検

タイヤの点検については、P.70の「タイヤについての注意」を併せてお読みください。

### ● タイヤの空気圧



点検は、タイヤが冷えている（走行前）状態で、タイヤの接地部のたわみ状態（つぶれ具合）を見て、空気圧が適正であるかを点検します。

- 月に1回程度は空気圧ゲージによる点検をおすすめします。
- 空気圧が適正でない場合は、必ず指定空気圧に調整してください。



指定空気圧より低いと、車両の走行安定性を損なうばかりでなく、タイヤが偏摩耗したりします。高速走行時にスタンディングウェーブ現象※によりタイヤがバースト（破裂）したりして、思わぬ事故につながるおそれがあります。日常点検で、スペアタイヤも含め、必ずタイヤ空気圧が指定空気圧になっていることを点検してください。

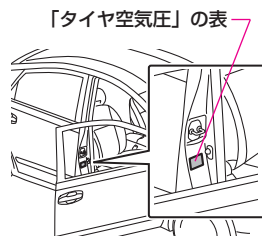
※高速で走行しているときに、タイヤが波うつ現象。

### 知識

#### 指定空気圧について

指定空気圧は、運転席ドアを開けたボディ側に貼られている「タイヤ空気圧」の表、またはメンテナンスデータ（P.351参照）でご確認ください。

- スペアタイヤも点検してください。
- 指定空気圧でのたわみ状態を確認しておく、タイヤを目視点検するときの参考になります。
- 指定空気圧の調整は、タイヤが冷えているときに行ってください。



---

## ● タイヤの亀裂、損傷

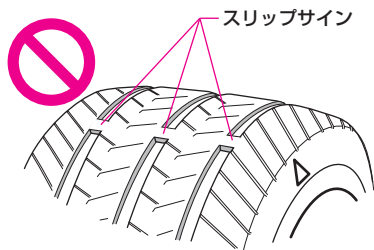
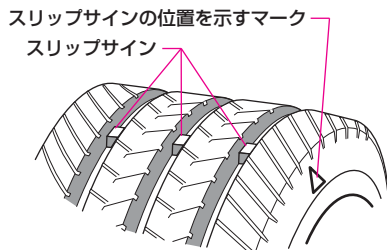
タイヤの側面や接地部全周に著しい傷や亀裂がないかを点検します。  
また、釘・石・その他の異物が刺さったり、かみ込んでいないかを点検します。



**タイヤの側面などに傷や亀裂のあるような異常なタイヤを装着しないでください。**

- 異常があるタイヤを装着していると、走行時にハンドルがとられたり、異常な振動を感じることがあります。  
また、バースト（破裂）など修理できないような損傷をタイヤに与えたり、タイヤが横すべりするなど思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。  
走行中、異常な振動を感じた場合は、すみやかにトヨタ販売店で点検を受け、正常なタイヤに交換してください。
- 異常があるタイヤを装着していると、車の性能（燃費・車両の方向安定性・制動距離など）が十分に発揮できないばかりでなく、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。また、部品に悪影響を与えるなど故障の原因となることがあります。

## ● タイヤの溝の深さ、異常摩耗



〈例：スリップサインが出ていない状態〉※1

〈例：スリップサインが出ている状態〉※1

タイヤ接地面に表示されているスリップサイン（摩耗限度表示）が現われていないかを点検します。

また、極端な片べりなどの偏摩耗がないかを点検します。

※1 イラストは説明のための例であり、実際とは異なります。



摩耗限度をこえたタイヤは使用しないでください。タイヤの溝の深さが少ないタイヤやスリップサイン（摩耗限度表示）が出ているタイヤをそのまま使用すると、制動距離が長くなったり、雨の日にはハイドロプレーニング現象※2により、ハンドルが操作できなくなったり、タイヤがバースト（破裂）したりして、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。スリップサインが現れたら、すみやかに正常なタイヤと交換してください。

※2 水のたまった道路を高速で走行すると、タイヤと路面のあいだに水が入り込み、タイヤが路面から浮いてしまい、ハンドルやブレーキが効かなくなる現象。

## ● 灯火装置、方向指示器の汚れ、損傷

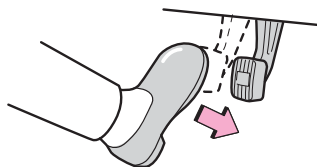
各ランプのレンズに、汚れや破損・ヒビ割れなどがいないかを点検します。



### ランプの曇りについて

ヘッドランプなどのランプは、雨天走行や洗車などの使用条件によりレンズ内面が曇ることがあります。これはランプ内部と外気の温度差によるもので、雨天時などに窓ガラスが曇ると同様の現象であり、機能上の問題はありません。ただし、レンズ内面に大粒の水滴が付いているときやランプ内に水がたまっているときは、トヨタ販売店で点検を受けてください。

### ● パーキングブレーキの踏みしろ



ペダルが止まるまでゆっくりと踏み、カチカチ音が基準値（P.346参照）の範囲で止まるかを点検します。

### ● エンジンのかかり具合

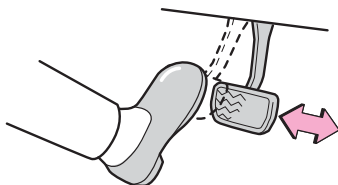
エンジン始動の際、異音がないか、かかり具合はよいかを点検します。また、アイドリング状態および少し回転を上げた状態で、異音がないかを点検します。

#### 知識

##### ハイブリッド車について

ハイブリッド車は、車両の状態により停車中にガソリンエンジンが停止する場合があります。

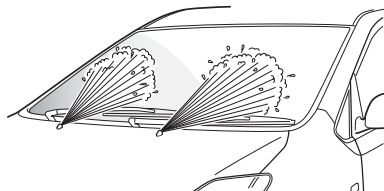
### ● ブレーキペダルの踏みしろ



ハイブリッドシステムを始動し、ブレーキペダルをいっぱい踏み込み、床板とのすき間（P.346参照）を点検します。併せてペダルの感触に異常がないかを点検します。

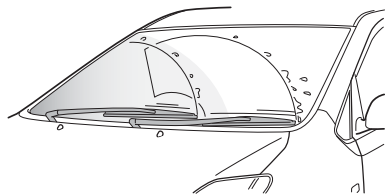


## ● ウインドウウォッシャーの噴射状態



ハイブリッドシステムを始動し、ウインドウウォッシャーを作動させ、噴射の向きおよび高さがワイパーの作動範囲のほぼ中央にあたるかを点検します。

## ● ワイパーの払拭状態



ハイブリッドシステムを始動し、ウインドウウォッシャーでガラスをぬらした状態でワイパーを作動させ、「間欠作動」「低速作動」「高速作動」「一時作動」の各作動が良いか、拭き取り状態がよいか点検します。

## ● 灯火装置、方向指示器の作動

ハイブリッドシステムを始動し、各灯火装置・方向指示器を作動させ、ランプが点灯または点滅するか、明るさが不足していないかを点検します。

### ● ブレーキの効き具合

通常走行時にブレーキをかけたとき、効きが十分か、片効きしないかを点検します。



走行中、継続的にブレーキ付近から警告音（キーキー音）が発生したときは、ブレーキパッドの使用限度です。トヨタ販売店で点検を受けてください。警告音が発生したまま走り続けると、ブレーキパッドがなくなり、ブレーキ部品を損傷させたり、効きが悪くなって、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

### ● エンジンの低速および加速の状態

通常走行で停車したとき、エンジン回転にむらがないかを点検します。また、アクセルペダルを踏み込んだとき、なめらかに加速するかを点検します。



#### ハイブリッド車について

ハイブリッド車は、車両の状態により停車中にガソリンエンジンが停止する場合があります。

### ● 前日までの異常箇所の点検

前日までの使用時に異常があった箇所について、運行に支障がないかを点検します。

# MEMO

---

目次



基本操作  
早わかり

運転装置の  
取り扱い

室内装備の  
取り扱い

安全・快適装備  
の解説と注意

車との上手な  
付き合い方

メンテナンス

万一のとき

索引

# メンテナンスデータ

## メンテナンスデータ

**HYBRID**

### 基準値

項 目		メンテナンスデータ
ブレーキペダル	遊び [mm]	1~6
	踏み込んだときの床板とのすき間 [mm] 〔踏力200N {20kgf}〕 (READY〔走行可能表示灯〕が点灯した状態)	101以上
パーキング ブレーキペダル	踏みしろ [ノッチ*] 〔操作力300N {30kgf}〕	6~9
Vリブドベルト	たわみ量 [mm] 〔押力100N {10kgf}〕 (冷間時)	11~15

※ノッチとは、パーキングブレーキをかけるときの節度（“カチッ”という音）のことです。

## ●電球（バルブ）のワット数

項 目	メンテナンスデータ
電 球 (バルブ)	ヘッドランプ ..... 55/60W (バルブタイプ：H4)
	フロント方向指示灯 兼 非常点滅灯 (アンバーバルブ* <sup>1</sup> )..... 21W
	車幅灯..... 5W
	サイド方向指示灯 兼 非常点滅灯 ..... 5W
	リヤ方向指示灯 兼 非常点滅灯 (アンバーバルブ* <sup>1</sup> )..... 21W
	リヤフォグランプ ★..... 21W
	後退灯..... 21W
	制動灯 ..... LED* <sup>2</sup>
	尾灯..... 5W
	番号灯..... 5W
	フロントパーソナルランプ..... 5W
	マップランプ..... 5W
	ルームランプ..... 8W
	ラゲージランプ..... 5W
	バニティランプ..... 5W
	ロアグローブボックスランプ ..... LED* <sup>2</sup>
	ドアカーテシランプ..... 5W
	ハイマウントストップランプ ..... LED* <sup>2</sup>

※1 アンバーバルブはオレンジ色の電球です。

※2 LEDは、Light Emitting Diodes（発光ダイオード）の略で、半導体発光素子です。

## ● 油脂類の容量と銘柄

使用するオイルの品質により、自動車の寿命は著しく左右されます。トヨタ車には、最も適したトヨタ純正オイル・液類（以下、「指定銘柄」といいます）のご使用をおすすめします。

指定銘柄以外を使用される場合は、指定銘柄に相当する品質のものをご使用ください。

項目		容量[L] (参考値)	指定銘柄
冷却水	ガソリンエンジン用	5.3	トヨタ純正スーパーロング ライフクーラント 凍結保証温度
	電気モーターおよび インバーター用	2.6	濃度30% -12℃ 濃度50% -35℃
ハイブリッド用 トランスアクスルフルード		3.8	トヨタ純正 オートフルードWS
ブレーキフルード		—	トヨタ純正 ブレーキフルード2500H

項目	容量 [L] (参考値)		指定銘柄
	オイルのみ交換時充てん量	オイルとオイルフィルター交換時充てん量	
エンジンオイル	3.4	3.7	トヨタ純正 モーターオイルSM 0W-20* (API SM,EC/ILSAC GF-4,SAE 0W-20) トヨタ純正 モーターオイルSM 5W-30 (API SM,EC/ILSAC GF-4,SAE 5W-30) トヨタ純正 モーターオイルSM 10W-30 (API SM,EC/ILSAC GF-4,SAE 10W-30) トヨタ純正 モーターオイルSL 5W-20 (API SL,EC SAE 5W-20) トヨタ純正 モーターオイルSL 10W-30 (API SL,EC SAE 10W-30)

\*0W-20は新車時に充填されている、最も省燃費性に優れるオイルです。

## ■指定エンジンオイル

API規格SM/EC、SL/ECか、ILSAC規格合格油をおすすめします。  
なお、ILSAC規格合格油の缶にはILSAC CERTIFICATION（イルサクサーティフィケーション）マークが付いています。

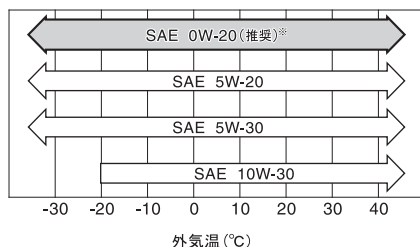


APIマーク



ILSAC CERTIFICATION  
マーク

●下記表に基づき、外気温に適した粘度のものをご使用ください。



※0W-20は新車時に充填されている、最も省燃費性に優れるオイルです。

## ●ウォッシャータンク容量

項目	容量 [L] (参考値)
ウォッシャータンク	4.1



## 燃料の量と種類

項目	容量 [L] (参考値)	指定燃料
燃料 (フューエルタンク)	45	無鉛レギュラーガソリン

## タイヤ・ホイール仕様

項目		ホイールサイズ			
		リムサイズ		P.C.D.	オフセット量
		スチールホイール	アルミホイール		
標準 タイヤ	185/65R15 88S	16×4T	15×6J J	100mm ×5 (穴)	45mm
応急用 スペア タイヤ	T125/70D16 96M				42mm

項目		タイヤが冷えているときの空気圧 [kPa {kg/cm <sup>2</sup> }]	
		前輪	後輪
標準タイヤ	185/65R15 88S	230 {2.3}	220 {2.2}
応急用 スペアタイヤ	T125/70D16 96M	420 {4.2}	

## 車両仕様

名称	型式	ガソリンエンジン	電気モーター	駆動方式
プリウス	NHW20	1NZ-FXE (1.5Lガソリン)	3CM	FF (前輪駆動)

# ユーザーカスタマイズ

## ユーザーカスタマイズ一覧

以下の機能の動作内容を変更することができます。詳しくは、トヨタ販売店にご相談ください。

項目	機能の内容	設定 (太字が初期設定)
ワイヤレス ドアロック (P.116参照)	リモコンの作動 (施錠・解錠)	<b>作動する</b> / 作動しない
	ドアを施錠・解錠したときの 非常点滅灯の点滅	<b>点滅する</b> / 点滅しない
	解錠後のドアを開けなかった ときの再施錠するまでの時間	<b>約30秒</b> / 約60秒
イルミネーテッド エントリーシステム (P.264参照)	ドアを開けてから閉めたときの 消灯までのタイマー時間	<b>約15秒</b> / 約7.5秒 / 約30秒
	補機バッテリーあがり防止機能	<b>有</b> / 無
	“パワー” スイッチをアクセサ リーモードまたはOFFにした ときの消灯までのタイマー 時間	<b>約15秒間点灯</b> / 点灯しない
	ドアを解錠したときの作動	<b>点灯する</b> / 点灯しない
コンライト (P.235参照)	コンライトセンサーの 感度調整	<b>レベル3</b> / レベル1～5
	コンライトシステムがランプ を点灯するまでの時間	<b>標準</b> / 長め

# 初期設定が必要な機能

## 初期設定について

補機バッテリーを交換したときや、メンテナンスを行ったときなど、補機バッテリーと車両との接続が断たれた場合には、下記の機能の初期設定が必要です。これらの機能は、初期設定を行わないと機能が正しく作動しません。参照ページの説明に従って、それぞれ必要な操作を行ってください。

項目	対処方法
バックドア	P.129参照
パワーウィンドウ	P.133参照

目次

 警告

基本操作  
早わかり

運転装置の  
取り扱い

室内装備の  
取り扱い

安全・快適装備  
の解説と注意

車との上手な  
付き合い方

メンテナンス

万のとき

索引

# MEMO

---

# 8

## 万一のとき

<b>工具、スペアタイヤ、発炎筒</b> ……………	<b>356</b>
ジャッキ、工具、	
スペアタイヤの格納場所	356
ジャッキの取り出し方	358
スペアタイヤ	359
発炎筒の使い方	361
<b>故障したときは</b> ……………	<b>363</b>
路上で故障したときは	363
動けなくなったときは	364
<b>パンクしたときは</b> ……………	<b>365</b>
タイヤの交換	365
<b>補機バッテリーがあがったときは</b> ……………	<b>374</b>
補機バッテリーあがりとは <b>HYBRID</b>	374
<b>オーバーヒートしたときは</b> ……………	<b>379</b>
オーバーヒートとは <b>HYBRID</b>	379
<b>けん引について</b> ……………	<b>382</b>
けん引のしかた <b>HYBRID</b>	382
<b>事故が起きたときは</b> ……………	<b>387</b>
あわてずに次の処置を行って	
ください <b>HYBRID</b>	387
<b>車両を緊急停止するには</b> ……………	<b>388</b>
緊急停止のしかた	388

目次



基本操作  
早わかり

運転装置の  
取り扱い

室内装備の  
取り扱い

安全・快適装備  
の解説と注意

車との上手な  
付き合い方

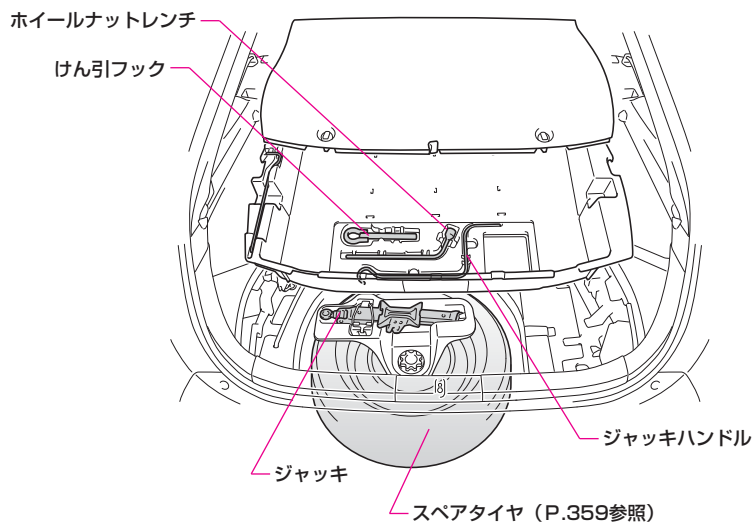
メンテナンス

万一のとき

索引

# 工具、スペアタイヤ、発炎筒

## ジャッキ、工具、スペアタイヤの格納場所



ジャッキ・工具・けん引フック・スペアタイヤは、ラゲージルームに格納されています。

ジャッキ・工具の種類、発炎筒の使い方などは、万一のとき困らないようにあらかじめ確認しておきましょう。



**警告**

工具やジャッキを使用したあとは、確実に格納してください。

- 工具やジャッキを使用したあとは、決められた場所に確実に格納してください。室内などに放置すると、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 車に搭載されているジャッキはお客様の車専用です。他の車に使用したり、他の車のジャッキをお客様の車に使用しないでください。ジャッキの取り扱いを誤ると、思わぬ事故につながるおそれがあります。

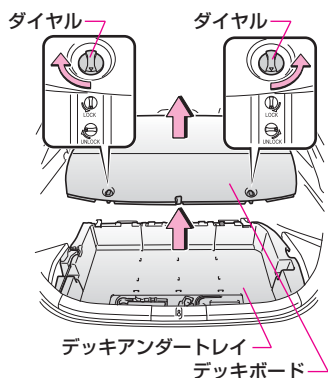


**注意**

車に搭載されているジャッキはタイヤ交換やタイヤチェーン脱着以外に使用しないでください。

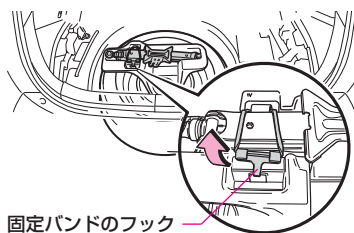
## ジャッキの取り出し方

### ● 取り出し方



#### 1 デッキボード、デッキアンダートレイを取りはずします。

- ダイヤルをUNLOCK側にまわしてロックをはずし、デッキボードを取りはずします。
- デッキアンダートレイは持ち上げて取りはずします。



#### 2 ジャッキを取り出します。

固定バンドのフックをはずして、ジャッキを取り出します。

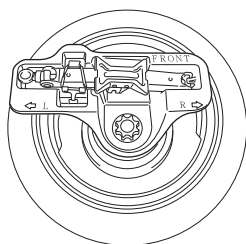
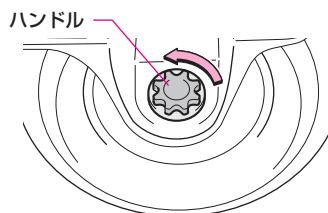
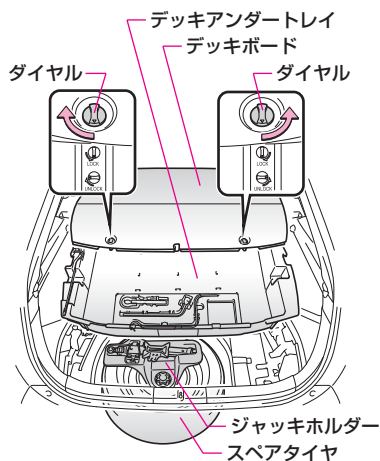
格納するときは

取り出したときと逆の手順で行います。



# スペアタイヤ

## 取り出し方



### 1 デッキボード、デッキアンダートレイを取りはずします。

- ダイヤルをUNLOCK側にまわしてロックをはずし、デッキボードを取りはずします。
- デッキアンダートレイは持ち上げて取りはずします。

### 2 ジャッキホルダーを取りはずします。

ハンドルを左にまわしてジャッキホルダーを取りはずします。

### 3 スペアタイヤを取り出します。

#### 格納するときは

スペアタイヤを格納し、ジャッキホルダーを左図のように向きに注意して取り付けます。

- スペアタイヤが確実に固定されていることを確認します。



**注意**

必ずスペアタイヤの点検を行い、異常があるスペアタイヤは装着しないでください。なお、指定空気圧は運転席ドアを開けたボディ側に貼られている「タイヤ空気圧」の表、またはP.351で正しい空気圧を確認の上、調整してください。

目次



基本操作  
早わかり

運転装置の  
取り扱い

室内装備の  
取り扱い

安全・快適装備  
の解説と注意

車との上手な  
付き合い方

メンテナ  
ンス

万のとき

索引

## ● 応急用タイヤについて

応急用タイヤは、標準タイヤがパンクしたときに一時的に使用するタイヤです。できるだけ早く標準タイヤに交換してください。



**警告**

応急用タイヤの空気圧は必ず点検してください。

- 応急用タイヤの空気圧は必ず点検してください。空気圧が不足している状態で走行すると、タイヤの径の違いがさらに大きくなるため、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。タイヤが冷えているときの空気圧（ゲージ圧）：420kPa {4.2kg/cm<sup>2</sup>}
- 車に搭載されている応急用タイヤはお客様の車専用です。他のタイヤやホイールと組み合わせたり、他の車に使用したり、他の車の応急用タイヤをお客様の車に使用しないでください。走行に悪影響が出て、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。



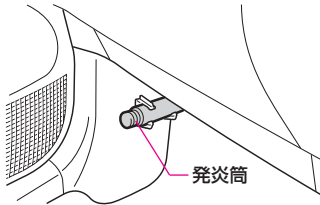
**注意**

応急用タイヤは、標準タイヤがパンクしたときに一時的に使用するタイヤです。標準タイヤに比べて直径が小さいので、次の事項に注意してください。

- 応急用タイヤを装着しているときは、100km/h以上で走行しないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。応急用タイヤは、タイヤがパンクしたとき、一時的に使用するタイヤです。応急用タイヤはできるだけ早く標準タイヤに交換してください。
- 応急用タイヤを装着して突起物などを乗り越えるときは、標準タイヤを装着しているときと同じ感覚で運転しないでください。応急用タイヤ装着時は標準タイヤ装着時に対し車高が変化します。同じ感覚で運転すると車をぶつけるおそれがあります。
- 応急用タイヤにタイヤチェーンを装着しないでください。タイヤチェーンが車体側に当たったり、走行に悪影響をおよぼすおそれがあります。雪道・凍結路で前輪タイヤがパンクした場合は、応急用タイヤを前輪に使用せず、後輪に装着し、はずした後輪タイヤを前輪に装着してからタイヤチェーンを装着してください。
- 応急用タイヤを装着しているときは、正確な車両速度が検出できない場合があります。下記のシステムが正常に作動しなくなるおそれがあります。
  - ・ ABS
  - ・ ブレーキアシスト
  - ・ モーターTRC
  - ・ GPSボイスナビゲーション

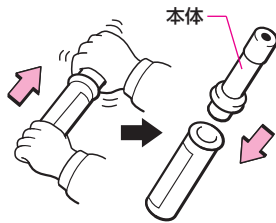
## 発炎筒の使い方

### 格納場所



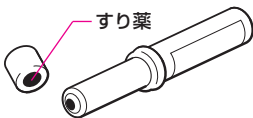
助手席足元に備え付けてあります。

### 発炎筒の使い方



#### 1 発炎筒を組み立てます。

本体をひねりながら取り出し、逆に挿し込みます。



#### 2 着火します。

キャップの頭部のすり薬でこすると着火します。



**警告**

発炎筒は正しく取り扱ってください。

- 発炎筒をお子さまにはさわらせてないでください。いたずらなどにより発火し、思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- 発炎筒を使用中は顔や体に向けたり、近付けたりしないでください。やけどなど、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- 発炎筒を燃料などの可燃物の近くで使用しないでください。引火して、やけどなど重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

目次



警告

基本操作  
早わかり

運転装置の  
取り扱い

室内装備の  
取り扱い

安全・快適装備  
の解説と注意

車との上手な  
付き合い方

メンテナンス

万のとき

索引



**注意**

発炎筒をトンネル内などで使用しないでください。煙で視界を悪くするのでトンネル内などでは非常点滅灯を使用してください。



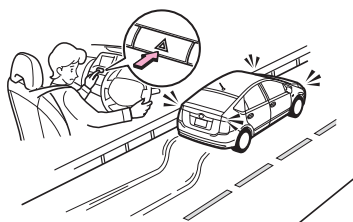
**知識**

### 発炎筒について

- 発炎時間は約5分間ですので非常点滅灯を併用してください。
- 発炎筒には有効期限があります。本体に表示してある有効期限の切れる前にトヨタ販売店でお求めください。

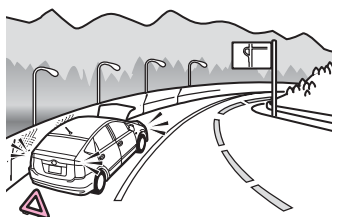
# 故障したときは

## 路上で故障したときは



非常点滅灯（P.246の「非常点滅灯の使い方」参照）を点滅させながら、車を路肩に寄せ停車します。

非常点滅灯は、故障などでやむを得ず路上駐車する場合、他車に知らせるため使用します。



高速道路や自動車専用道路では、車両後方に停止表示板または停止表示灯を置いてください。（法的にも義務付けられています）



緊急を要するときは発炎筒で合図します。（P.361の「発炎筒の使い方」参照）

目次



警告

基本操作  
早わかり

運転装置の  
取り扱い

室内装備の  
取り扱い

安全・快適装備  
の解説と注意

車との上手な  
付き合い方

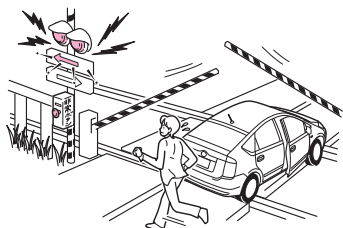
メンテナンス

万一のとき

索引

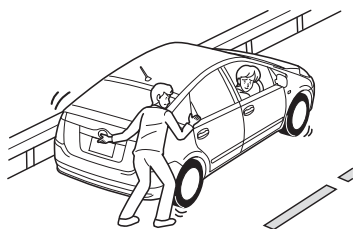
## 動けなくなったときは

### ● 踏切で動けなくなったときは



シフトポジションを**N**にして、付近の人に安全な場所まで押してもらってください。脱輪などで動けなくなったときは、ただちに踏切の非常ボタンを押してください。緊急を要するときは、発炎筒を使用してください。

### ● 道路で動けなくなったときは



シフトポジションを**N**にして、付近の人に安全な場所まで押してもらってください。

- 困ったときは、プリウス取り扱いトヨタ販売店へご連絡ください。「メンテナンスノート」のサービス網／お客様相談テレホン網をお読みください。

# パンクしたときは

## タイヤの交換

タイヤの交換については、P.70の「タイヤについての注意」を併せてお読みください。

### ● タイヤ交換する前に

1

平らな場所に移動します。

交通のじゃまにならず、安全に作業できる地面が平らで固い場所に移動します。

2

パーキングブレーキをしっかりかけます。(P.204参照)

3

ハイブリッドシステムを停止します。

車を完全に停止させ、ブレーキを踏みながらシフトポジションをPにし、ハイブリッドシステムを停止します。

4

車の存在を知らせます。

必要に応じて非常点滅灯を点滅させ(P.246参照)、人や荷物を降ろし、停止表示板(または停止表示灯)を使用します。

5

ジャッキ・工具を用意します。(P.356参照)

ジャッキ・ジャッキハンドル・ホイールナットレンチを用意します。  
ジャッキは、固定バンドのフックをはずして取り出します。(P.358参照)

6

輪止めを用意します。

ジャッキアップする場合には輪止めが必要です。  
輪止めについては、トヨタ販売店で購入できますのでトヨタ販売店にご相談ください。  
なお、輪止めはタイヤを固定できる大きさの石などで代用できます。

7

スペアタイヤを用意します。(P.359参照)

目次



基本  
操作

運  
転  
装  
置  
の  
取  
り  
扱  
い

室  
内  
装  
備  
の  
取  
り  
扱  
い

安  
全  
・  
快  
適  
装  
備  
の  
解  
説  
と  
注  
意

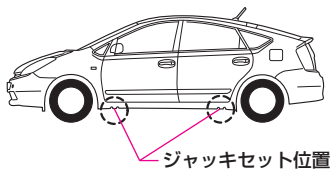
車  
と  
の  
上  
手  
な  
付  
き  
合  
い  
方

メ  
ン  
テ  
ナ  
ン  
ス

万  
一  
の  
と  
き

索  
引

## ● タイヤ交換のしかた

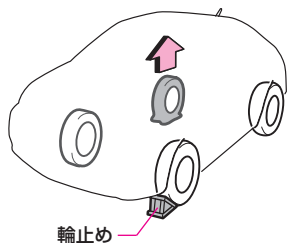


### 1 ジャッキを置きます。

取りかえるタイヤに近いジャッキセット位置の下に置きます。地面が平らで固く、ジャッキが安定することを確認します。

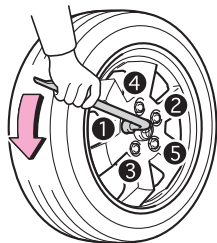
### 2 輪止めをします。

ジャッキアップする位置と対角の位置にあるタイヤに輪止めをします。前輪を持ち上げるときは後輪のうしろ側に、後輪を持ち上げるときは前輪の前側に輪止めをします。  
(図は運転席側後輪を持ち上げる場合を示しています)

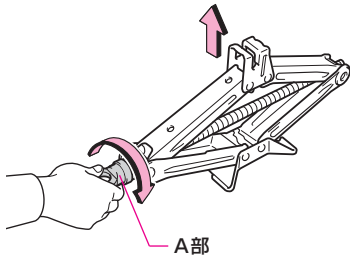


### 3 ナットをゆるめます。

ホイールナットレンチを使用して、図の順序でナットを左にまわし、手で少しまわるくらいまでゆるめます。

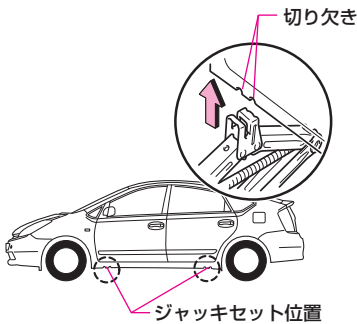






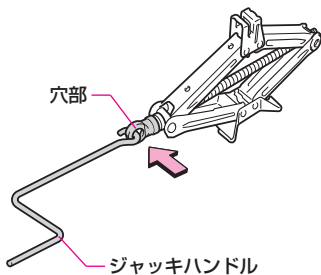
## 4 ジャッキを上げます。

ジャッキのA部を手で右にまわして車体のジャッキセット位置まで上げます。



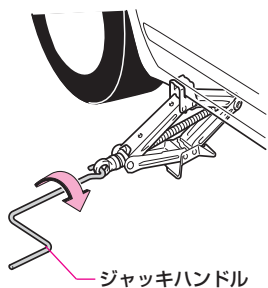
## 5 ジャッキセット位置（切り欠きのあいだ）にジャッキをかけます。

ジャッキが確実に車体のジャッキセット位置にかかっていることを確認します。



## 6 ジャッキハンドルを取り付けます。

ジャッキハンドルをジャッキの穴部に確実に押し込みます。



## 7 ジャッキアップします。

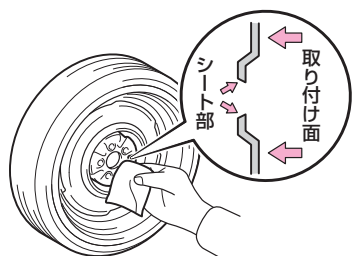
ジャッキハンドルを右にまわして、タイヤが地面から少し離れるまでジャッキアップします。

## 8 ナットを取りはずします。

手でナットを左にまわして取りはずします。

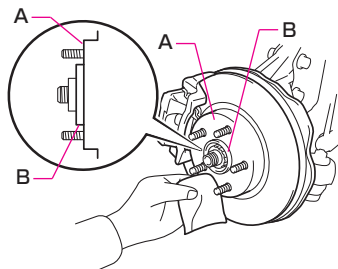
## 9 タイヤを取りはずします。

アルミホイールを直接地面に置くときは、傷が付かないように意匠面を上にして置いてください。



## 10 交換するタイヤを取り付けます。

●タイヤを取り付けるときは、ディスクホイールのシート部やホイール裏側の取り付け面の汚れを拭き取ってから取り付けてください。



●図のA・B面の汚れを拭き取ります。

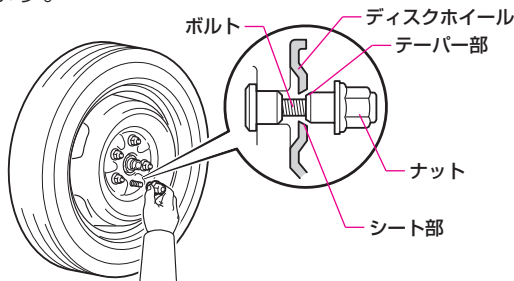
## 11 ナットを仮締めします。

タイヤががたつかない程度まで、手でナットを右にまわして仮締めします。

ディスクホイール取り付けボルト・ナットのねじ部や、ナットのテーパ部（アルミホイールの場合、座金の裏側）の汚れ、異物を取り除いてください。

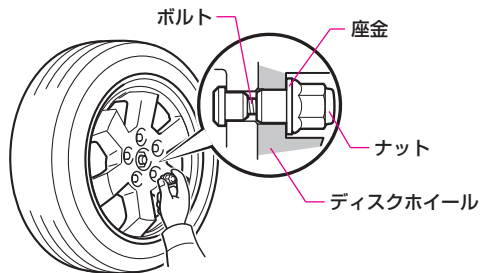
### ●応急用タイヤに交換するとき

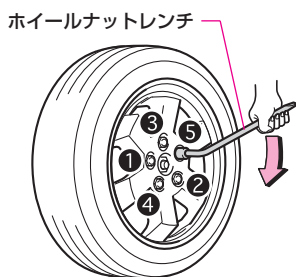
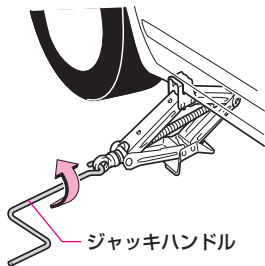
ナットのテーパ部がディスクホイール穴のシート部に軽くあたるまで仮締めします。



### ●アルミホイールに交換するとき

ナットの座金がディスクホイールにあたるまで仮締めします。





## 12 車体を降ろします。

ジャッキハンドルを左にまわして車体を降ろします。

## 13 ナットを締め付けます。

ホイールナットレンチを使用して左図の順序でナットを右にまわし、2~3度にわたり十分締め付けます。

締め付けトルク：約105N・m  
{1050kgf・cm}

## 14 センターオーナメントを取り付けます。

はずしたタイヤからセンターオーナメントを取りはずして、交換したタイヤに取り付けます。

●応急用タイヤにセンターオーナメントを取り付けることはできません。

## 15 工具・ジャッキ・タイヤを片付けます。

## 16 タイヤの空気圧を点検してください。 (P.351参照)

**警告****パンクしたまま走行しないでください。**

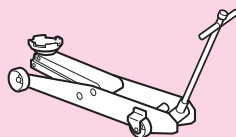
- パンクしたまま走行しないでください。パンクしたまま走行し続けると、走行不安定となり、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。また、タイヤやディスクホイール、サスペンション、車体に損傷を与えるおそれがあります。ただちにスペアタイヤに交換してください。
- ジャッキアップした車の下には絶対にもぐらないでください。万一、ジャッキがはずれると、体が車の下敷きになり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- ジャッキアップしているときは、ハイブリッドシステムを始動しないでください。ハイブリッドシステムの振動でジャッキがはずれたり、車が動き出すなど、思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- 必ず以下のことをお守りください。
  - お守りいただかないと、車体を損傷させたり、ジャッキがはずれ、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
    - ・ジャッキアップするときは、平らな場所に車を止め、対角の位置にあるタイヤに必ず輪止めをしてください。なお、輪止めの代わりに石などで代用する場合、タイヤを確実に固定できることを確認してください。
    - ・人を乗せたままジャッキアップしないでください。
    - ・ジャッキアップするときは、ジャッキの上や下にものを挟まないでください。
    - ・ジャッキが確実に車体のジャッキセット位置にかかっていることを確認してください。
    - ・車体はタイヤ交換に必要な高さだけ持ち上げてください。
- ジャッキアップした車体を降ろすときは、作業者自身やまわりの人が手や足などを挟み、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがありますので、周囲を確認し、十分注意しながら作業してください。
- ディスクホイール取り付けナットが確実に締まっていることを確認してください。確実に締まっていないと、ディスクホイール取り付けボルトやブレーキ部品を破損したり、ディスクホイールがはずれるなど、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。タイヤ交換後は、トヨタ販売店でできるだけ早くトルクレンチで基準値にナットを締めてください。
 

締め付けトルク：約105N・m {1050kgf・cm}
- ナットを取り付けるときは、必ずテーパー部を内側にして取り付けてください。(P.73参照)
- タイヤを取り付けるナットやボルトにオイルやグリースを塗らないでください。ナットを締めるときに必要以上に締め付けられ、ボルトが破損したりディスクホイールが損傷するおそれがあります。また、ナットがゆるんで走行中にタイヤがはずれるなど、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- ディスクホイール取り付けボルト、ナットのねじ部や、ディスクホイールのボルト穴につぶれや亀裂などの異常がある場合は、トヨタ販売店などで点検を受けてください。つぶれや亀裂などの異常があると、ナットを締め付けても十分に締まらず、ディスクホイールがはずれるなど、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

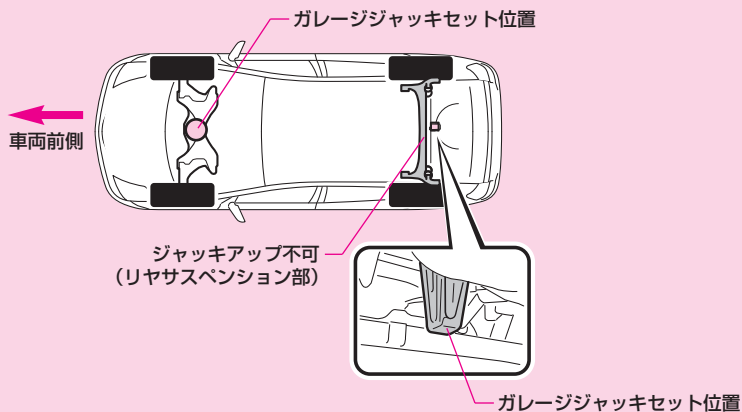


## ディスクホイールを取り付けるときは、シート部や裏側の取り付け面が汚れていないか確認してください。

- ディスクホイールを取り付けるときは、シート部や裏側の取り付け面が汚れていないか確認してください。ディスクホイールのシート部や、ホイール裏側の取り付け面がほこりなどで汚れていると、走行中にホイール取り付けナットがゆるみ、タイヤがはずれ、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- タイヤの取り付けには、ご使用のディスクホイール専用のホイール取り付けナットを使用してください。
- 新品と交換するときは、4輪とも指定サイズで、同一サイズ・同一メーカー・同一銘柄および同一レッドパターン（溝模様）のタイヤを装着してください。
- 車に搭載されているジャッキ以外のジャッキを使用してジャッキアップする場合は、特別な工具が必要になったり、取り扱いに特別な注意が必要になるため、誤って使用すると車両を損傷したり、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。また、リヤサスペンション部などでジャッキアップすると、車両を損傷することがあります。車に搭載されているジャッキ以外のジャッキを使用する必要がある場合は、トヨタ販売店にご相談ください。また、ガレージジャッキを使用するときは、必ず下図のガレージジャッキセット位置にあててください。



ガレージジャッキ



ガレージジャッキは、受け皿の形状がガレージジャッキセット位置に適したサイズの受け皿タイプを使用してください。

**注意**

ホイールナットレンチはホイールナットに十分深くかけてください。

- ホイールナットレンチはホイールナットに十分深くかけてください。ホイールナットレンチのかけ方が浅いと、締め付けるときにホイールナットレンチがはずれてけがをするおそれがあります。
- ディスクホイール取り付けナットは、トヨタ純正アルミホイール専用品以外を使用しないでください。走行中にナットがゆるみ、タイヤがはずれるおそれがあります。
- ホイールナットレンチを足で踏んでまわしたり、パイプなどを使用して必要以上に締め付けしないでください。タイヤを取り付けるボルトが折れるおそれがあります。
- 傷・変形があるナット、ディスクホイールなどは使用しないでください。
- タイヤ交換後、走行中にハンドルや車体に振動が出た場合は、トヨタ販売店でタイヤのバランスの点検を受けてください。

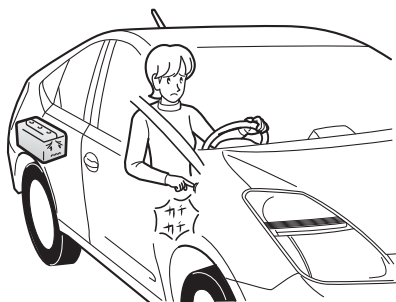
**知識****はずした標準タイヤの収納について**

スペアタイヤの収納場所に、はずした標準タイヤを収納することはできません。はずした標準タイヤは、ラゲージルームに置いてください。

# 補機バッテリーがあがったときは

補機バッテリーあがりとは

HYBRID



次のような状態が補機バッテリーあがりです。

- “パワー” スイッチをONモードにしても、メーターが表示されない。
- ハイブリッドシステムが始動できない。
- ヘッドランプがいつもより暗い。
- ホーン（警音器）の音が小さい、または鳴らない。

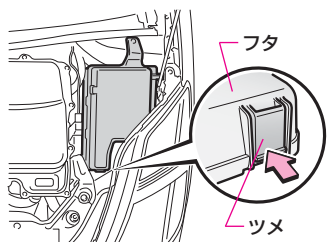
また、補機バッテリーがあがったときは、シフトポジションがPから切りかわらないことがあります。

## 処置のしかた

押しがけによる始動はできません。

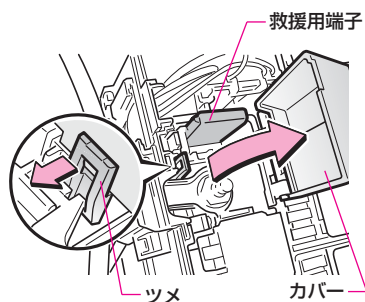
救援車を依頼しブースターケーブルを接続して、ハイブリッドシステムを始動してください。

- 補機バッテリーがあがった場合には、エンジンルーム内の救援用端子を使用して応急的に補機バッテリーを充電するので、直接補機バッテリーの端子に接続する必要はありません。
- 救援車のバッテリーは12Vを使用してください。



**1** エンジンルーム内ヒューズボックスのカバーをはずします。

ツメを押しながらフタを持ち上げてはずします。



**2** ヒューズボックス内の救援用端子カバーを開けます。

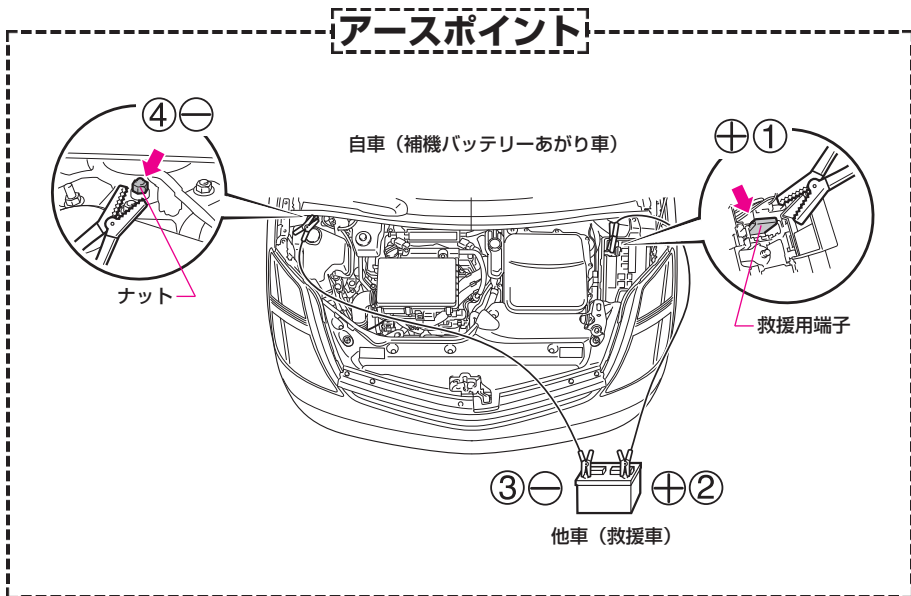
ツメを軽く引きながら、カバーを開けます。



### 3 ブースターケーブルをつなぎます。

ブースターケーブルを次の順につなぎます。

- ①自車の救援用端子
- ②救援車のバッテリーの $\oplus$ 端子
- ③救援車のバッテリーの $\ominus$ 端子
- ④下図で指示している箇所（アースをとる）



### 4 補機バッテリーを充電します。

救援車のエンジンをかけ、エンジン回転数を少し高めにし、約5分間その回転を保持し、応急的に自車（補機バッテリーあがり車）の補機バッテリーを充電します。

---

## 5 自車のハイブリッドシステムを始動します。

ブレーキペダルを踏んで、“パワー”スイッチを押します。

- READY（走行可能表示灯）が点灯したことを確認してください。
- READY（走行可能表示灯）が点灯せず、ディスプレイに駆動用電池警告アイコン（P.230参照）が表示されている場合は、駆動用電池もあがっているため、駆動用電池の充電が必要です。  
この場合は、プリウス取り扱いトヨタ販売店へご連絡ください。

## 6 ブースターケーブルをはずします。

ブースターケーブルをつないだときと逆の順にはずします。

## 7 救援用端子カバーを閉じ、ヒューズボックスのフタを取り付けます。

## 8 プリウス取り扱いトヨタ販売店で点検を受けてください。

## 補機バッテリーあがりを防ぐために

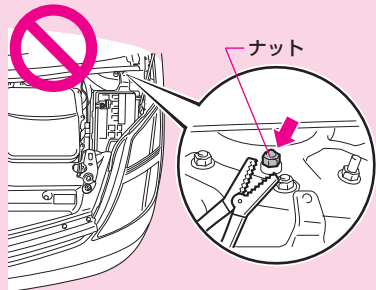
- ハイブリッドシステムを停止したままランプをつけたり、ラジオ・CDなどを聞かないようにしてください。
- READY（走行可能表示灯）が点灯している状態でも、渋滞などで長時間止まっている場合は、 unnecessary 電装品の電源を切ってください。



**警告**

**急速充電器は使用しないでください。**

- 急速充電器は使用しないでください。補機バッテリーが爆発するおそれがあり危険です。
- 必ず以下のことをお守りください。
  - お守りいただかないと、補機バッテリーから発生する可燃性ガスに引火・爆発し、やけどなど重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
    - ・ ブースターケーブルの接続は、自車補機バッテリーの端子につなぐ、エンジンルーム内の救援用端子を使用してください。
    - 補機バッテリーに直接つなぐと、火花が発生します。
    - ・ ④の接続（P.375参照）は助手席側のナット（右図の矢印で示している箇所）には接続しないでください。万一、ブースターケーブルの接続がはずれたときに、救援用端子に接触し、火花が発生します。
    - ・ ブースターケーブルを接続するとき、⊕と⊖端子を絶対に接触させないでください。接触させると火花が発生します。
    - ・ 火気を補機バッテリーに近づけないでください。
- 充電中は補機バッテリーに近づかないでください。希硫酸の含まれるバッテリー液が吹き出す場合があり、目や皮膚に付着すると重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。万一、付着したときは、すぐに多量の水で洗浄し、医師の診察を受けてください。
- ブースターケーブルを接続したり、取りはずすときは、ファンやベルトなどにふれたり、近付いたりしないでください。手や衣服などが巻き込まれたりして、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- 応急時以外は、救援用端子を使用して補機バッテリーの充電をしないでください。



ナット

ナット

ナット

ナット

ナット

ナット

ナット

ナット

ナット

ナット

ナット

ナット

ナット

ナット

ナット

ナット

ナット

**注意****救援車のバッテリーは12Vを使用してください。**

- 他車（救援車）のバッテリーは12Vでなければなりません。12V用バッテリーが確認してから行ってください。
- 補機バッテリーがあがりやすい場合は、プリウス取り扱いトヨタ販売店で点検を受けてください。
- この車の救援用端子は、他車から応急的に補機バッテリーを充電するためのものです。この救援用端子を使用して他車のバッテリーあがりを救援することはできません。

**知識**

### 補機バッテリーについて

- 補機バッテリーは、プリウス専用部品です。交換する場合は、プリウス専用補機バッテリーを使用してください。詳しくはプリウス取り扱いトヨタ販売店にご相談ください。
- 補機バッテリーの搭載位置は、P.140を参照してください。

### 補機バッテリーを脱着するときは

システムが“パワー”スイッチの状態（アクセサリーモードまたはONモード）を記憶しているため、補機バッテリーを再接続したときは、補機バッテリー電源が断たれる前の状態に復帰します。

修理などで補機バッテリーターミナルをはずす際は、必ず、パーキングブレーキをかけ、シフトポジションをPにして、“パワー”スイッチをOFFにし、キースロットからキーを抜いてから行ってください。

- “パワー”スイッチがアクセサリーモードまたはONモードの状態では補機バッテリーの脱着を行なうと、キーのIDコードの照合が正しく行われない場合があります。
- 補機バッテリーを再接続したときなどに、“パワー”スイッチを一度押すだけではハイブリッドシステムが始動しないことがあります。その場合は再度スイッチを押してください。
- 補機バッテリーを再接続したときは、“パワー”スイッチをONモードにして、シフトポジションがNに切りかわることを確認してください。
- 補機バッテリーを脱着すると、初期設定操作を行うまで正常に作動しない機能があります。詳しくは、P.353の「初期設定が必要な機能」を参照してください。

### 補機バッテリーがあがったときは

シフトポジションがDで、補機バッテリーがあがった場合は、パーキングロックにより前輪が固定されているため、前輪を持ち上げないと、車両移動ができません。

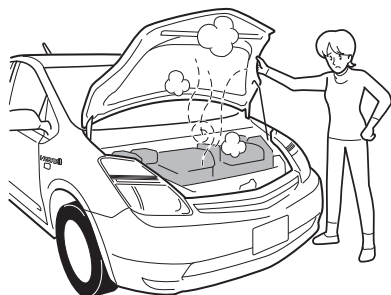
### 初期設定について

バッテリーあがりの処置や、ヒューズ交換などの作業を行った場合、作業後に初期設定操作が必要な機能があります。詳しくは、P.353の「初期設定が必要な機能」を参照してください。

# オーバーヒートしたときは

## オーバーヒートとは

HYBRID



次のような状態がオーバーヒートです。

- ディスプレイに水温警告アイコンが表示される。(P.230参照)
- ボンネットから、蒸気が立ちのぼる。

## 処置のしかた

### 1 車を止めます。

車を安全な場所に止め、エアコンを使用している場合はOFFにします。

### 2 ボンネットの確認をします。

ボンネットから蒸気が出ているか確認します。

#### ■ボンネットから蒸気が出ていない場合

ボンネットを開けて、そのままREADY（走行可能表示灯）が点灯した状態にしておきます。

#### ■ボンネットから蒸気が出ている場合

ハイブリッドシステムを停止します。蒸気が出なくなったら、風通しをよくするためにボンネットを開け、ハイブリッドシステムを始動します。

目次

警告

基本操作

運転装置の  
取り扱い

室内装備の  
取り扱い

安全・快適装備  
の解説と注意

車との上手な  
付き合い方

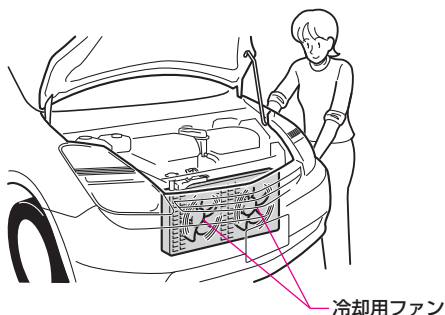
メンテナンス

万一のとき

索引

### 3 冷却用ファンを確認します。

ラジエーター冷却用ファンが作動していることを確認してください。ファンが作動していないときは、ただちにハイブリッドシステムを停止し、プリウス取り扱いトヨタ販売店に連絡してください。



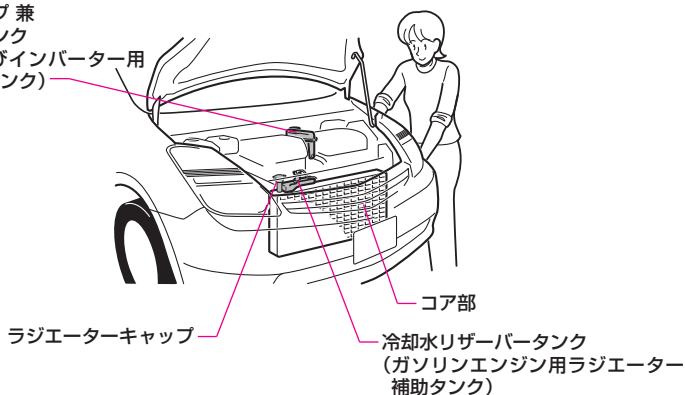
### 4 ハイブリッドシステムを停止します。

水温警告アイコンが消灯したら、ハイブリッドシステムを停止します。

### 5 冷却水量を確認します。

ハイブリッドシステムが十分に冷えてから、ガソリンエンジン用と電気モーターおよびインバーター用のラジエーターとリザーバタンク冷却水量の確認、およびラジエーターコア部（放熱部）が著しく汚れていないか、ごみなどが付着していないかなどを確認します。

ラジエーターキャップ 兼  
冷却水リザーバタンク  
(電気モーターおよびインバーター用  
ラジエーター補助タンク)



## 6 冷却水を補給します。

冷却水量が不足していたらラジエーターとリザーバータンクに冷却水を補給します。

- 冷却水がない場合は、応急的に水を補給します。

## 7 プリウス取り扱いトヨタ販売店で点検を受けます。

早めに最寄りのプリウス取り扱いトヨタ販売店で点検を受けてください。

- 移動途中で再びディスプレイに水温警告アイコンが表示されたときは、空調の温度調整を最大暖房にし、ファンを最大風量にすることで、ヒーター配管内の冷却水により水温の上昇を抑えることができます。

## ● オーバーヒートを防ぐために

冷却水の量、地面に水もれがないか日頃から点検をしてください。  
点検方法は「メンテナンスノート」をお読みください。



**警告**

やけどなどしないように十分気を付けてください。

- ボンネットから蒸気が出ているときは、蒸気が出なくなるまでボンネットを開けないでください。エンジンルーム内が高温になっているため、やけどなど重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。  
また、蒸気が出ていない場合でも高温になっている部分があります。ボンネットを開けるときは十分注意してください。
- ラジエーターや補助タンクが熱いときは、ラジエーターキャップを開けないでください。蒸気や熱湯が吹き出してやけどなど重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。キャップを開けるときは、ラジエーターや補助タンクが十分に冷えてから、布きれなどでキャップを包みゆっくりと開けてください。
- READY（走行可能表示灯）が点灯しているときは、ファンやベルトなどにふれたり、近付いたりしないでください。手や衣服などが巻き込まれたりして、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。



**注意**

冷却水はハイブリッドシステムが熱いときに入れしないでください。急に冷たい冷却水を入れると、ハイブリッドシステムが損傷するおそれがあります。冷却水はハイブリッドシステムが十分に冷えてからゆっくりと入れてください。

# けん引について

## けん引のしかた

HYBRID

- けん引される場合は、プリウス取り扱いトヨタ販売店またはJAFなどに依頼してください。  
特に次の場合は、けん引される前にまずプリウス取り扱いトヨタ販売店へご連絡ください。
  - ・READY（走行可能表示灯）が点灯しているのに車が動かない
  - ・異常な音がする
  - ・Pポジション制御に異常があるとき（P.196参照）
  - ・補機バッテリーがあがったとき
- この車で他車をけん引することはできません。
- けん引フックは、危険回避のためやむを得ず、けん引されることを目的としており、他車をけん引するものではありません。

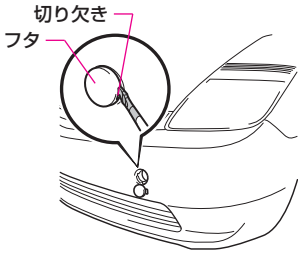
## やむを得ず他車にロープでけん引（または運搬） してもらうときは

自走できず、危険回避のため、やむを得ず他車にロープでけん引してもらうときは、けん引速度を約30km/h以下、けん引距離をレッカー車までの移動など、できるだけ短い距離にとどめてください。

- 次の場合はパーキングロックにより、前輪が固定されている可能性があるため、他車にロープでけん引してもらうことはできません。前輪を持ち上げるか、4輪とも持ち上げて運搬してください。
  - ・Pポジション制御に異常があるとき
  - ・補機バッテリーがあがったとき
- 車両前部の衝突時は、エンジンルーム内部で配線類が破損している可能性があります。けん引時は必ず前輪を持ち上げるか、4輪とも持ち上げて運搬してください。前輪が接地した状態でけん引すると、電気モーターから電気が発電され、破損の状態によっては漏電による火災のおそれがあり危険です。



## 1 けん引フック、ホイールナットレンチを用意します。(P.356参照)

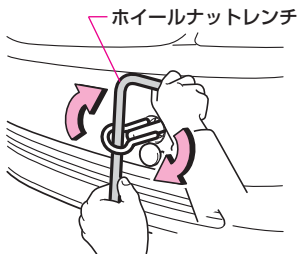
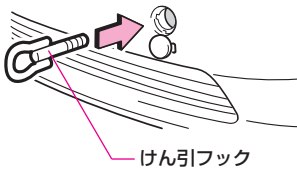


## 2 けん引フック取り付け部のフタを取りはずします。

薄刃のマイナスドライバーをフタとバンパーのすき間に挿し込んで、フタをはずします。

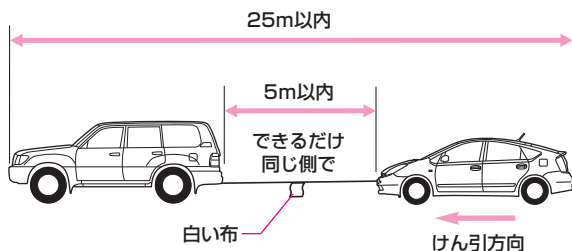
●バンパー傷付き防止のため、ドライバーの先端に薄手のテープなどを巻いて保護してください。

## 3 けん引フックをホイールナットレンチを用いて確実に取り付けます。



## 4 けん引フックにロープをかけます。

ボディに傷を付けないようにしてロープをけん引フックにかけます。必ずけん引フックにロープをかけ前進方向でけん引してください。けん引ロープには、0.3メートル平方（0.3m×0.3m）以上の白い布をロープ中央に必ず付けてください。



## 5 “パワー” スイッチをONモードにします。(P.174参照)

スイッチの作動表示灯が橙色に点灯していることを確認してください。

## 6 発進します。

シフトポジションをNにして、パーキングブレーキを解除します。

## 7 前の車に注意します。

けん引ロープをたるませないようにし、前の車の制動灯に注意してください。

- 万一、ロープでけん引してもらった途中で車両に異常を感じた場合は、ただちにけん引を中止し、プリウス取り扱いトヨタ販売店へご連絡ください。

### けん引が終わったら

けん引フックをはずし、バンパーのフタを確実に取り付けてください。

- けん引フック・ホイールナットレンチは、指定の場所に格納します。(P.356参照)

**警告****けん引される車は慎重に運転してください。**

- けん引される車は慎重に運転してください。READY（走行可能表示灯）が点灯した状態になっていないと、ブレーキの効きが悪くなったり、ハンドルが重くなるため、通常と同じ感覚で運転すると、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- けん引する車は急発進などけん引フックやロープに大きな衝撃が加わるような運転をしないでください。けん引フックやロープが破損するおそれがあります。また、万一の場合、その破片が周囲の人などにあたり、重大な傷害を与えるおそれがあり危険です。

**注意****けん引速度は約30km/h以下、けん引距離はレッカー車までの移動など、できるだけ短い距離にとどめてください。**

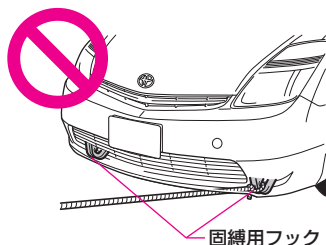
- けん引速度は約30km/h以下、けん引距離はレッカー車までの移動など、できるだけ短い距離にとどめて、前進方向でけん引してください。この速度をこえたり、距離の長いけん引、または後退方向でのけん引をすると、ハイブリッドシステムに悪影響をおよぼし、損傷するおそれがあるので、これらの場合は、車両積載車などにより4輪とも持ち上げて運搬してください。
- 長坂路を下るときは、車両積載車で運搬してください。車両積載車で運搬しないと、ブレーキが過熱し効きが悪くなるおそれがあります。
- スタック\*脱出のために、他車にけん引してもらうときは、サスペンションアームなどにロープをかけないでください。サスペンションアームなどを損傷するおそれがあります。
- ワイヤーロープは使用しないでください。バンパーに傷が付くおそれがあります。
- スタックしたときは、無理にけん引せず、プリウス取り扱いトヨタ販売店やJ A Fなどに依頼してください。また、危険回避のためやむを得ず緊急的に車両を移動させなくてはならないときは、フロントのけん引フック、または運転席側車両後方にある緊急用フックを利用して他車に引っ張り出してもらいます。

\*ぬかるみ・砂地・深雪路などで駆動輪が空転したり、埋まり込んで動けなくなった状態。

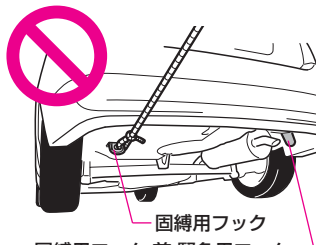


注意

固縛用フックは船舶固縛で車両を輸送するときに固定するためのものです。けん引には絶対使用しないでください。けん引に使用すると車両を損傷したり、思わぬ事故につながるおそれがあります。  
この車で他車をけん引することはできません。



固縛用フック



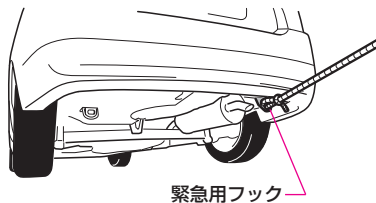
固縛用フック  
固縛用フック 兼 緊急用フック



知識

### 緊急用フックについて

運転席側車両後方にある緊急用フックは、雪の吹きだまりなどでスタックして、走行できなくなったときなどに、緊急的に他車に引っ張り出してもらおうときに使用するためのものです。  
この車で他車をけん引することはできません。



緊急用フック

# 事故が起きたときは

あわてずに次の処置を行ってください

HYBRID

目次

警告

基本操作

運転装置の  
取り扱い

室内装備の  
取り扱い

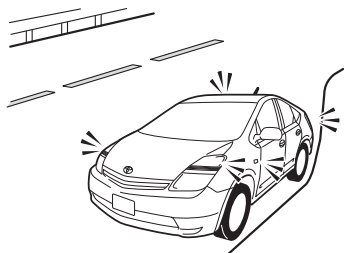
安全・快適装備  
の解説と注意

車との上手な  
付き合い方

メンテナンス

万一のとき

索引



## 1 続発事故を防止します。

他の交通のさまたげにならないような安全な場所に車を移動し、ハイブリッドシステムを停止します。

高電圧が各ユニットにかからないようにするため、車両の状態を次のようにしてください。

- ブレーキペダルを踏みながら、パーキングブレーキをかける。
- シフトポジションをPにする。
- “パワー”スイッチをOFFにする。



## 2 負傷者がいる場合は、応急手当を行います。

医師・救急車などが到着するまでのあいだ、可能な応急手当を行います。

この場合、特に頭部に傷などがあるときは、そのままの姿勢で動かさないようにしますが、後続事故の心配があるときは安全な場所に移動させます。



## 3 警察への届け出をします。

## 4 相手方の確認とメモ（氏名・住所・電話番号）を取ります。

## 5 ご購入された販売店と保険会社へ連絡します。

# 車両を緊急停止するには

## 緊急停止のしかた

万一、車が止まらなくなったときの非常時のみ、次の手順で車両を停止させてください。

**1** ブレーキペダルを両足でしっかりと踏み続けます。

ブレーキペダルを繰り返し踏まないでください。通常より強い力が必要となり、制動距離も長くなります。

**2** シフトポジションをNにします。

■シフトポジションがNになった場合

**3** 減速後、車を安全な道路脇に停めます。

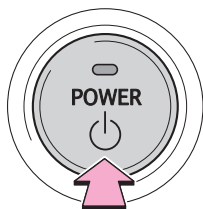
**4** ハイブリッドシステムを停止します。

■シフトレバーがNにならない場合

**3** ブレーキペダルを両足で踏み続け、可能な限り減速させます。

**4** パワースイッチを3秒以上押し続けてハイブリッドシステムを停止します。

**5** 車を安全な道路脇に停めます。



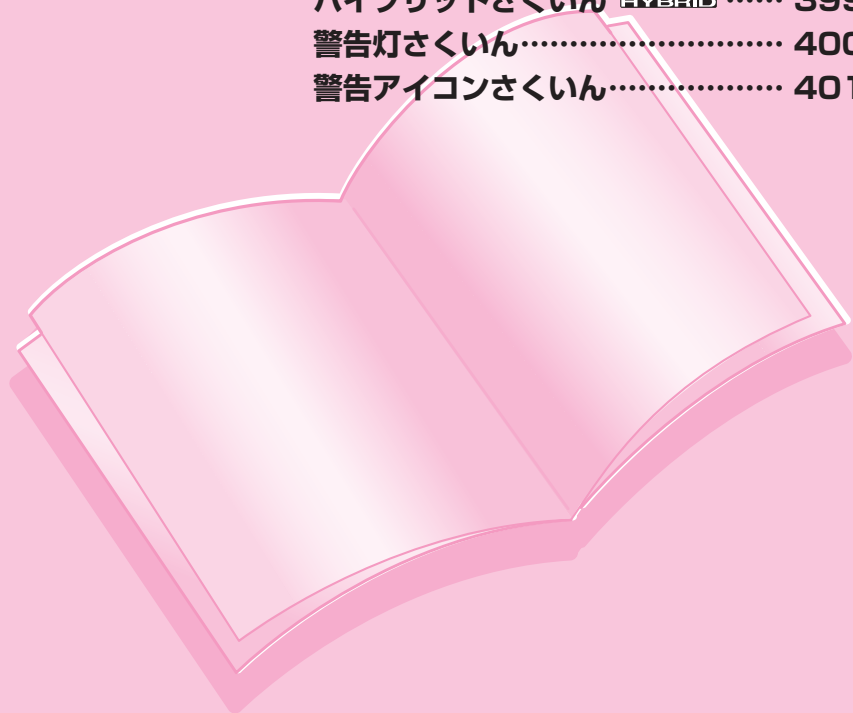
3秒以上押す



走行中にやむを得ずハイブリッドシステムを停止するときは、十分に減速するようにしてください。ハイブリッドシステムが停止すると、ブレーキの効きが悪くなりハンドルが重くなるため、車のコントロールがしにくくなるなど、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

# さくいん

五十音さくいん.....	390
ハイブリッドさくいん <small>HYBRID</small> .....	399
警告灯さくいん.....	400
警告アイコンさくいん.....	401



# さくいん

## 五十音さくいん

症状から調べたいときや、万一のときの処置については、色付き文字の項目をご覧ください。

### あ

アクセサリソケット	262
アジャスタブル	
シオルダーベルトアンカー	157
アッパーグローブボックス	253
アッパーグローブボックストレイ	253
雨の日の運転	300
アンチロックブレーキシステム	
(ABS)	290
アンテナ	
別冊「エレクトロマルチビジョン	
取扱書」または	
「HDDナビゲーション	
システム取扱書」参照	

### い

ELR機構付シートベルトの働き	288
EBDの働き	293
EVドライブモードへの切りかえ方	181
EVドライブモード表示灯	213
イグニッションスイッチ	174
ISOFIX対応チャイルドシート	
アンカー取り付け位置	159
固定専用バー & トップテザーアンカー	
での固定	158
バー取り付け位置	158
イラスト目次	8~11
イルミネーテッドエントリー	
システム	264
インナーミラーの調整	167

### う

ウインドウウォッシャー	
ウォッシャー液の噴射のしかた	243
ウォッシャー液の補給	338
ウォッシャータンクの位置	333
ウォッシャータンク容量	350
冬の前の準備、点検	301
ウインドウデフォッガー（曇り取り）の	
使い方	245
ウインドウロックスイッチの使い方	134
ウォーニングランプ（警告灯）	216
ウォッシャー液噴射のしかた	243
<b>動けなくなったときは</b>	<b>364</b>
運転する前に（寒冷時の取り扱い）	303
運転席SRSエアバッグ	274
運転席シートベルト非着用警告灯	224
運転席に座っての点検（日常点検）	342
運転のしかた	
走行のしかた	200
駐車	203
停車	202
発進	198

### え

ABS & ブレーキアシスト	
EBDの働き	293
ABS & ブレーキアシストが	
作動しているとき	292
ABS & ブレーキアシストとは	290
ABS & ブレーキアシスト警告灯	218
ABS & ブレーキアシストに	
ついての注意	62
エアコン	
別冊「エレクトロマルチビジョン	
取扱書」または	
「HDDナビゲーション	
システム取扱書」参照	



SRSエアバッグ	
SRSエアバッグが作動するとき	277
SRSエアバッグ作動のしくみ	276
SRSエアバッグとは	274
SRSエアバッグ警告灯	219
SRSエアバッグについての注意	55
SRSカーテンシールドエアバッグ	275
SRSサイドエアバッグ	275
SAE粘度(エンジンオイル)	350
エネルギーモニター画面	
別冊「エレクトロマルチビジョン 取扱書」または 「HDDナビゲーション システム取扱書」参照	

エマージェンシーレバー (バックドア)	130
LLC(冷却水)	
タンク容量、濃度	348
冬の前の準備、点検	301
エレクトロシフトマチックに についての注意	64
エンジンオイル	
オイル量	349
注入口	333
冬の前の準備、点検	301
レベルゲージ位置	333
エンジン警告灯	220
エンジンスイッチ	174
エンジンルームから煙(水蒸気)が 出ている	379
エンジンルーム内ヒューズボックス	322
エンジンルームの点検(日常点検)	333

## お

オーディオ	
別冊「エレクトロマルチビジョン 取扱書」または 「HDDナビゲーション システム取扱書」参照	
オートOFF機能	175
オートエアコン表示灯	214
オーバーヒートしたときは	379
オーバーヒートについての注意	80
オーバーヘッドコンソール	258

オープナー	
フューエルリッドオープナー	136
ボンネットオープナー	139
オイル類(メンテナンスデータ)	348
応急用タイヤについて	360
お子さまを乗せるときの注意	37
お出かけ前の注意	15
オドメーター(積算距離計)	208
オドメーター/トリップメーター 切りかえボタン	208

## か

回生ブレーキ	269
外装の手入れ	315
外装の電球(バルブ)交換	327
ガソリン(燃料)	
使用ガソリン、タンク容量	351
カップホルダー	256
ガレージジャッキセット位置	79、372
間欠時間調整(ワイパースイッチ)	241
環境に配慮した経済的な運転を するために	310
環境保護のために	311
寒冷時の取り扱い	301
寒冷地用ワイパーブレード	302

## き

キー	
キーナンバープレート	118
キーについて	118
電池交換	319
キーOFF後作動機能	132
キースロット	172
キー抜き忘れ防止チャイム	125
キーの出し入れ	172
キーの電池交換	319
キーレスエントリー (ワイヤレスドアロック)	116
キーキーと金属音がタイヤから聞こえる 〈ブレーキパッドウェア インジケーター〉	31
基準値(メンテナンスデータ)	346
吸入口(駆動用電池冷却用)	87
緊急停止のしかた	388

## く

空気圧 (タイヤ) ……………	351
区間距離計 (トリップメーター) ……………	208
駆動用電池 ……………	268
駆動用電池警告 ……………	230
曇り取りスイッチ (リヤウインドウ デフォグガー) の使い方 ……………	245
クラクション (ホーン) の使い方 ……………	247
クリーブ現象 ……………	64
車の手入れ ……………	314
車のまわりの点検 (日常点検) ……………	339
グローブボックス ……………	253

## け

計器類 (メーター) ……………	206
警告アイコン (ディスプレイ) ……………	226
警告画面 ……………	233
<b>警告灯が点灯または点滅した ままのときは ……………</b>	<b>108</b>
警告器 (ホーン) ……………	247
警告灯類 (メーター) ……………	216
警告画面表示 (ディスプレイ) ……………	196、233
経済的な運転 ……………	310
化粧ミラー (バニティミラー) ……………	250
<b>けん引について ……………</b>	<b>382</b>
けん引フック ……………	356、383
減光キャンセル機能 (メーター照度) ……………	209

## こ

工具の格納場所 ……………	356
後退灯 電球 (バルブ) 交換 ……………	331
ワット数 ……………	347
<b>故障したときは ……………</b>	<b>363</b>
子供専用シートについての注意 ……………	45
小物入れ ……………	257
ゴルフバッグの収納 ……………	130
コンソールボックス ……………	254
コンライト ……………	235
コンライトセンサー ……………	236

## さ

サイド方向指示灯 電球 (バルブ) 交換 ……………	330
ワット数 ……………	347
サービスデータ (メンテナンスデータ) ……………	346
サービスプラグ ……………	84、270
サンバイザー ……………	250

## し

シートアレンジ インデックス ……………	147
フロントフラットシートの つくり方 ……………	149
リヤシート前倒しのしかた ……………	151
シートについての注意 ……………	41
シート シートの調整 ……………	143
正しい運転姿勢 ……………	141
シートベルト アジャスタブルショルダーベルト アンカー ……………	157
E L R機構付シートベルトの働き ……………	288
正しい着用 ……………	153
チャイルドシート 固定機構の使い方 ……………	163
着用のしかた ……………	156
手入れ ……………	317
テンションリデューサー (ベルト圧迫感減少装置) 機構付 シートベルトの働き ……………	288
プリテンショナー & フォースリミッター付 シートベルトの働き ……………	288
シートベルトについての注意 ……………	49
シートベルト非着用警告灯 ……………	224、225
<b>事故が起きたときは ……………</b>	<b>387</b>
システムキー機能 キーの出し入れ ……………	172
パワースイッチの切りかえ方 ……………	174
ハイブリッドシステム 始動・停止のしかた ……………	176
室内装備品の使い方 ……………	250

室内灯	
操作方法	251
ワット数	347
始動できなくなったときは	364
シフトポジション警告	197
シフトポジション表示灯	213
シフトレバー	
各シフトポジションの働き	184
シフトポジションの切りかえ方	186
使い方	184
ジャッキ	
格納位置	356
ジャッキアップポイント (セット位置)	366、367
取り出し方	358
ジャッキアップについての注意	77
ジャッキハンドル	356
車幅灯	
操作方法 (ランプスイッチ)	235
電球 (バルブ) 交換	327
ワット数	347
車幅灯表示灯	212
車両型式	351
車両仕様	351
車両情報 (燃費・回収エネルギー、 エネルギーモニター)	
別冊「エレクトロマルチビジョン 取扱書」または 「HDDナビゲーション システム取扱書」参照	
車両を緊急停止するには	388
充電警告	231
初期設定一覧	353
助手席SRSエアバッグ	276
助手席シートベルト非着用警告灯	225

## す

水温警告	230
水温警告アイコンが表示された	379
スイッチの使い方	235
ステアリングスイッチ	
別冊「エレクトロマルチビジョン 取扱書」または 「HDDナビゲーション システム取扱書」参照	
スノータイヤ (冬用タイヤ)	302
スピードメーター	208
スペアタイヤ	359
スモールランプ (車幅灯)	
操作方法 (ランプスイッチ)	235
電球 (バルブ) 交換	327
ワット数	347
スリップ表示灯	214

## せ

制動灯	
電球 (バルブ) 交換	327
ワット数	347
積算距離計 (オドメーター)	208
セキュリティ表示灯	214
セキュリティ機能	121
洗車	315
前照灯 (ヘッドランプ)	
操作方法 (ランプスイッチ)	235
電球 (バルブ) 交換	327
ワット数	347

## そ

走行可能表示灯	213
走行しての点検 (日常点検)	344
走行するときは (寒冷時の取り扱い)	305
走行するときの注意	22
走行中、異常に気付いたら	29
走行できなくなったときは (けん引について)	382
走行のしかた	200
速度計 (スピードメーター)	208

## た

タイヤ	
空気圧	351
スペアタイヤ	359
タイヤサイズ	351
タイヤチェーン	306
タイヤの点検	318、339
タイヤローテーション (タイヤ位置交換)	318
冬用タイヤ	302
ホイールサイズ	351
タイヤについての注意	70
タイヤ・ホイール仕様	351
タイヤローテーション	318
タイヤを交換するとき	365
正しい運転姿勢(シート)	141
正しい着用(シートベルト)	153

## ち

チェーン(タイヤチェーン)	306
チケットホルダー	250
チャイルドシート固定機構の使い方	163
チャイルドシートの固定	
ISOFIX対応	
チャイルドシート固定専用バー & トップテザーアンカーでの固定	158
シートベルトでの固定	163
チャイルドプロテクターの使い方	123
駐車するときは(寒冷時の取り扱い)	308
駐車灯(非常点滅灯)	
操作方法(非常点滅灯スイッチ)	246
電球(バルブ)交換	329、330、331
ワット数	347
駐車のかた	203
駐車ブレーキ(パーキングブレーキ)	
操作方法	
(パーキングブレーキペダル)	204
点検基準値	346
駐停車するときの注意	32
チルトステアリングレバー	166

## て

ディスプレイ	
別冊「エレクトロマルチビジョン 取扱書」または 「HDDナビゲーション システム取扱書」参照	
停車のかた	202
手入れ	
日頃の手入れ	314
外装の手入れ	315
内装の手入れ	317
テールランプ(尾灯)	
操作方法(ランプスイッチ)	235
電球(バルブ)交換	331
ワット数	347
デッキアンダートレイ	259
デッキサイドボックス	258
デッキフック	255
電球(バルブ)	
交換方法	327
ワット数	347
点検	
エンジンルームの点検	333
車のまわりの点検	339
運転席に座っての点検	342
走行しての点検	344
日常点検について	332
点検基準値(メンテナンスデータ)	346
点検整備実施のお願い	14
点検・手入れ時の注意	68
電子制御ブレーキシステム(ECB)	295
電子制御ブレーキ警告灯(橙)	223
テンションリデューサー (ベルト圧迫感減少装置)機構付	
シートベルトの動き	288
電池交換(キー)	319

**と**

ドアの開閉 ..... 116  
 ドアカーテシランプ  
   装備について ..... 252  
   ワット数 ..... 347  
 ドアガラスの開閉 ..... 131  
 ドアミラーの調整 ..... 168  
 ドアロックスイッチ ..... 121  
 盗難防止システム ..... 296  
 搭載工具 ..... 356  
 トップテザーアンカー取り付け位置 ..... 159  
 トノカバー ..... 260  
 トヨタ ハイブリッド システムⅡ  
   トヨタ ハイブリッド システムⅡ  
     とは ..... 268  
   トヨタ ハイブリッド システムⅡの  
     構成 ..... 270  
   トヨタ ハイブリッド システムⅡの  
     作動状態 ..... 272  
 時計 ..... 263  
 トランスアクスルフルード  
   フルード量 ..... 348  
 トリップメーター（区間距離計）..... 208

**な**

内気循環表示灯 ..... 215  
 内装の手入れ ..... 317

**に**

日常点検  
   運転席に座っての点検 ..... 342  
   エンジンルームの点検 ..... 333  
   車のまわりの点検 ..... 339  
   走行しての点検 ..... 344  
   日常点検について ..... 332

**ね**

燃費・回収エネルギー画面  
   .....別冊「エレクトロマルチビジョン  
   取扱書」または  
   「HDDナビゲーション  
   システム取扱書」参照  
 燃料計 ..... 207  
 燃料残量表示 ..... 207  
 燃料の量と種類 ..... 351  
 燃料補給口  
   （フューエルリッド）の開閉 ..... 136  
 燃料補給時の注意 ..... 20

**は**

パーキングブレーキペダル  
   取り扱い ..... 204  
   点検基準値 ..... 346  
 排気ガスに対する注意 ..... 35  
 ハイビーム（ヘッドランプ）  
   操作方法（ランプスイッチ）..... 237  
   電球（バルブ）交換 ..... 327  
   ヘッドランプ上向き表示灯 ..... 212  
   ワット数 ..... 347  
 ハイブリッドシステム異常警告 ..... 229  
 ハイブリッドシステム始動・  
   停止のしかた ..... 176  
 ハイブリッドシステムについて  
   （警告） ..... 84  
 ハイブリッドシステムの緊急停止  
   について ..... 180  
 ハイマウントストップランプ  
   電球（バルブ）交換 ..... 327  
   ワット数 ..... 347

ハザードランプ (非常点滅灯)	
操作方法 (非常点滅灯スイッチ) ……	246
電球 (バルブ) 交換 ……	329、330、331
ワット数 ……	347
挟み込み防止機構 ……	132
発炎筒の使い方 ……	361
バックドアグリップ ……	126
バックドア	
エマージェンシーレバー ……	130
開閉 ……	126
初期設定 ……	129
バックアップランプ (後退灯)	
電球 (バルブ) 交換 ……	331
ワット数 ……	347
発進のしかた ……	198
バッテリー	
駆動用電池、補機バッテリー ……	270
補機バッテリーあがり防止機能 ……	125
補機バッテリーがあがったときは ……	374
バッテリーについての注意 ……	75
パッドウェアインジケーター (ブレーキ パッドウェアインジケーター) ……	31
パニティミラー (化粧ミラー) ……	250
パニティランプ ……	250
バルブ (電球)	
交換方法 ……	327
ワット数 ……	347
ヘッドランプの光軸上下調整 ……	238
パワーウィンドウが動かない ……	134
パワーウィンドウ	
初期設定 ……	133
使い方 ……	131
パワースイッチ ……	174
パワースイッチが橙色に点滅している ……	179
パワーステアリング警告 ……	232
番号灯	
操作方法 (ランプスイッチ) ……	235
電球 (バルブ) 交換 ……	327
ワット数 ……	347
半ドア警告灯 ……	224
ハンドルが重くなった ……	30
ハンドルの調整 ……	166
パンクしたときは ……	365

## ひ

①ポジション制御異常警告 ……	196
②ポジションスイッチ ……	186
日頃の手入れ ……	314
非常点滅灯	
操作方法 (非常点滅灯スイッチ) ……	246
電球 (バルブ) 交換 ……	329、330、331
ワット数 ……	347
尾灯	
操作方法 (ランプスイッチ) ……	235
電球 (バルブ) 交換 ……	331
ワット数 ……	347
ヒューズの点検、交換 ……	321
ヒューズボックス	
エンジンルーム内	
ヒューズボックス ……	322
室内ヒューズボックス ……	324
補機バッテリーヒューズボックス ……	326
表示灯類 (メーター) ……	206
ピーピー、ピーピーと短い音の繰り返し 〈キー抜き忘れ防止チャイム〉 ……	125
ピーピーピーと長い音の繰り返し 〈リバース (後退) ブザー〉 ……	190

## ふ

ブースターケーブル ……	374
Vリブドベルト	
点検基準値 ……	346
フォースリミッター付	
シートベルトの働き ……	288
フック (けん引) ……	356、383
フューエルキャップの開閉 ……	136
フューエルメーター (燃料計) ……	207
フューエルリッド (燃料補給口) の 開閉 ……	136

フューエルリッドオープナー	136
冬の前の準備、点検	301
冬用タイヤ	302
プリテンショナー & フォースリミッター付 シートベルトの働き	288
プリテンショナー警告灯	219
ブレーキアシスト	290
ブレーキアシスト警告灯	218
ブレーキ警告灯 (赤)	221
ブレーキ警告ブザー	221
ブレーキペダル 点検基準値	346
ブレーキパッドウェアインジケータ	31
ブレーキフルード タンク位置	333
メンテナンスデータ	348
<b>ブレーキを踏むと「キーキー」と 音がする</b>	<b>31</b>
フロアマット	266
フロントデフロスター表示灯	215
フロントパーソナルランプ 操作方法	251
ワット数	347
フロントフラットシート	149
フロント方向指示灯 操作方法 (方向指示レバー)	240
電球 (バルブ) 交換	329
ワット数	347
フロントワイパーデアイサーの 使い方	245

## へ

ヘッドランプ 光軸上下調整	238
操作方法 (ランプスイッチ)	235
電球 (バルブ) 交換	327
ワット数	347
ヘッドランプ上向き表示灯	212

## ほ

ホーンの使い方	247
ホイールサイズ	351
ホイールナットレンチ	356
ホイール (タイヤ) の交換	365
方向指示表示灯	212
方向指示レバーの使い方	240
補機バッテリー	270
補機バッテリーあがり防止機能	125
<b>補機バッテリーがあがったときは</b>	<b>374</b>
補機バッテリーヒューズボックス	326
ボトルホルダー	257
<b>ボンネットから煙 (水蒸気) が 出ている</b>	<b>379</b>
ボンネットの開閉	139
ボンネットオープナー	139

## ま

マップランプ 操作方法	251
ワット数	347
万一の事故のときの注意	81

## み

ミラーの調整 インナーミラー	167
ドアミラー	168
ミラーヒーターの使い方	170

## め

メーター照度調整ボタン	209
メーター類	206
メカニカルキー	119
メンテナンスデータ (点検基準値)	346

## も

モーターTRC	294
モーターTRCについての注意	63

## ゆ

ユーザーカスタマイズ一覧	352
油圧警告	231
油脂類の容量と銘柄	348

## ら

ラゲージランプ	
操作方法	252
ワット数	347
ラジエーター	
オーバーヒートしたときは	379
タンク位置	333
ラジエーターキャップ位置	333
冷却水濃度、容量	348
ランプオートカットシステム	236
ランプの使い方	235

## り

リバース（後退）ブザー	190
リモコンスイッチ（ワイヤレスドアロック）	
操作方法	116
電池交換	319
リヤウインドゥデフォグガー	
（曇り取り）の使い方	245
リヤウインドゥデフォグガー表示灯	215
リヤシート前倒しのしかた	151
リヤカップホルダー	256
リヤドアが車内から開けられない	123
リヤフォグランプ	
操作方法	
（リヤフォグランプスイッチ）	239
電球（バルブ）交換	331
ワット数	347
リヤフォグランプ表示灯	212
リヤ方向指示灯	
操作方法（方向指示レバー）	240
電球（バルブ）交換	331
ワット数	347

## る

ルームミラー（インナーミラー）	167
ルームランプ	
操作方法	251
ワット数	347

## れ

冷却水	
オーバーヒートしたときは	379
濃度、容量	348
冬の前の準備、点検	301
リザーバータンク位置	333
READY（走行可能表示灯）	213

## ろ

ロアグローブボックス	253
ロアグローブボックスランプ	
装備について	253
ワット数	347
ロービーム（ヘッドランプ）	
操作方法（ランプスイッチ）	235
電球（バルブ）交換	327
ワット数	347
路上で故障したときは	363
ロックレバー	122

## わ

ワイパー & ウォッシャーの使い方	241
ワイヤレスドアロックリモコン	
操作方法	116
電池交換	319
ワックス	316
ワット数	347
輪止め	307、405



## ハイブリッドさくいん

## HYBRID

## ハイブリッドシステムについての注意事項

## 1章 安全ドライブのために

- 必ず守っていただきたいこと P.84

## 始動と運転のしかた

- ハイブリッドシステムの始動方法 P.176
- 運転のしかた P.198

## ハイブリッドシステムについての解説

- トヨタハイブリッドシステムⅡ P.268

## 環境に配慮した経済的な運転

- 経済的な運転 P.310

## 事故が起きたときは

- あわてずに次の処置を行ってください P.387

ハイブリッド車特有の説明がある項目 **HYBRID**

- EVドライブモードへの切りかえ方 P.181
- メーター P.206
- 表示灯 P.210
- 警告灯 P.216
- 警告アイコン P.226
- 警告画面 P.233
- ABS & ブレーキアシスト P.290
- モーターTRC P.294
- 電子制御ブレーキシステム（ECB） P.295
- 駐車するときは P.203
- 運転席に座っての点検 P.342
- 走行しての点検 P.344
- メンテナンスデータ P.346
- 補機バッテリーがあがったときは P.374
- オーバーヒートしたときは P.379
- けん引のしかた P.382

目次

基本  
操作  
早  
わか  
り運  
転  
装  
置  
の  
取  
り  
扱  
い室  
内  
装  
備  
の  
取  
り  
扱  
い安  
全  
・  
快  
適  
装  
備  
の  
解  
説  
と  
注  
意車  
と  
の  
上  
手  
な  
付  
き  
合  
い  
方メ  
ン  
テ  
ナ  
ン  
ス万  
一  
の  
と  
き索  
引

## 警告灯さくいん



ABS & ブレーキ  
アシスト警告灯 P.218



電子制御ブレーキ  
警告灯 (橙) P.223



SRSエアバッグ/  
プリテンショナー  
警告灯 P.219



半ドア警告灯 P.224



エンジン警告灯  
P.220



運転席シートベルト  
非着用警告灯 P.224



ブレーキ  
警告灯 (赤) P.221



PASSENGER

助手席シートベルト  
非着用警告灯 P.225

## 警告アイコンさくいん

各警告アイコンは、左側がHDDナビゲーションシステム非装着車、右側がHDDナビゲーションシステム装着車のアイコンを示しています。

		ハイブリッドシステム異常警告	P.229
		駆動用電池警告	P.230
		水温警告	P.230
		充電警告	P.231
		油圧警告	P.231
		パワーステアリング警告	P.232

目次



警告

基本操作  
早わかり運転装置の  
取り扱い室内装備の  
取り扱い安全・快適装備  
の解説と注意車との上手な  
付き合い方

メンテナンス

万一のとき

索引

# MEMO

---

# MEMO

---

目次



基本操作  
早わかり

運転装置の  
取り扱い

室内装備の  
取り扱い

安全・快適装備  
の解説と注意

車との上手な  
付き合い方

メンテナンス

万一のとき

索引

# MEMO

---





お問い合わせ、ご相談は  
下記へお願いいたします。

トヨタ自動車株式会社 お客様相談センター  
全国共通・フリーコール

 **0800-700-7700**

オープン時間 365日 9:00~18:00

所在地 〒450-0002 名古屋市中村区名駅四丁目10の27  
第二豊田ビル西館7階

「個人情報保護方針」については、  
<http://www.toyota.co.jp>にて掲載しております。

**トヨタ自動車株式会社**  
**<http://toyota.jp>**

●車両の仕様等の変更により本書の内容が車両と一致しない場合がありますのでご了承ください。  
●印刷 11-2011年11月2日 ●発行 -2009年5月18日 初版  
2011年11月9日 8版

M 47653  
01999-47653